

令和4年度

「UIJ ターン就職促進に係る企業、高校、大学等実態調査業務」

業務報告書

令和5年3月

浜松市産業部産業振興課



# 浜松市 UIJ ターン就職促進に係る企業、高校、大学等実態調査報告書

## 目次

<b>第1章 全体概要</b> . . . . .	3
<b>第2章 実態調査結果報告</b> . . . . .	5
<b>I. 浜松市内高校</b> . . . . .	5
1. 実態調査概要 . . . . .	5
2. 実態調査結果 . . . . .	6
<b>II. 静岡県内大学・浜松市内専門学校等</b> . . . . .	11
1. 実態調査概要 . . . . .	11
2. 実態調査結果 . . . . .	12
(1) 学生の状況について . . . . .	12
(2) 就職支援状況について . . . . .	13
3. ヒアリング報告 . . . . .	17
<b>III. 静岡県外大学</b> . . . . .	19
1. 実態調査概要 . . . . .	19
2. 実態調査結果 . . . . .	20
(1) 静岡県外大学における学生の状況について . . . . .	20
(2) 就職の傾向について . . . . .	21
(3) 就職支援状況について . . . . .	22
3. ヒアリング報告 . . . . .	27
<b>IV. 浜松市及び静岡県出身者を中心とした大学生</b> . . . . .	29
1. 実態調査概要 . . . . .	29
2. 実態調査結果 . . . . .	31
(1) 希望する就職について . . . . .	31
(2) 就職活動の内容について . . . . .	37
(3) 「浜松就職・転職ナビJOBはま！」について . . . . .	38
(4) 将来を含めた浜松市への就職意向について . . . . .	39
(5) 浜松市への UIJ ターン就職時に希望する支援・取組について . . . . .	41
<b>V. 浜松市内企業就職者並びに UIJ ターン就職経験者</b> . . . . .	43
1. 実態調査概要 . . . . .	43
2. 実態調査結果 . . . . .	43
(1) 浜松市内勤務者の属性 . . . . .	43
(2) 浜松市内勤務者の就業状況について . . . . .	45
(3) UIJ ターン実施状況について . . . . .	47
(4) 「浜松就職・転職ナビJOBはま！」について . . . . .	52

<b>VI. 浜松市外企業への就職者</b> . . . . .	53
1. 実態調査概要 . . . . .	53
2. 実態調査結果 . . . . .	54
(1) 回答者の現在の状況について . . . . .	54
(2) 勤務先の選択理由について . . . . .	56
(3) 市内企業への就職活動について . . . . .	57
<b>VII. 浜松市内企業</b> . . . . .	59
1. 実態調査概要 . . . . .	59
2. 実態調査結果 . . . . .	62
(1) 現在の雇用者の状況について . . . . .	62
(2) 新卒採用について . . . . .	66
(3) 中途採用について . . . . .	84
(4) 今後の採用活動について . . . . .	89
(5) 「浜松就職・転職ナビJOBはま!」について . . . . .	96
(6) 「浜松市奨学金返還支援事業」について . . . . .	98
(7) 外国人材の雇用状況について . . . . .	100
3. ヒアリング報告 . . . . .	104
<b>第3章 まとめ</b> . . . . .	107
I. 浜松市内企業の雇用状況 . . . . .	108
II. 浜松市内就職者の状況 . . . . .	111
III. 新卒者における UIJ ターンの実態 . . . . .	112
IV. 中途採用者における UIJ ターンの実態 . . . . .	126
V. 浜松市への意見・要望 . . . . .	129
<b>付録項目 調査票</b> . . . . .	付録 1

---

## 第1章 全体概要

本報告書は、浜松市への UIJ ターン就職の促進による若者の転入増加と、地元企業を担う人材及び労働力を確保するため、浜松市内企業並びに高校、進学先となる主な大学等、就職者を対象として行った調査結果に関する報告である。以下7つの調査を実施した。

1. 浜松市内高校実態調査
2. 静岡県内大学・浜松市内専門学校等実態調査（アンケート・ヒアリング）
3. 静岡県外大学実態調査（アンケート・ヒアリング）
4. 浜松市及び静岡県出身者を中心とした大学生の意識・実態調査（アンケート）
5. 浜松市内企業就職者並びに UIJ ターン就職経験者の意識・実態調査（Web アンケート）
6. 浜松市外企業への就職者の意識・実態調査（Web アンケート）
7. 浜松市内企業実態調査（アンケート・ヒアリング）

アンケート調査を主体に、主要項目について企業・大学を抽出してのヒアリング調査を実施した。アンケート調査で、幅広く情報を収集し客観的な実態を明らかにする一方、ヒアリング調査では、生の声や率直な意見を聴取することで、より現実的かつ具体的な実態を把握することを目的とした。

アンケート調査の集計のうち、市内企業に関するものは、適宜、業種別と従業員規模別に分け集計した。また、首都圏と中京圏の中間に位置する浜松市の地理的条件が、UIJ ターン就職を左右する決定要因の1つであるため、今回実施のアンケート集計では、必要に応じ、地域別に集計した。集計結果は、各調査別に順に記載し、最後に全体のまとめ及び分析を提示する。

（本報告書における用語の定義）

本報告書における用語の定義は、以下の通りとする。

- ・「浜松市内企業」 浜松市に事業所のある企業（本社・支社店・営業所・工場等問わず）
- ・「静岡県内大学」 法人本部が静岡県内にある大学
- ・「静岡県外大学」 法人本部が静岡県外にある大学
- ・「従業員規模」 正規社員及び非正規社員を合算した社員規模
- ・「首都圏」 東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県
- ・「中京圏」 愛知県・岐阜県・三重県
- ・「関西圏」 大阪府・京都府・兵庫県

（本報告書における調査対象について）

「浜松市及び静岡県出身者を中心とした大学生の意識・実態調査」（アンケート）については、「大学生」のみを対象、それ以外の調査に関しては、「大学・短大・専門学校」を対象とした。



---

## 第2章 実態調査報告結果

### I. 浜松市内高校

#### 1. 実態調査概要

---

---

##### (1) 調査目的

本調査は、UIJ ターン就職の促進による若者の転入増加と、地元企業を担う人材及び労働力を確保するため浜松市内高校から基礎的データを収集し、今後の事業施策に活用する事を目的に実施した。

##### (2) 調査対象

浜松市内の公立高校 17 校・私立高校 10 校、全 27 校。

##### (3) 調査方法

令和 4 年 7 月 27 日～8 月 30 日、郵送による配布、郵送及び Web 回答により調査を実施。

##### (4) 回収状況

郵送数 27 校、回収数 27 校、回収率 100.0%

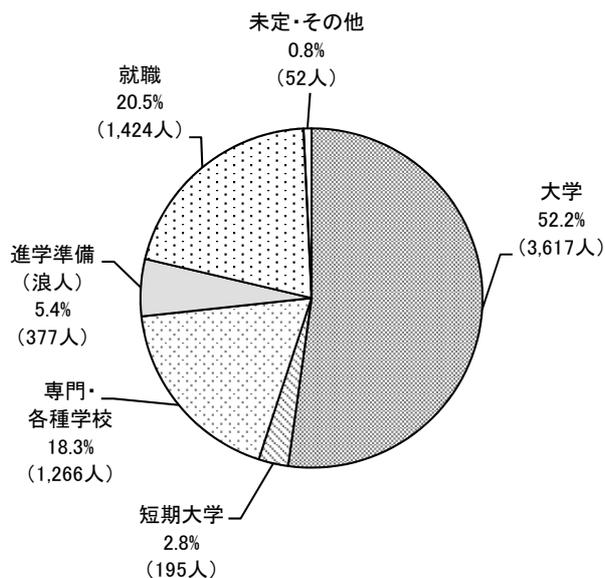
## 2. 実態調査結果

### 令和3年度卒業生の進路

- 浜松市内高校の令和3年度卒業生のうち、73.3%が進学、20.5%が就職。進路別をみると、「大学」(52.2%)、「短大」(2.8%)、「専門・各種学校」(18.3%)となる。進学先を地域別でみると「静岡県内」(37.9%)、「首都圏」(20.2%)、「中京圏」(23.7%)となる。
- 平成27年度調査と比較すると進学率は0.9ポイント増加した。「大学」が前回より1.1ポイント、「専門・各種学校」が0.8ポイント増加、一方で「短大」は1.0ポイント減少した。また、「就職」は0.5ポイント、「進学準備(浪人)」は0.4ポイントそれぞれ減少している。進学先の地域別の割合は、「静岡県内」は1.7ポイント、「中京圏」は0.1ポイント増加し、「首都圏」は3.4ポイント減と大きく減少した。

#### ●令和3年度卒業生の進路別人数

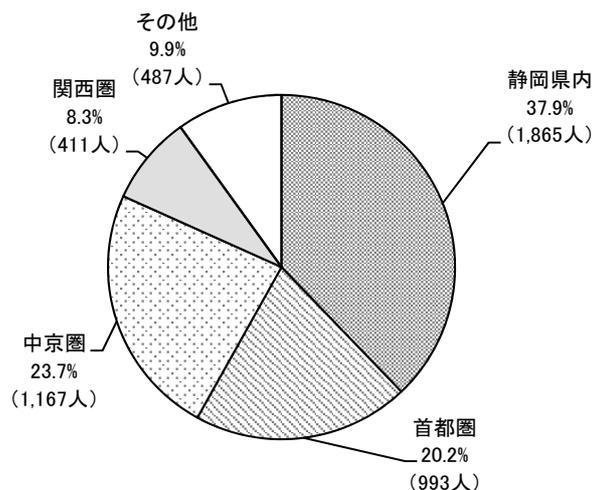
図表1 進路別の割合



(全体数 6,931人)

#### ●令和3年度「大学」「短大」「専門・各種学校」に進学した人の進路先

図表2 進学先の地域別の割合



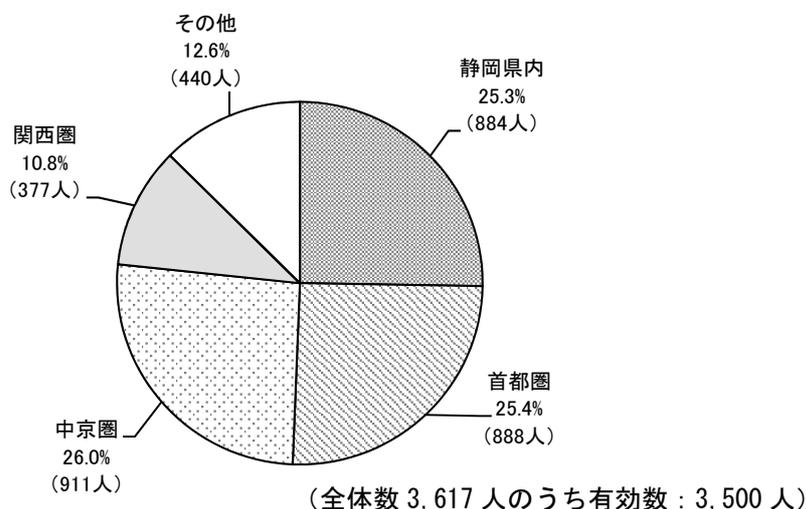
(全体数 5,078人のうち有効数 : 4,923人)

※首都圏は、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、中京圏は愛知県、岐阜県、三重県、関西圏は大阪府、京都府、兵庫県とする。  
 ※集計は小数点以下第2位を四捨五入しているため、回収比率の合計は100%にならない場合がある。

## ●令和3年度卒業生の進学先

- 大学へ進学した地域別の割合をみると、「静岡県内」(25.3%)、「首都圏」(25.4%)、「中京圏」(26.0%)、「関西圏」(10.8%)、「その他」(12.6%)となっている。

図表3-1 「大学」へ進学した地域別の割合・人数



※各高校には進学者数が多い上位10校の回答を求め、地域別に上位5校を表に示した。

図表3-1-1

## 静岡県内の大学

大学名	人数
常葉	246
聖隷クリストファー	172
静岡	128
静岡理工科	63
静岡産業	35

図表3-1-2

## 首都圏の大学

大学名	人数
日本	32
東海	26
中央	19
早稲田	17
日本体育	14

図表3-1-3

## 中京圏の大学

大学名	人数
愛知	69
愛知学院	65
中京	60
名城	50
名古屋	39

図表3-1-4

## 関西圏の大学

大学名	人数
立命館	44
京都	15
大阪	12
近畿	4
関西学院	3

図表3-1-5

## その他の地域の大学

地域	人数
北海道	15
東北	9
北陸	5

I. 浜松市内高校

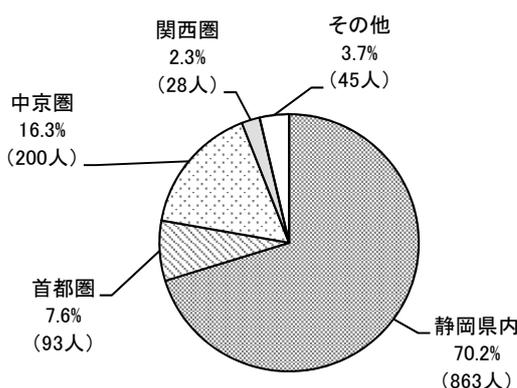
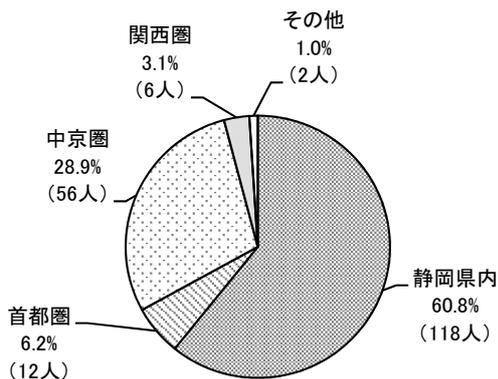
- 令和3年度に短期大学へ進学した地域別の割合をみると、「静岡県内」(60.8%)、「首都圏」(6.2%)、「中京圏」(28.9%)、「関西圏」(3.1%)、「その他」(1.0%)となっている。
- 令和3年度に専門学校へ進学した地域別の割合をみると、「静岡県内」(70.2%)、「首都圏」(7.6%)、「中京圏」(16.3%)、「関西圏」(2.3%)、「その他」(3.7%)と多くが静岡県内となっている

図表3-2

図表3-3

「短期大学」へ進学した地域別の割合・人数

「専門学校」へ進学した地域別の割合・人数



(全体数 195 人のうち有効数 : 194 人)

(全体数 1,266 人のうち有効数 : 1,229 人)

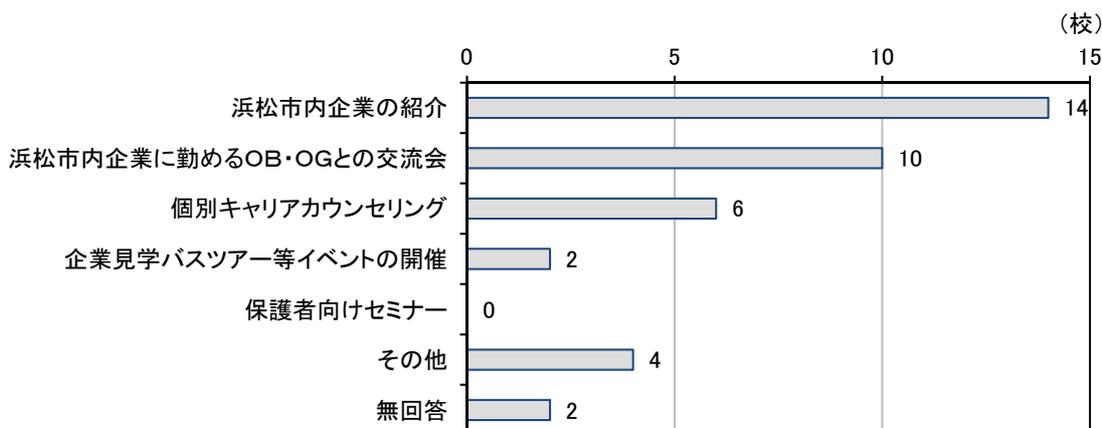
※各高校には進学者数が多い上位 10 校の回答を求めた。

※各高校には進学者数が多い上位 10 校の回答を求めた。

●将来的なUターン就職支援にあたり、地方自治体と連携して取り組んでいきたい事業について聞いた（複数回答）。

- 集計の結果、「浜松市内企業の紹介」が 14 校で最も多かった。これに「浜松市内企業に勤めるOB・OGとの交流会」が 10 校、「個別キャリアカウンセリング」が 6 校で続いた。

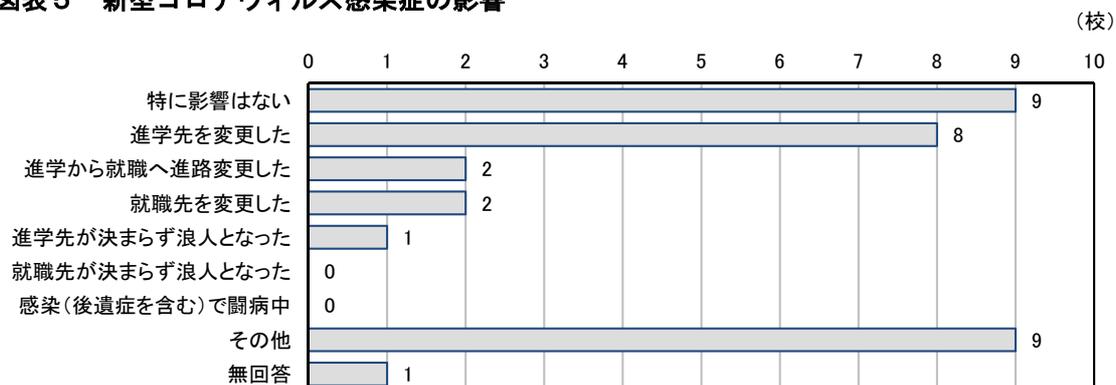
図表4 地方自治体と連携して取り組んでいきたい事業



●新型コロナウイルス感染症が生徒の進路に与えた影響について聞いた（複数回答）。

- 集計の結果、「特に影響はない」が9校で最も多くなった。「進学先を変更した」が8校、「進学から就職へ進路変更した」と「就職先を変更した」がそれぞれ2校あり、進学・就職にも影響が及んでいることがうかがえる。

図表5 新型コロナウイルス感染症の影響



- 「その他」の影響があったと回答した高校も9校あったが、「なかなか進路先を決めることができない」、「進学希望者が増えた」、「保護者意識が近県への進学を後押しした」、「県内志向が強まった」、「県内、あるいは愛知県の志望者が増えた」、「進学希望者が増加した」、「オープンキャンパスへの参加、内容の制限」、「再受験が増えた」、「専門学校への進学者が増えた」などの回答があった。



## Ⅱ. 静岡県内大学・浜松市内専門学校等

### 1. 実態調査概要

#### (1) 調査目的

本調査は、地元就職の促進と地元企業を担う人材及び労働力を確保するため、静岡県内の大学及び浜松市内の専門学校等から基礎的データを収集し、今後の事業施策に活用することを目的に実施した。

#### (2) 調査対象

静岡県内にキャンパスを置く大学・短期大学（高等専門学校 1 校を含む）21 校と浜松市内専門学校 23 校の全 44 校。

#### (3) 調査方法

令和 4 年 9 月 13 日より令和 4 年 10 月 12 日、郵送による配布を行い、郵送及び Web 回答により調査を実施。

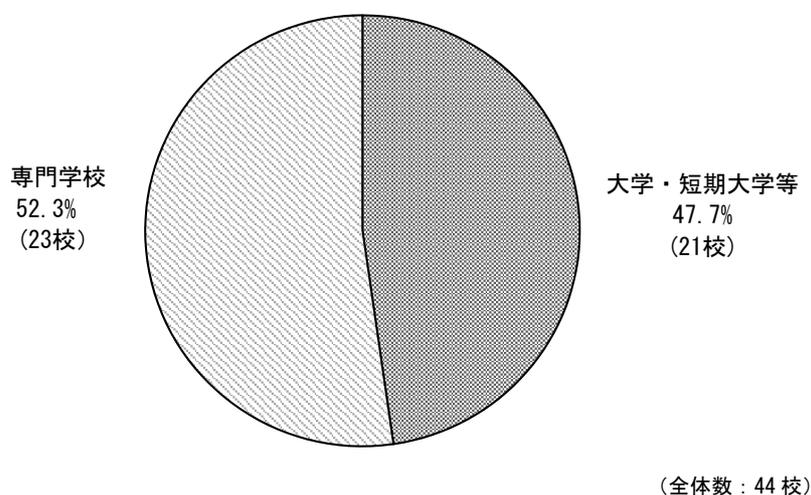
#### (4) 回収状況

郵送数 44 校、回収数 44 校で、回収率 100%。

#### (5) 属性

大学 21 校（短期大学・高等専門学校を含む）、専門学校 23 校

図表 1 大学・短期大学等及び専門学校の割合



**2. 実態調査結果**

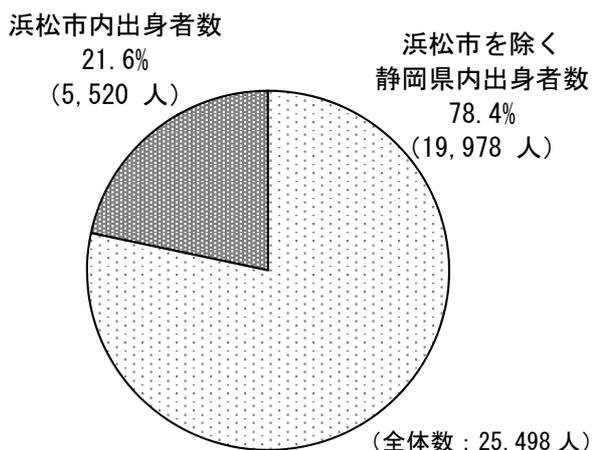
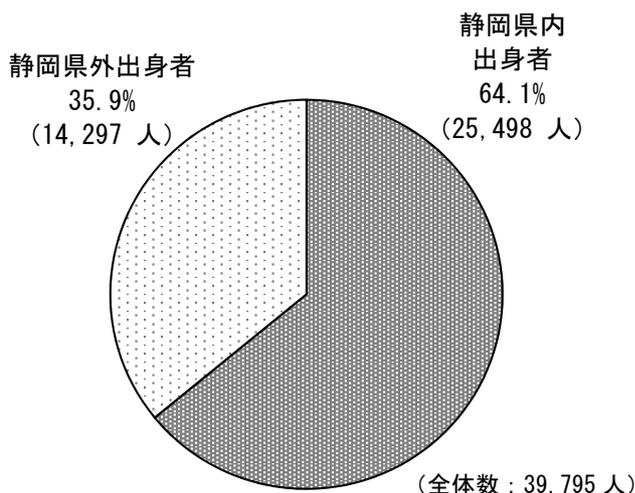
(1) 学生の状況について

●出身地別の在校生の人数

➤ 本調査における静岡県内大学等の令和4年度の在校生39,795人のうち64.1%が「静岡県内出身者」であり、そのうち78.4%が「浜松市を除く静岡県内出身者」、21.6%が「浜松市内出身者」である。

図表2-1 在校生の県内出身者の状況

図表2-2 浜松市内の出身者数

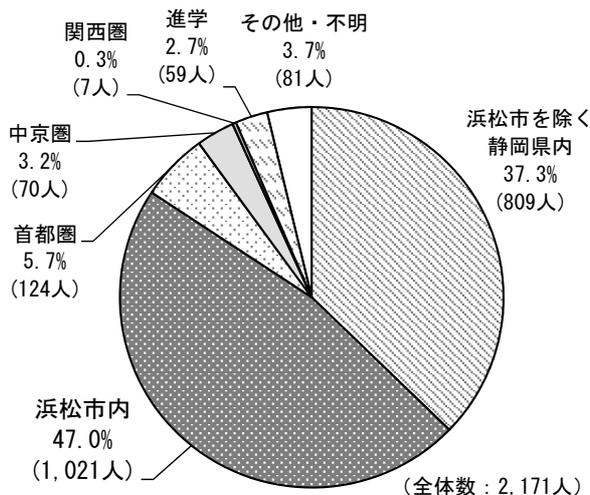
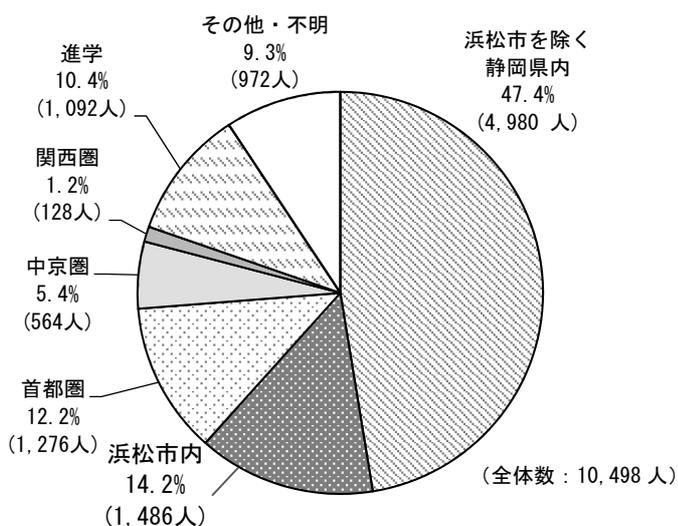


●令和3年度卒業生の就職先の地域別内訳

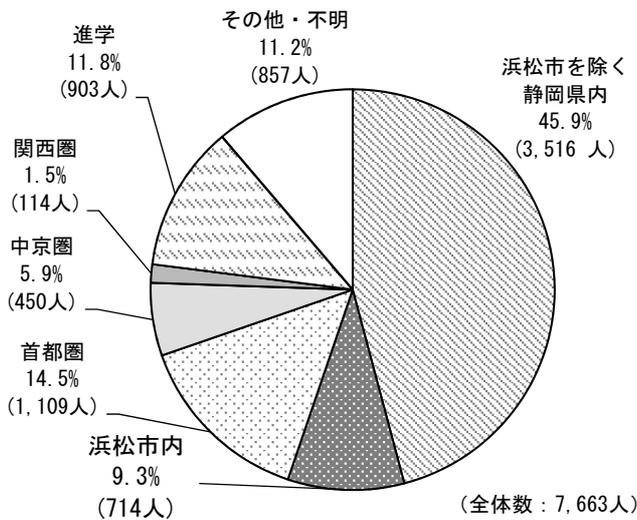
➤ 令和3年度の卒業生10,498人の就職先地域は「静岡県内」が61.6%となっており、そのうち14.2%は「浜松市内」に就職している。令和3年度に就職した「浜松市内」出身者の84.3%が「県内」に就職しており、そのうち47.0%は「浜松市内」に就職している。

図表3-1 卒業生の就職先の地域別内訳(全体)

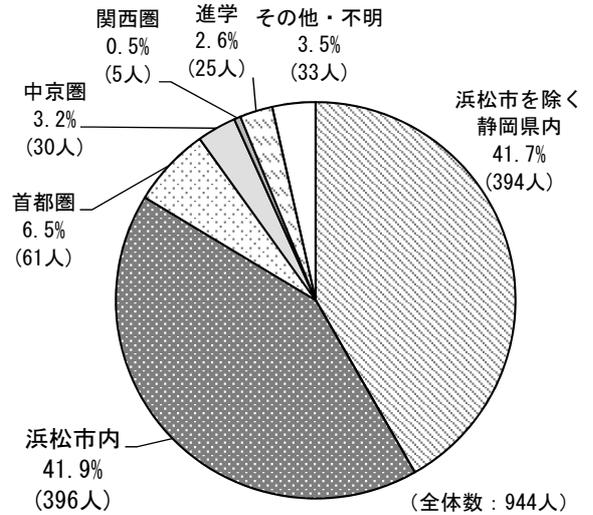
図表3-2 浜松市出身者の就職先の地域別内訳(全体)



図表 3-3 卒業生の就職先の地域別内訳(大学)



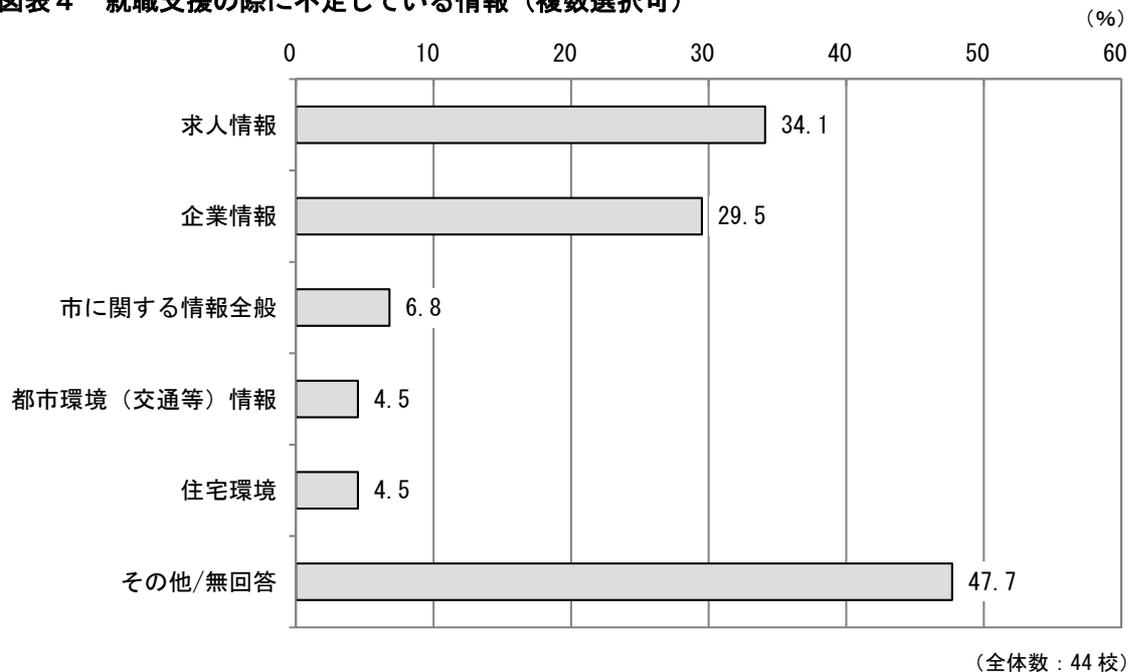
図表 3-4 浜松市出身者の就職先の地域別内訳(大学)



(2) 就職支援状況について

- 浜松市内への就職を勧める場合、不足している情報としては「求人情報」(34.1%)と「企業情報」(29.5%)を挙げている。「市に関する情報全般」、「都市環境」、「住宅環境」に関する不足感は低い。その他に関しては「特になし」の他「市内の求人件数」、「公務員の試験案内」、「公立の幼稚園・保育園の見学等の情報」などの回答があった。

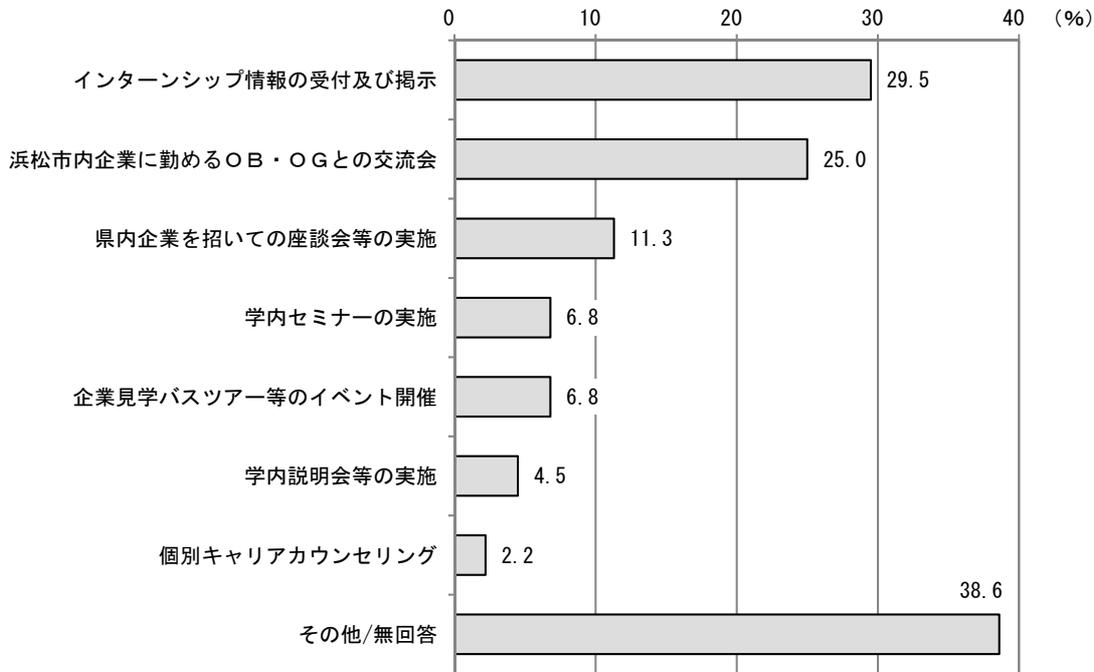
図表 4 就職支援の際に不足している情報(複数選択可)



## II. 静岡県内大学・浜松市内専門学校等

- 学生の就職支援にあたり、地方自治体と連携して取り組んでいきたい事業は「インターンシップ情報の受付及び掲示」(29.5%)、次いで「浜松市内企業に勤めるOB・OGとの交流会」(25.0%)、「県内企業を招いての座談会等の実施」(11.3%)が多く挙げられている。その他に関しては「教育分野の就職支援の連携」、「資金的支援制度」、「公務員についての情報提供拡充」などの回答があった。

図表5 地方自治体と連携して取り組んでいきたい事業（複数選択可）

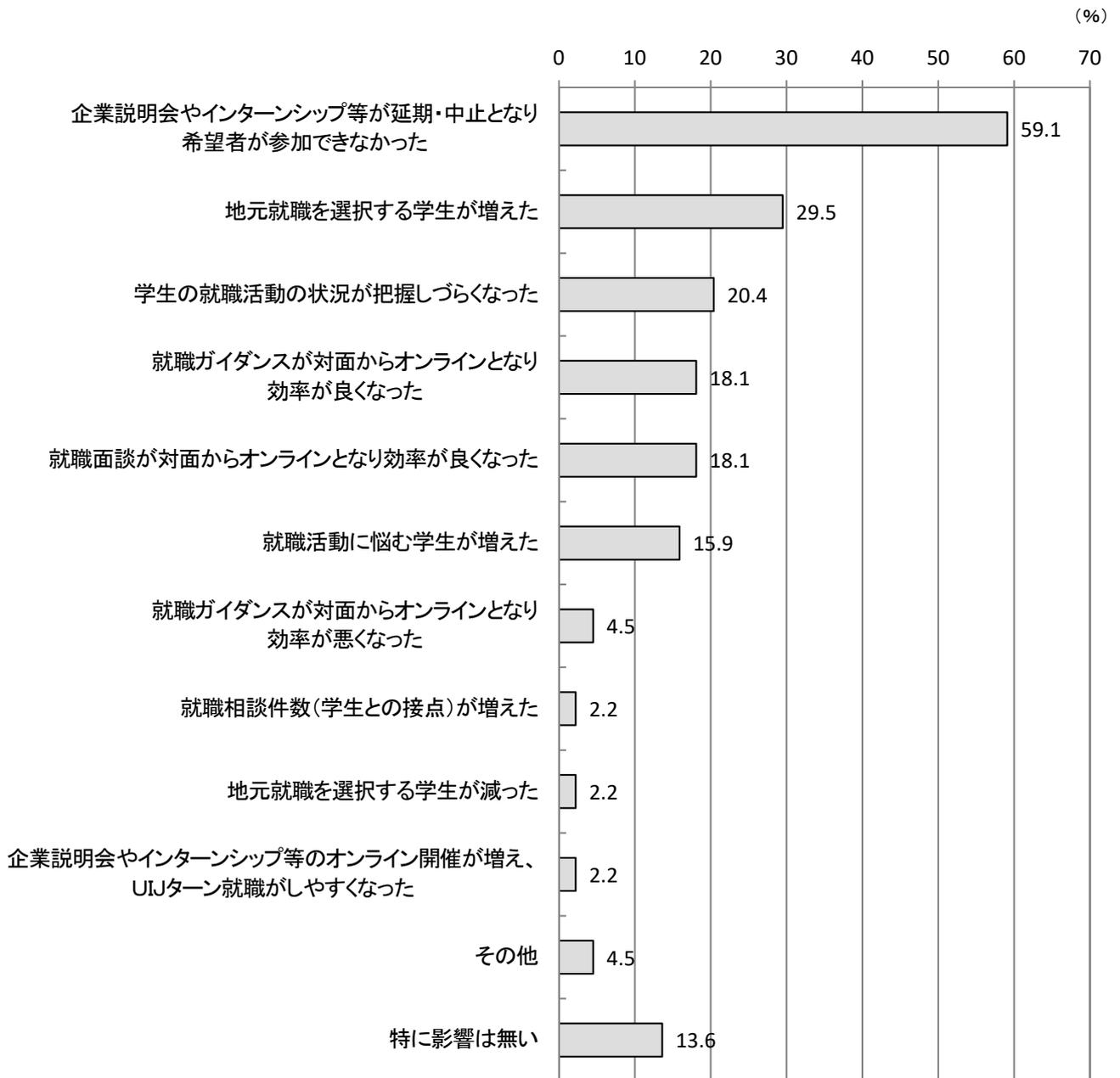


(全体数：44校)

### ●新型コロナウイルス感染症による影響

- 新型コロナウイルス感染症が、令和3年度中の各校の就職支援に与えた影響としては、「企業説明やインターンシップ等が延期・中止となり希望者が参加できなかった」(59.1%)が最も多く、学生の就職活動に大きな影響があったと考えられる。次いで「地元就職を選択する学生が増えた」(29.5%)、「学生の就職活動の状況が把握しづらくなった」(20.4%)が挙げられている。また、「就職ガイダンスが対面からオンラインとなり効率が良くなった」(18.1%)、「就職面談が対面からオンラインとなり効率が良くなった」(18.1%)など、対面からオンラインに切り替わったことで効率化されたことを肯定的にとらえる回答も多かった。「その他」としては、「試験のスケジュール変更により準備期間が短くなった」、「対面とオンライン両方を実施することで効率が良くなった」といった回答があった。
- 「静岡県外大学」の調査では、就職支援に与えた影響では「学生の就職活動の状況が把握しづらくなった」(50.0%)と最も多く、次いで「企業説明会やインターンシップ等が延期・中止となり希望者が参加できなかった」(35.5%)といった否定的な回答が多いなか、県内大学と同様に「就職相談が対面からオンラインとなり効率が良くなった」(33.9%)等のオンライン化が進んだことを肯定的にとらえる回答も多かった。

図表6 新型コロナウイルス感染症による影響（複数選択可）

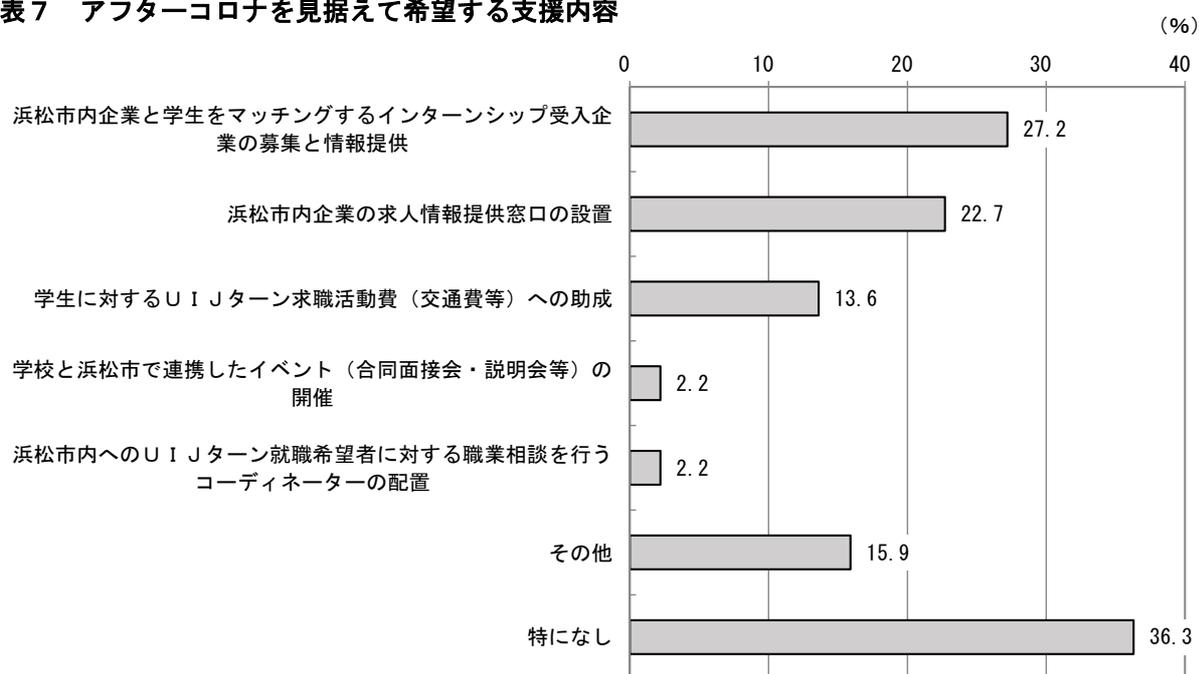


(全体数：44校)

●アフターコロナを見据えた就職支援の希望

- 各校が希望するアフターコロナを見据えた就職活動の支援内容は「浜松市内企業と学生をマッチングするインターンシップ受入企業の募集と情報提供」(27.2%)が一番多く、インターンシップを重要視する傾向が伺えた。次いで「浜松市内企業の求人情報提供窓口の設置」(22.7%)、「学生に対するUIJターン求職活動費(交通費等)への助成」(13.6%)が多かった。「その他」に関しては、「中小でも安定した企業の採用情報」、「活動早期化への歯止め」、「幅広い情報提供」などが挙げられた。
- 「静岡県外大学」の調査では、アフターコロナを見据えた就職活動支援の希望としては「学生に対するUIJターン求職活動費(交通費等)への助成」(45.2%)と最も多く、次いで「浜松市内企業と学生をマッチングするインターンシップ受入企業の募集と情報提供」(37.1%)、「浜松市内企業求人情報の提供窓口の設置」(16.1%)の順となった。

図表7 アフターコロナを見据えて希望する支援内容



(全体数 : 44 校)

---

### 3. ヒアリング報告

---

アンケート内容を基に静岡県内大学へヒアリングを実施した内容について、以下のとおり報告を行う。

#### (1) 令和6年3月卒業予定者（現3年生）の状況について

コロナ禍が続く、企業の採用活動においてオンライン対応が増えるなどの就職活動の変化や人手不足の継続及び企業の採用意欲の高まりから企業の採用活動が早期化し、学生の就職活動の取り組み時期においても早期化の傾向にある。2年生の秋頃までには企業研究を開始する学生が増えている。

#### (2) 卒業生の就職先・地域別内訳

コロナ禍が続いたことにより、他地域への移住を伴う就職への抵抗感が強まり、地元の学生は従来にも増して地元志向が強くなった。また、県外からの学生も地元に戻る傾向が強まりはしたものの、都市圏以外の出身者は大学周辺の企業に就職することも増えるなど、学生の出身地域によっても傾向が別れた。

#### (3) 学生の就職に対する考え方

##### (ア) 最近のトレンド

##### ・勤務地

地元志向の高まりによって、県外出身者においては出身地域への就職意識も強まった。就職を希望する業種によっては、地元での受け皿が限定的であるため、都市圏を主体に学生の希望する職種の企業を選択する傾向もみられる。

##### ・企業規模

コロナ禍によって安定性や年収を重視する傾向が強まった結果、依然として大手志向が強い。学生数の減少により、大手に就職しやすくなったことも影響している。中小規模でも地元有力企業の求人や自社PRも増えているため選択肢は広がっているが、中小規模でも知名度や一定の規模感が優先される傾向は強い。

##### ・希望業種・職種

業種は製造業や商社、小売業、サービス業に加え、公務員志向も強い。職種は総合職、営業職、事務職が多い。理工系やデザイン系学科においては業種としてIT関連、職種ではエンジニア志望の学生も多い。医療・福祉・保育学科はそれぞれの専攻に直結した業種や職種が大半となる。

##### ・勤務条件

福利厚生、休日、給与のほか、その企業での働きがいを求める傾向も強い。

##### ・仕事とプライベートの両立

多様な働き方やワークライフバランスへの意識は高まっており、しっかり働いて、しっかりと私生活を充実させたいという学生が増えている。

**(イ) 助言者の影響**

親の影響は強い。コロナ禍でオンライン上での企業側の情報発信が増える中、学生の企業研究に対する情報量は増えている一方、対面で企業側と接触する機会が減少していたことから、生の声として、身近な社会人に相談する傾向は強まっている。

**(4) 静岡県外出身者の就職傾向**

地元志向が強まる中、都市圏の出身者は地元や地元周辺に戻って就職する傾向が強まっているが、都市圏出身以外の学生は大学周辺や静岡県内で就職先を探すケースが増えている。

**(5) 他県の自治体からの働きかけの有無について**

長野県からの PR が強いと感じている大学が複数あるほか、静岡県西部地区の大学においては、愛知県内の自治体が積極的であるとの意見が聞かれた。

**(6) 浜松市内の企業への就職を後押しするための有効手段**

大手企業に限らず、浜松市内にある優良企業の情報を広く学生へ周知することが必要という意見が多い。中小企業側の情報発信や求人は増えているが、学生の意識が中小企業にまで十分に及んでいない。また、製造業の集積が多い地域であるが、IT系企業の誘致など、幅広い業種の産業集積も必要との意見がある。

**(7) その他**

Uターン就職への意識付けとして、浜松市内の産業や企業について、高校生など早い段階で情報提供を行うなどの啓蒙活動が必要といった意見が聞かれる。また、産業だけでなく、地域としての魅力を一層高めることを求める声が聞かれた。

## Ⅲ. 静岡県外大学

### 1. 実態調査概要

#### (1) 調査目的

UIJ ターン就職の促進による若者の転入増加と、地元企業を担う人材及び労働力を確保するために県外大学から基礎データを収集し、今後の事業施策に活用することを目的とする。

#### (2) 調査対象

「UIJ ターン就職に関わる浜松市内高校実態調査」の結果から、卒業生の進学者数の上位校 62 校を選定した。

#### (3) 調査方法

令和 4 年 9 月 13 日～10 月 12 日、郵送による配布・郵送・Web 回答による回収により調査を実施。

#### (4) 回収状況

郵送数 62 大学、回収数 62 大学。回収率 100%。

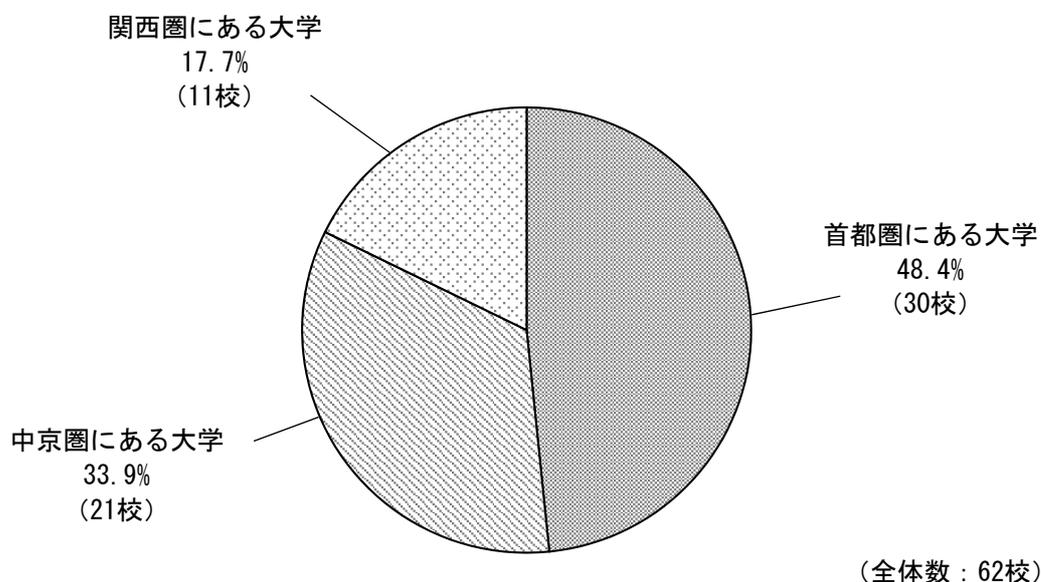
#### (5) 属性

首都圏にある大学 30 大学

中京圏にある大学 21 大学

関西圏にある大学 11 大学

図表 1 回収地域の内訳



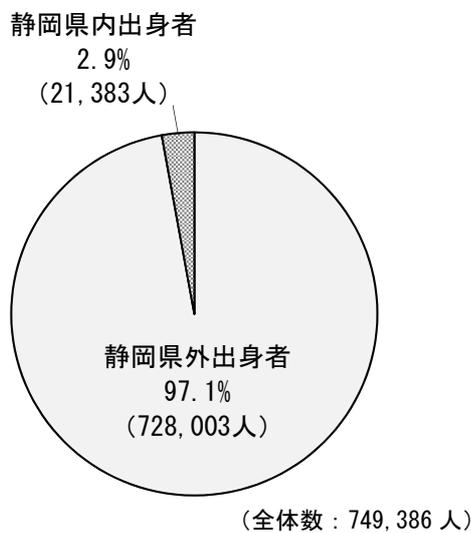
**2. 実態調査結果**

(1) 静岡県外大学における学生の状況について

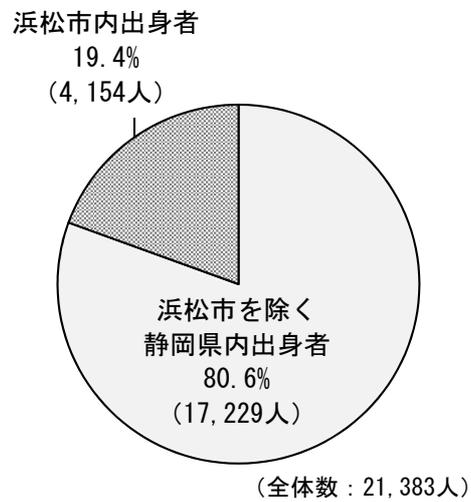
●学年別、在校生徒数、及び静岡県、浜松市出身の学生数

- 回答のあった大学の令和3年度の1年生から4年生の在校生の749,386人のうち、「静岡県内出身者」は21,383人(2.9%)である。「静岡県内出身者」のうち、「浜松市内出身者」は4,154人(19.4%)となる。
- 浜松市出身者の進学した大学の所在地別の割合でみると、「中京圏」(51.5%)、「首都圏」(34.9%)、「関西圏」(13.6%)である。

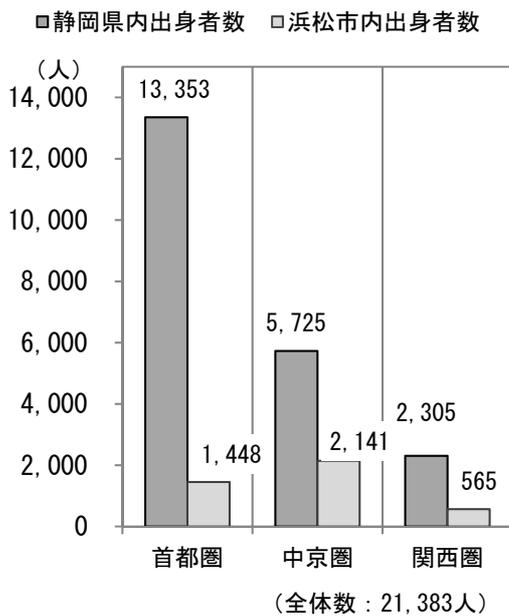
図表2-1 在校生の出身地



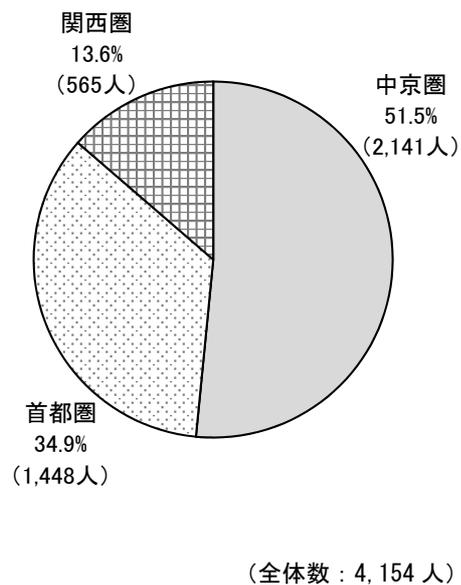
図表2-2 静岡県内出身在校生のうち、浜松市内出身者の割合



図表2-3 大学地域別の静岡県内、浜松市内出身者の在校生数



図表2-4 浜松市出身者が進学した県外大学の地域別割合

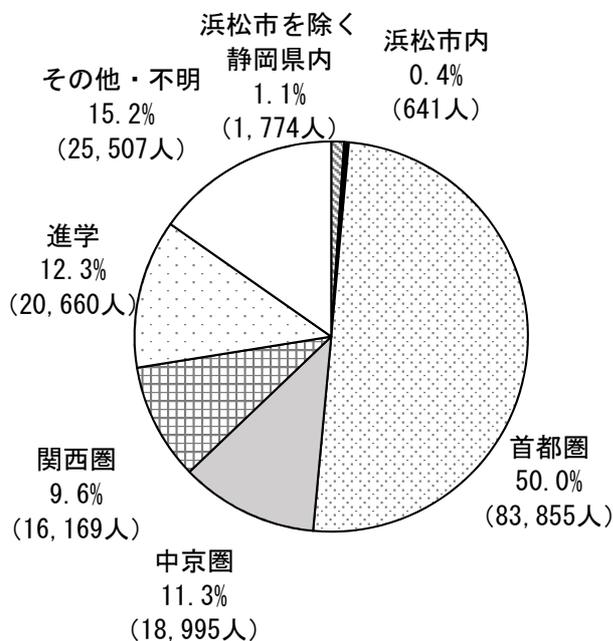


(2) 就職の傾向について

●令和3年度卒業生の就職先の地域別内訳

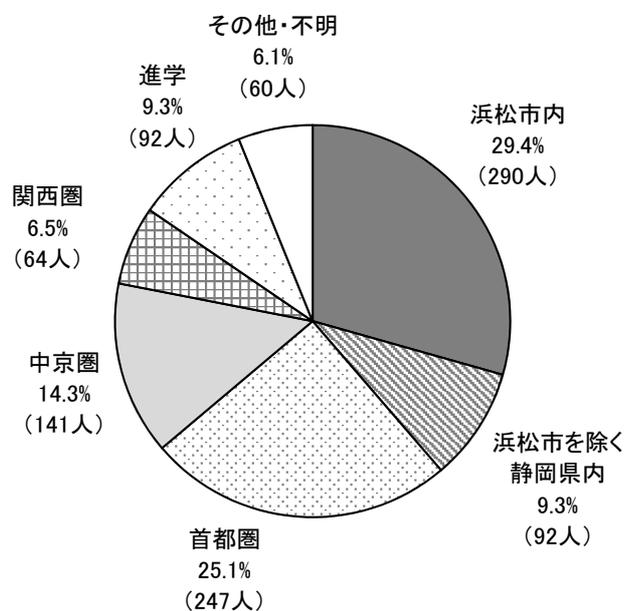
- 回答のあった大学の令和3年度卒業生の就職先地域別内訳をみると167,601人のうち、2,415人(1.4%)が「静岡県内」に就職している。
- 「浜松市内出身者」986人の就職先の地域をみると、「浜松市内」(29.4%)、「浜松市を除く静岡県内」(9.3%)、静岡県以外の就職地域に関しては、「首都圏」(25.1%)、「中京圏」(14.3%)、「関西圏」(6.5%)である。

図表3-1 卒業生の就職先の地域別内訳



(全体数：167,601人)

図表3-2 浜松市出身者の就職先の地域別内訳



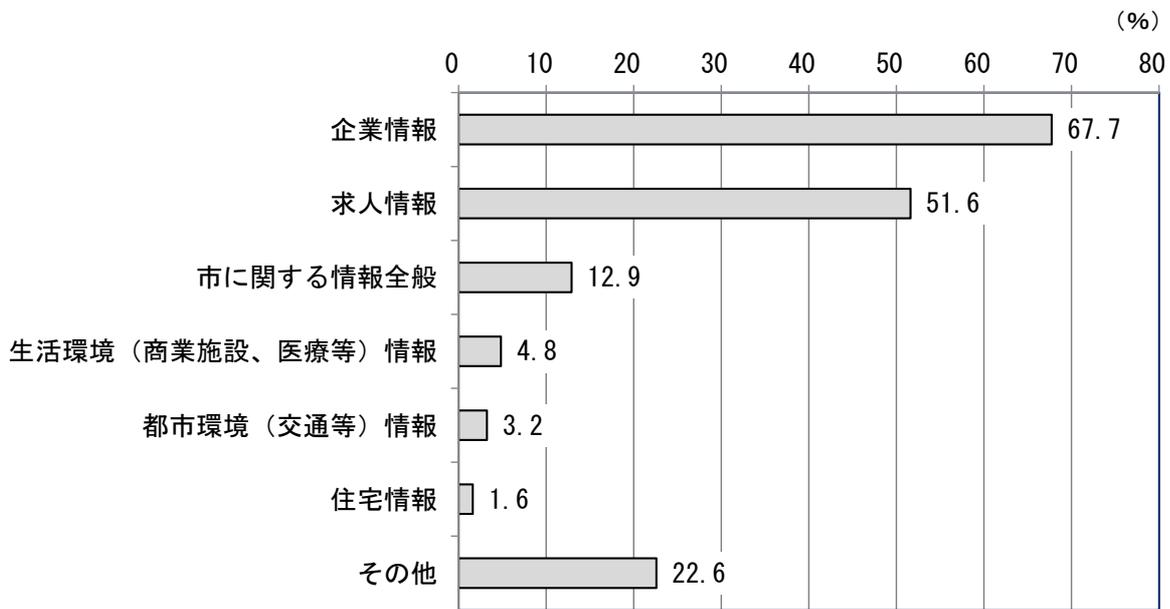
(全体数：986人)

(3) 就職支援状況について

●学生に浜松市内への就職を勧める場合、不足している情報

- 浜松市内へ就職を勧める場合、不足している情報は、「企業情報」(67.7%)、「求人情報」(51.6%)が上位を占めている。「市に関する情報」、「生活環境(商業施設、医療等)情報」、「都市情報(交通等)情報」、「住宅情報」について不足感は低い。「その他」としては、「U・Iターンするメリット」、「第2新卒、社会人の転職、浜松企業とリモートベースの兼業・副業」、「各種支援制度」、「経済的支援制度の案内」、「金融・JAの情報が欲しい」といった回答があった。

図表4 就職支援の際に不足している情報(複数回答)

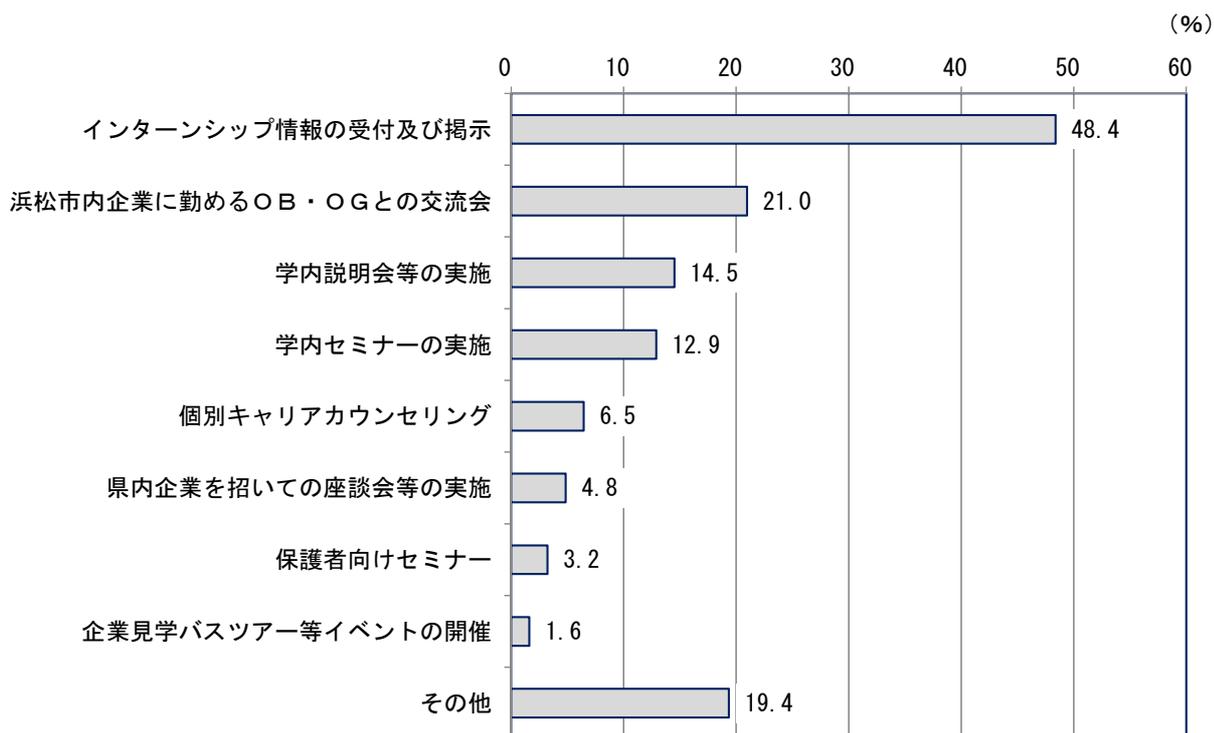


(全体数: 62校)

●学生への就職支援にあたり、地方自治体と連携して取り組んでいきたい事業

- 学生への就職支援で地方自治体と連携して取り組んでいきたい事業としては、県内大学同様、「インターンシップ情報の受付及び掲示」(48.4%)をあげる大学が多い。次いで「浜松市内企業に勤めるOB・OGとの交流会」(21.0%)、「学内説明会等の実施」(14.5%)、「学内セミナーの実施」(12.9%)の順となる。「その他」としては、「Uターン説明会」、「社会人になった後、心のよりどころとなる浜松市のグループLINEの創設と案内」といった回答があった。

図表5 学生への就職支援にあたり、地方自治体と連携して取り組んでいきたい事業（複数回答）

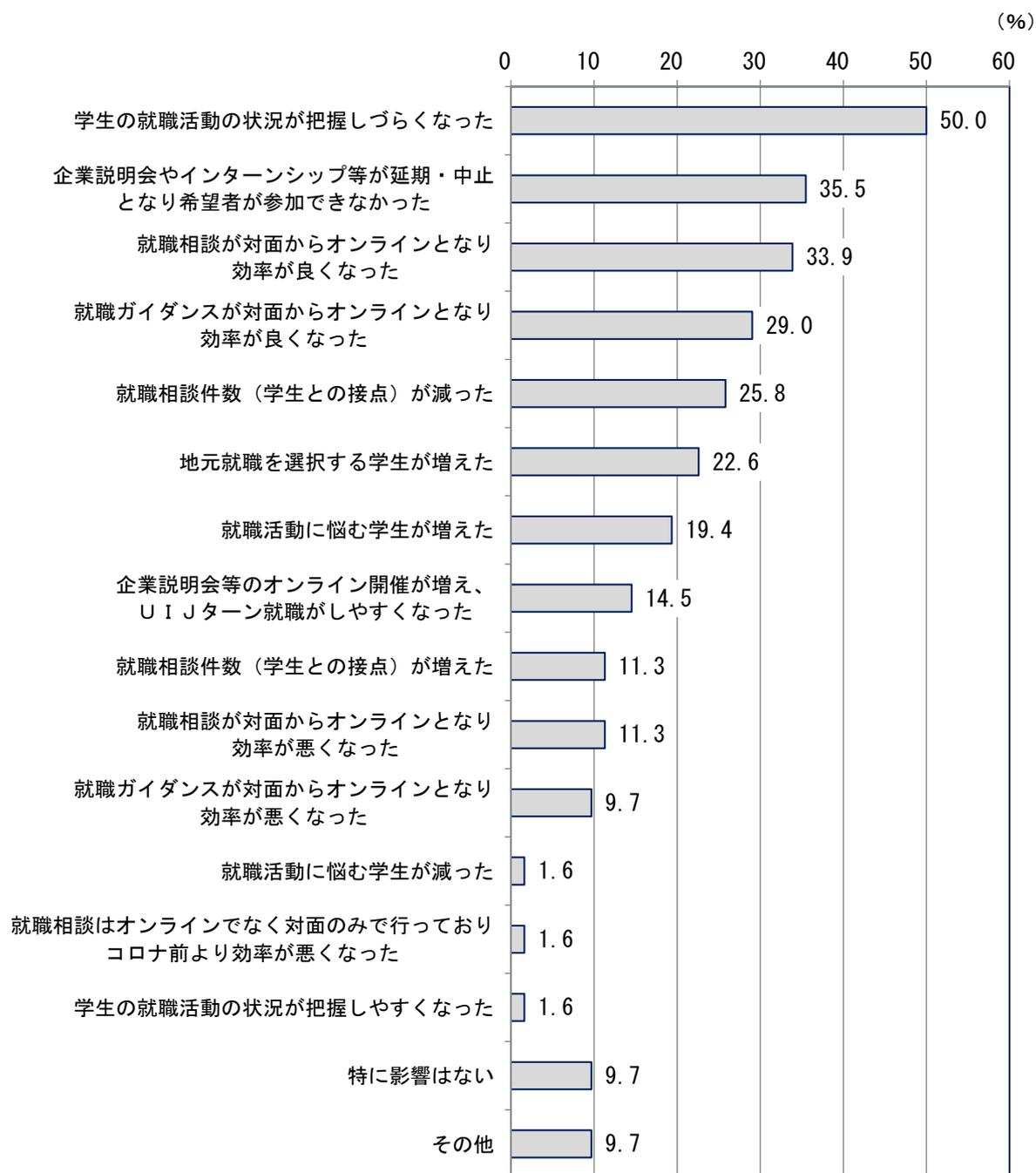


(全体数：62校)

●新型コロナウイルス感染症が、令和3年度中の就職支援に与えた影響

- 新型コロナウイルス感染症が、令和3年度中の就職支援に与えた影響としては、「学生の就職活動の状況が把握しづらくなった」(50.0%)と最も多く、授業のオンライン化による学生の登校日数減少の影響が伺える。次いで「企業説明会やインターンシップ等が延期・中止となり希望者が参加できなかった」(35.5%)といった否定的な回答が多いなか、「就職相談が対面からオンラインとなり効率が良くなった」(33.9%)等のオンライン化が進んだことを肯定的にとらえる回答も多かった。「その他」としては、「オンラインでの相談が増えた」、「就職相談はオンライン型と対面型の選択制を導入し、コロナ下での相談環境を向上できた」、「就職相談以外のキャリアセンター主催イベントの参加者が減った」、「面談のオンライン化、ガイダンスのオンデマンド化など、新たな支援方法が増えた」、「就職ガイダンスが対面からオンラインとなったことについては、効率が良くなった反面参加する学生は減少した」、「安易な内定、安易な内定辞退」、「オンラインのツールが充実したことで学生の選択肢が増えた」といった回答があった。
- 静岡県内大学及び浜松市内専門学校への調査で新型コロナウイルス感染症が令和3年度の各校の就職支援に与えた影響で最も大きかったものは、「企業説明会やインターンシップ等が延期・中止となり希望者が参加できなかった」(59.1%)であり、静岡県外大学への調査とは異なる結果となった。

図表6 新型コロナウイルス感染症が、令和3年度中の就職支援に与えた影響  
(複数回答)

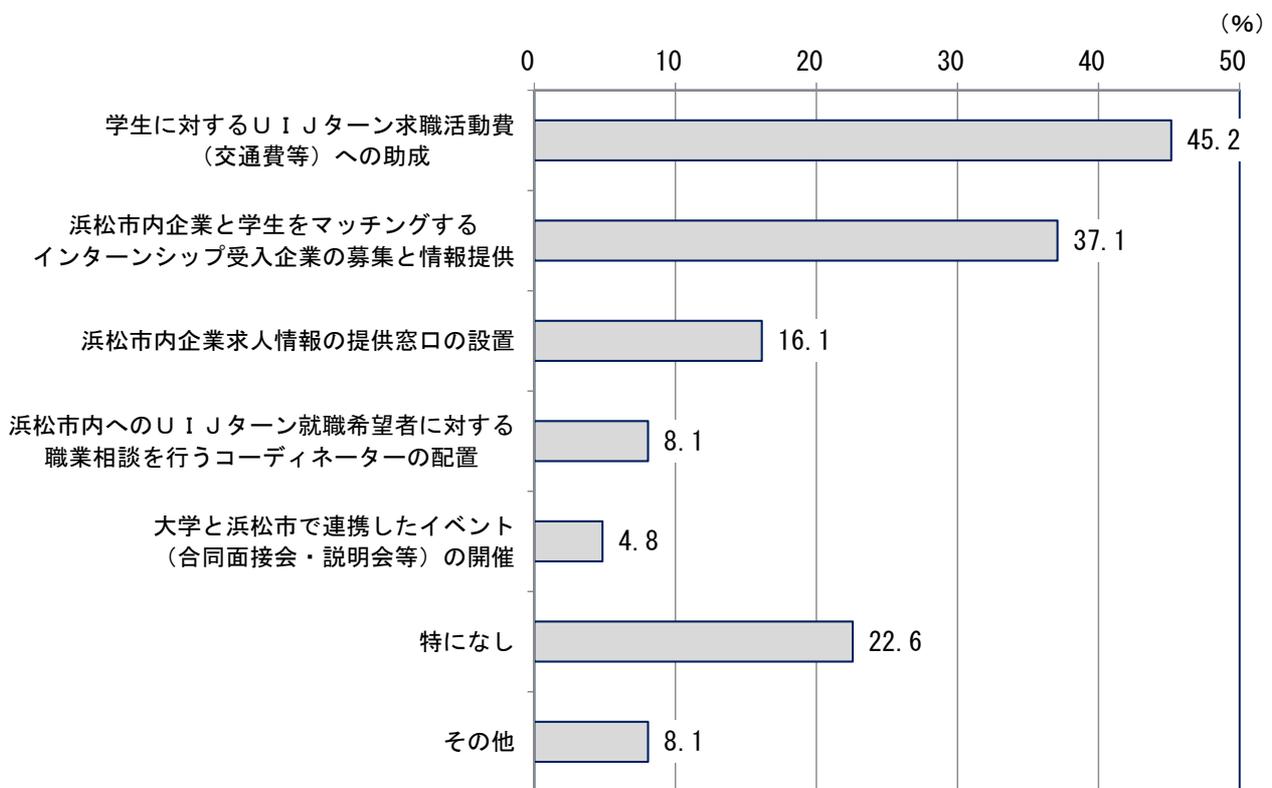


(全体数：62校)

●アフターコロナを見据えた就職活動支援の希望

- アフターコロナを見据えた就職活動支援の希望としては「学生に対する UIJ ターン求職活動費（交通費等）への助成」（45.2%）と最も多く、次いで「浜松市内企業と学生をマッチングするインターンシップ受入企業の募集と情報提供」（37.1%）、「浜松市内企業求人情報の提供窓口の設置」（16.1%）の順となった。「その他」においては、「浜松市内の企業情報の提供」、「1、2 年生からキャリア支援の実施」、「学生がよく利用する大手就活サイト等への情報一元化をしてほしい」といった回答があった。
- 「静岡県内大学及び浜松市内専門学校」への調査でアフターコロナを見据えた就職活動支援の希望として最も多かったのは「浜松市内企業と学生をマッチングするインターンシップ受入企業の募集と情報提供」（27.2%）であり、次いで「浜松市内企業の求人情報提供窓口の設置」（22.7%）となっており、静岡県外大学で最も多かった「求職活動費（交通費等）への助成」とは異なる結果となった。

図表7 アフターコロナを見据え、就職活動支援の希望（複数回答）



（全体数：62校）

### 3. ヒアリング報告

---

アンケート内容を基に静岡県外大学にヒアリングを実施した内容について、以下のとおり報告を行う。

#### (1) 令和6年3月卒業予定者（現3年生）の状況について

コロナ禍において企業の説明会や面接のオンライン化など、新型コロナウイルス感染拡大前と比較して、企業の採用活動の方法に変化が見られた。学生の就職希望先については、地元志向が高まるなどの傾向がみられる。また、大手企業の採用活動が早期化したことにより、学生の就職活動を意識する時期が早まっている。

#### (2) 学生の就職に対する考え方

##### (ア) 最近のトレンド

###### ・勤務地

長引くコロナ禍において、地元志向が高まり、出身地域への就職意識も強まった。学生の親族の意向なども影響している。一方、出身地の企業については、大手企業以外の情報が不足しがちであり、首都圏に本社のある企業と並行して就職活動を行う学生が引き続き多い。Uターン就職を促進するためには、高校生の段階から地元産業や企業に関心を高めるような仕組の必要性を感じる。

###### ・企業規模

地元中小企業からの情報発信は増えているが、大手企業の採用意欲も強いいため、地元企業の中小企業にまで企業研究が及んでいない傾向がある。理系学生においては、大手には属さない地元の有力企業まで視野を広げる傾向もあるが、これも一定の知名度を持った企業に限定されている。

###### ・希望業種・職種

総合職、事務・企画、公務員・公共サービス、IT・通信の人气が高い。

###### ・勤務条件

福利厚生、休日・余暇を重視する傾向は強まっており、この結果、福利厚生が充実している大手企業を希望する学生が多くなっている。地元志向の学生においては、勤務地、転勤の有無などを重視する傾向も強い。

###### ・仕事とプライベートの両立

しっかりと休日を取得できプライベートの時間をしっかりと確保できることを望む学生は多く、ワークライフバランスのよい企業を好む傾向は強い。

##### (イ) 助言者の影響

親の影響は強く、コロナ禍においては、企業との接触もオンライン主体に切り替わり、情報が偏りがちとなる中、身近な社会人に生の声を求める傾向も強まっている。また、身近なところとしては、ゼミや部活・サークル、親しい先輩などに相談する傾向は変わらない。

**(3) 静岡県内企業からのアプローチについて**

**(ア) 求人情報の説明**

コロナ禍で OB・OG、リクルーターによる大学への訪問が出来なかったため、必要に応じてオンライン等で実施した。

**(イ) 学内イベントへの参加**

これまでに学内ガイダンスへの参加実績がある企業が優先的となるが、コロナ禍では、オンライン対応が主体となった。対面、オンラインを問わず、OB・OG の参加が学生の参加率アップに繋がるため、OB・OG との連携は重視している。

しかし、コロナ前と比較して学生のイベントへの参加人数は減少傾向にある。

**(4) 学生からの就職相談の中で、出身地または大学所在地近隣とどちらを勧めるか**

大学側からどちらを勧めるということではなく、学生本人の希望を優先している。

**(5) 貴校と浜松市で連携してできる事業**

インターンシップ情報に関する学生への発信の方法や浜松市内企業に勤める OB・OG との交流会に関する分野が可能性としてある。また、浜松市単独というよりも、静岡県や中部地域といった「広域」での連携事業を求める声も多かった。

**(6) その他**

U ターン就職への意識付けとして、高校生までに地元企業の魅力や優位性の他、元々生活していただけない地域の実感できない地域の魅力や U ターン就職へのメリット、支援制度などを早くから啓蒙しておく必要との意見が多かった。

## IV. 浜松市及び静岡県出身者を中心とした大学生

## 1. 実態調査概要

## (1) 調査目的

本調査は、UIJ ターン就職の促進による若者の転入増加と、地元企業を担う人材及び労働力を確保するための基礎的データを浜松市及び静岡県出身者を中心とした大学生から収集し、今後の事業施策に活用することを目的として実施した。

## (2) 調査対象

浜松市及び静岡県出身者を中心とした大学生

## (3) 調査方法

令和4年9月9日～10月14日、就職関連メールマガジンでの告知による Web 調査及び就職イベントでの調査票配布によるアンケート調査

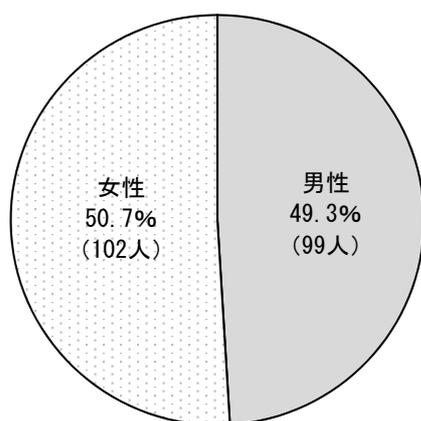
## (4) 回収状況

回答総数 201 名（男性 99 名、女性 102 名）

## (5) 属性

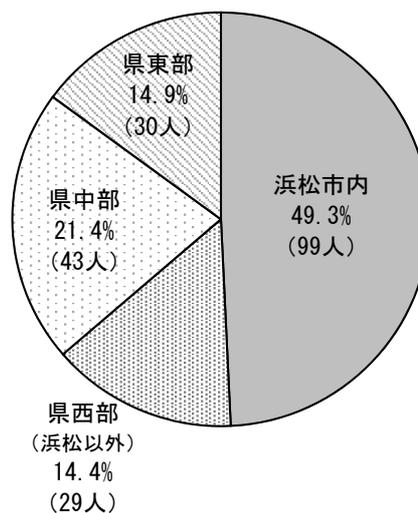
調査回収学生の属性は次のとおりである。

図表 1-1 性別



(全体数 : 201 人)

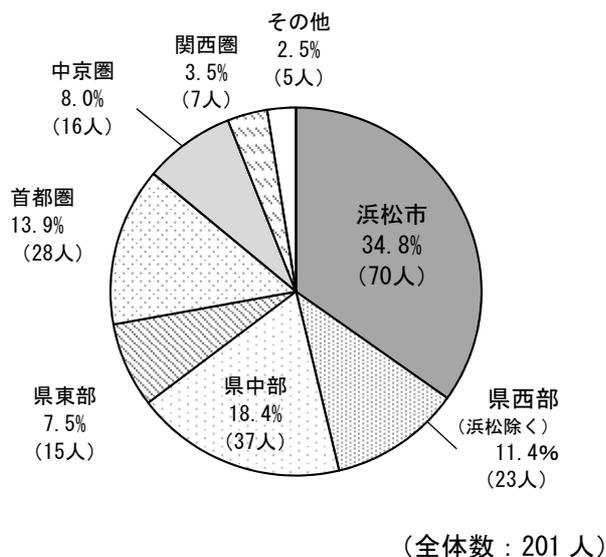
図表 1-2 出身地



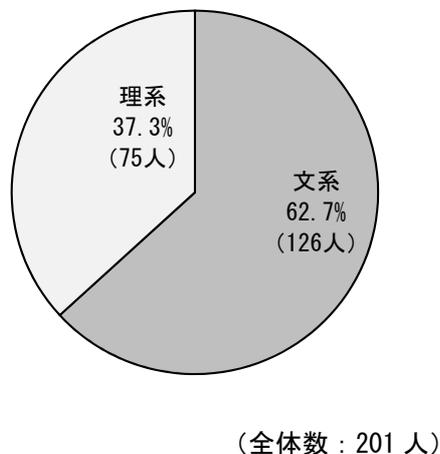
(全体数 : 201 人)

IV. 浜松市及び静岡県出身者を中心とした大学生

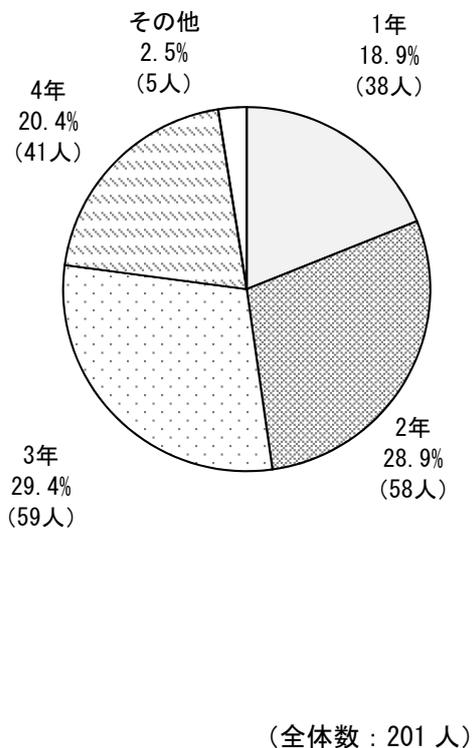
図表 1-3 居住地



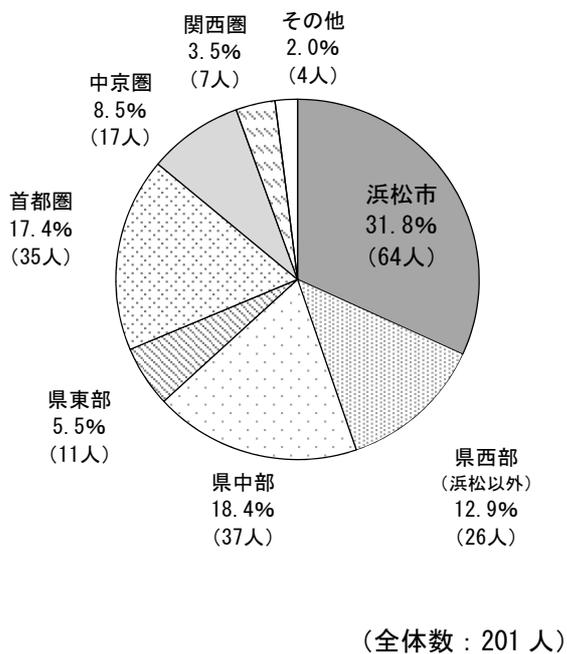
図表 1-4 文系/理系



図表 1-5 学年



図表 1-6 学校所在地

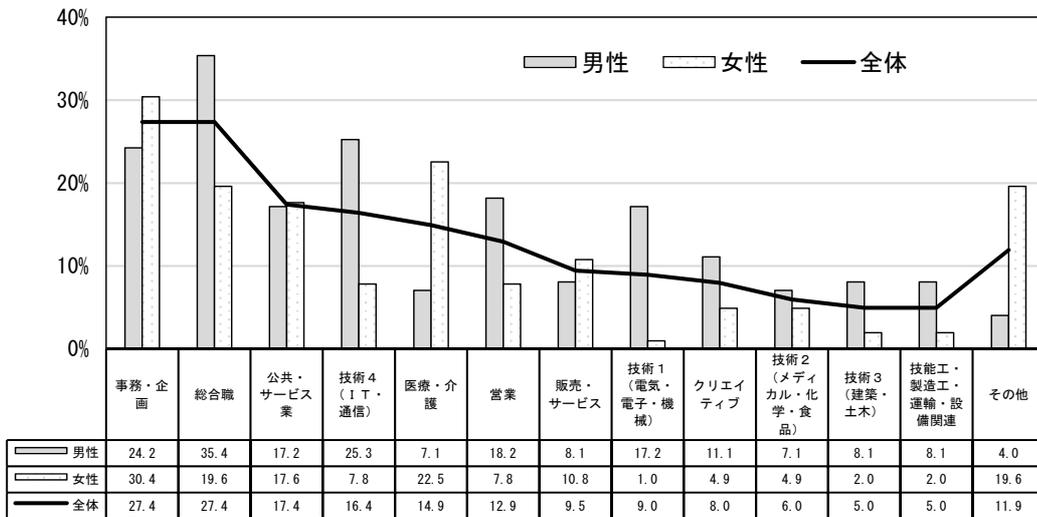


2. 実態調査結果

(1) 希望する職種について

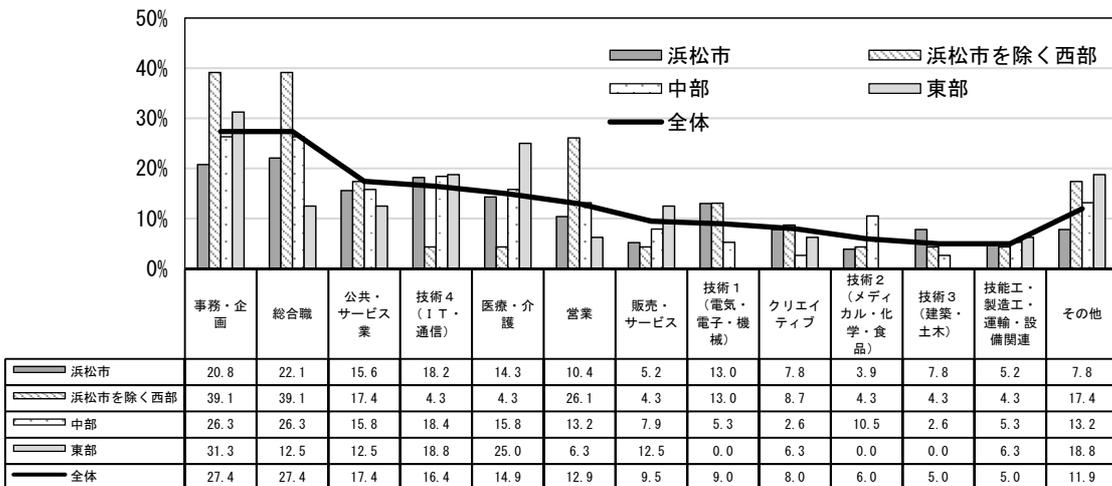
希望職種について割合が最も高いのは、「事務・企画」と「総合職」(27.4%)である。次いで、「公共・サービス業」(17.4%)、「IT・通信」(16.4%)と続く。男性では「総合職」(35.4%)、女性では「事務・企画」(30.4%)となっている。居住地別でみると、浜松市では「総合職」(22.1%)の希望割合が最も高く、他の地域と比較して「技術1(電気・電子・機械)」や「技術3(建築・土木)」が高くなっている。

図表 2-1 希望職種(性別)(複数回答可)



(全体数 201 人、男性 99 人、女性 102 人)

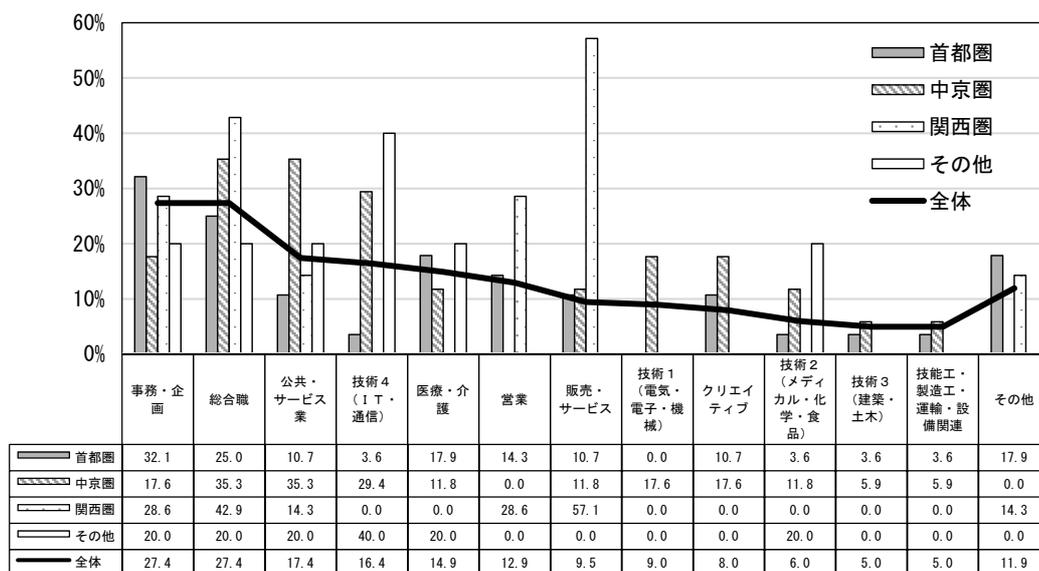
図表 2-2 希望職種(居住地別・県内)(複数回答可)



{全体数：201 人、県内 145 人(浜松市 70 人、浜松市を除く県西部 23 人、県中部 37 人、県東部 15 人)}

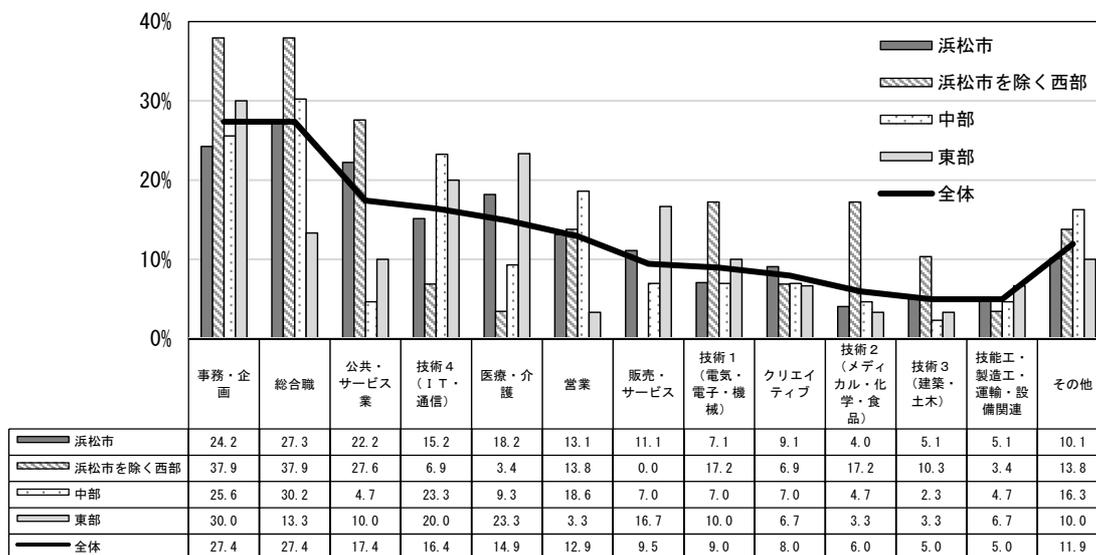
IV. 浜松市及び静岡県出身者を中心とした大学生

図表 2-3 希望職種（居住地別・県外）（複数回答可）



{全体数：201人、県外56人（首都圏28人、中京圏16人、関西圏7人、その他5人）}

図表 2-4 希望職種（出身地別）（複数回答可）

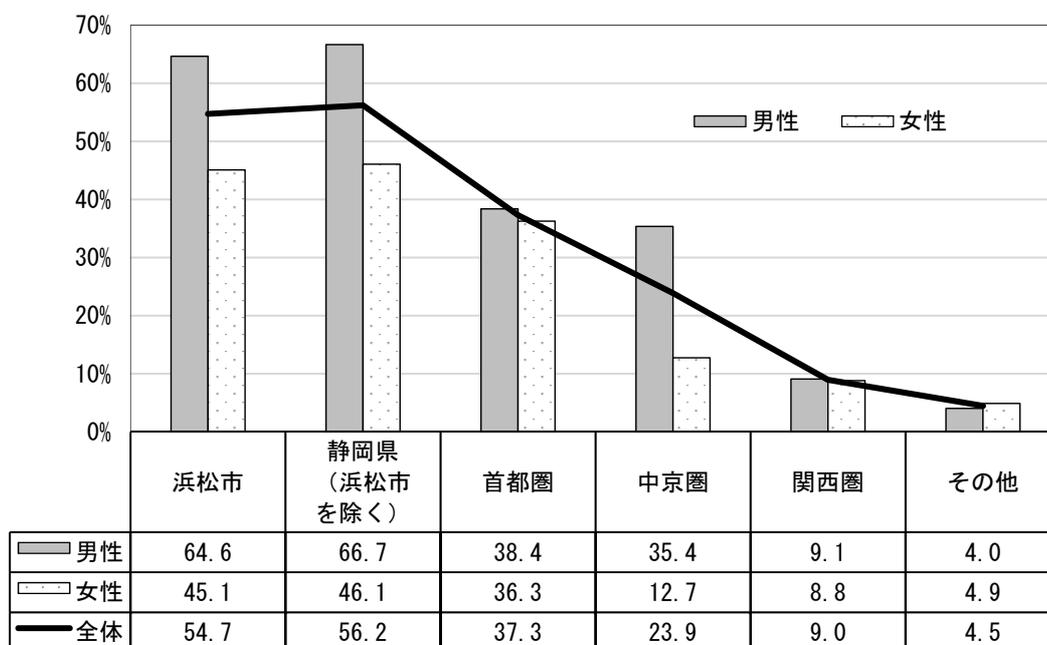


{全体数：201人、浜松市99人、浜松市を除く県西部29人、県中部43人、県東部30人}

●就職を希望する地域

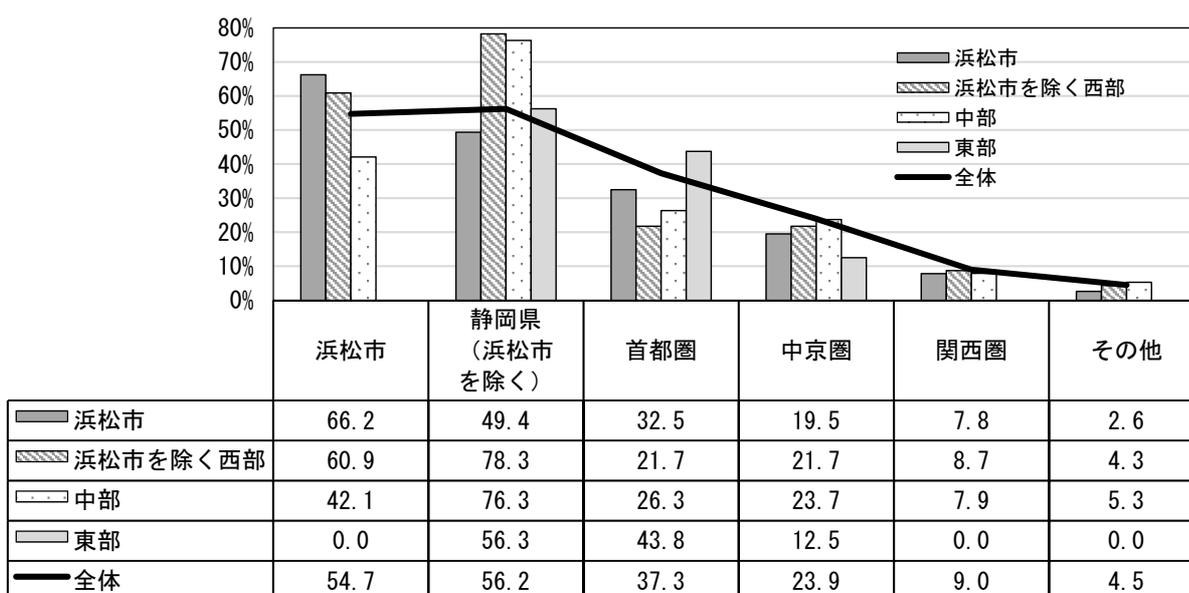
➤就職を希望する地域は、静岡県(浜松市を除く)が56.2%と最も高く、次いで浜松市(54.7%)、首都圏(37.3%)と続く。ただし、居住地域や出身地域別でみると、浜松市内居住者の66.2%、浜松市出身者の71.7%が浜松市での就職を希望しており、全体よりも高い数値が出ている。

図表3-1 就職希望地(性別)(複数回答可)



(全体数：201人、男性99人、女性102人)

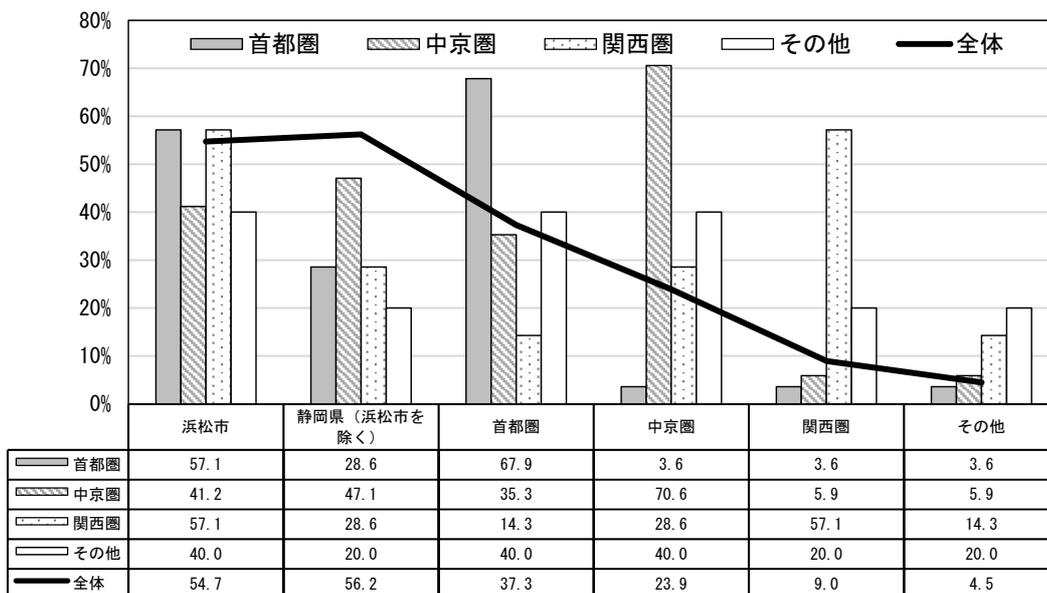
図表3-2 就職希望地(居住地別・県内)(複数回答可)



{全体数：201人、県内145人(浜松市70人、浜松市を除く県西部23人、県中部37人、県東部15人)}

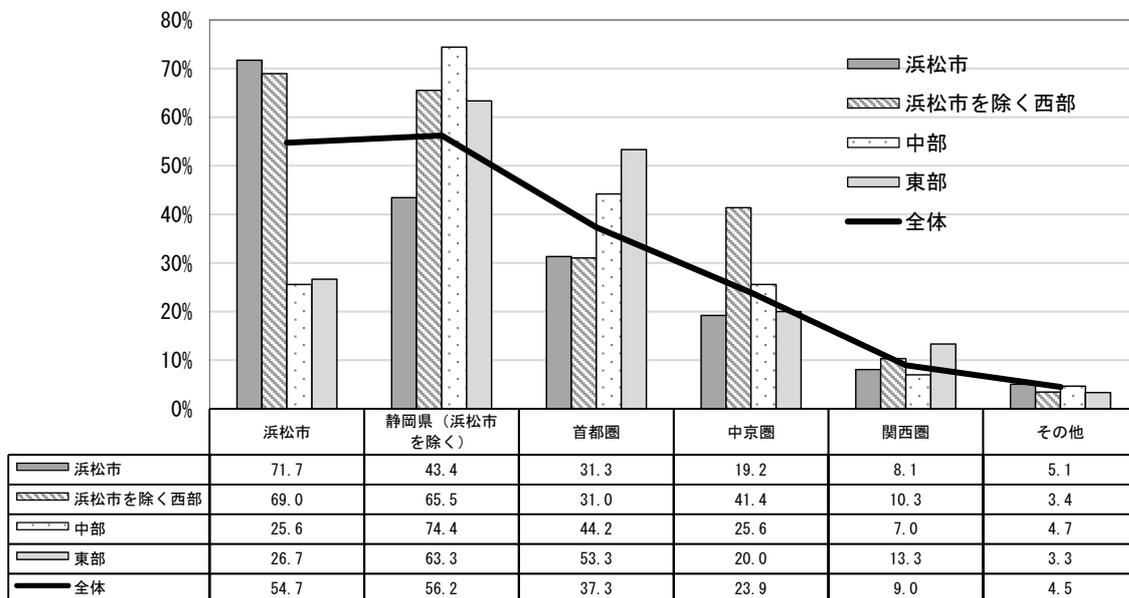
IV. 浜松市及び静岡県出身者を中心とした大学生

図表 3-3 就職希望地（居住地別・県外）（複数回答可）



{全体数：201人、県外56人（首都圏28人、中京圏16人、関西圏7人、その他5人）}

図表 3-4 就職希望地（出身地域別）（複数回答可）

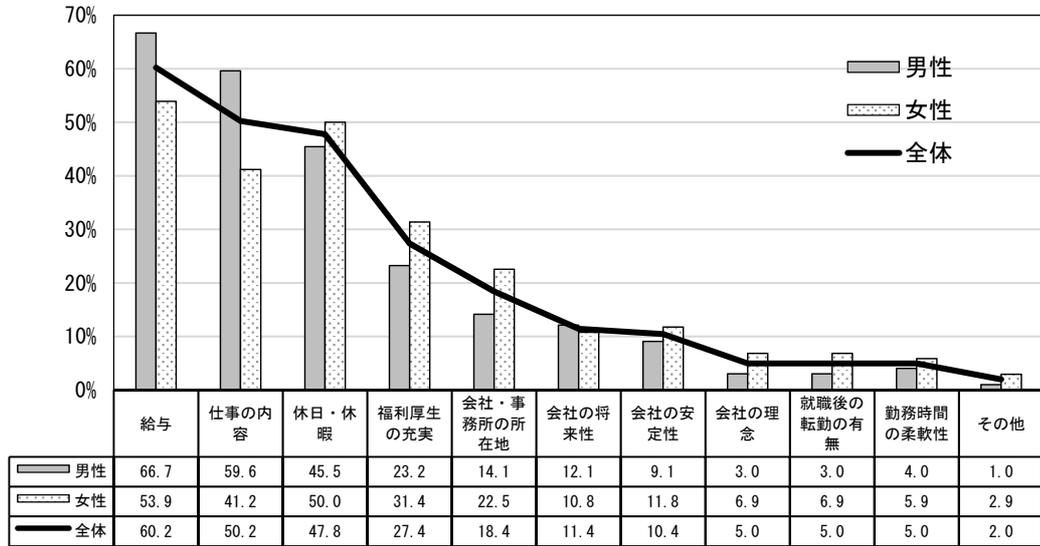


(全体数：201人、浜松市99人、浜松市を除く県西部29人、県中部43人、県東部30人)

●就職先選択時の重視点

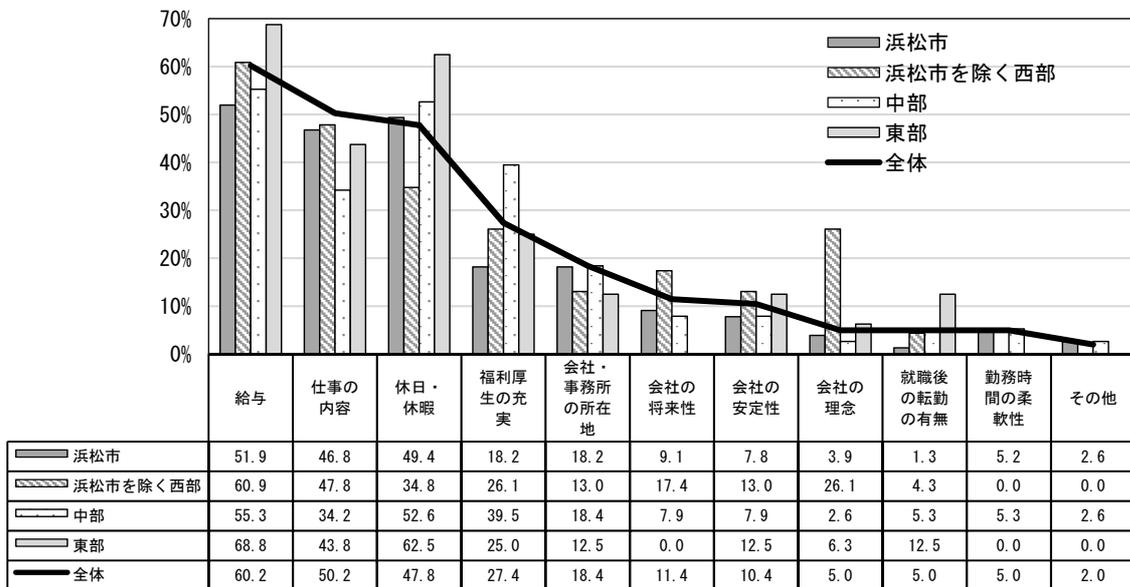
➢就職先の重視点について最も割合が高いのは、「給与」(60.2%)である。次いで、「仕事の内容」(50.2%)、「休日・休暇」(47.8%)と続く。性別でも、男女共に「給与」の希望割合が最も高く、浜松市出身者や居住者も「給与」が最も高い結果となった。

図表 4-1 重視点(性別)(複数回答可)



(全体数：201人、男性99人、女性102人)

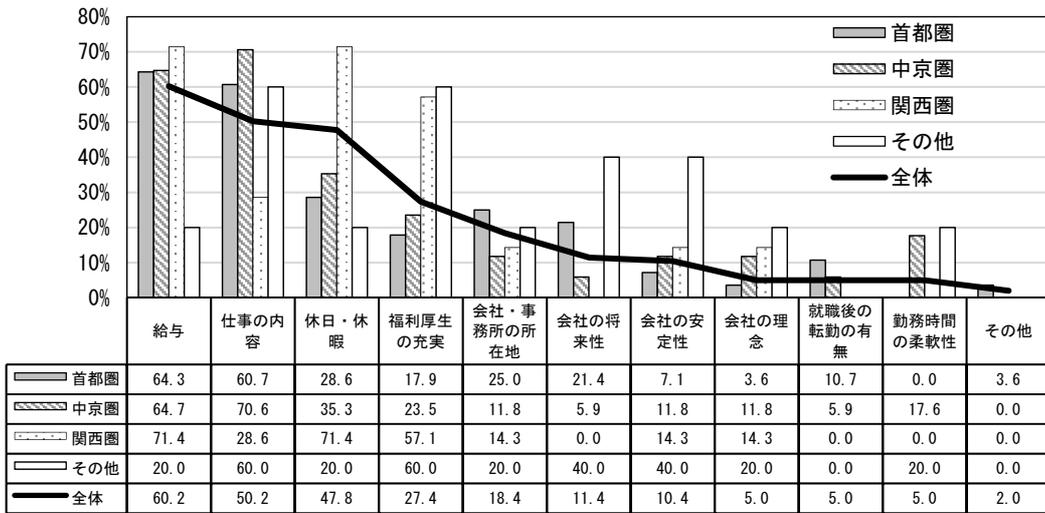
図表 4-2 重視点(居住地別・県内)(複数回答可)



{全体数：201人、県内145人(浜松市70人、浜松市を除く県西部23人、県中部37人、県東部15人)}

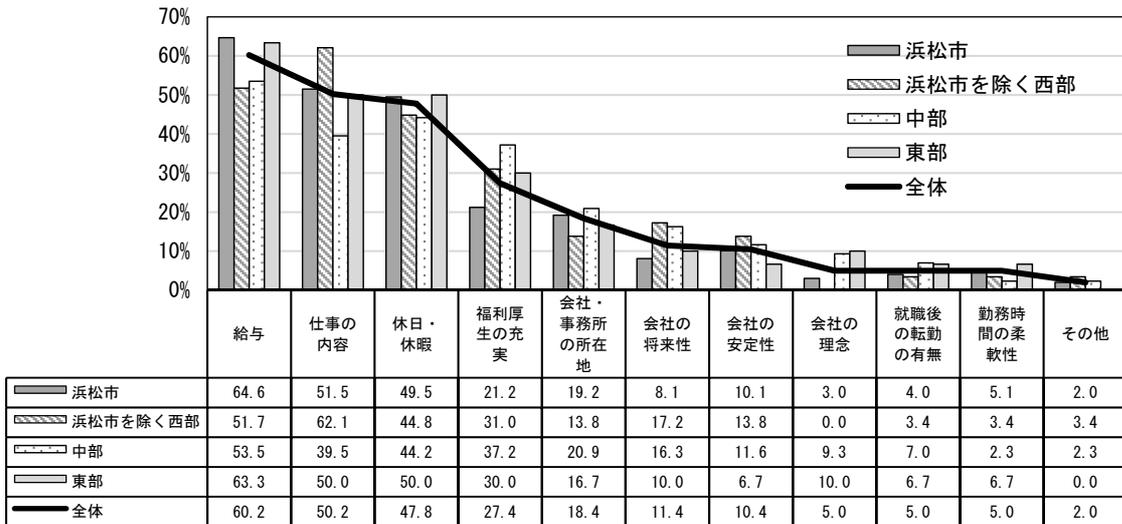
IV. 浜松市及び静岡県出身者を中心とした大学生

図表 4-3 重視点（居住地別・県外）（複数回答可）



{全体数：201人、県外56人（首都圏28人、中京圏16人、関西圏7人、その他5人）}

図表 4-4 重視点（出身地別）（複数回答可）

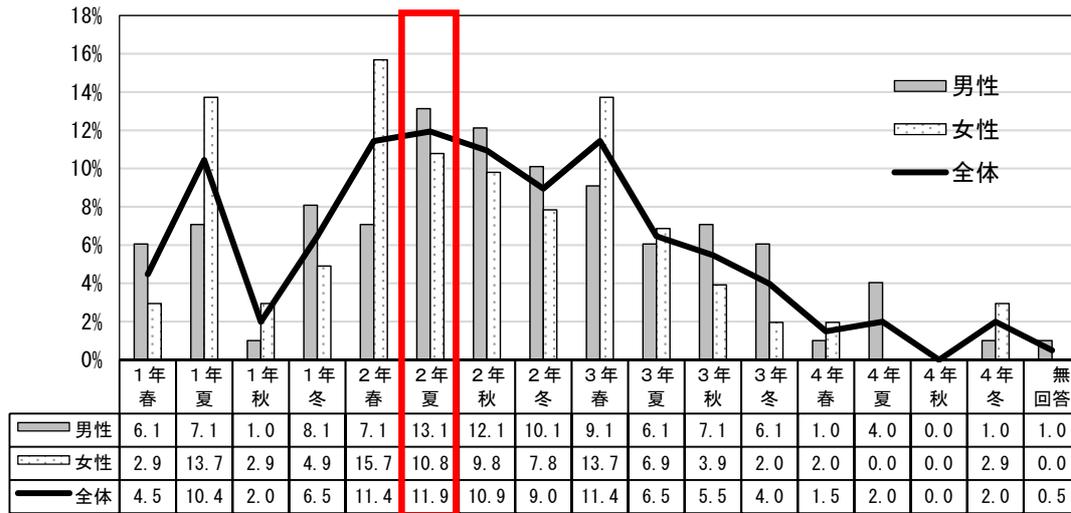


(全体数：201人、浜松市99人、浜松市を除く県西部29人、県中部43人、県東部30人)

(2) 就職活動の内容について

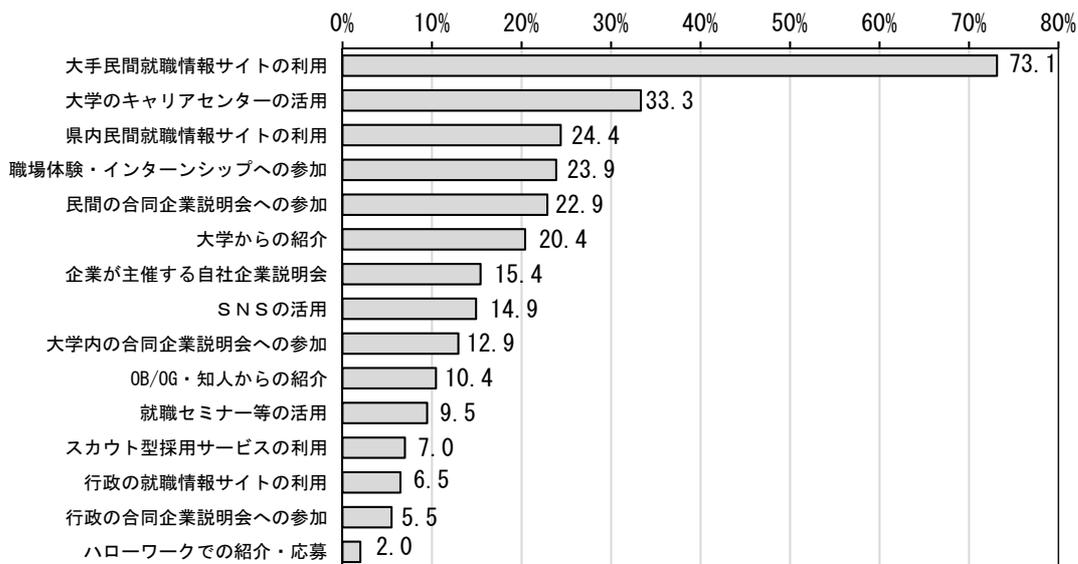
- 就職活動を開始した時期で最も割合が高いのは、「2年夏」（11.9％）である。次いで、「2年春」と「3年春」（11.4％）が同率で続く。前回（平成27年度）の調査では3年冬（56.0％）が最も高かったことと比較すると、就職活動への取組の早期化が目立つ結果となった。
- 実施予定の就職活動は、「大手就職情報採用の利用」（73.1％）が最も高く、一方「行政の合同企業説明会」は、5.5％と低い数値となっている。

図表5-1 就職活動開始時期



(全体数：201人、男性99人、女性102人)

図表5-2 学生の就職活動予定（複数回答可）



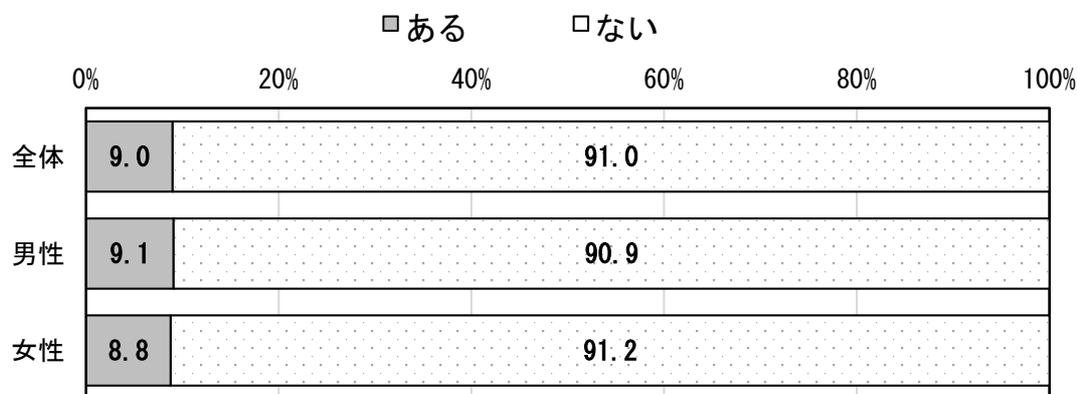
(全体数：201名)

IV. 浜松市及び静岡県出身者を中心とした大学生

(3) 「浜松就職・転職ナビJOBはま!」について

➤ 「浜松就職・転職ナビJOBはま!」閲覧経験割合は9.0%であった。平成27年度調査の9.4%から0.4ポイント減少した。

図表6-1 「浜松就職・転職ナビJOBはま!」の閲覧の有無

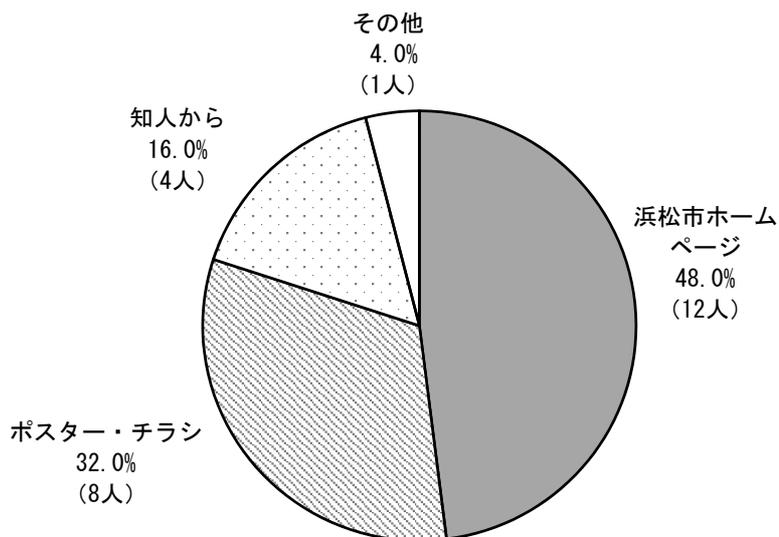


(全体数：201人、男性99人、女性102人)

● 「浜松就職・転職ナビJOBはま!」の閲覧経路

➤ 「浜松就職・転職ナビJOBはま!」閲覧者の48.0%が浜松市のホームページから、32.0%がポスター・チラシと回答した。平成27年度調査では、ホームページが53.3%、ポスター・チラシが3.3%であり、ポスター・チラシが大幅に増加した。これは大学やイベントでのチラシ配布等によるPR効果が表れていると推測される。

図表6-2 「浜松就職・転職ナビJOBはま!」閲覧経路(複数回答可)

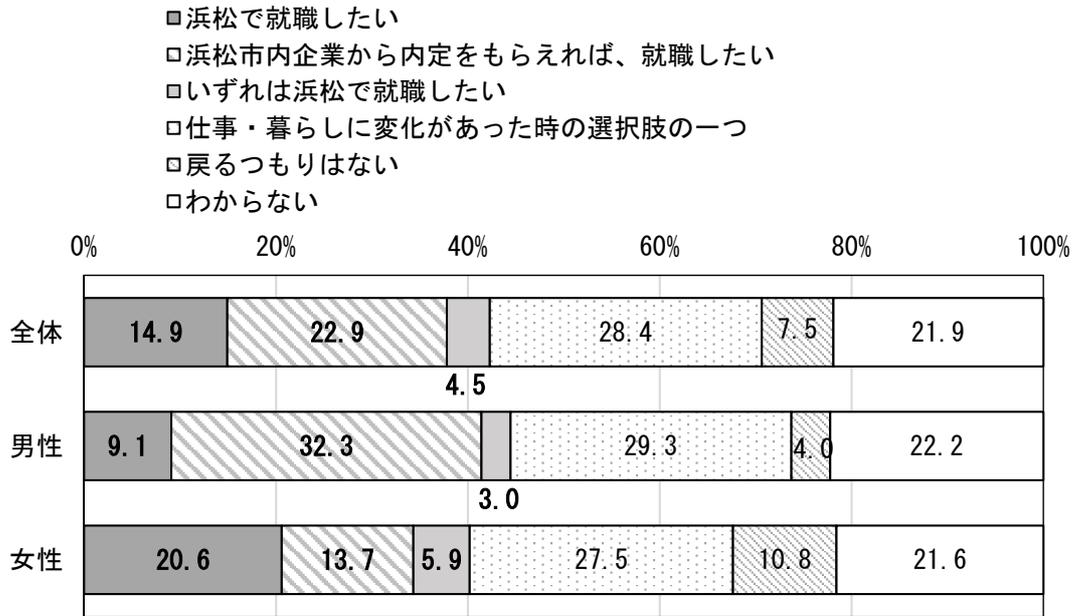


(全体数：18人、男性9人、女性9人)

(4) 将来を含めた浜松市への就職意向について

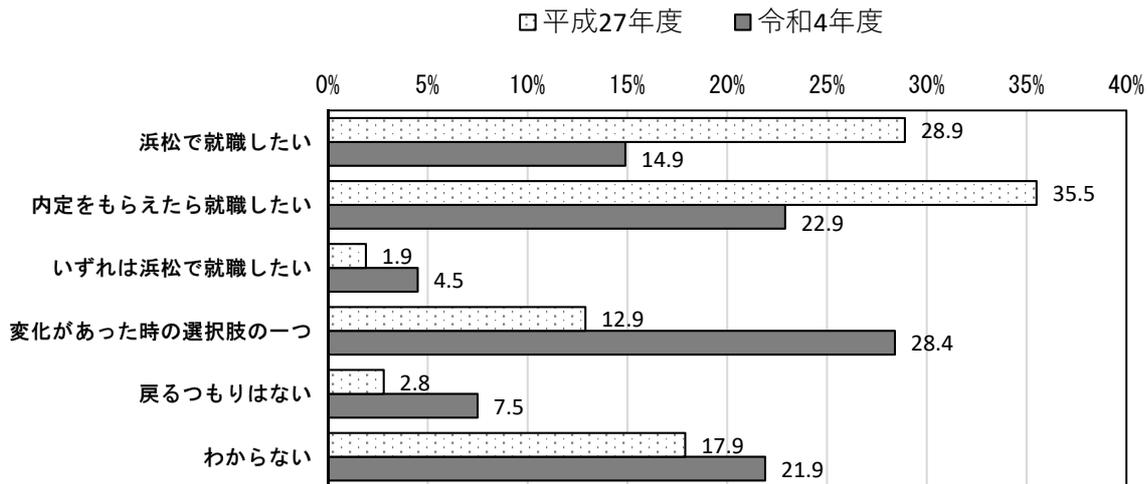
浜松市への UIJ ターン就職の意向について、「浜松で就職したい」(14.9%)と「内定がもらえたら就職したい」(22.9%)と「いずれは就職したい」(4.5%)の市内就職への前向きな回答の割合は42.3%となった。(浜松市出身者の前向きな回答割合は58.6%)しかし、平成27年度調査の66.3%からは大幅に減少し、「変化があった時の選択肢の一つ」や「戻るつもりはない」の回答が平成27年度調査より増加している。

図表7-1 UIJ ターン就職意向(性別)



(全体数：201人、男性99人、女性102人)

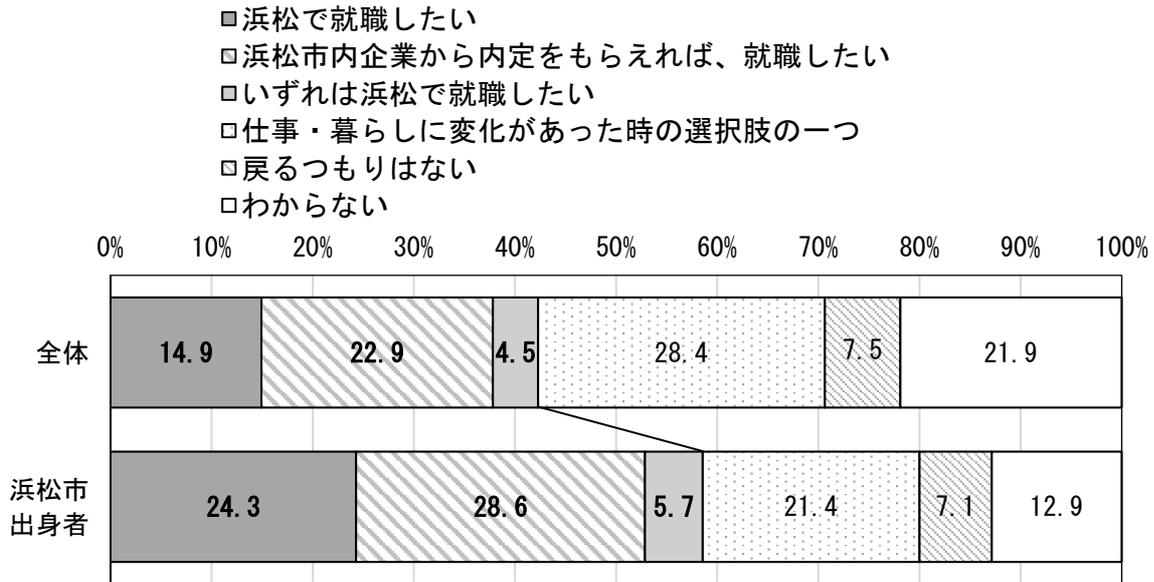
図表7-2 UIJ ターン就職意向(全体・経年変化)



(R4 全体数：201人、H27 全体数：318人)

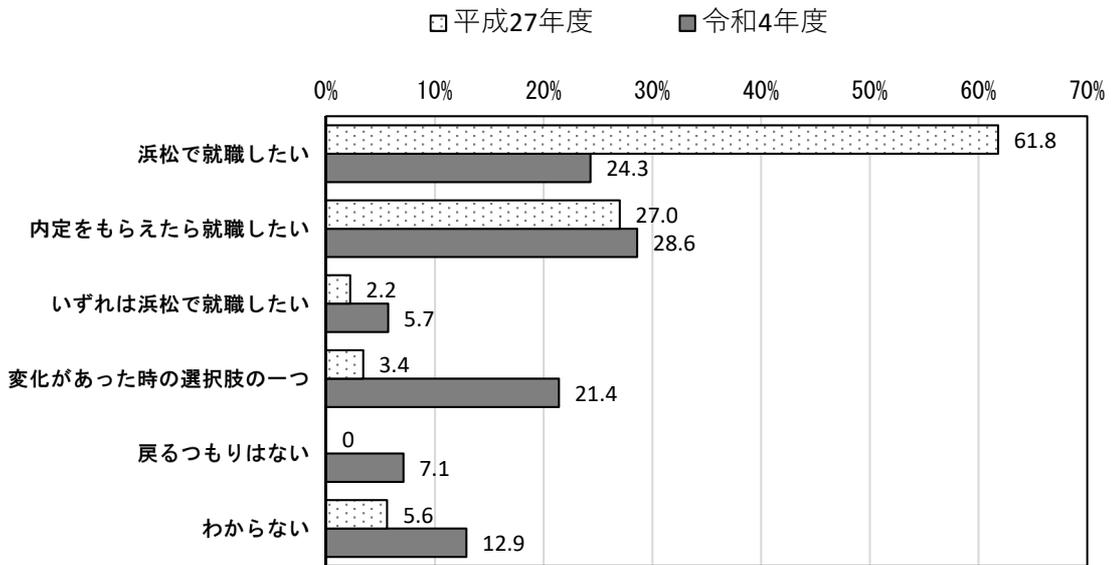
IV. 浜松市及び静岡県出身者を中心とした大学生

図表 7-3 UIJ ターン就職意向（浜松市出身者）



(全体数 : 201 人、浜松出身者数 : 99 人)

図表 7-4 UIJ ターン就職意向（浜松市出身者・経年変化）



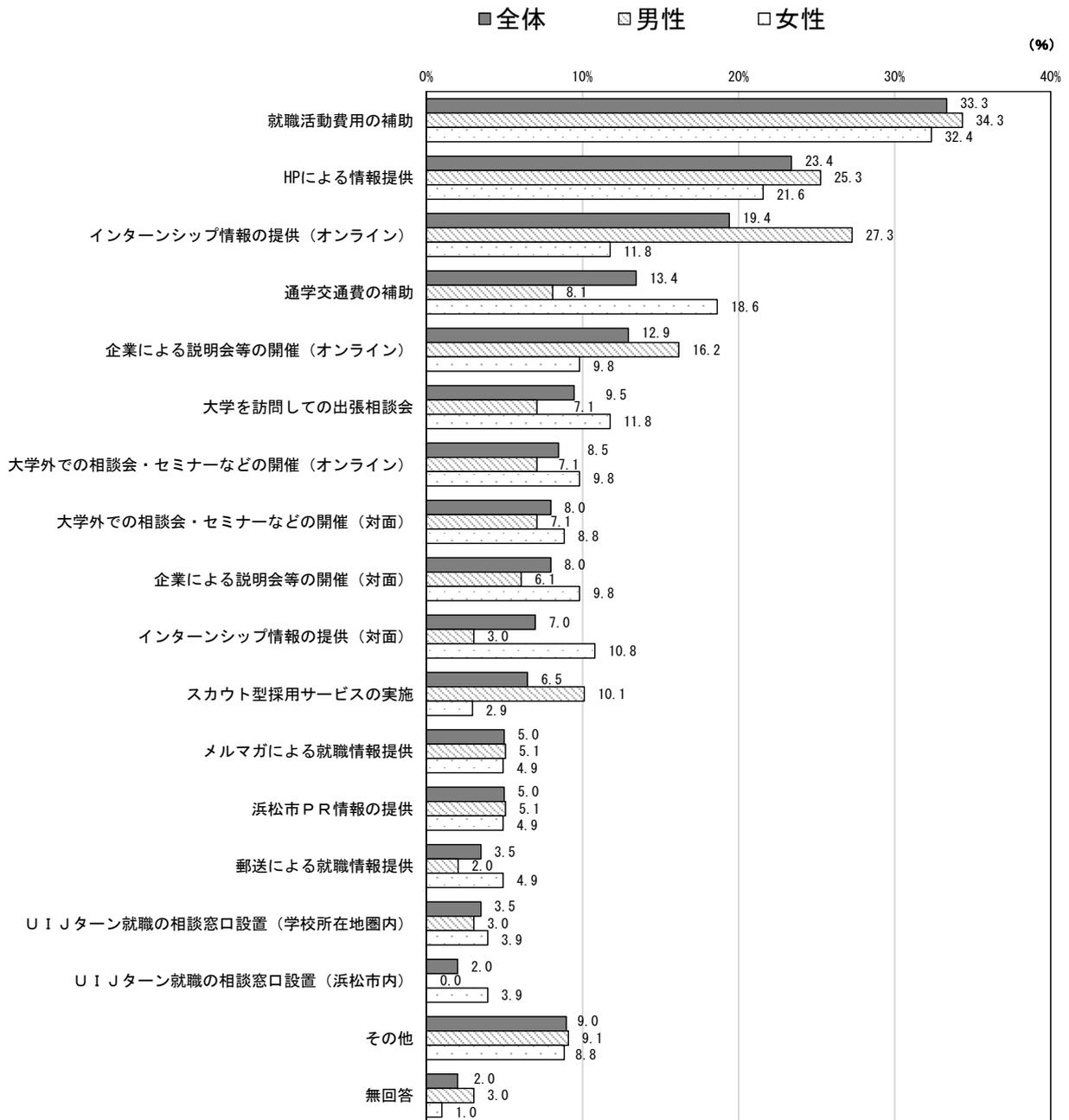
(R4 全体数 : 99 人、H27 全体数 : 89 人)

浜松市出身者の U ターン就職意向は、全体からすると高いが、平成 27 年度調査と比較すると、「浜松で就職したい」が 61.8%から 24.3%へ大幅に減少している。

(5) 浜松市へのUIJターン就職時に希望する支援・取組について

➤浜松市へのUIJターン就職時に希望する支援・取組について、割合が最も高いのは、「就職活動にかかる費用の補助」(33.3%)である。次いで「ホームページによる浜松市内企業就職情報の提供」(23.4%)、「インターンシップ実施企業情報の提供(オンライン)」(19.4%)と続く。イベントや情報提供については、対面よりオンラインを希望する傾向にある。

図表8 浜松市へ希望するUIJターン時の支援・取組(複数回答可)



(全体数 201 人、男性 99 人、女性 102 人)



## V. 浜松市内企業就職者並びに UIJ ターン就職経験者

### 1. 実態調査概要

#### (1) 調査目的

本調査は UIJ ターン就職の促進による若者の転入増加と、地元企業を担う人材及び労働力を確保するための基礎的データを、浜松市内企業への就職者より収集し、今後の事業施策に活用することを目的に実施した。

#### (2) 調査対象

浜松市内の企業で勤務する者。並びに、浜松市内に本社を置く浜松市外の支店、営業所に勤務する者 200 名を抽出。

#### (3) 調査方法

令和 4 年 12 月 7 日～令和 4 年 12 月 16 日、インターネットリサーチ会社の Web モニターを利用した Web アンケート調査を実施。

#### (4) 回収条件

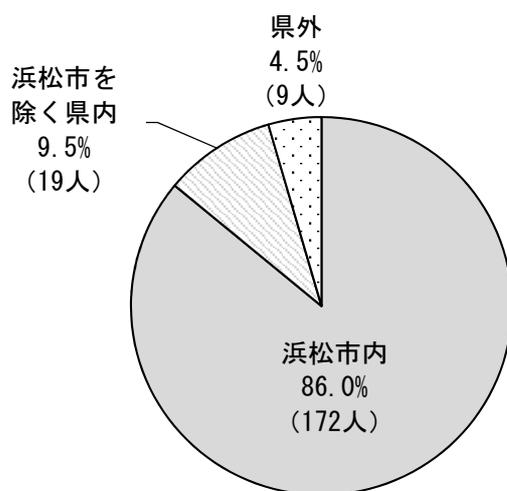
全体 200 人、男性 100 人、女性 100 人

### 2. 実態調査結果

#### (1) 浜松市内勤務者の属性

浜松市内企業勤務者調査対象者の出身地は浜松市内が 86.0%で、浜松市を除く静岡県内出身者が 9.5%、残り 4.5%が静岡県外出身者である。性別や採用区分に関わらず、浜松市内出身者が浜松市内で勤務可能な企業への就職割合が高い結果となった。

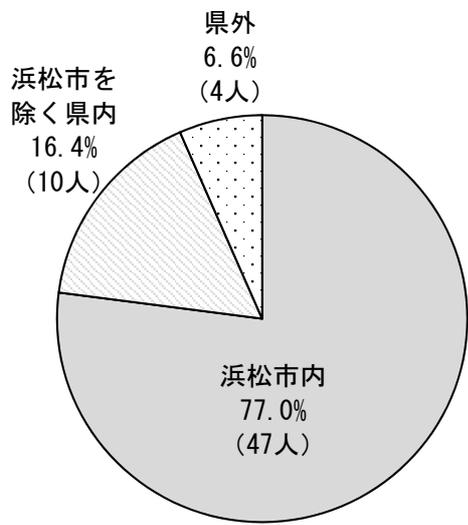
図表 1-1 浜松市内勤務者の出身地（全体）



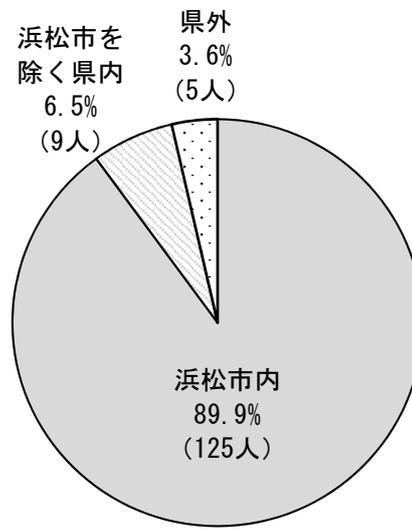
(全体数 : 200 人)

図表 1-2 出身地（新卒）

図表 1-3 出身地（中途）



(全体数 : 61 人)

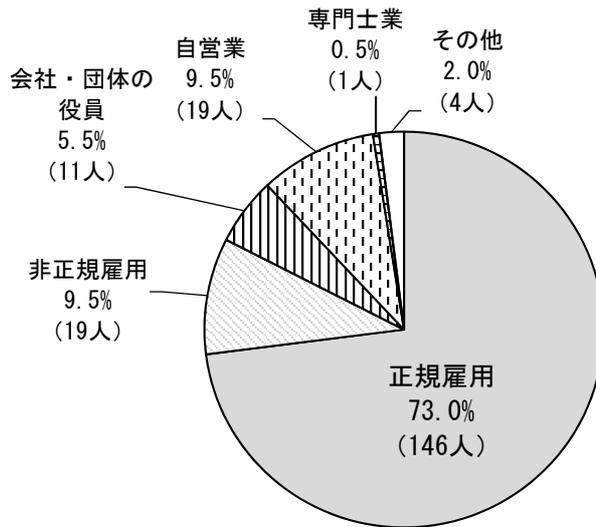


(全体数 : 139 人)

(2) 浜松市内勤務者の就業状況について

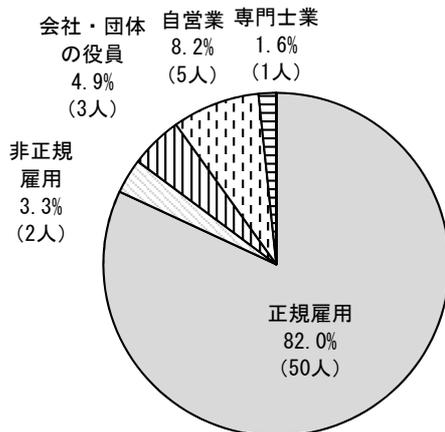
浜松市内企業に勤務する者（回答者）の現在の雇用形態について、割合が最も高いのは正規雇用で73.0%と群を抜いており、次いで非正規雇用と自営業が9.5%で並ぶ。また、採用区分においても、正規雇用は新卒の82.0%、中途採用の69.1%を占め、共に過半数を上回っている。このことから、UIJターン就職対策には正規雇用を前提とした働きかけが有効と考えられる。

図表 2-1 現状の就業形態（全体）



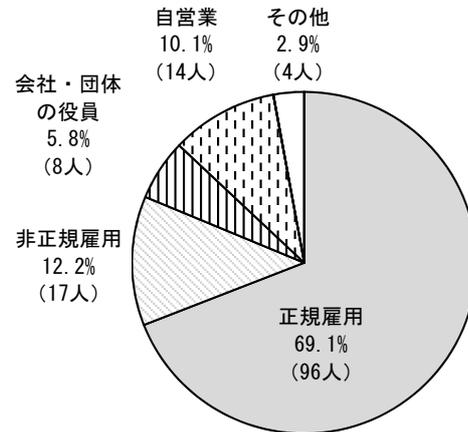
(全体数：200人)

図表 2-2 就業形態（新卒）



(全体数：61人)

図表 2-3 就業形態（中途）



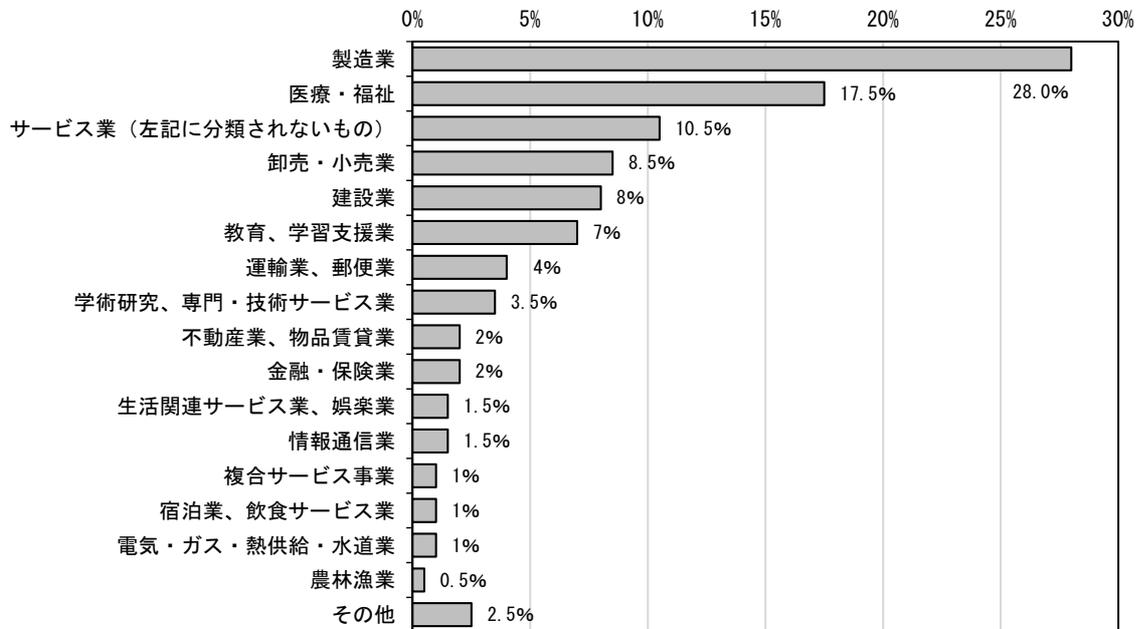
(全体数 139人)

V. 浜松市内企業就職者並びにUIJターン就職経験者

●業種

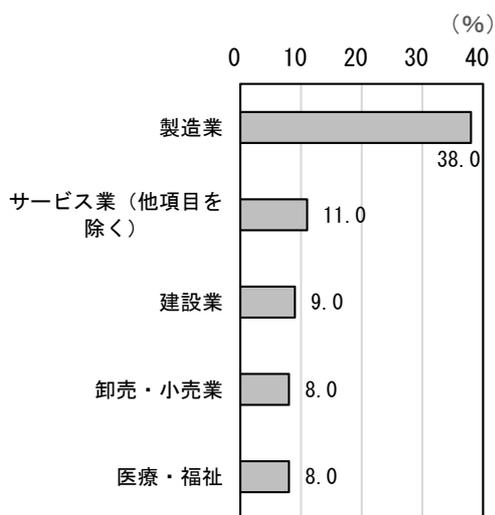
➤現在の業種について、割合が最も高いのは「製造業」(28.0%)。次いで「医療・福祉」(17.5%)、「サービス業」(10.5%)、卸売・小売(8.5%)と続く。男性は「製造業」(38.0%)、女性は「医療・福祉」(27.0%)が最多となった。

図3-1 就職企業の業種比率(全体)



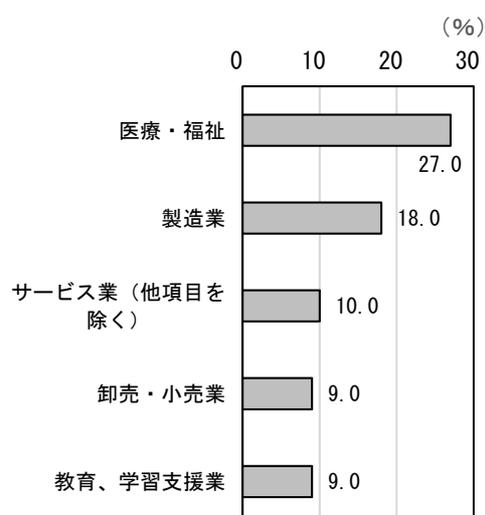
(全体数：200人)

図表3-2 業種(男性・上位5種)



(全体数：100人)

図表3-3 業種(女性・上位5種)



(全体数：100人)

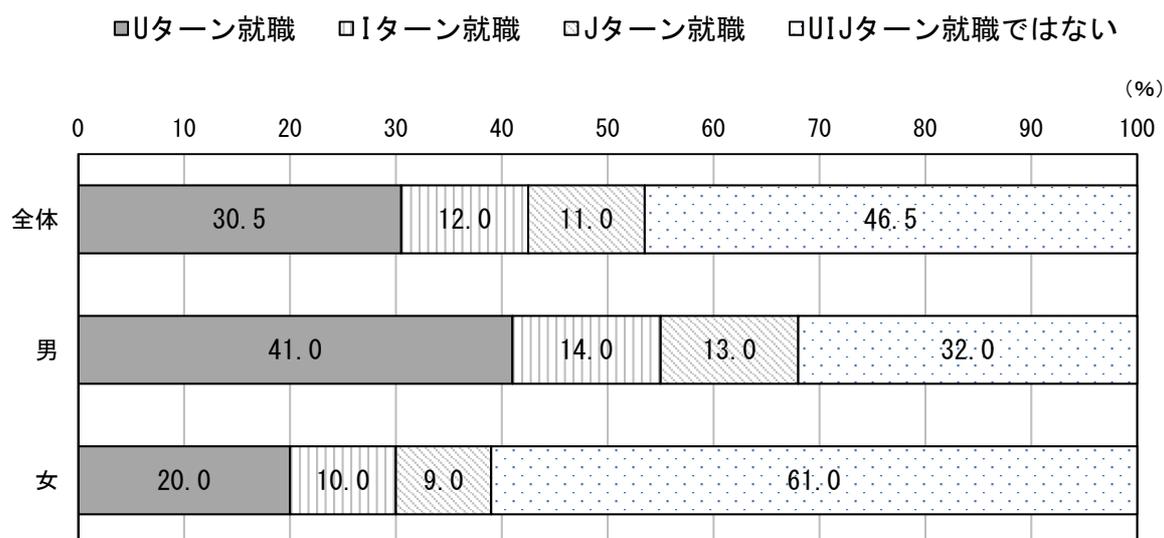
(3) UIJターンの実施状況について

●UIJターン就職の実態

浜松市内企業への就職者の内、UIJターン就職者の割合は200人中107人、53.5%（Uターン就職30.5%、Iターン就職12.0%、Jターン就職11.0%）と過半数を占めている。

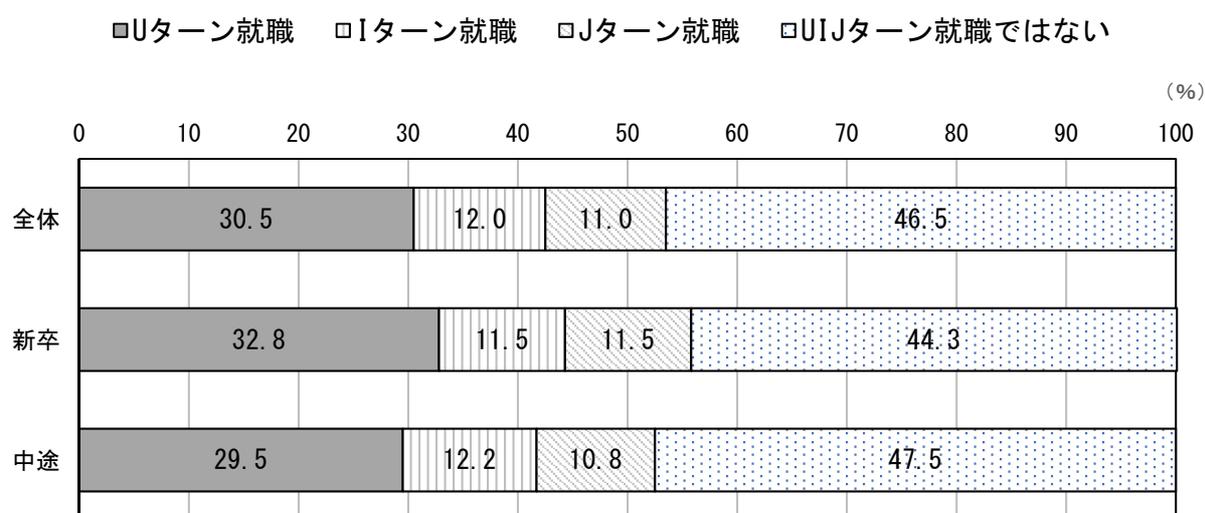
男性は、「Uターン就職した」が41.0%で一番高いが、女性は「UIJターン就職ではない」が61.0%と最も高く、地元の学校に進学、卒業して地元就職する人が男性より多い結果となった。

図表4-1 UIJターン就職実施状況（性別）



(全体数：200人、男性100人、女性100人)

図表4-2 UIJターン就職実施状況（採用区分別）

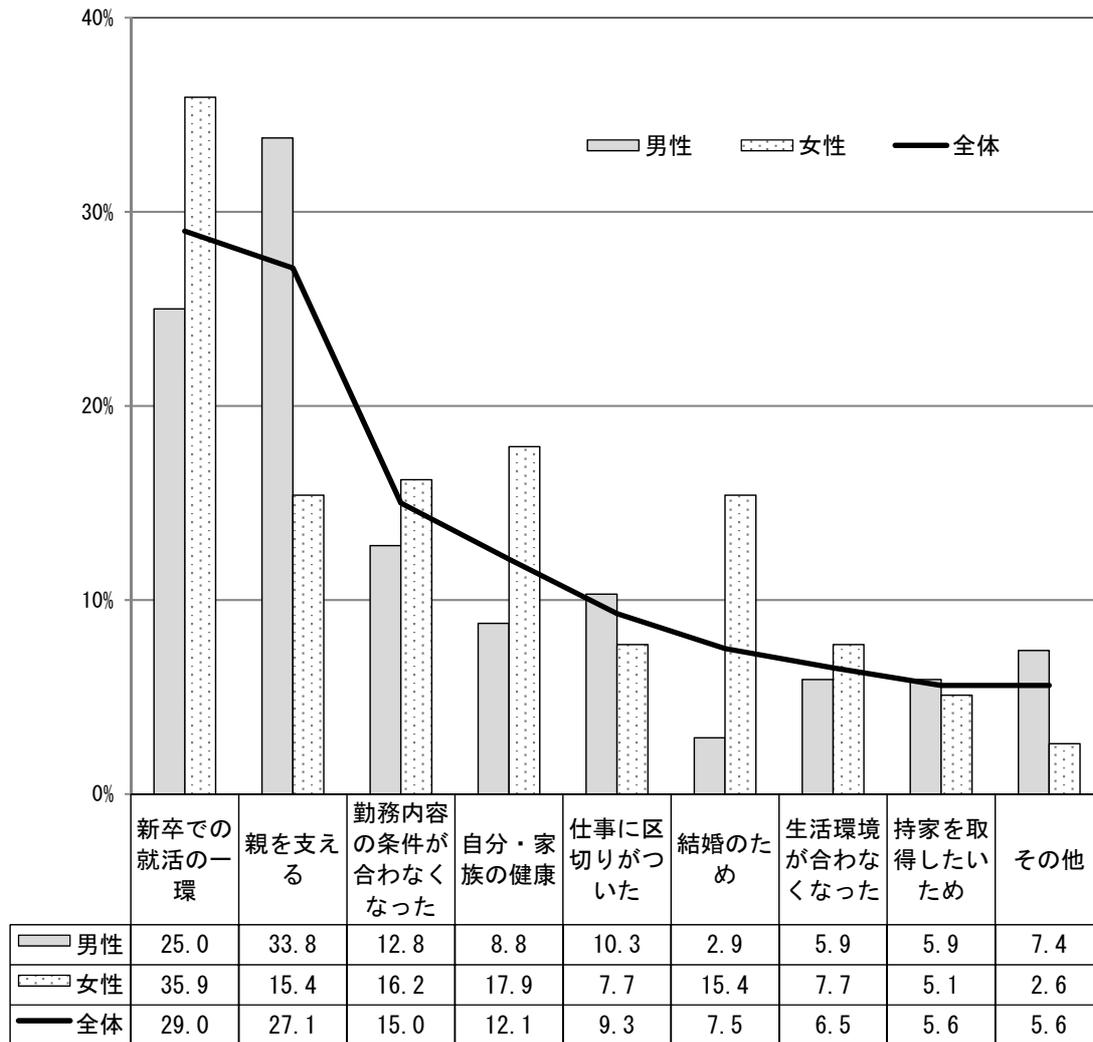


(全体数：200人、新卒61人、中途139人)

●UIJターン就職を行った理由

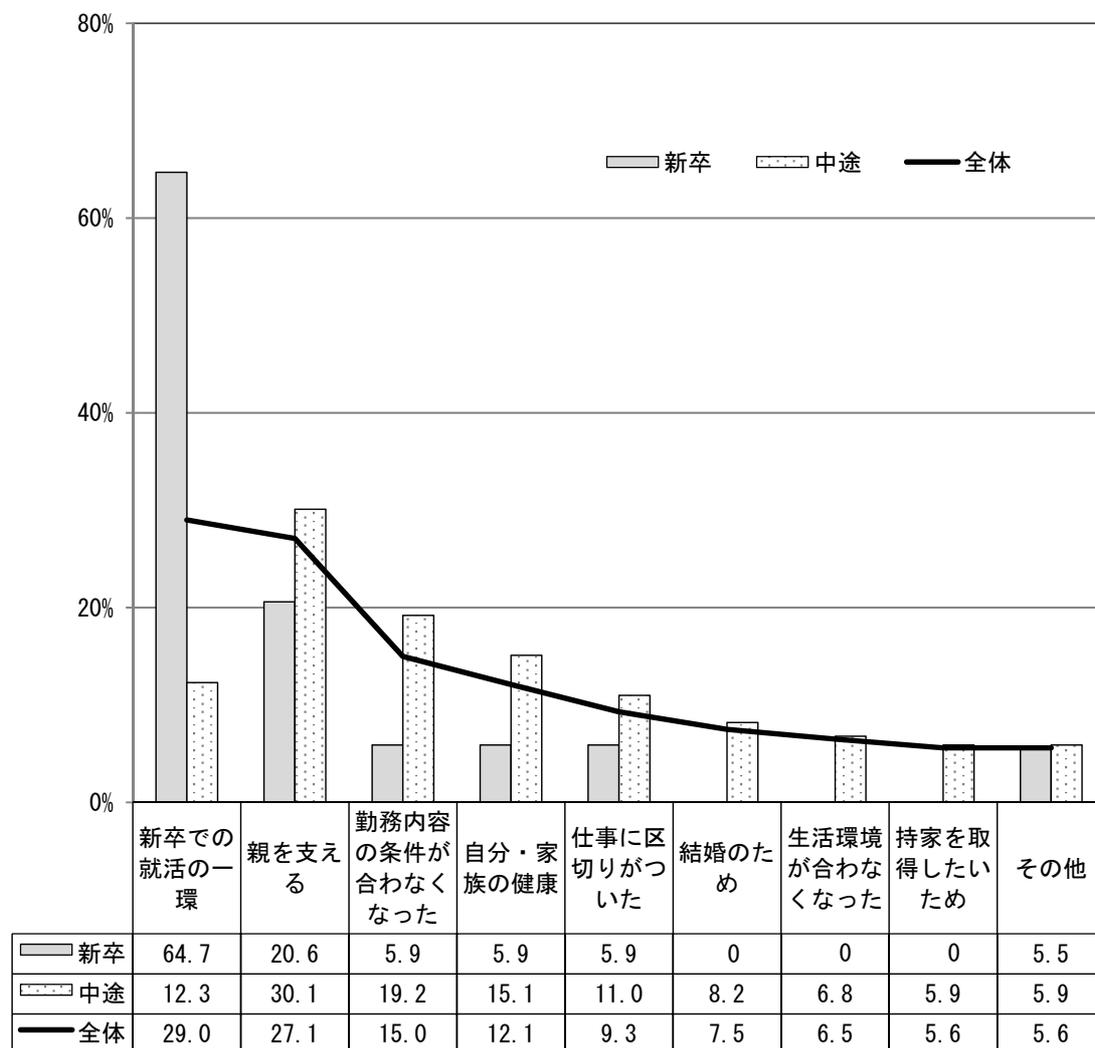
UIJターン就職を行った理由は、「就職活動の一環として」(29.0%)の割合が最も多く、次いで「親を支えるため」(27.1%)、「勤務時間・給与・通勤等の勤務条件が合わなくなった」(15.0%)が続く。なお、平成27年度と比較して上位2つ「新卒での就職活動」と「親を支える」は変わらないが、3番目に健康問題に代わり「勤務内容が合わなかった」が増加した。

図表5-1 UIJターン就職を行った理由(性別・複数回答可)



(全体数：200人、男性100人、女性100人)

図表5-2 UIJターン就職を行った理由（採用区分別・複数回答可）

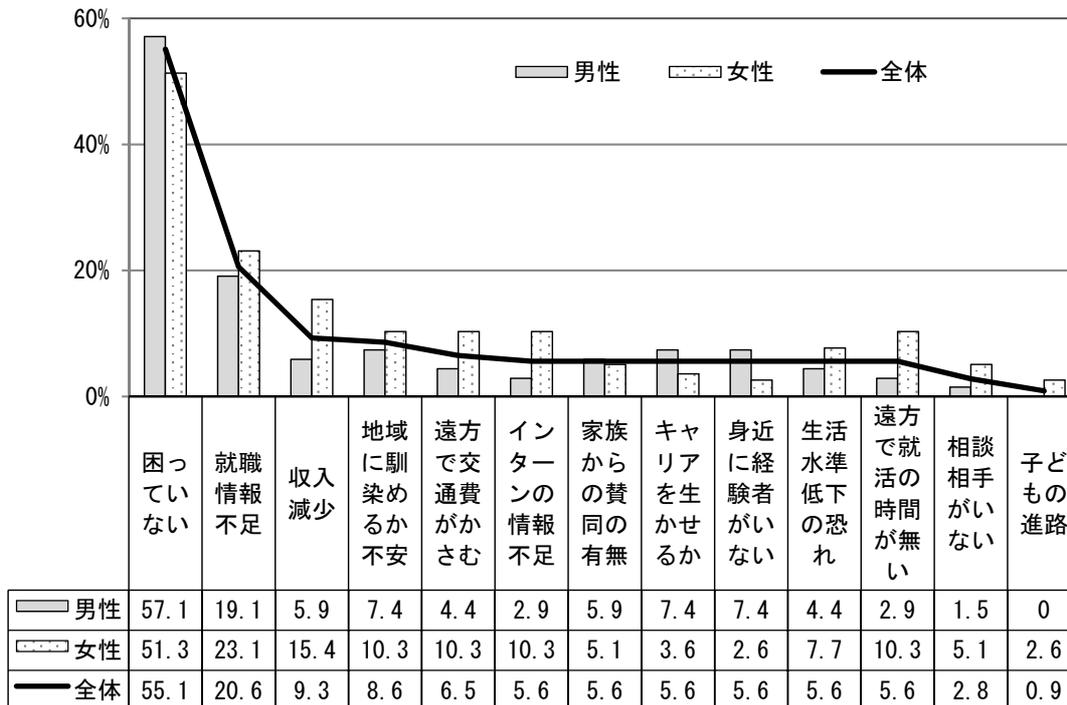


(全体数：200人、新卒61人、中途139人)

●UIJターン就職者の悩み

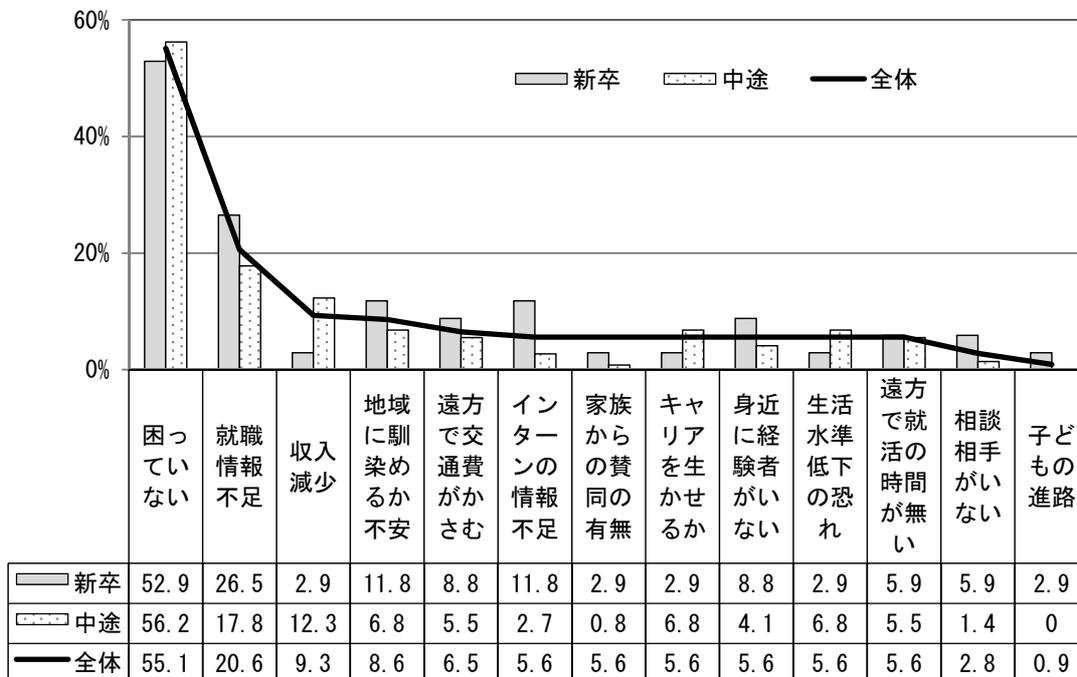
UIJターン就職を行うにあたっての悩みごとは、「特段の困りごとは無い」との回答割合が過半数を占めた。悩みの中では、「浜松市内の就職情報不足」が最も高く、全体の20.6%を占め、特に新卒採用者は26.5%と情報不足に悩む割合が高く、次に「収入減少」(9.3%)、「地域に馴染めるか不安」(8.6%)と続く。

図表6-1 UIJターン就職者の悩み（性別・複数回答可）



(全体数 107 人、男性 68 人、女性 39 人)

図表6-2 UIJターン就職者の悩み（採用区分別・複数回答可）



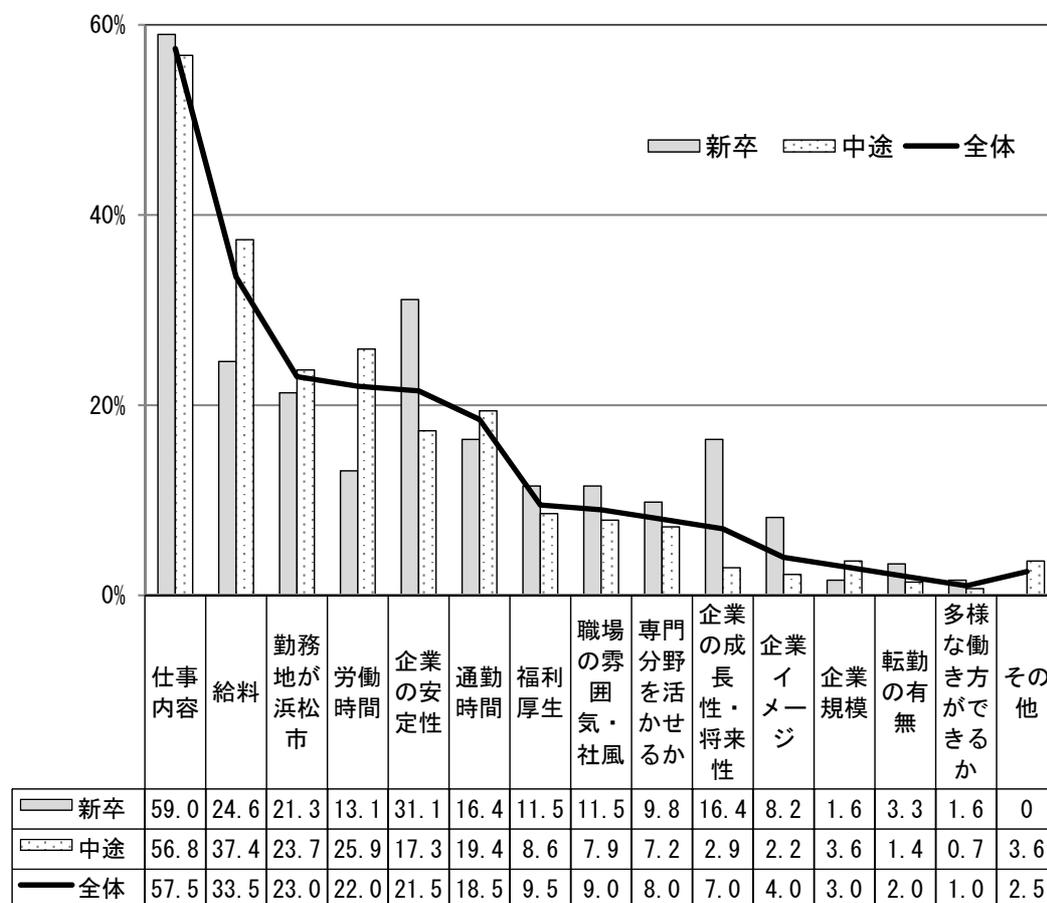
(全体数 107 人、新卒 34 人、中途 73 人)

●UIJターン就職者が会社選択に当たって重視すること

「職種・業種等の仕事内容」(57.5%)を重視する割合が最も高く、次いで「給料」(33.5%)、「勤務地が浜松」(23.0%)、「労働時間」(22.0%)、「企業の安定性」(21.5%)と続いている。

この結果とUIJターン就職の理由として「勤務時間・給与・通勤等の勤務条件が合わなくなった」ことや「親を支えるため」といった要因が上位に上がっていることも合わせて考察すると、就職者は浜松市で長期的に生活することを見据えて、ワークライフバランスにあった企業探しを行っているとの見方ができる。また、新卒者は中途者よりも安定性や将来性を重視し、中途者は新卒者よりも給料や労働時間を重視する傾向がある。

図表7 会社選択をするにあたって重視すること（採用区分別・複数回答可）



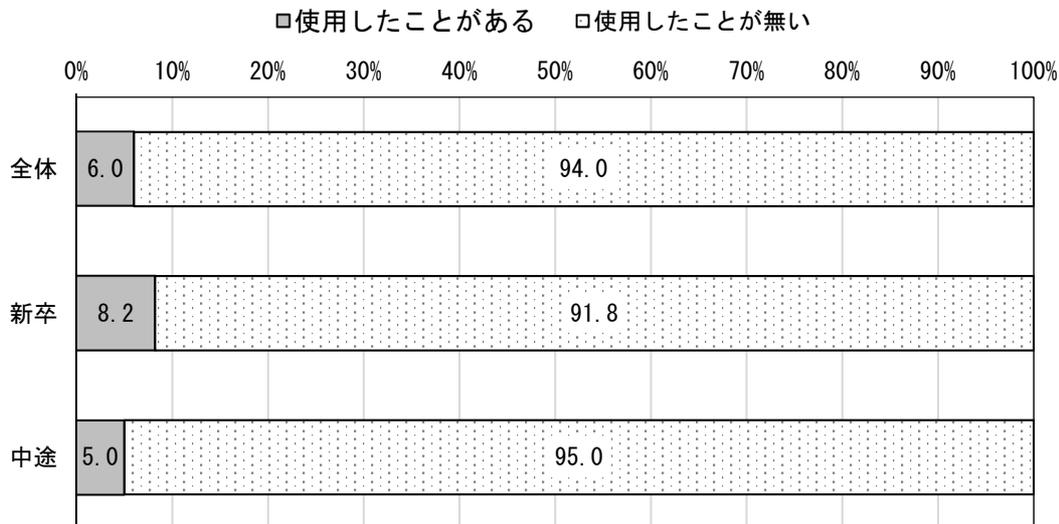
(全体数 107 人、新卒 34 人、中途 73 人)

V. 浜松市内企業就職者並びにUIJターン就職経験者

(4) 「浜松就職・転職ナビJOBはま!」について

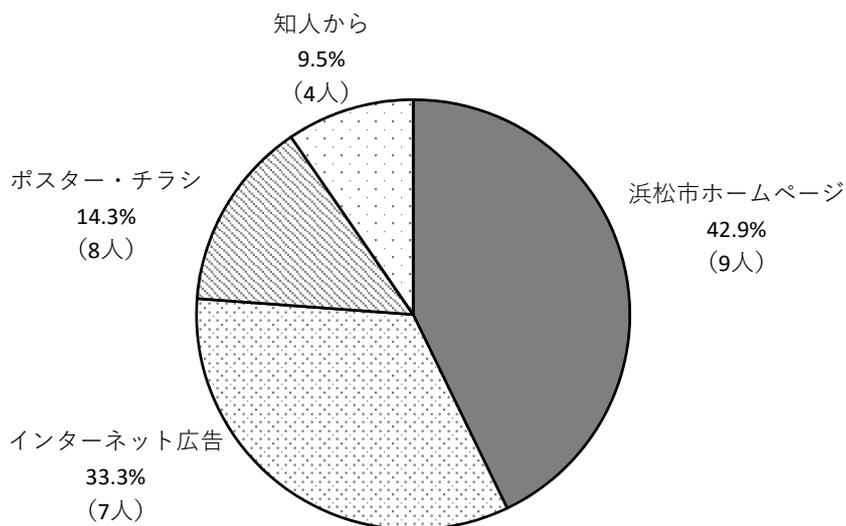
「浜松就職・転職ナビJOBはま!」を利用したことがある人の割合は全体の6%であった。平成27年度調査でも6%であり、変化はなかった。また、「JOBはま!」利用者の42.9%が浜松市のHP、33.3%がインターネット広告を見て利用した。

図表8-1 「浜松就職・転職ナビJOBはま!」利用状況



(全体数 : 200 人)

図表8-2 「浜松就職・転職ナビJOBはま!」の利用経路 (複数回答可)



(全体数 : 12 人)

## VI. 浜松市外企業への就職者

### 1. 実態調査概要

#### (1) 調査目的

本調査は、UIJ ターン就職の促進による若者への転入増加と、地元企業を担う人材及び労働力を確保するための基礎的データを、浜松市外へ就職した者より収集し、今後の事業施策に活用することを目的に実施した。

#### (2) 調査対象

浜松市出身者で「浜松市外の企業に勤務」している 200 人を抽出。

#### (3) 調査方法

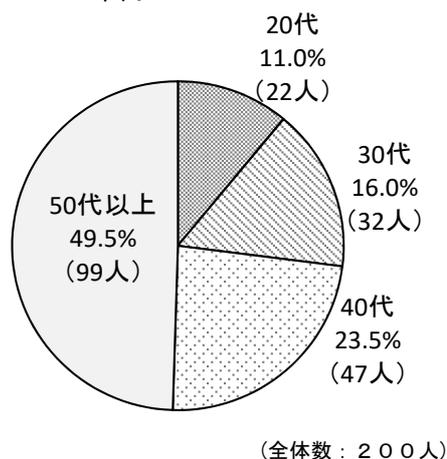
令和 4 年 12 月 7 日～令和 4 年 12 月 16 日、インターネットリサーチ会社の Web モニターを利用した Web アンケート調査を実施。

#### (4) 回収状況

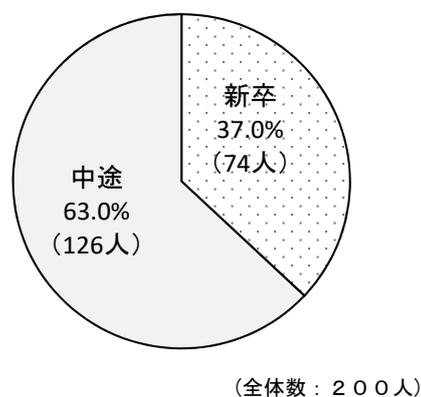
全体 200 人、男性 100 人、女性 100 人。

#### (5) 調査回答者の属性

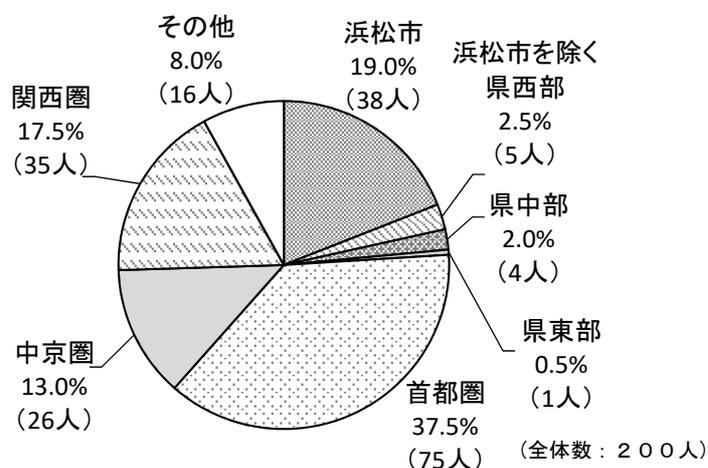
図表 1-1 年代



図表 1-2 採用区分



図表 1-3 回答者の居住地域



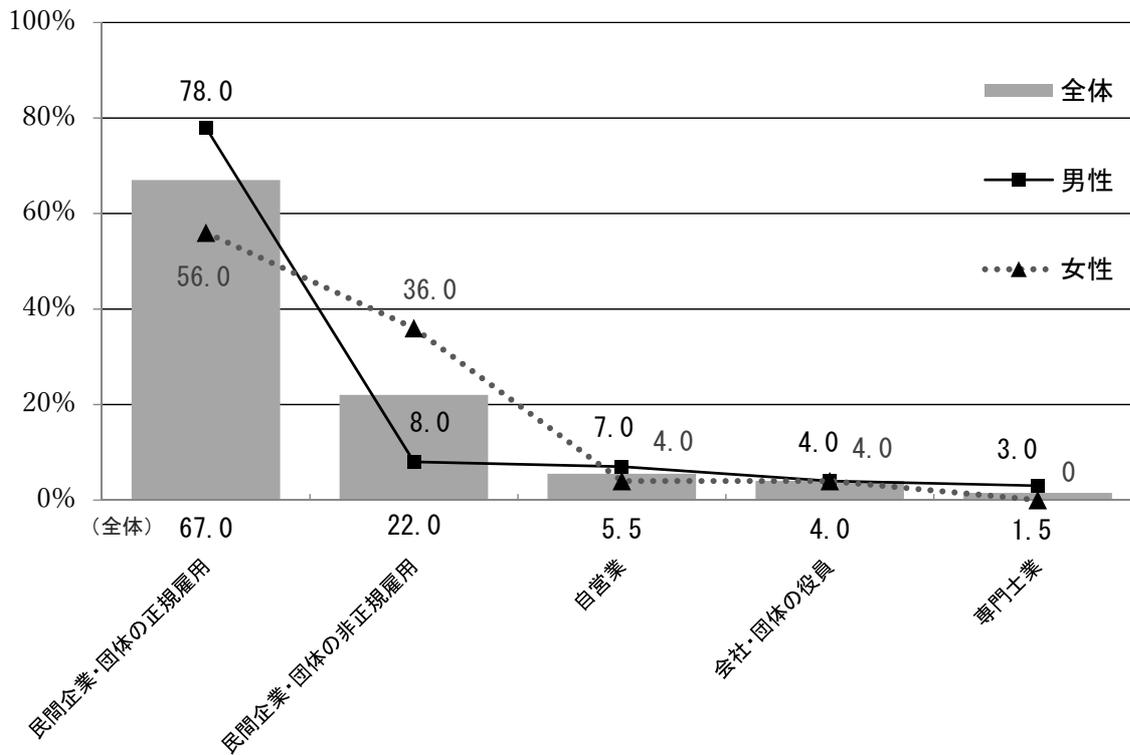
2. 実態調査結果

(1) 回答者の現在の状況について

●就業形態

- 現在の就業形態について割合が最も高いのは、「民間企業・団体の正規雇用（社員・職員等）」（67.0%）。性別で見ると男性は「民間企業・団体の正規雇用」（78.0%）割合が全体より高い。女性は「民間企業・団体の正規雇用」（56.0%）割合が男性より低く、「民間企業・団体の非正規雇用」（36.0%）の割合が男性より高い。

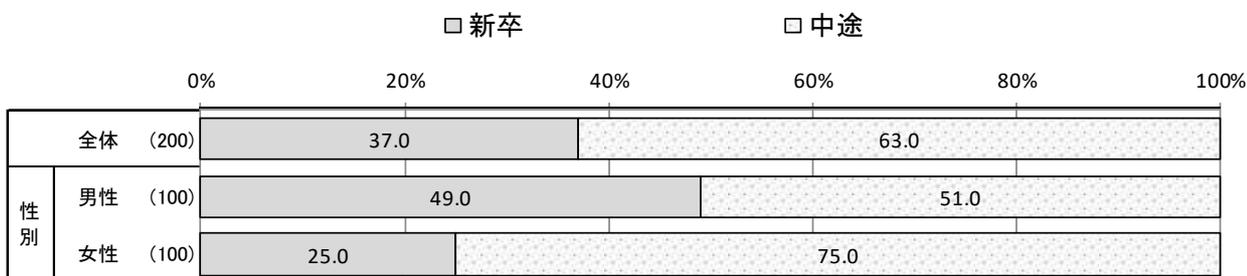
図表2 男女別の就業形態（全体数 200 人、男性 100 人、女性 100 人）



●採用区分

➤ 採用区分では、新卒が37%、中途が63%となった。男女別では、男性が新卒と中途ほぼ同じだったのに対し、女性は中途が75%を占めた。

図表3 男女別の採用区分

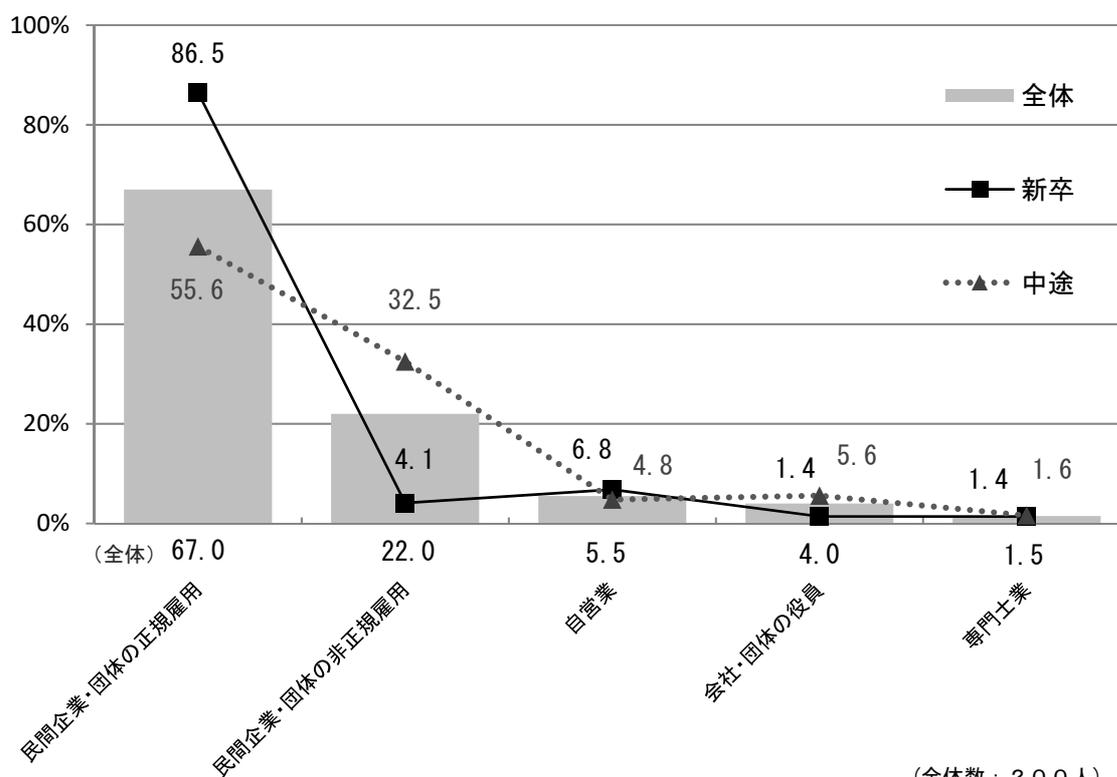


(全体数：200人)

●就職時の採用区分

➤ 採用区分別では新卒の「民間企業・団体の正規雇用」(86.5%)が突出している。中途は32.5%が「民間企業・団体の非正規雇用」となっている。

図表4 就職時の採用区分(新卒・中途)



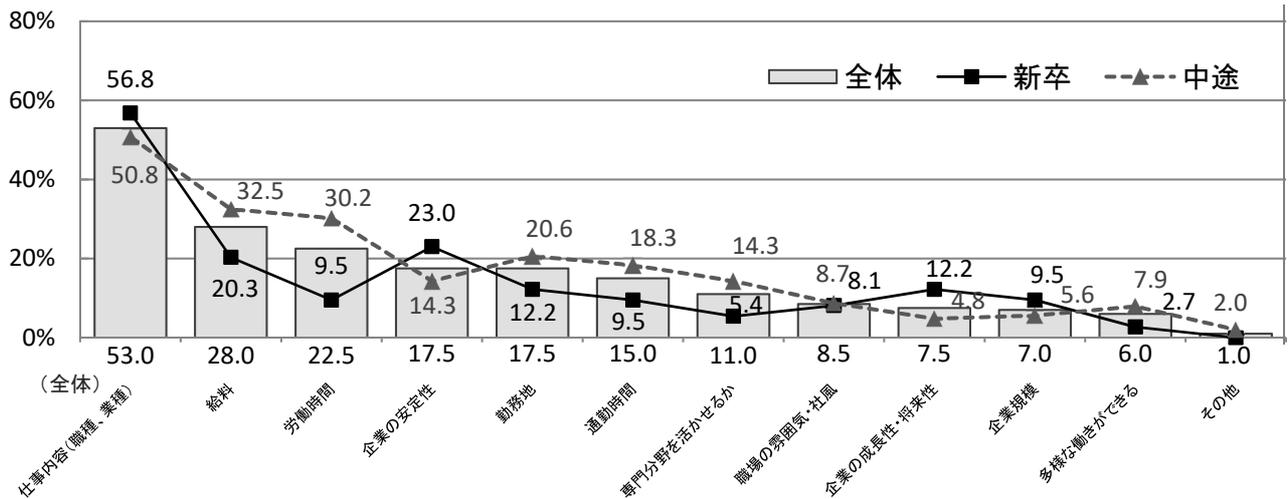
(全体数：200人)

(2) 勤務先の選択理由について

●勤務先選択時に重視した点

➤ 勤務先を選択する時の重視点について割合が最も高いのは「仕事内容（職種、業種）（53.0%）である。次いで「給料」（28.0%）、「労働時間」（22.5%）、「企業の安定性」「勤務地」は共に（17.5%）と続く。新卒は「企業の安定性」（23.0%）や「企業の成長性・将来性」（12.2%）を重視する率が中途と比べ高く、中途は「給料」（32.5%）、「労働時間」（30.2%）が新卒と比べ突出して高かった。

図表5 現在の勤務先を選択するにあたって重視した点（3つまで）

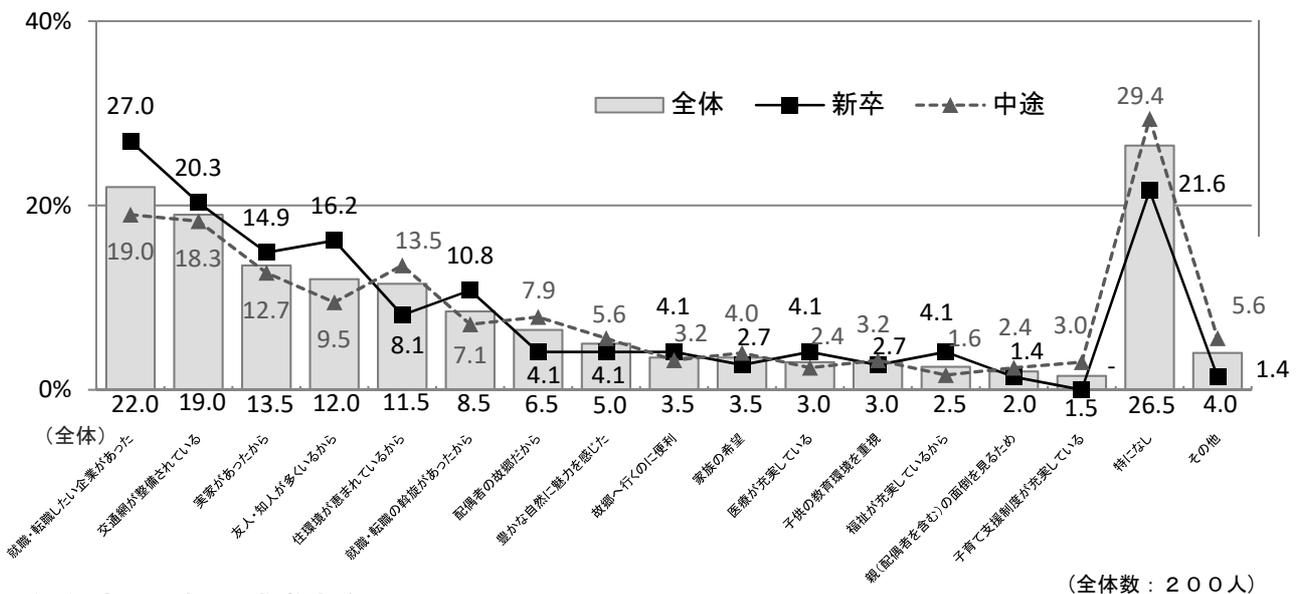


(全体数：200人)

●企業の勤務先地域を選択した理由

➤ 現在の勤務先地域を選択した理由について「特になし」を除いて最も割合が高いのは「就職・転職したい企業があったから」（22.0%）である。次いで「交通網が整備されている」（19.0%）、「実家があったから」（13.5%）が続く。

図表6 採用区分別の現在の勤務地域を選択した理由（複数回答）

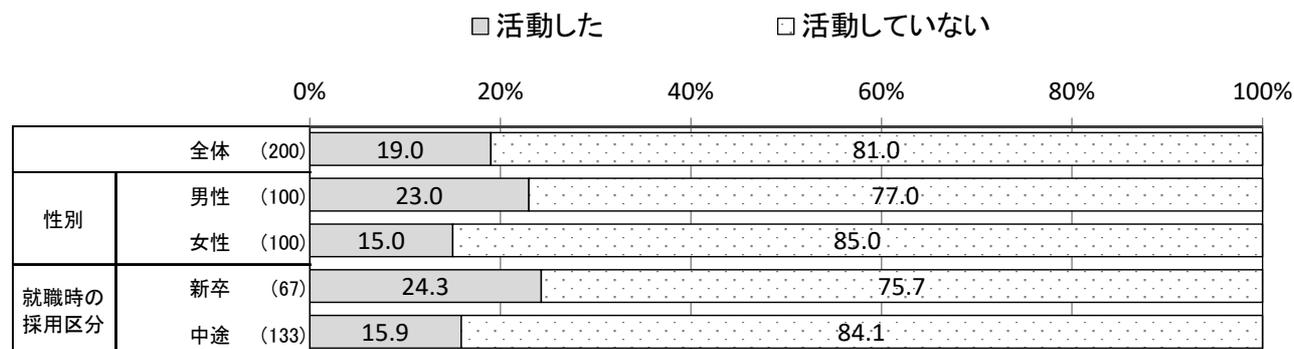


(全体数：200人)

## ● 浜松市内企業への就職・転職活動の有無

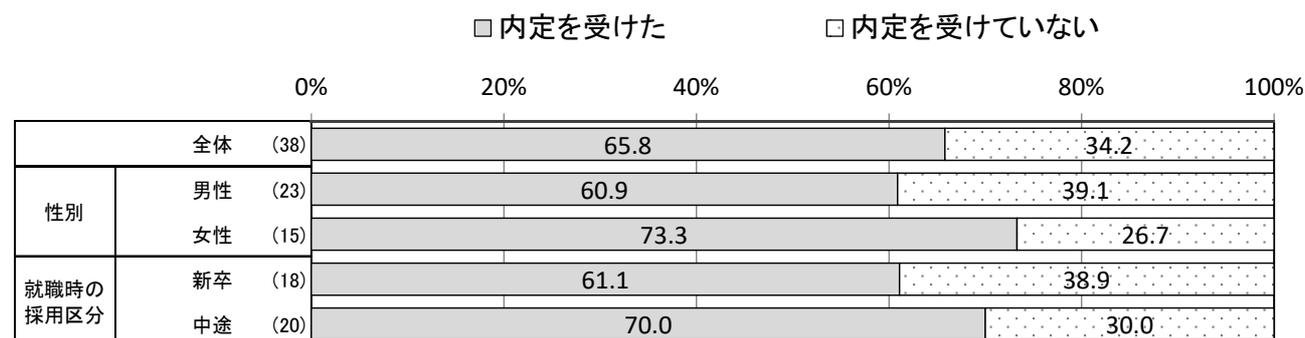
- 浜松市内企業への就職・転職活動経験割合は 19.0%であり、浜松市内企業への就職活動をしたと回答した 38 名のうち浜松市内企業からの内定を受けたのは 65.8%の 25 名。浜松市内企業からの内定を受けた 25 名のうち、就職時の採用区分は新卒 11 名、中途 14 名であった。

図表 7 浜松市内企業への就職・転職活動の有無



(全体数：200人)

図表 8 採用区分別の浜松市内企業からの内定経験（男女別）



(全体数：38人)

## ● 浜松市外企業での就労を決めた理由（自由回答）

- 浜松市内企業からの内定を受けたものの、市外企業へ就職した理由として一番多く挙げられたのは「給与・福利厚生などの待遇面」、次点で「仕事内容」となっており、福利厚生を含めた給与の条件面や仕事内容を重視する傾向にあった。その他で市外企業での就労を選択した理由としては「安定性」、「事業規模や将来性」、「配偶者の故郷」、「現在の居住地から近かった」など企業自体の安定性を求める回答や自身の環境合わせたという回答が挙げられた。



## VII. 浜松市内企業

### 1. 実態調査概要

#### (1) 調査目的

本調査はUIJターン就職の促進による若者の転入増加と地元企業を担う人材及び労働力を確保するため、市内の企業から基礎データを収集し、今後の事業施策に活用することを目的に実施した。

#### (2) 調査対象

東京商工リサーチの企業データ（本社・本店、支社・支店を問わず）を利用し、従業員規模5人以上の企業を抽出した。

#### (3) 調査方法

令和4年7月～令和4年8月、郵送による配布、郵送・Web回答による回収により、令和4年8月31日時点の状況について調査を実施。

#### (4) 回収状況

郵送企業数5,000社、回収企業数1,797社で、回収率は35.9%となった。

業 種	調査対象 (郵送) 企業数	回収 企業数	回収数に 対する 業種構成比 (%)	調査対象 企業数に 対する 回収率 (%)
農業・林業	25	19	1.1	76.0
漁業	5	2	0.1	40.0
鉱業、採石業、砂利採取業	3	1	0.1	33.3
建設業	1,303	432	24.0	33.2
製造業	1,191	419	23.3	35.2
電気・ガス・熱供給・水道業	20	38	2.1	-
情報通信業	119	35	1.9	29.4
運輸業、郵便業	191	52	2.9	27.2
卸売・小売業	1,076	329	18.3	30.6
金融・保険業	35	16	0.9	45.7
不動産業、物品賃貸業	157	44	2.4	28.0
学術研究、専門・技術サービス業	155	34	1.9	21.9
宿泊業、飲食サービス業	75	23	1.3	30.7
生活関連サービス業、娯楽業	88	23	1.3	26.1
教育、学習支援業	41	21	1.2	51.2
医療・福祉	213	96	5.3	45.1
複合サービス事業	51	7	0.4	13.7
サービス業(複合サービス業に分類されないもの)	252	98	5.5	38.9
その他	0	78	4.3	-
無回答	0	30	1.7	-
合 計	5,000	1,797	100.0	35.9

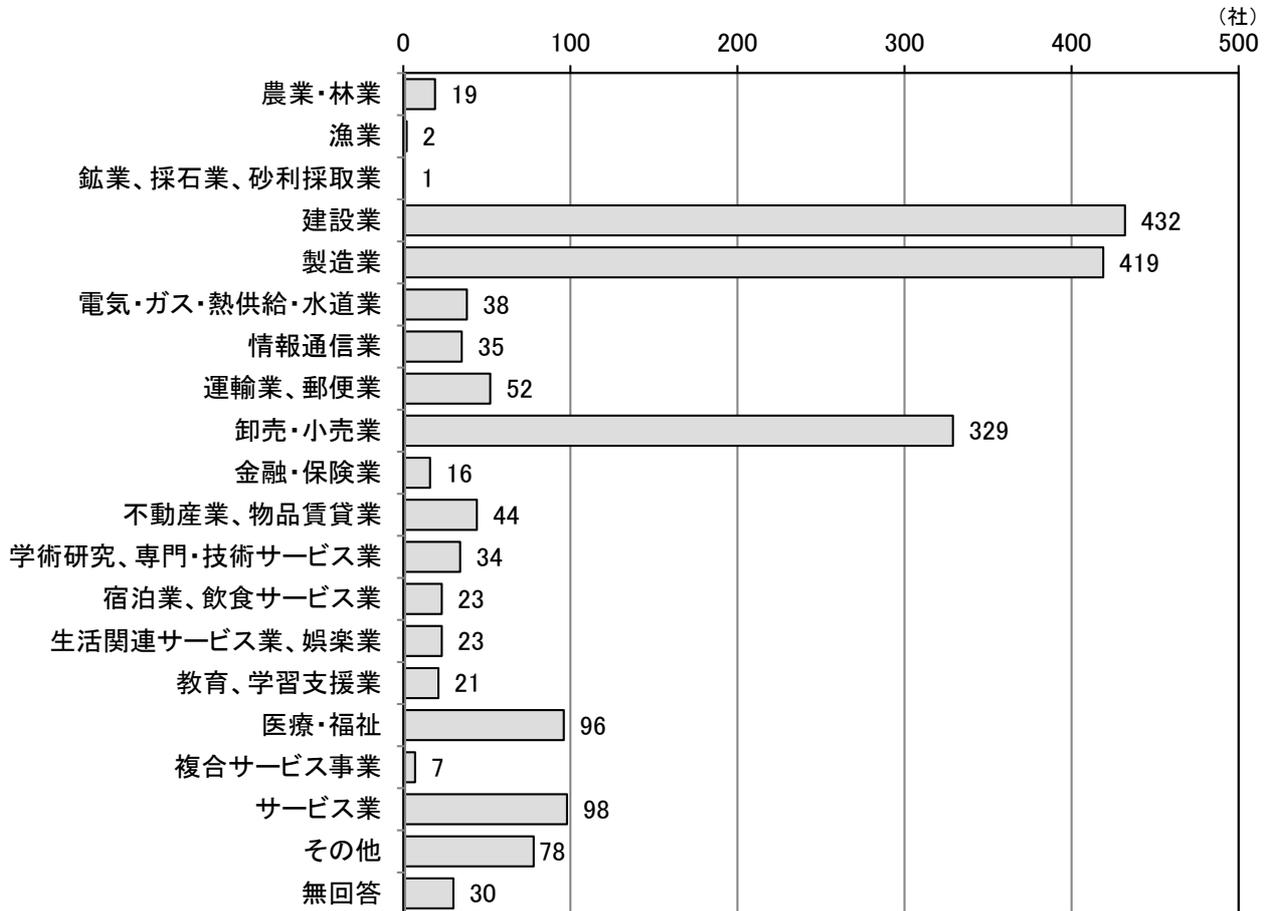
追記：調査対象として把握していた業種と企業回答業種が異なることがあるため、回収企業数が調査対象企業数を上回っている場合がある。

Ⅶ. 浜松市内企業

(5) 属性

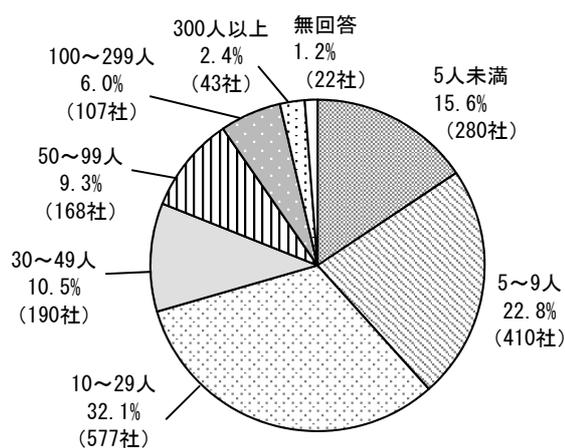
調査回収企業の属性は次の通りである。

図表 1-1 業種別



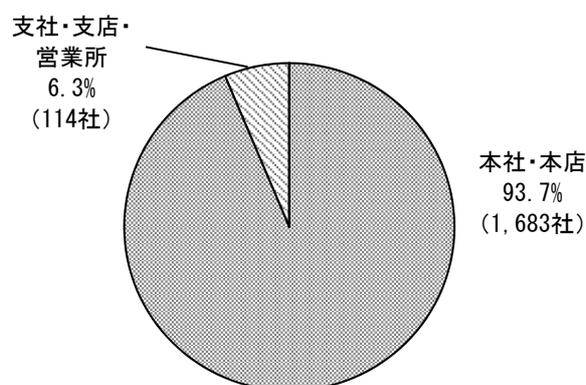
(全体数 : 1,797 社)

図表 1-2 従業員規模別



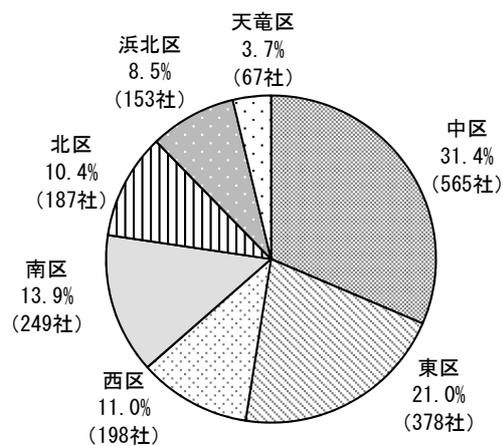
(全体数 : 1,797 社)

図表 1-3 本社・支店別



(全体数 : 1,797 社)

図表 1-4 所在地別



(全体数 : 1,797 社)

**2. 実態調査結果**

(1) 現在の雇用者の状況について

●従業員数

- 回答があった企業の総従業員数は 83,812 人で、業種別に見ると、「製造業」(27,634 人)、「卸売業・小売業」(10,479 人)、「医療・福祉」(9,569 人) の上位 3 業種で 56.9%を占める。
- 回答があった企業数を業種別で見ると「建設業」(432 社)、製造業 (419 社)、「卸売業、小売業」(329 社) の上位 3 業種で 65.7%を占める。

図表 2 業種別・従業員規模別従業員数・企業数

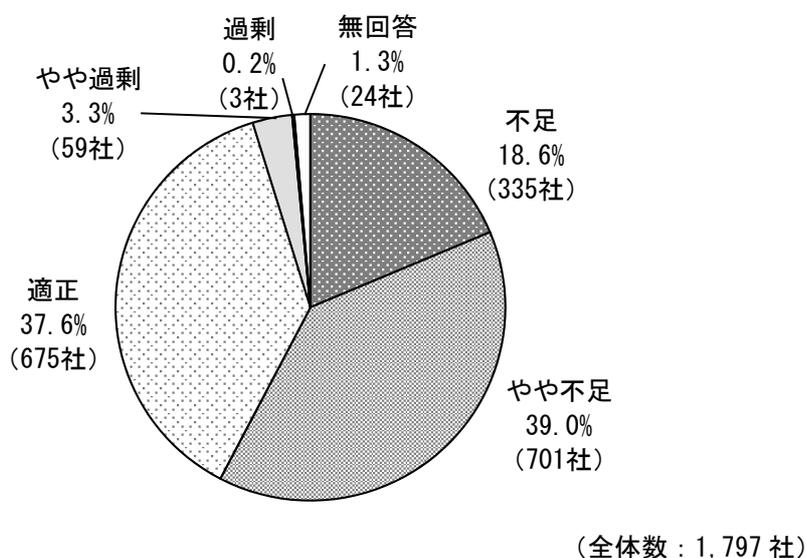
業 種	業種別				従業員規模別							
	総従業員数	構成比 (%)	企業数	構成比 (%)	4人以下	5~9人	10~29人	30~49人	50~99人	100~299人	300人以上	無回答
農業、林業	1,804	2.2	19	1.1	3	5	6	2	1	1	1	0
漁業	24	0.0	2	0.1	0	0	2	0	0	0	0	0
鉱業、採石業、砂利採取業	33	0.0	1	0.1	0	0	0	1	0	0	0	0
建設業	7,239	8.6	432	24.0	101	122	156	28	14	6	1	4
製造業	27,634	33.0	419	23.3	28	76	138	65	57	39	13	3
電気・ガス・熱供給・水道業	652	0.8	38	2.1	13	14	6	2	1	1	0	1
情報通信業	1,122	1.3	35	1.9	3	9	13	5	4	0	1	0
運輸業、郵便業	8,772	10.5	52	2.9	1	0	21	6	10	8	6	0
卸売業、小売業	10,479	12.5	329	18.3	76	90	92	28	25	8	6	4
金融業、保険業	2,576	3.1	16	0.9	0	4	5	2	1	2	2	0
不動産業、物品賃貸業	1,355	1.6	44	2.4	13	11	8	3	7	0	1	1
学術研究、専門・技術サービス業	780	0.9	34	1.9	4	9	15	4	1	1	0	0
宿泊業、飲食サービス業	1,625	1.9	23	1.3	0	0	6	8	4	4	1	0
生活関連サービス業、娯楽業	1,807	2.2	23	1.3	0	6	8	1	5	1	1	1
教育、学習支援業	1,079	1.3	21	1.2	0	3	7	6	2	2	1	0
医療、福祉	9,569	11.4	96	5.3	1	10	28	14	15	22	5	1
複合サービス事業	155	0.2	7	0.4	1	2	3	0	1	0	0	0
サービス業(他に分類されないもの)	3,595	4.3	98	5.5	15	25	28	6	11	8	2	3
その他	2,388	2.8	78	4.3	16	17	28	6	7	1	2	1
無回答	1,124	1.3	30	1.7	5	7	7	3	2	3	0	3
合 計	83,812	100.0	1,797	100.0	280	410	577	190	168	107	43	22
			規模別従業員数		854	2,790	9,813	7,233	11,542	18,214	33,366	0
			構成比 (%)		1.0	3.3	11.7	8.6	13.8	21.7	39.8	0.0

●労働力の過不足感

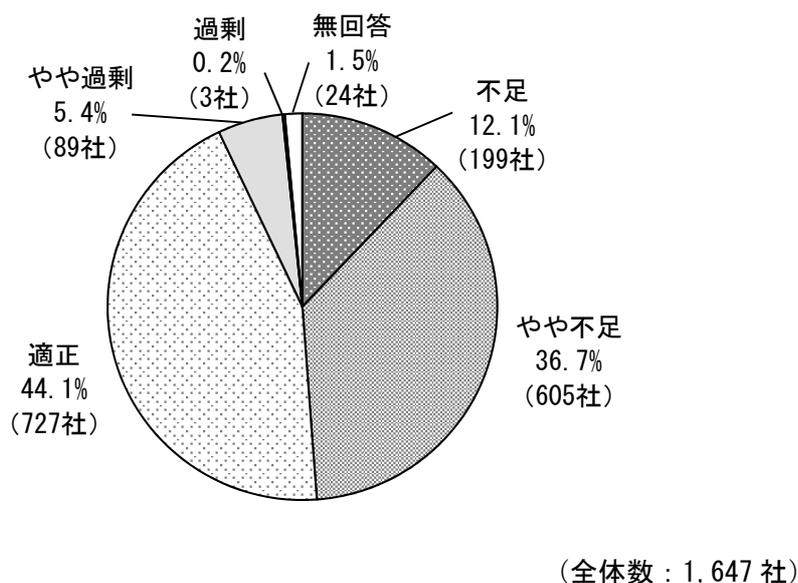
➤回答のあった企業の労働力の過不足感については、「適正」が 37.6%であったのに対し、「不足」18.6%、「やや不足」39.0%を合わせて、全体の 57.6%（1,036 社）の企業が自社の労働力に対し不足感を持っている結果となった。なお、平成 27 年度の調査と比較すると、「適正」と回答した企業の割合が 44.1%から 6.5%減少した。また、「不足」、「やや不足」の合計が 48.8%から 8.8%増加し、人手不足を感じている企業の割合が増加している。

図表 3-1 浜松市内企業の労働力の過不足感

令和 4 年度調査

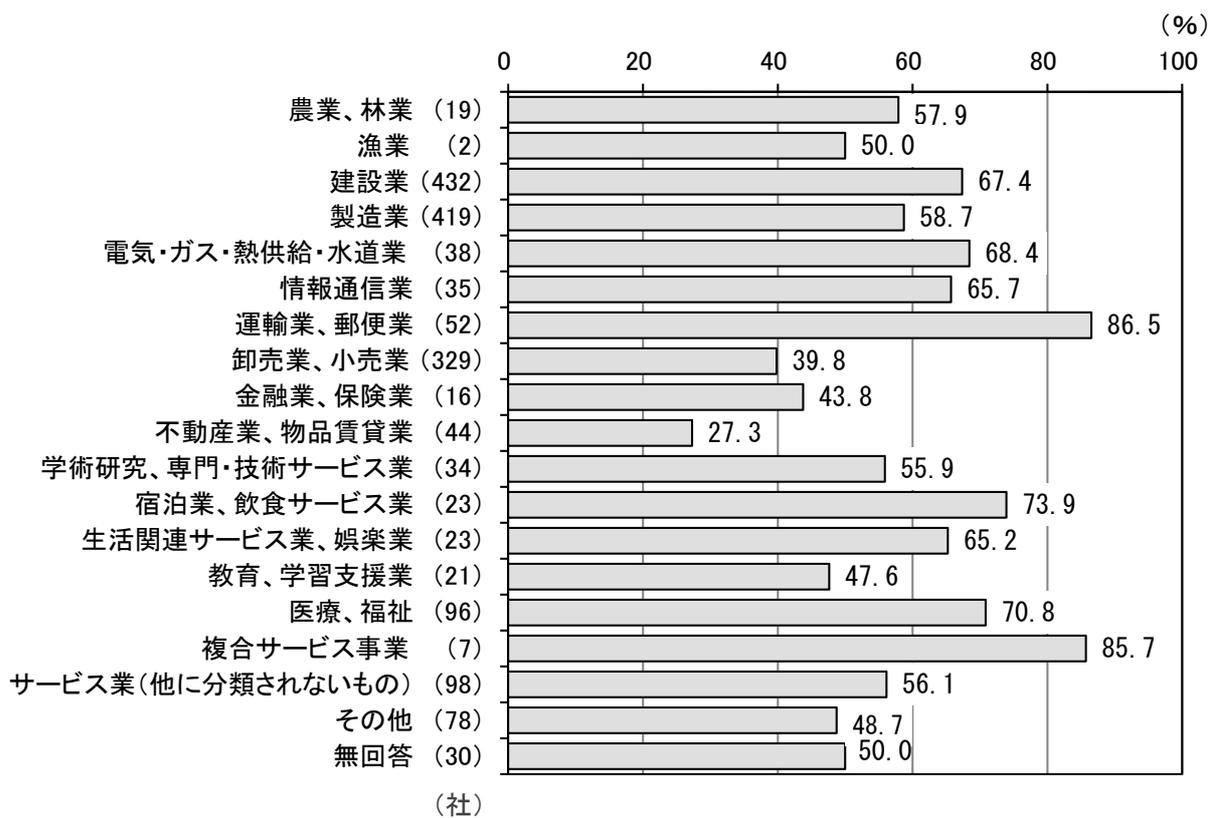


平成 27 年度調査



Ⅶ. 浜松市内企業

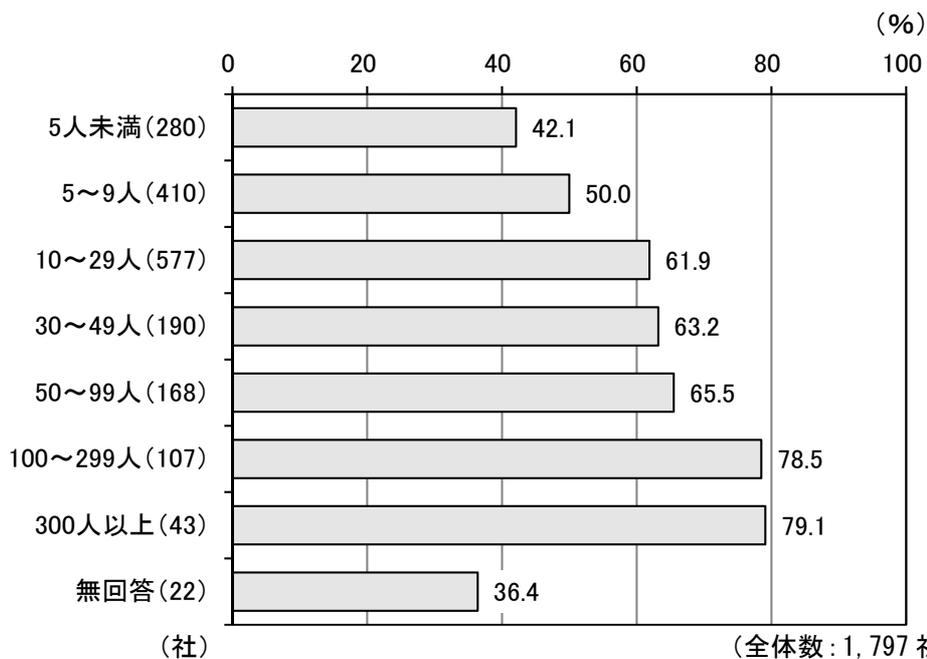
図表 3-2 業種別 労働力の不足感を持っている企業の割合



※回答数 1 社の業種を除く (全体数 : 1,796 社)

※括弧内の数値は業種ごとの全体の回答社数

図表 3-3 従業員規模別 労働力の不足感を持っている企業の割合



(全体数 : 1,797 社)

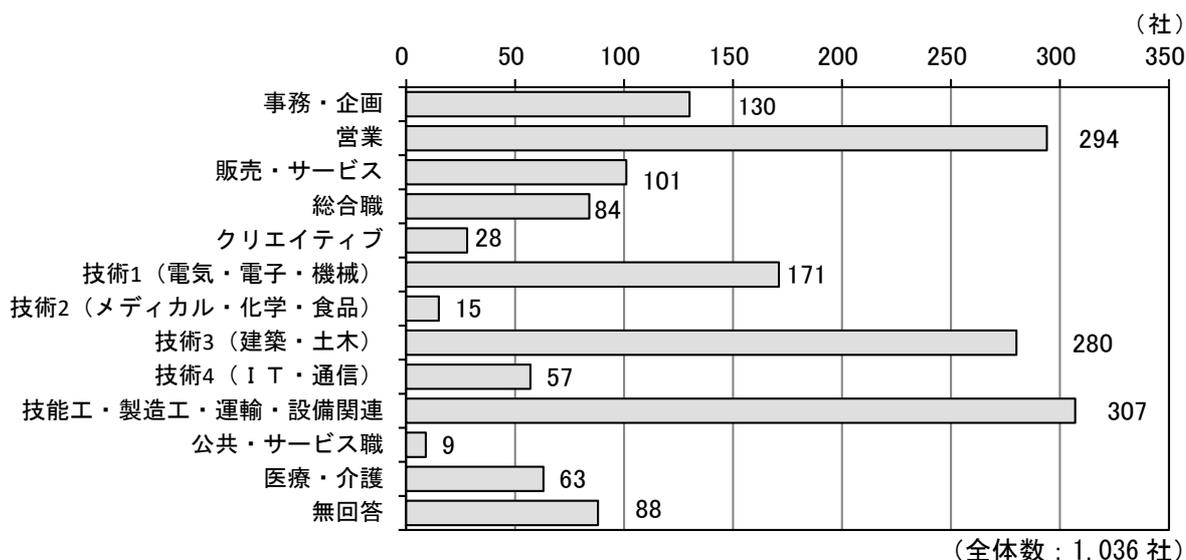
※括弧内の数値は従業員規模ごとの全体の回答社数

●現在の雇用状況<不足していると感じる職種とその補充方法>

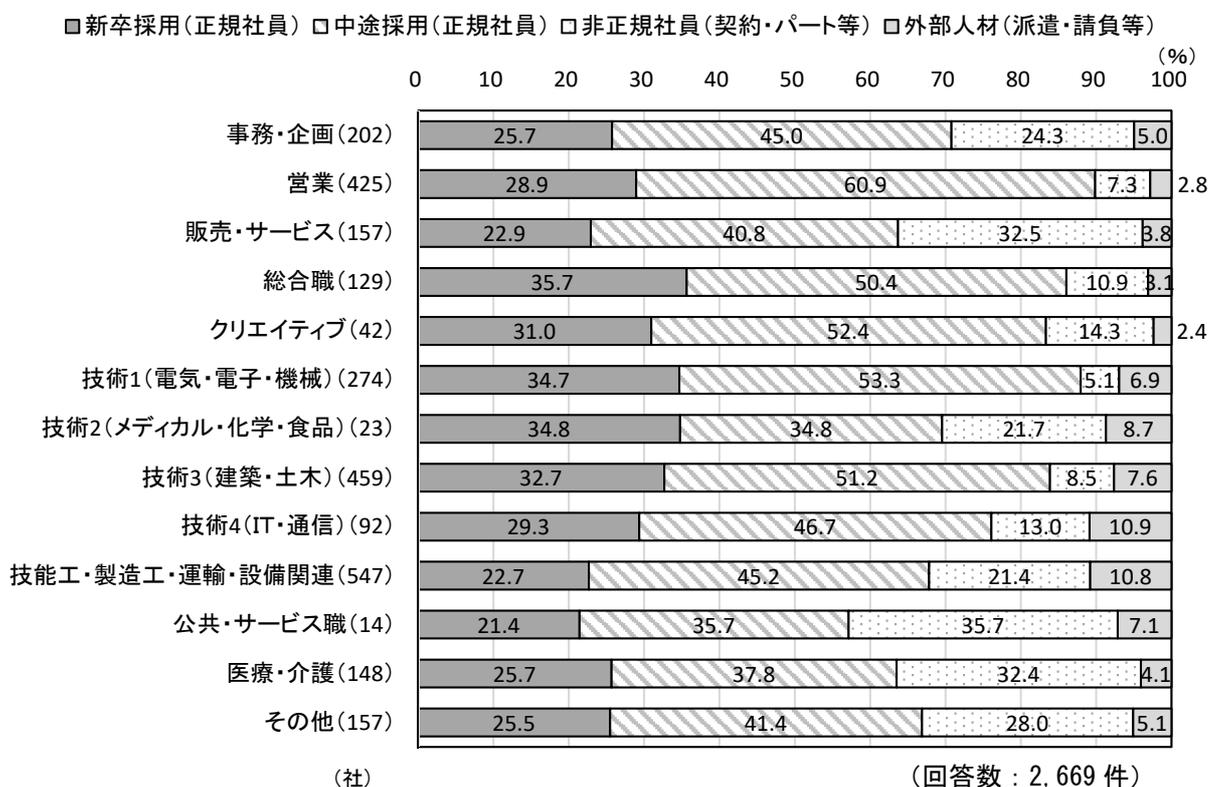
➤ 職種別に労働力の不足感をみると、上位 3 職種は技能工・製造工・運輸・設備関連（307 社）、「営業」（294 社）、「技術 3（建築・土木）」（280 社）である。

「営業」と「技術 1（電気・電子・機械）」、「クリエイティブ」は、その不足を「中途採用（正規社員）」で補充しようと考えている企業が多い。「公共・サービス職」、「販売・サービス」、「医療・介護」では、「非正規社員」での補充を考える割合が高くなっている。

図表 4-1 労働力の不足感を持っている職種（複数回答）



図表 4-2 不足している職種の補充方法（複数回答）



Ⅶ. 浜松市内企業

(2) 新卒採用について

※「新卒採用」とは、大学、短大、専門学校等の卒業生（既卒3年以内を含む）を対象とする採用とする。

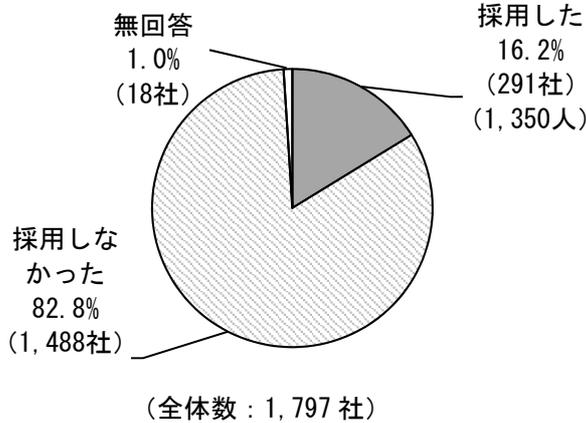
ア. 採用実績について

●令和4年4月の新卒者採用状況

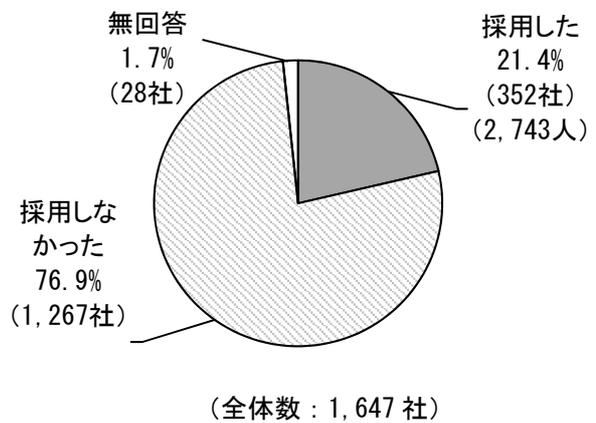
- 平成4年4月入社の新卒者を採用した浜松市内企業は291社（1,350人）で16.2%を占める。平成27年度調査と比較すると、新卒者を採用した企業の割合は21.4%から5.2ポイント減少した。
- 業種別に新卒者採用企業数をみると、「製造業」（73社）、「卸売業・小売業」（49社）、建設業（43社）、「医療・福祉」（34社）と続く。また、採用者数は「製造業」（365人）、建設業（215人）、「卸売業・小売業」（208人）となった。
- 業種別に新卒者採用企業の割合をみると（回答数2社以下の業種を除く）、「金融業・保険業」（43.8%）、「情報通信業」（40.0%）で4割以上の企業が新卒者を採用している。
- 従業員規模別でみると、概ね企業の従業員数規模に比例して新卒者採用企業の割合は高くなる。

図表5-1 新卒者採用の有無

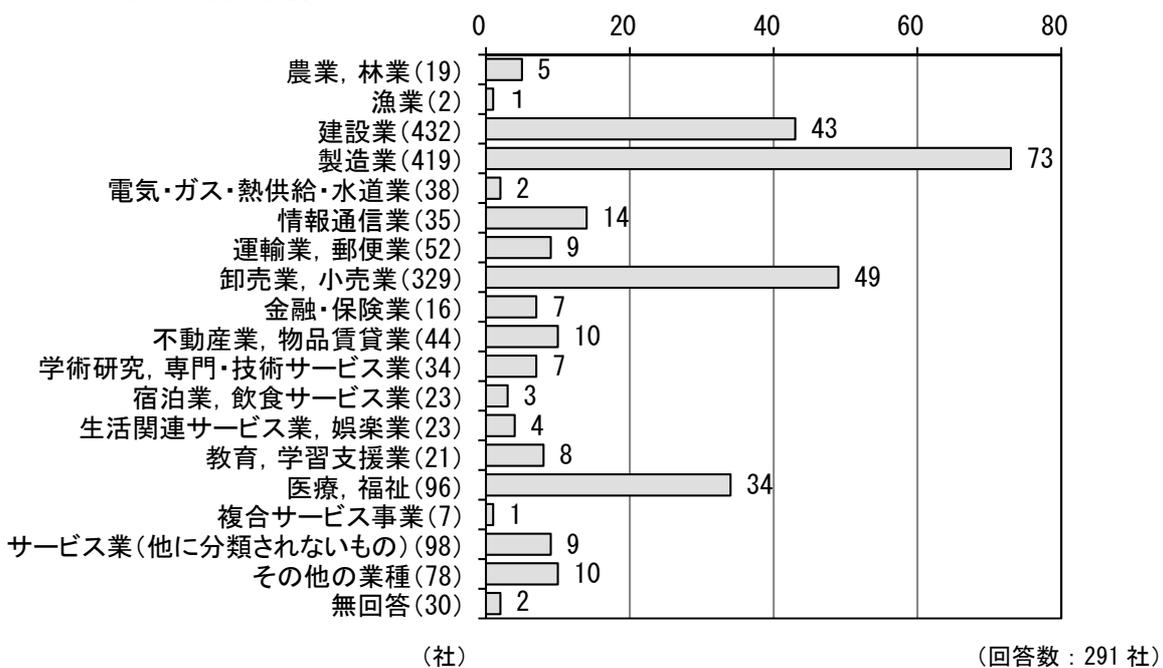
令和4年度



平成27年度

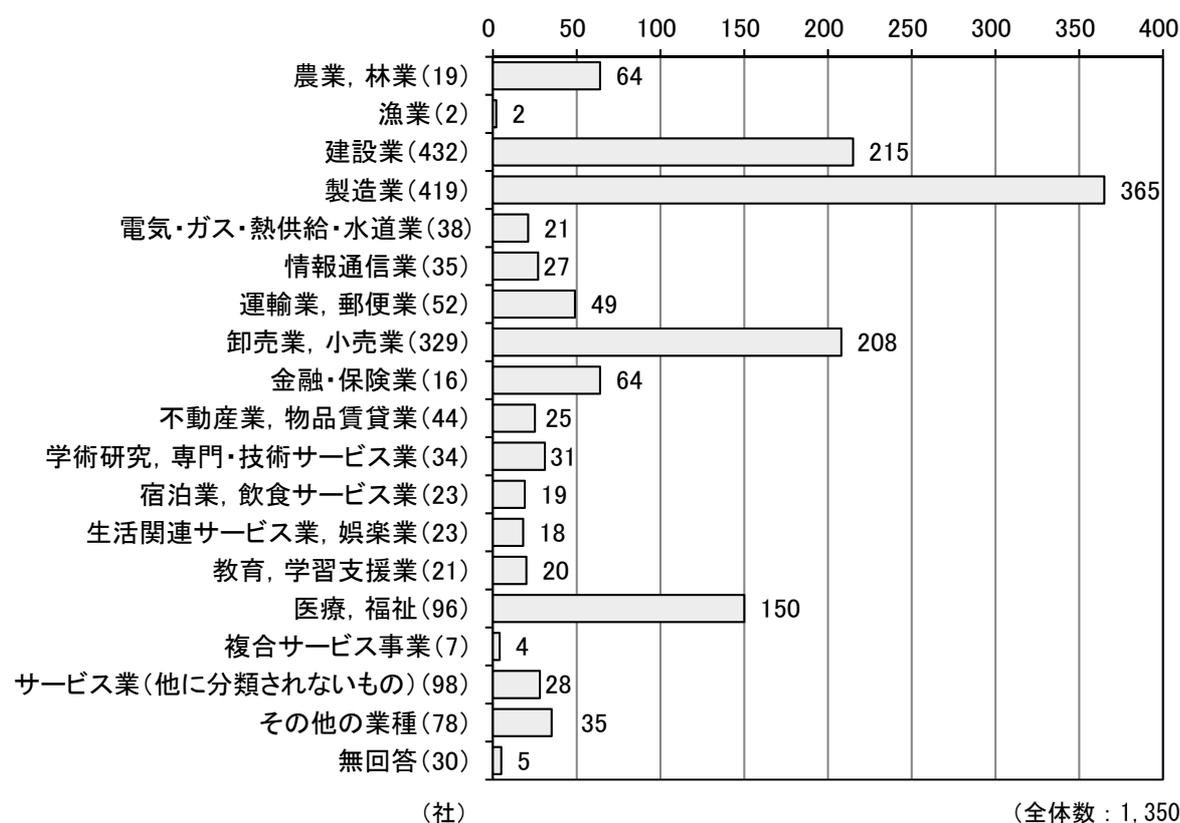


図表5-2 業種別 新卒者採用企業数

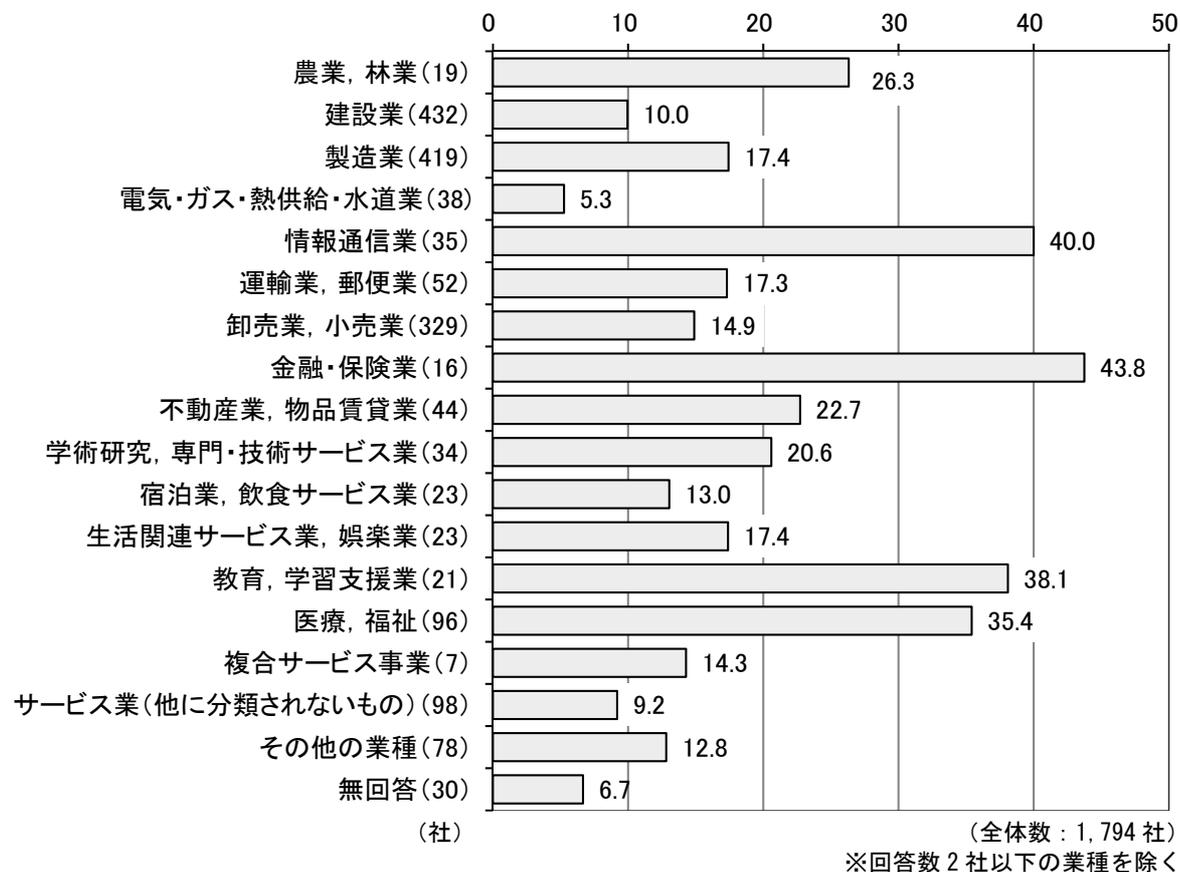


※括弧内の数字は業種ごとの回答企業数

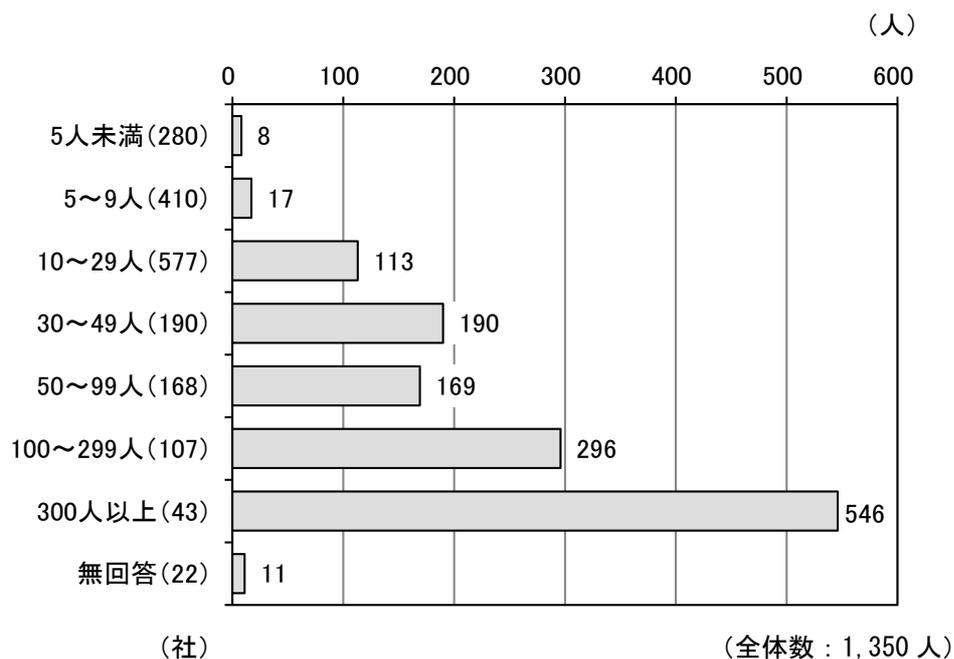
図表 5-3 業種別 新卒者採用者数 (人)



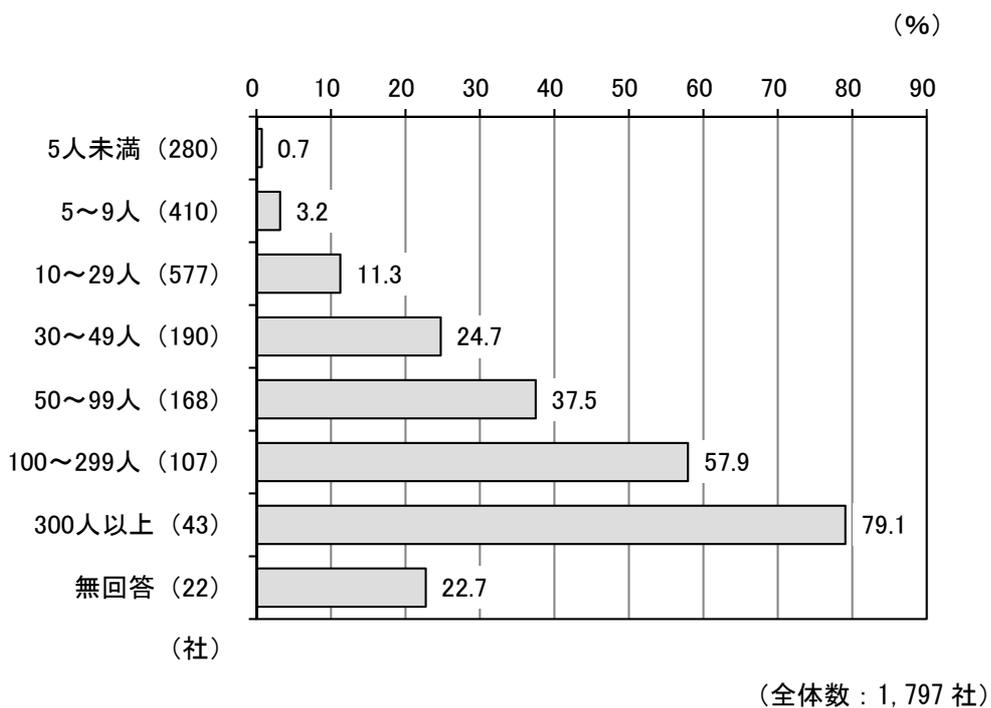
図表 5-4 業種別 新卒者採用企業の割合 (%)



図表 5-5 従業員規模別 新卒者採用者数



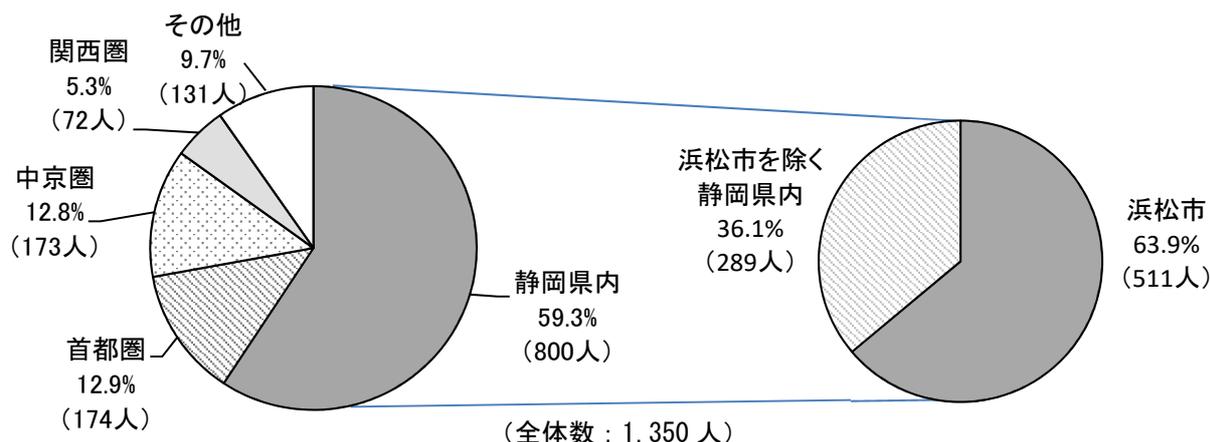
図表 5-6 従業員規模別 新卒者採用企業の割合



●令和4年4月新卒者の採用状況（出身校の所在地別）

- 浜松市内の企業が令和4年4月に採用した新卒者（1,350人）の出身校所在地域について、割合が最も高いのは、「静岡県内」（59.3%）である。次いで、「首都圏」（12.9%）、「中京圏」（12.8%）がほぼ同じ割合となっている。「静岡県内」出身者のうち、63.9%が「浜松市内」出身者である。
- 出身校の所在地域別では従業員規模「10人以上」の企業において、いずれも「浜松市内」出身者の採用割合が最多となっている。

図表6-1 新卒者採用者の出身校所在地域

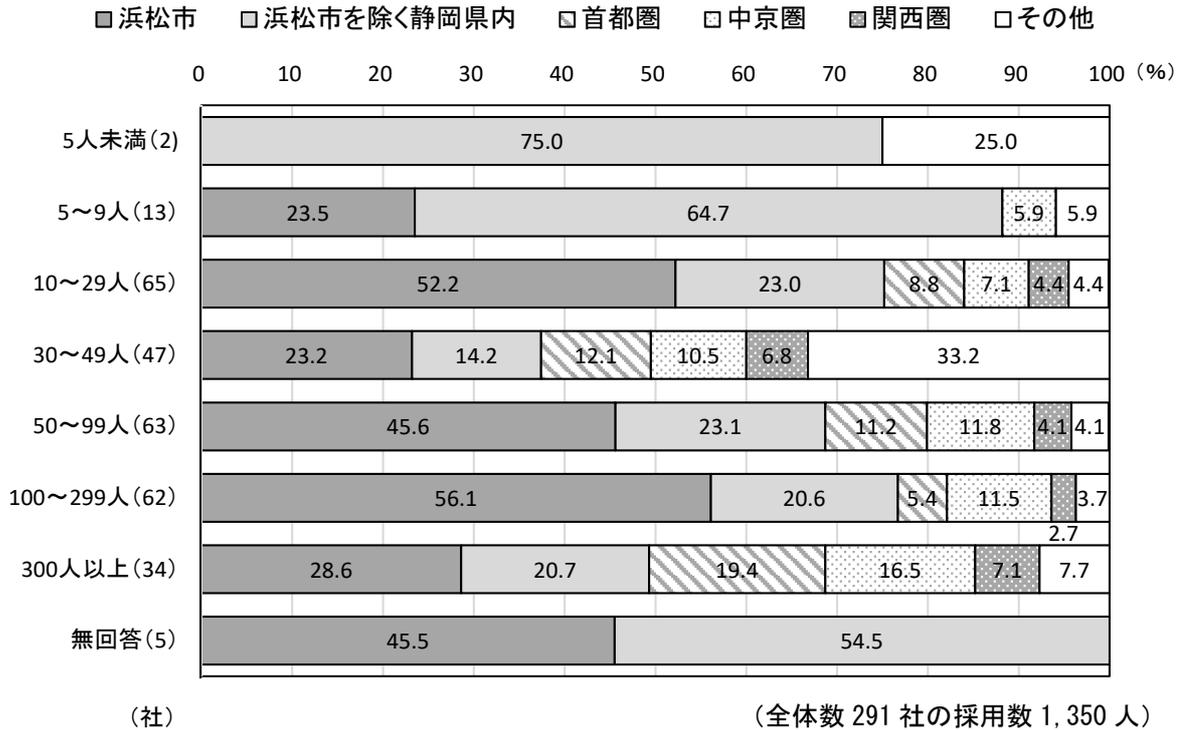


図表6-2 業種別・出身校所在地域別 新卒者採用状況

業種	出身校所在地域別 (%)					
	浜松市	浜松市を除く静岡県内	首都圏	中京圏	関西圏	その他
農業、林業(5)	43.8	6.3	12.5	35.9	1.6	
建設業(43)	27.4	19.5	10.2	7.4	5.6	29.8
製造業(73)	38.6	13.7	17.8	12.3	7.4	10.1
電気・ガス・熱供給・水道業(2)	38.1	23.8	23.8	14.3		
情報通信業(14)	51.9	11.1	18.5	11.1	3.7	
運輸業、郵便業(9)	24.5	26.5	26.5	10.2	8.2	4.1
卸売業、小売業(49)	29.3	37.5	12.0	13.0	4.3	3.8
金融業、保険業(7)	18.8	20.3	21.9	25.0	12.5	1.6
不動産業、物品賃貸業(10)	32.0	44.0	8.0	8.0	8.0	
学術研究、専門・技術サービス業(7)	54.8	22.6	12.9	9.7		
宿泊業、飲食サービス業(3)	42.1	26.3	15.8	10.5	5.3	
生活関連サービス業、娯楽業(4)	27.8	44.4	11.1	16.7		
教育、学習支援業(8)	55.0	30.0	10.0	5.0		
医療、福祉(34)	66.7	21.3	8.7	2.0		
複合サービス事業(1)	50.0	25.0	25.0	1.3		
サービス業(他に分類されないもの)(9)	42.9	10.7	21.4	14.3	7.1	3.6
その他の業種(10)	31.4	14.3	8.6	17.1	14.3	14.3
無回答(2)	40.0	60.0				

※新卒者採用数1人の業種を除く。(全体数 290社の採用数：1,349人)

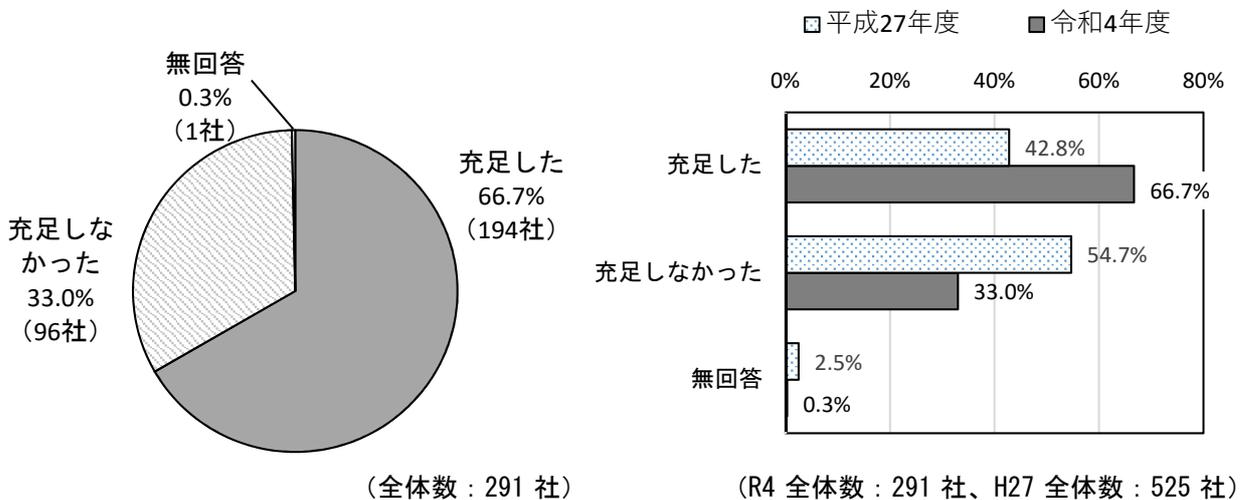
図表 6-3 従業員規模別・出身校所在地域別 新卒採用比率



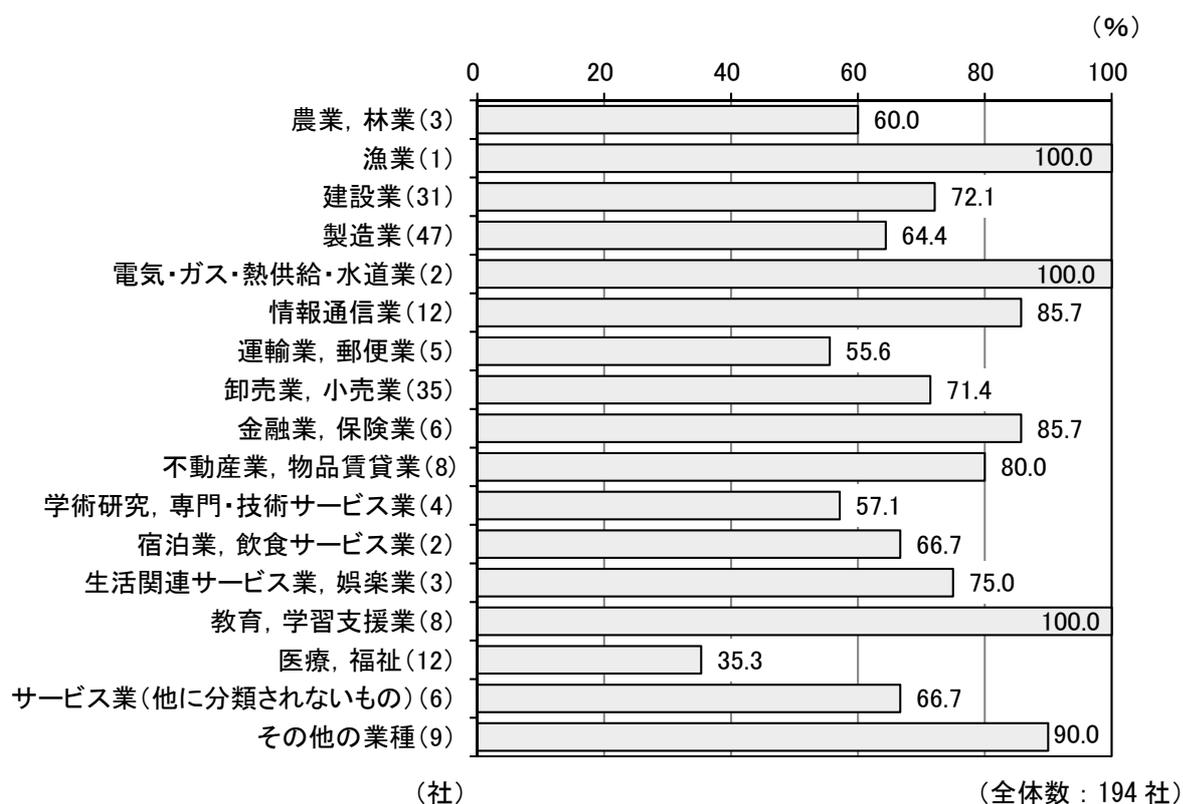
●令和4年4月入社の新卒者採用活動企業における新卒者の充足の有無

- 令和4年4月に新卒者の採用活動を行った企業のうち、新卒者の充足度は、「充足した」(66.7%)、「充足しなかった」(33.0%)である。平成27年度調査と比較して、新卒を採用した企業の割合は減少したものの、「充足した」企業の割合は23.9%向上した。
- 業種別でみると、「医療・福祉」(35.3%)が最も低く、次いで「運輸業・郵便業」(55.6%)が低い。
- 従業員別でみると、「10人以上、99人未満」が70%以上となったのに対し、採用人数が多い「100人以上」では50%台に留まった。

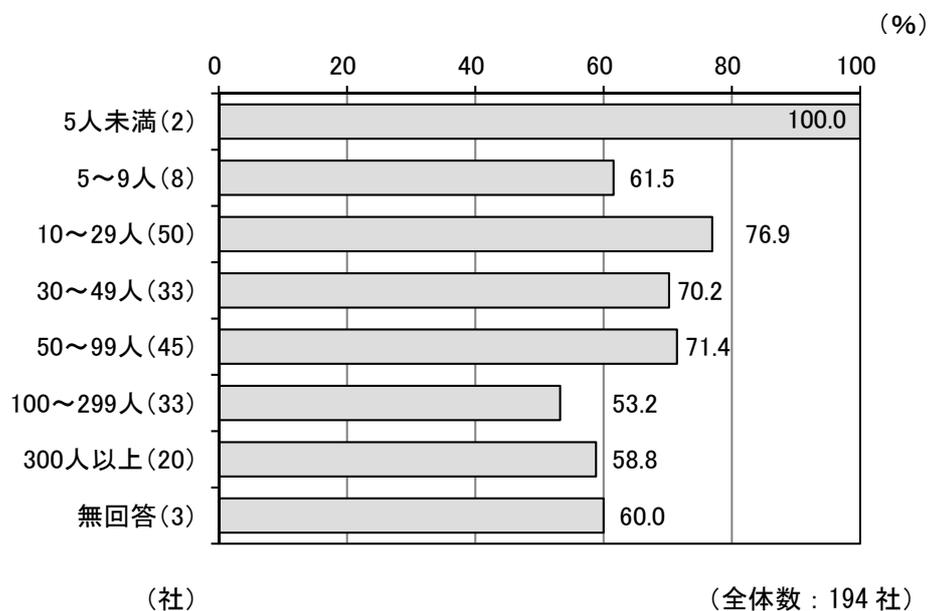
図表 7-1 新卒者の採用企業における充足の有無 (経年変化)



図表 7-2 業種別 新卒者が充足した企業の割合



図表 7-3 従業員規模別 新卒者が充足した企業の割合

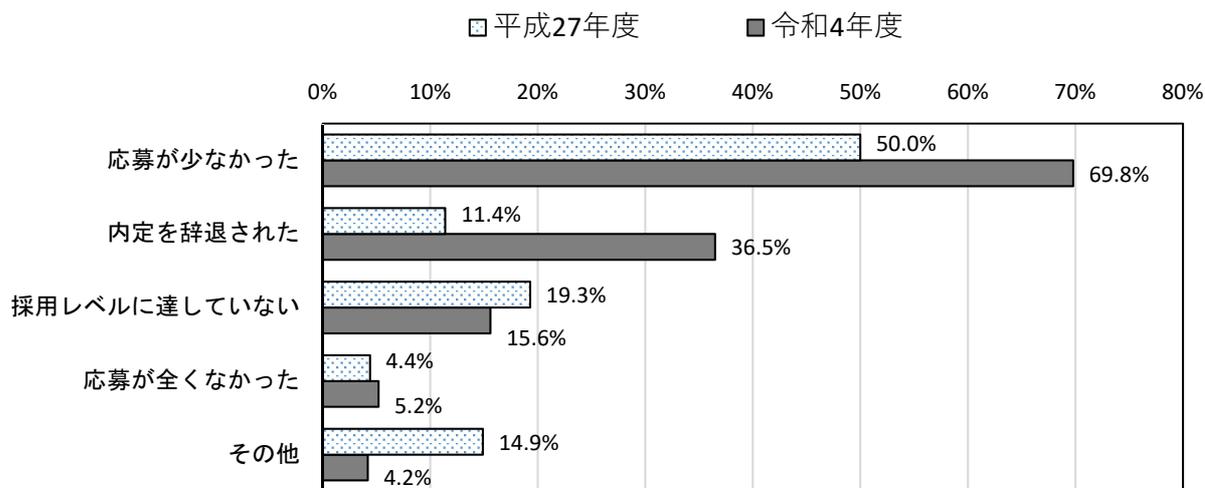


Ⅶ. 浜松市内企業

●令和4年4月入社の新卒者採用企業のうち、新卒者が充足しなかった理由

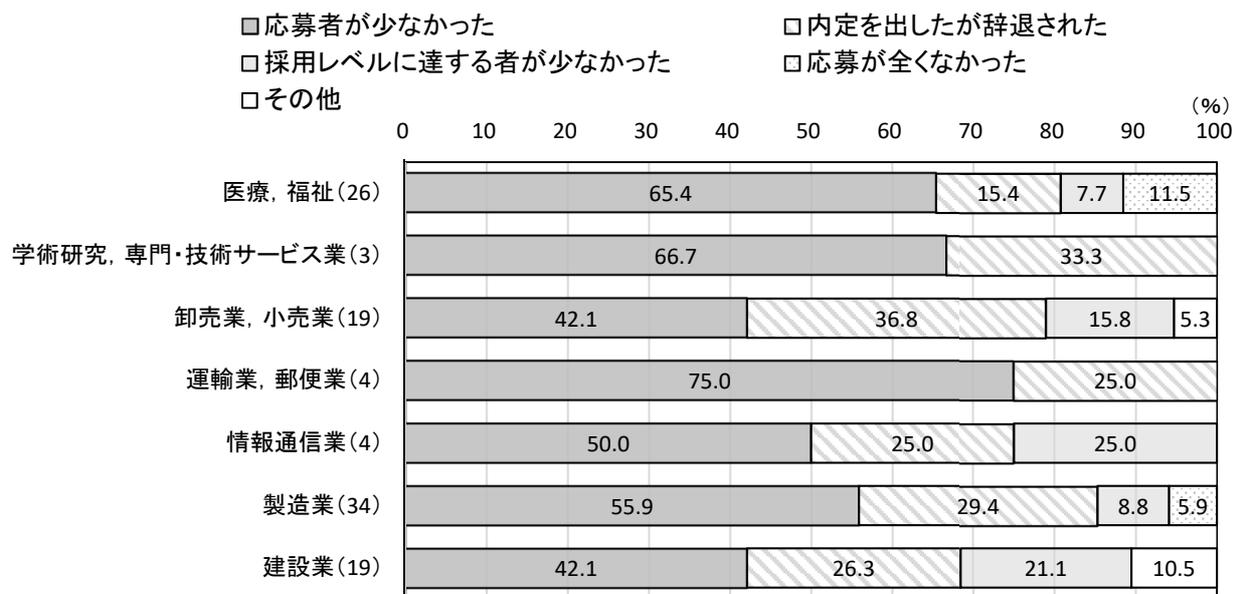
- 新卒者が「充足しなかった」企業の理由について割合が最も高かったのは、「応募者が少なかった」(69.8%)である。次いで「内定を出したが、辞退された」(36.5%)、「採用レベルに達するものが少なかった」(15.6%)と続く。
- 平成27年度調査から「応募者が少なかった」「内定を辞退された」が大幅に増加した。
- 「応募者が少ない」ことが理由で充足しなかった割合が高い業種は、「運輸業・郵便業」、「学術研究、専門・技術サービス業」、「医療・福祉」であった。

図表8-1 新卒者が充足しなかった理由（複数回答）（経年変化）



(R4 全体数 : 96 社、H27 全体数 : 114 社)

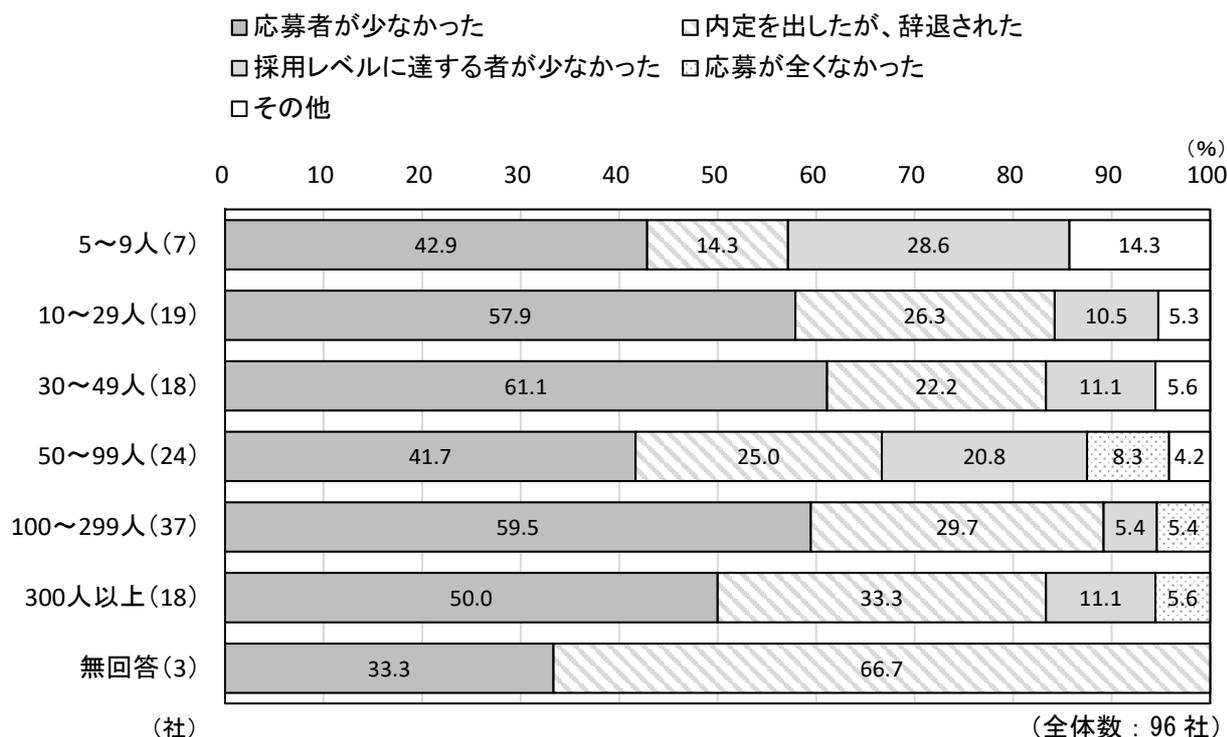
図表8-2 業種別 新卒者が充足しなかった理由（複数回答）



(社)

※回答数2社以下の業種を除く。(全体数: 96社)

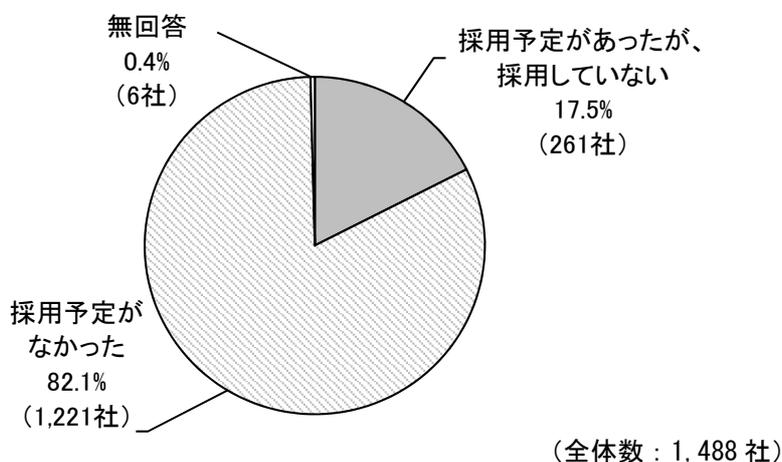
図表 8-3 従業員規模別 新卒者が充足しなかった理由（複数回答）



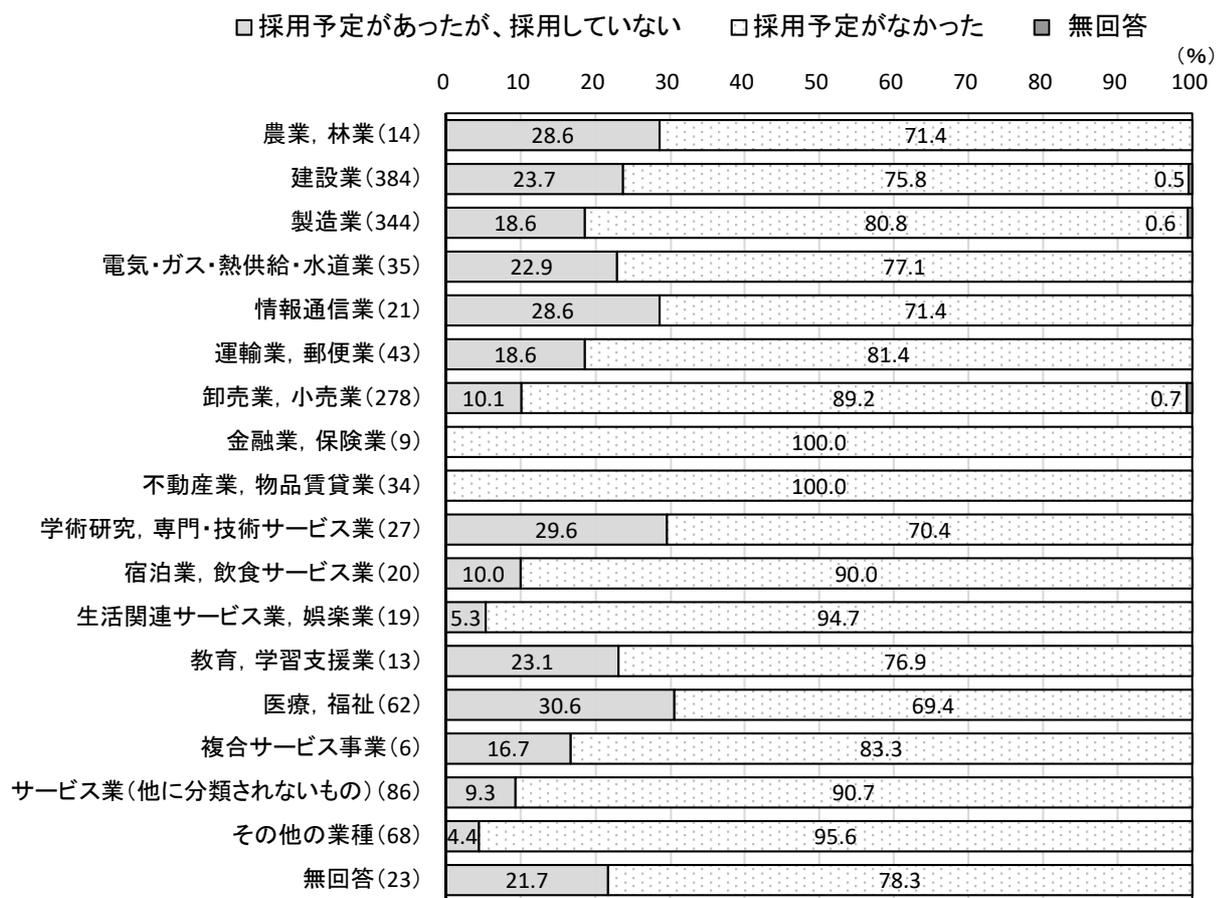
●令和4年4月に新卒者を採用しなかった理由

- 令和4年4月に新卒者の採用がなかった理由としては、「採用予定がなかった」(82.1%)、「採用予定があったが、採用していない」(17.5%)となっている。
- 「採用予定があったが、採用していない」を業種別で見ると、「医療・福祉」(30.6%)の割合が最も高く、「学術研究、専門・技術サービス業」(29.6%)が続いている。
- 「採用予定があったが、採用していない」を従業員規模別でみると、「100～299人」(39.5%)で最も高くなっている。

図表 9-1 新卒者を採用しなかった理由



図表 9-2 業種別 新卒者を採用しなかった企業の割合

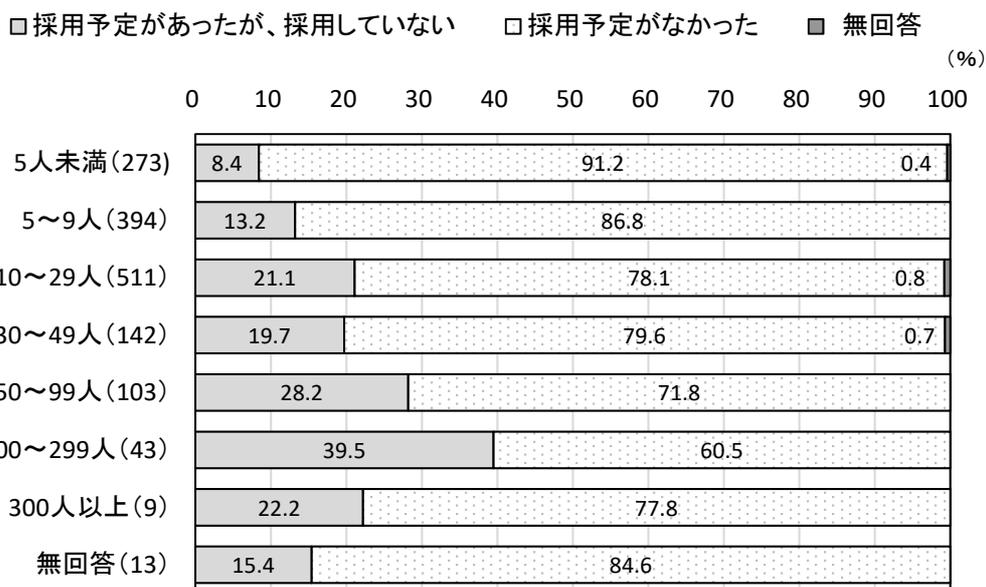


(社)

(全体数 : 1,486 社)

※回答数 1 社の業種を除く。

図表 9-3 従業員規模別 新卒者を採用しなかった企業の割合



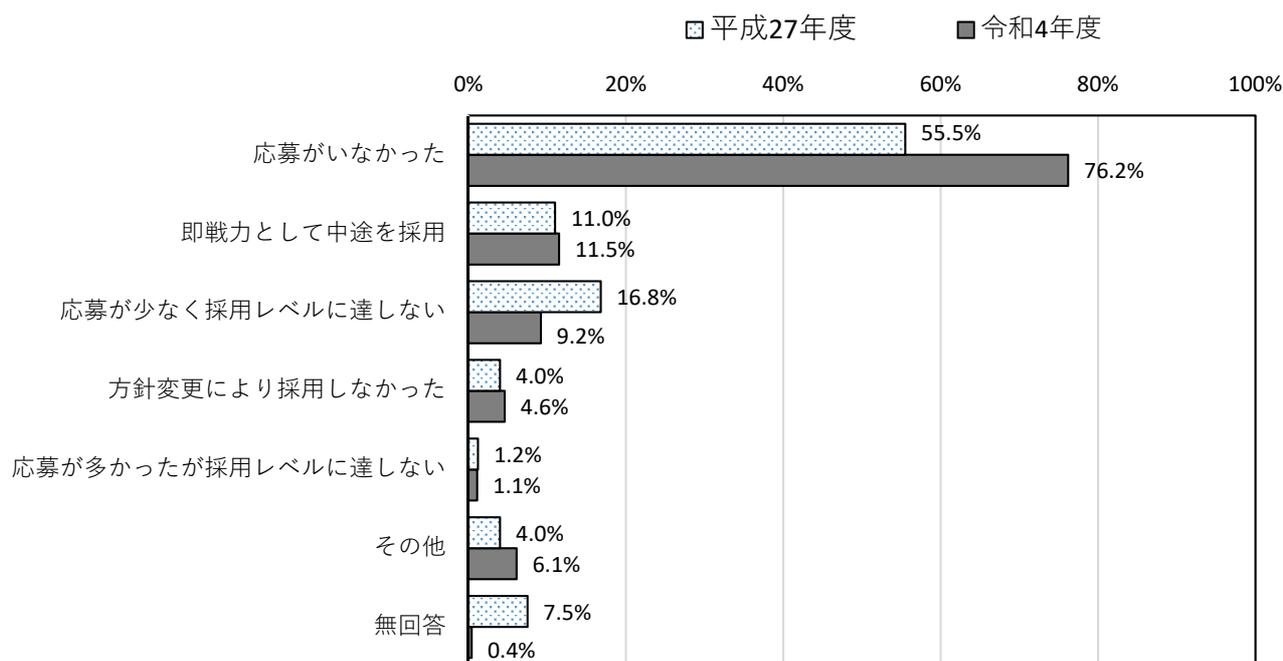
(社)

(全体数 : 1,488 社)

●令和4年4月に新卒者の採用予定があったが、採用できなかった理由（複数回答）

- 新卒者の「採用予定があったが、採用できなかった」企業の理由として、最も多かったのは「応募者がいなかった」（76.2%）である。次いで「即戦力として中途採用を優先した」（11.5%）、「応募者がすくなかったので採用レベルに達する者がいなかった」（9.2%）と続く。
- 平成27年度調査と比較すると、「応募者がいなかった」が55.5%から76.2%へ20.7%と増加した。新卒者を募集しても応募がなく、採用が難しくなっている企業が増えている。
- 5社以上の回答のあった「採用予定があったが、採用できなかった」企業のうち、「応募者がいなかった」企業の割合を業種別にみると、「電気・ガス・熱供給・水道業」、「学術研究、専門・技術サービス業」で100%、「医療・福祉」が89.5%、「建設業」が86.8%、「運輸業・郵便業」が75.0%と高い割合となった。
- 「採用予定があったが、採用できなかった」企業のうち、「応募者がいなかった」企業を従業員規模別にみると、「30人以上49人以下」が85.7%で最も高い割合となった。

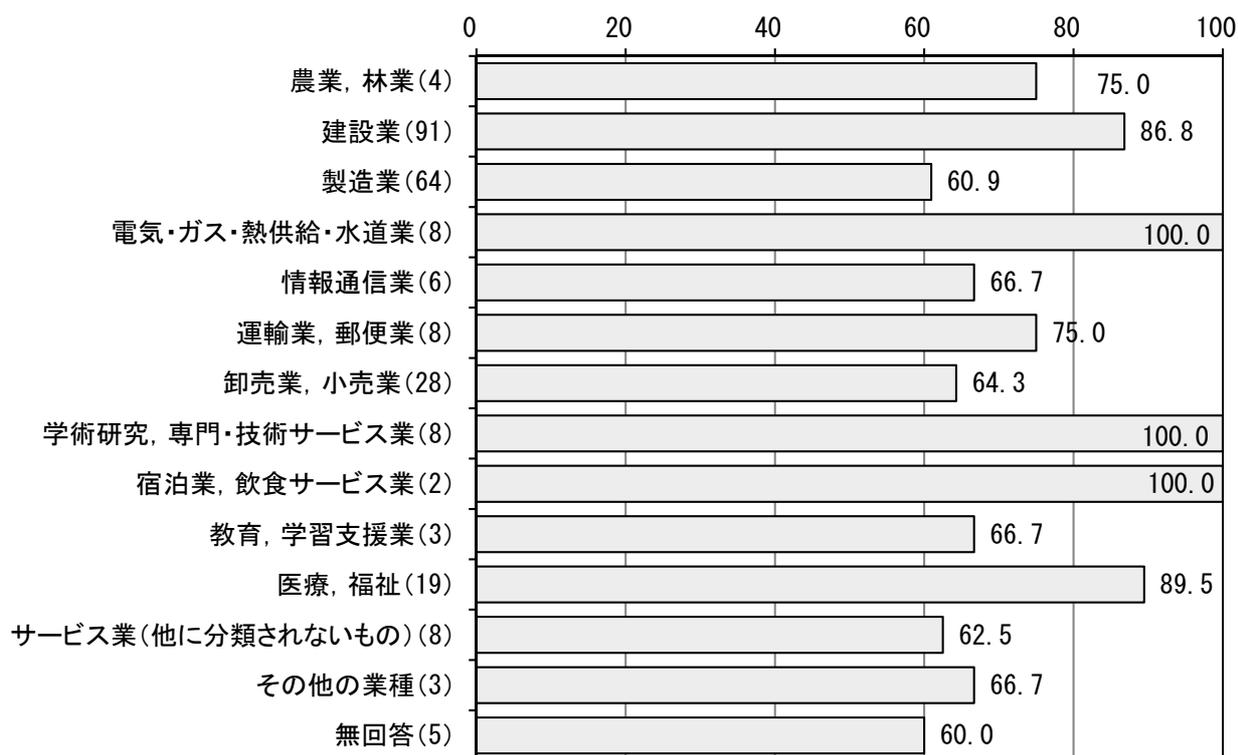
図表10-1 新卒者の採用予定があったが、採用できなかった理由（経年変化）



(R4 全体数：261社、H27 全体数：173社)

Ⅶ. 浜松市内企業

図表 10-2 業種別 新卒者採用予定があったが、応募者がいなかった割合 (%)



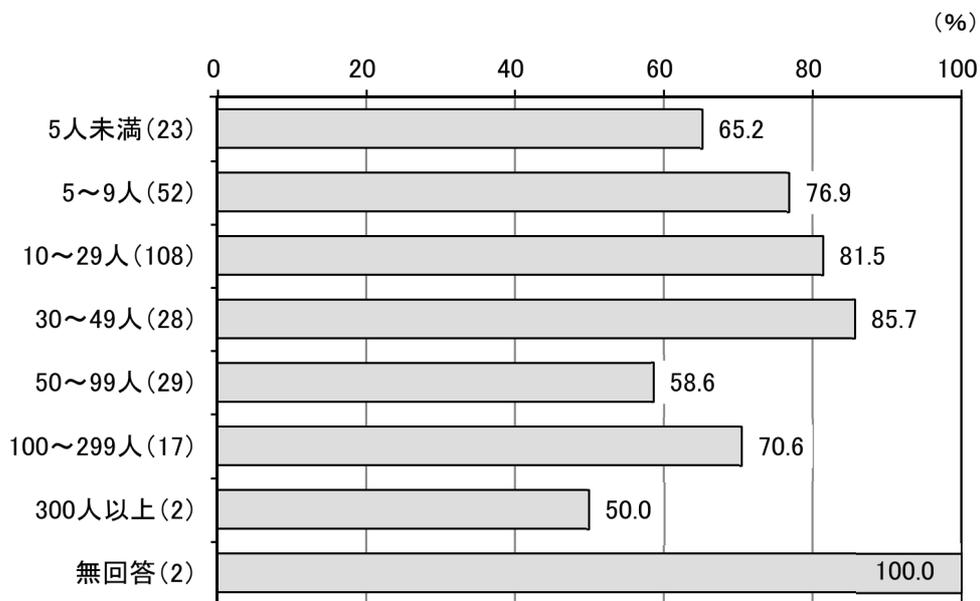
(社)

(全体数 : 257 社)

※括弧内の数値は「採用予定があったが、採用していない」企業数。

※回答数 1 社の業種を除く。

図表 10-3 従業員規模別 新卒者採用予定があったが、応募者がいなかった割合



(社)

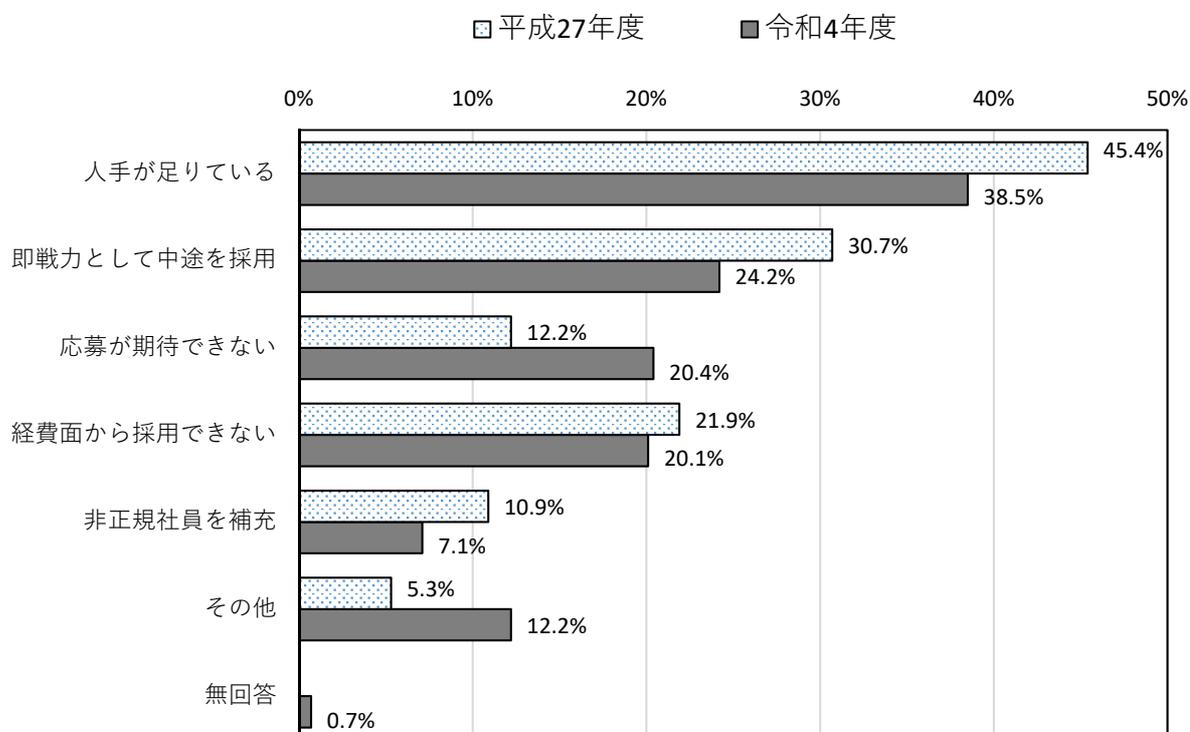
(全体数 : 261 社)

※括弧内の数値は「採用予定があったが、採用していない」企業数。

●令和4年4月入社の新卒者採用予定がなかった理由

- 「採用予定がなかった」理由について、最も割合が高いのは「人手が足りている」(38.5%)、次いで、「即戦力として中途採用を補充した」(24.2%)となった。
- 平成27年度調査と比較すると、「人手が足りている」と回答した割合は45.4%から38.5%へ6.9%減少し、「応募が期待できない」が12.2%から20.4%へ8.2%増加しており、新卒採用をあきらめてしまっている企業が増えている。
- 「採用予定がなかった」理由のうち「人手が足りている」を業種別にみると「不動産業・物品賃貸業」(62.2%)、次に「学術研究、専門・技術サービス業」(57.1%)、「教育・学習支援業」(50.0%)が高い割合となっている。「即戦力として中途採用を補充」では、「運輸業・郵便業」(44.7%)が最も高い。

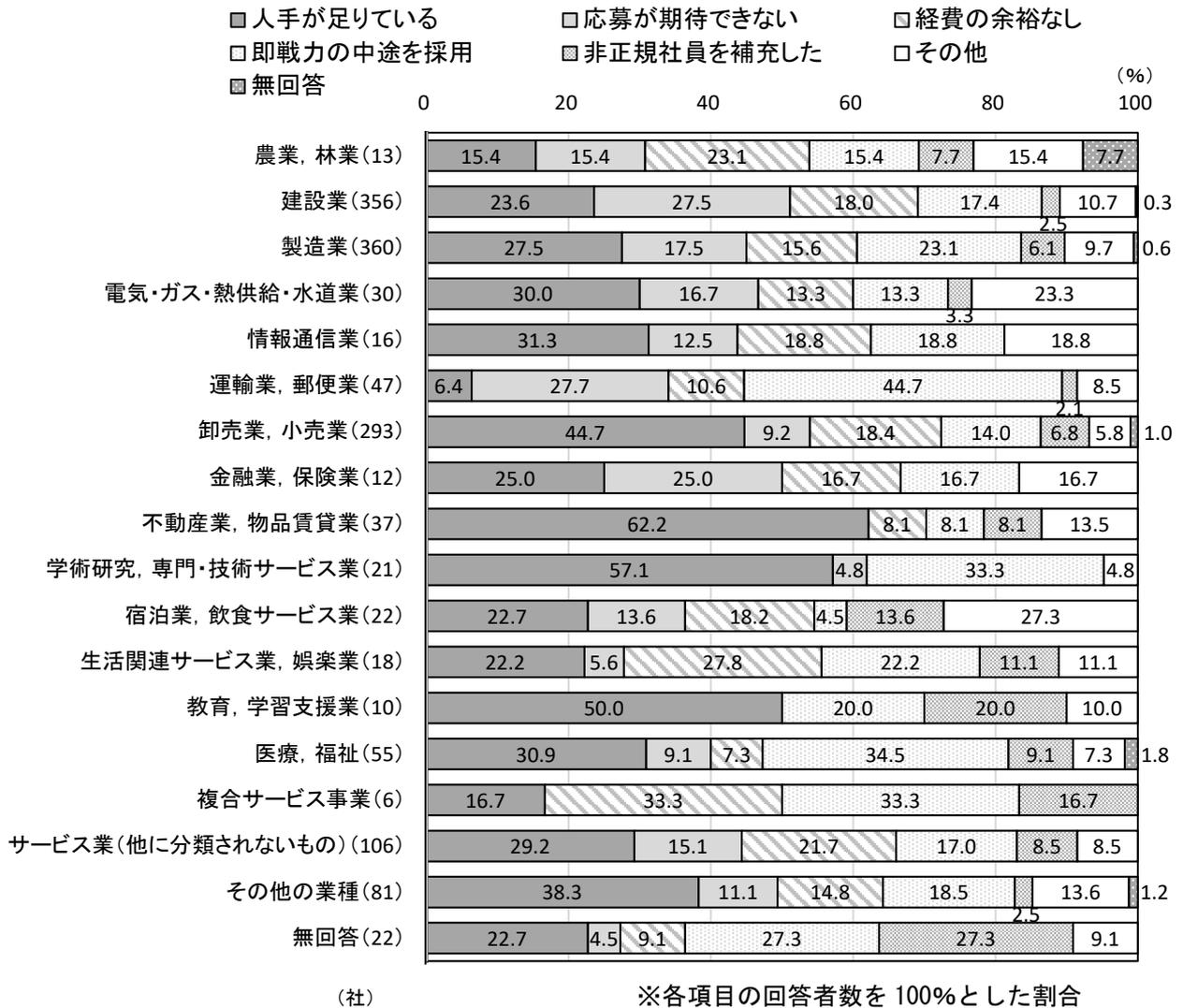
図表11-1 新卒者採用予定がなかった理由(複数回答)(経年変化)



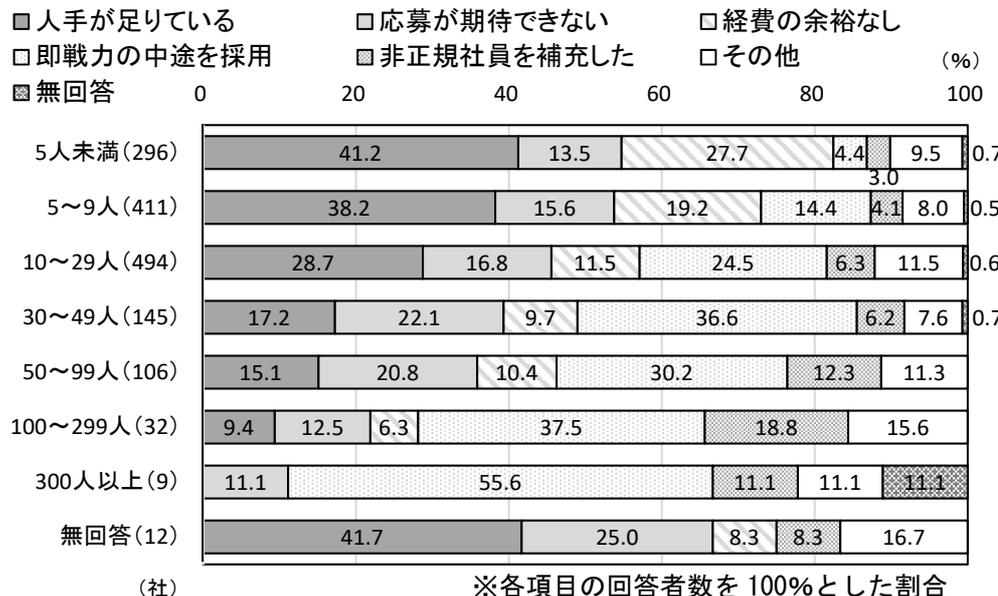
(R4 回答社数 : 1,221 社、H27 回答社数 : 835 社)

Ⅶ. 浜松市内企業

図表 1 1 - 2 業種別 新卒者採用予定がなかった理由（複数回答）



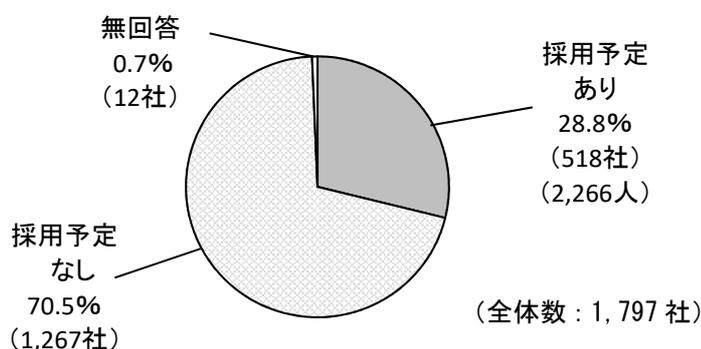
図表 1 1 - 3 従業員規模別 新卒者採用予定がなかった理由（複数回答）



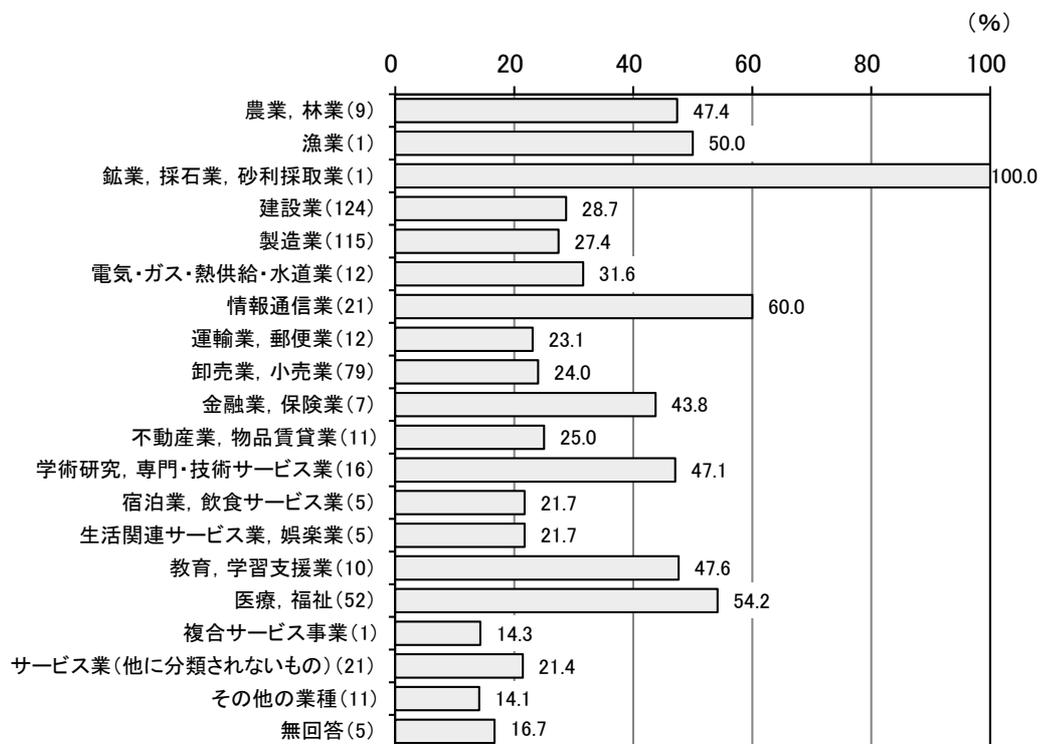
イ. 新卒者採用予定・採用活動について

- 令和5年4月の新卒者採用予定は「採用予定あり」(28.8%)、「採用予定なし」(70.5%)となっている。
- 令和5年4月の新卒採用予定人数は2,266人となる。採用予定人数が最も多いのは「医療・福祉」(560人)となり、「製造業」(462人)、建設業(430人)と続く。
- 理系・文系別の採用予定人数では「理系・文系は問わない」(74.0%)が最も多く、「製造業」、「建設業」では「理系」の採用予定人数が多いが、理系・文系を問わない採用枠も多い。
- 令和5年4月の新卒採用予定人数を、従業員規模別でみると、従業員数が多い企業ほど、新卒を採用する企業の割合が多くなっている。

図表12-1 令和5年4月の新卒者採用予定



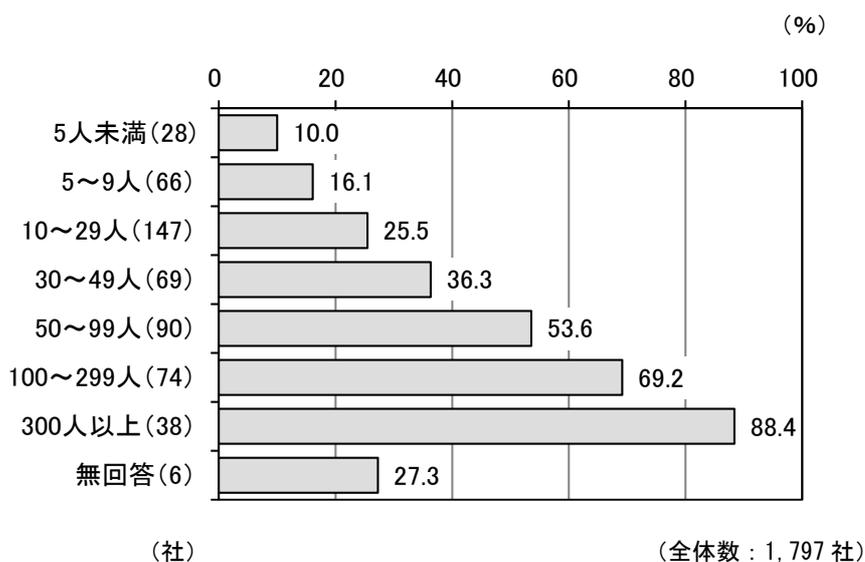
図表12-2 業種別 令和5年4月に新卒者を採用する企業の割合



(社) (全体数 : 1,797社)

※括弧内は令和5年4月に新卒者を採用する業種別企業件数

図表 1 2 - 3 従業員規模別 令和 5 年 4 月に新卒者を採用する企業の割合

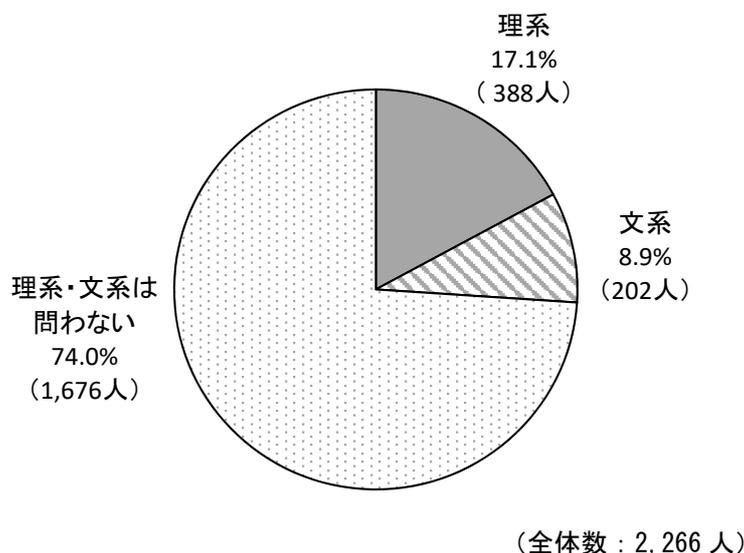


※括弧内は令和 5 年 4 月に新卒者を採用する従業員別企業件数

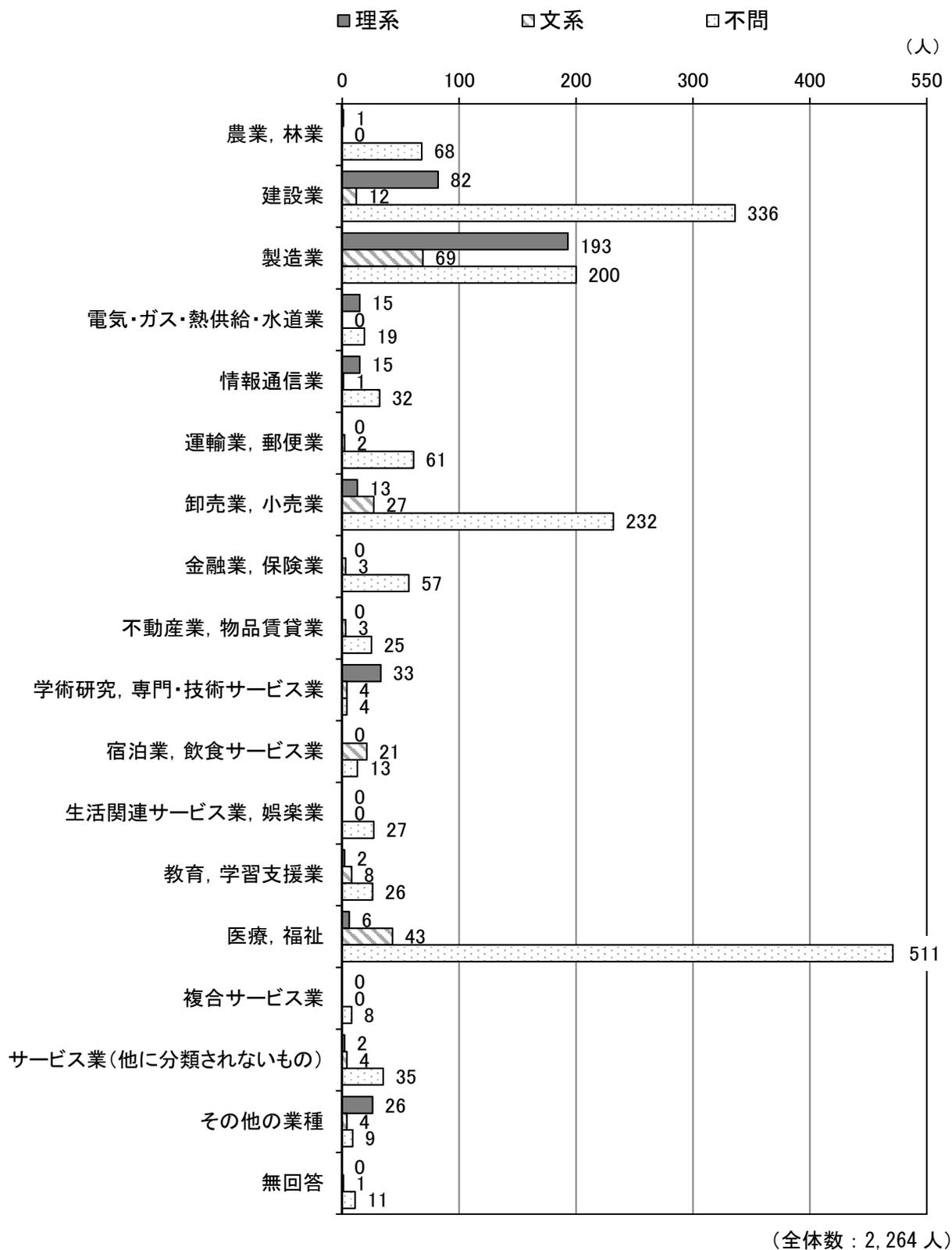
●令和 5 年 4 月の新卒者採用予定<理系・文系>

- 理系・文系別採用予定人数では、「理系・文系は問わない」が圧倒的に多く、理系・文系にこだわらない企業が多い。また、平成 27 年度調査と比較しても、理系・文系・不問の割合にほとんど変化はなかった。

図表 1 3 - 1 理系・文系別 新卒者採用予定人数



図表 1 3 - 2 業種別・理系文系別 新卒者採用予定人数

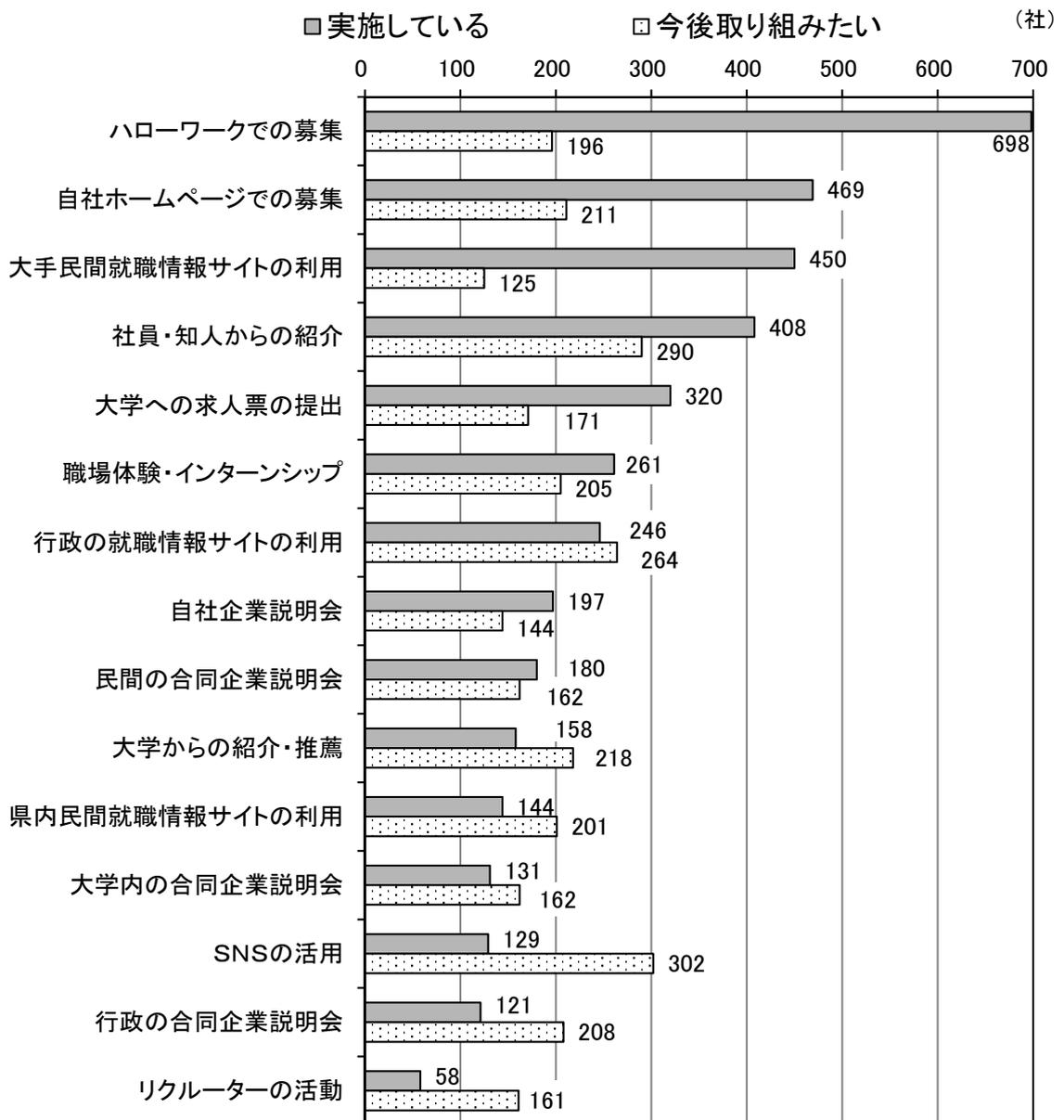


※上記は採用予定 1 名の業種を除く。

●今までの新卒者採用活動と今後の採用活動

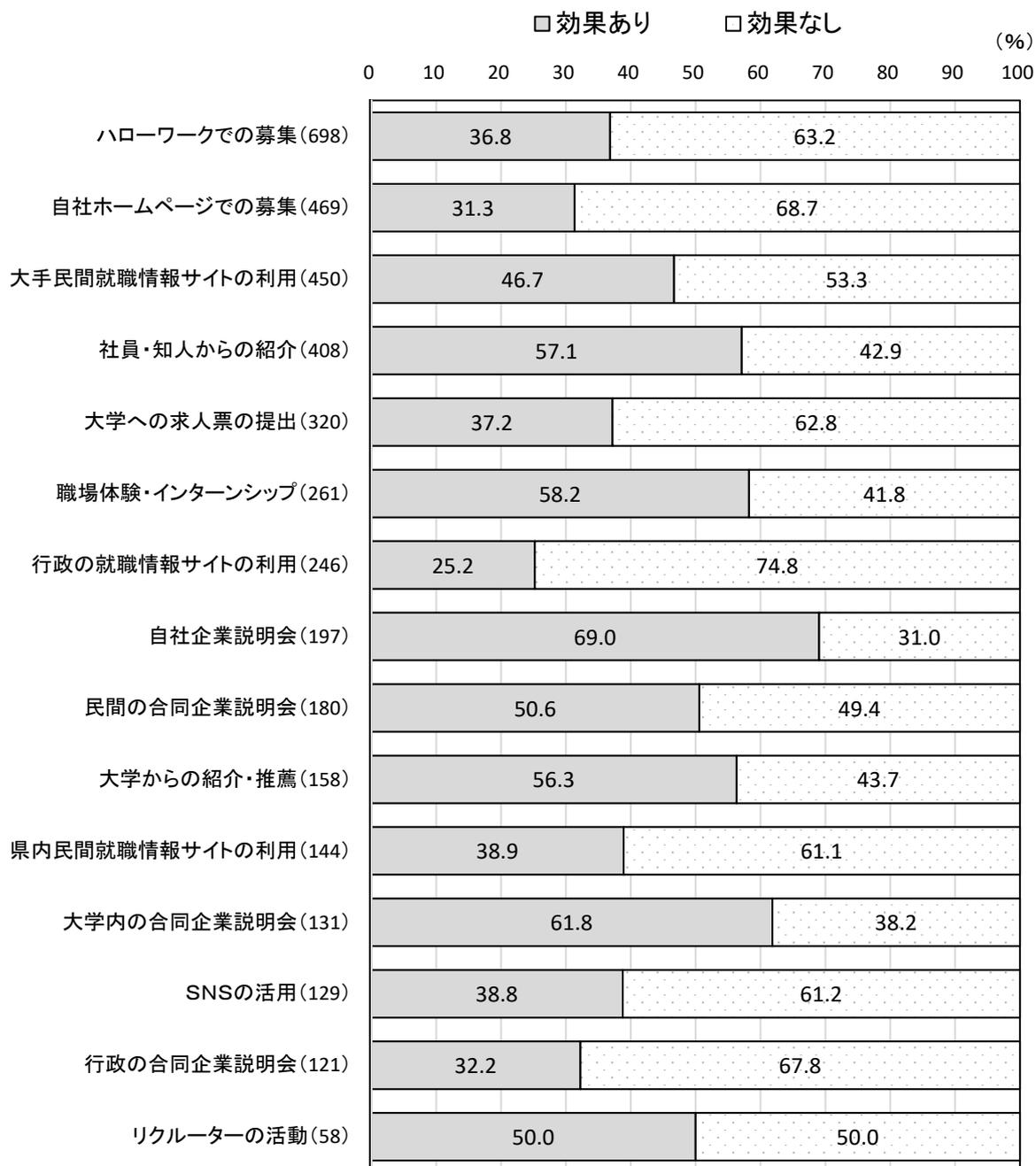
- 新卒者の採用活動として、実施していることが多いのは「ハローワークでの募集」が最多。次いで「自社ホームページでの募集」、「大手民間就職情報サイトの利用」となっている。
- 実施した採用活動で効果が高いのは「自社企業説明会」69.0%で、「大学内の合同企業説明会」61.8%、「職場体験・インターンシップ」58.2%と続く。
- 新卒者の採用で「今後取り組みたいこと」は、「SNSの活用」が最多、「社員・知人からの紹介」、「行政の就職情報サイト」、「大学からの紹介・推薦」と続いている。

図表 1 4 - 1 今までの新卒者採用活動と今後の採用活動（複数回答）



(全体数 : 1,797 社)

図表 1 4 - 2 今までの新卒者採用活動の効果（複数回答）



(社) ※各採用活動を実施した回答者を 100%とした場合

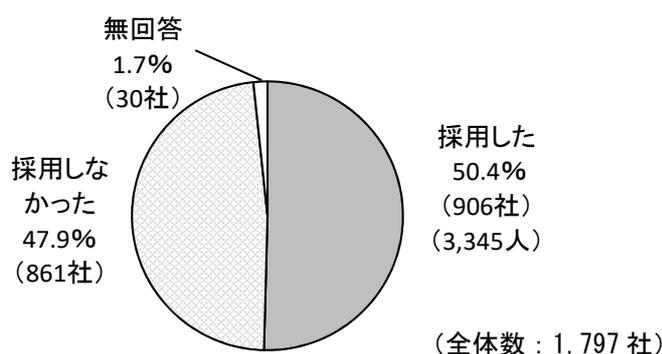
(3) 中途採用について

ア. 採用実績について

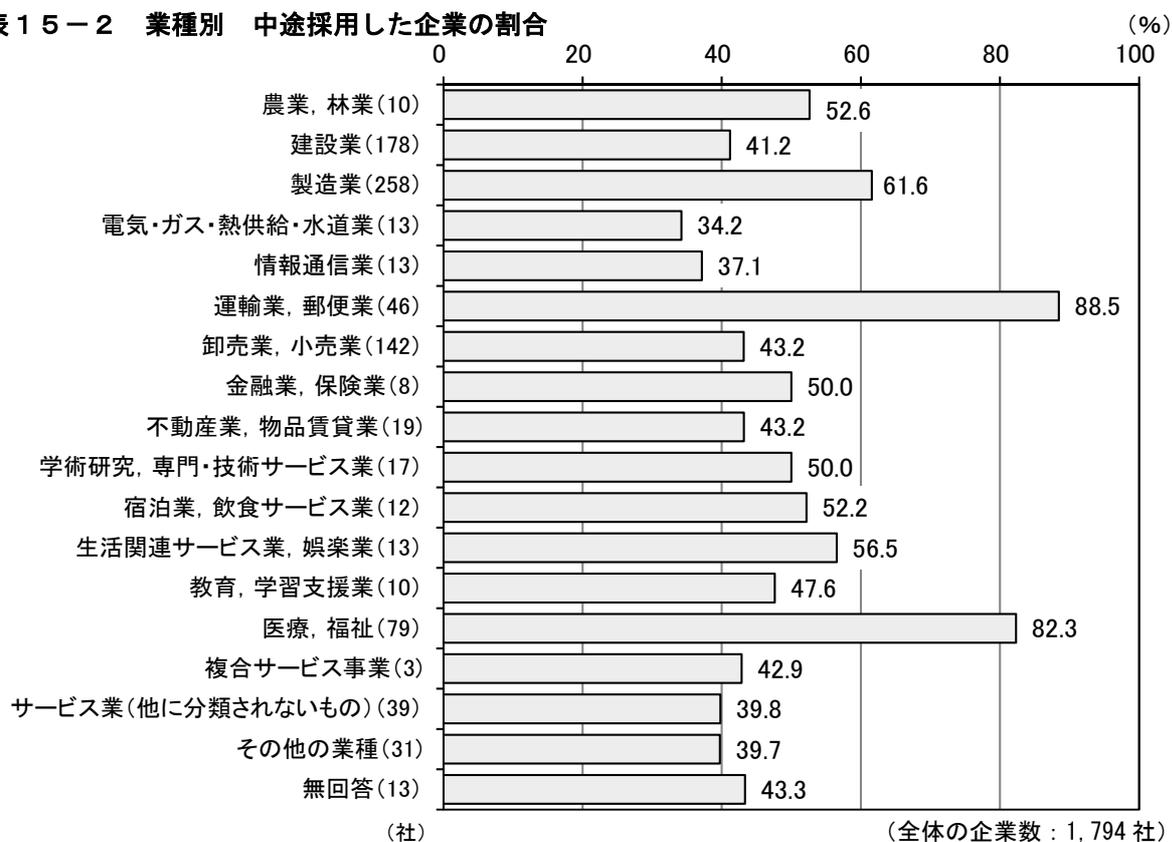
●令和3年度中の中途採用の有無

- 令和3年度に中途採用を行った浜松市内の企業は50.4%と約半数の企業で採用実績があり、採用人数は3,345人であった。
- 中途採用を行った企業を業種別にみると、「運輸業・郵便業」(88.5%)、「医療・福祉」(82.3%)、「製造業」(61.6%)が高い。

図表15-1 中途採用の有無



図表15-2 業種別 中途採用した企業の割合

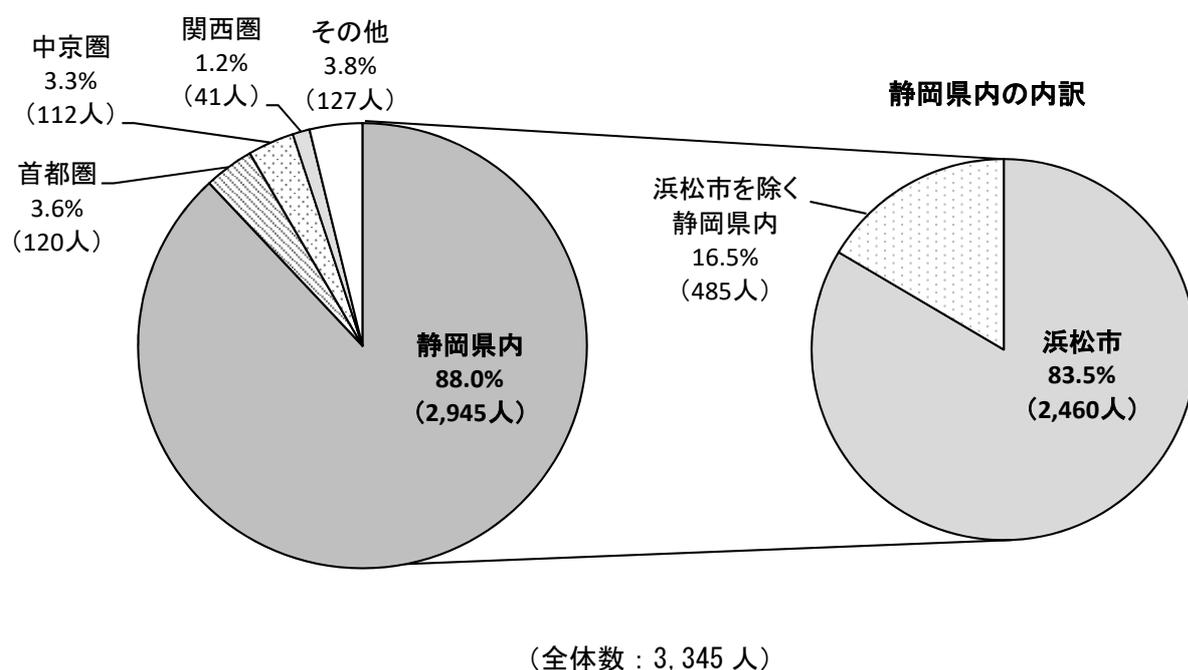


※回答数1社の業種を除く。

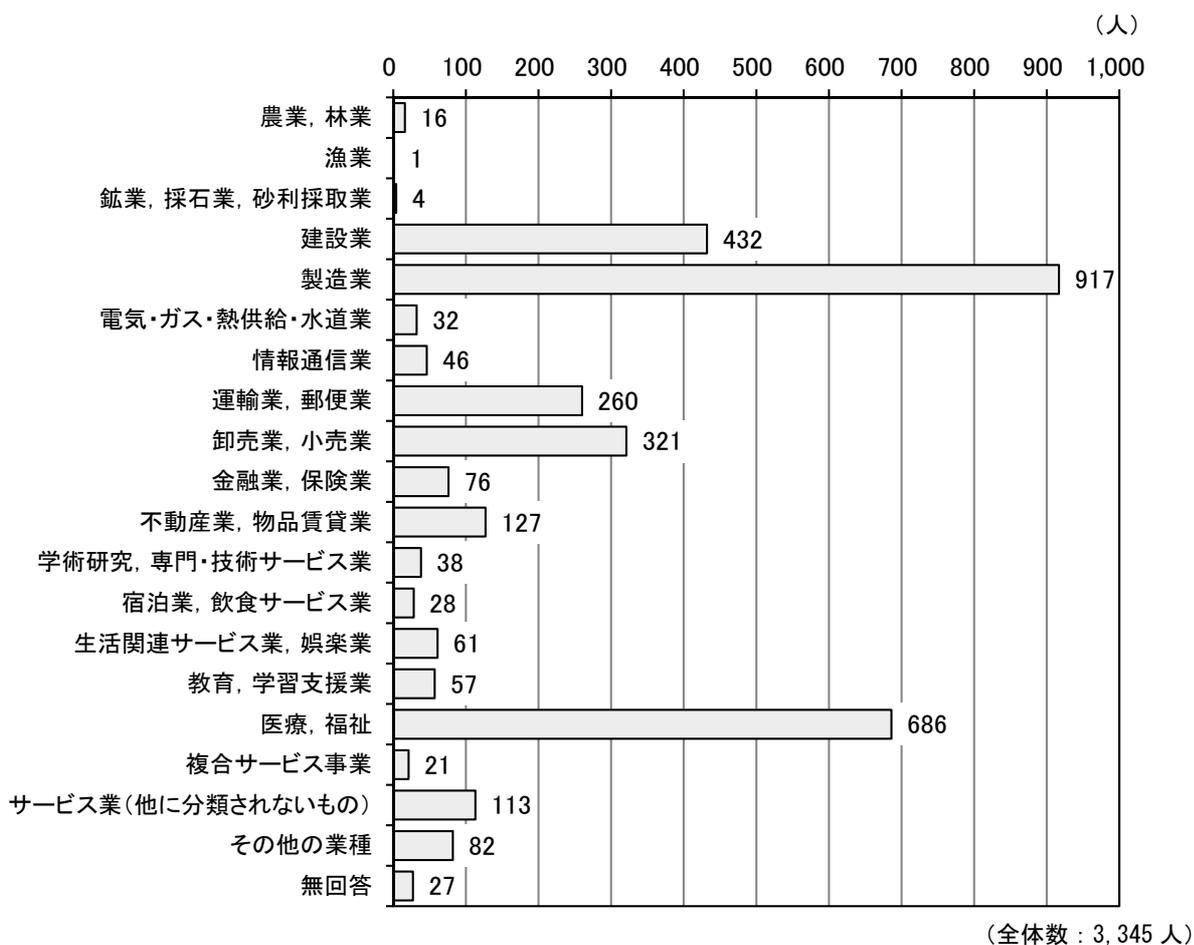
●令和3年度の中途採用者の採用状況

- 中途採用者の採用直前の居住地は、「静岡県内」が88.0%である。そのうち「浜松市」は83.5%である。
- 業種別にみると、「製造業」が917人で最も多く、「医療・福祉」が686人、「建設業」432人と続く。
- 従業員規模別にみると、「100～299人」が736人で最も多く、「10～29人」が698人、「300人以上」626人と続き、新卒採用は従業員規模に比例して採用数が多かったが、中途採用は従業員10人以上の規模の企業では満遍なく採用されている。

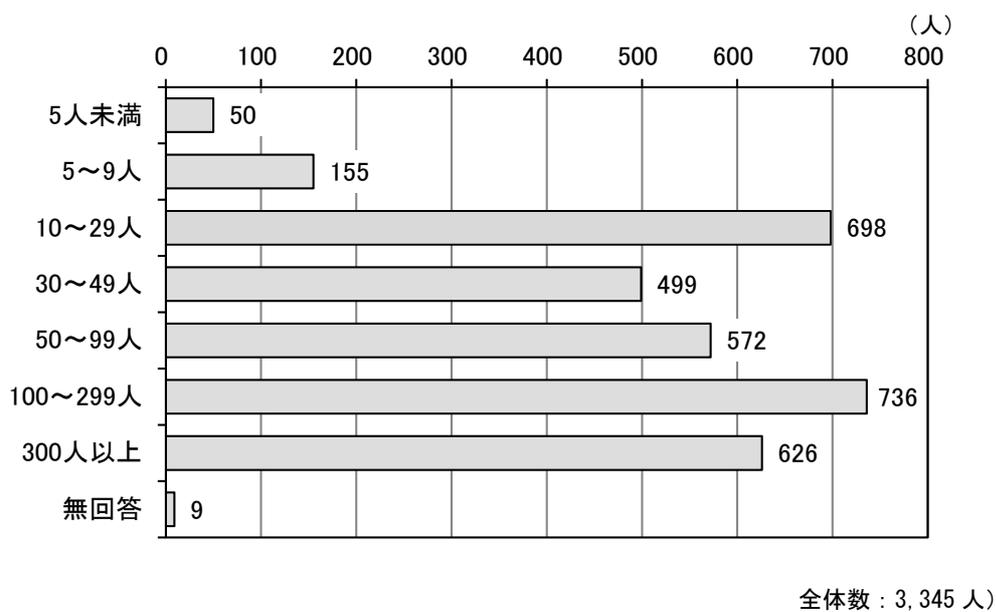
図表16-1 中途採用者の採用前居住地



図表 16-2 業種別 中途採用者数



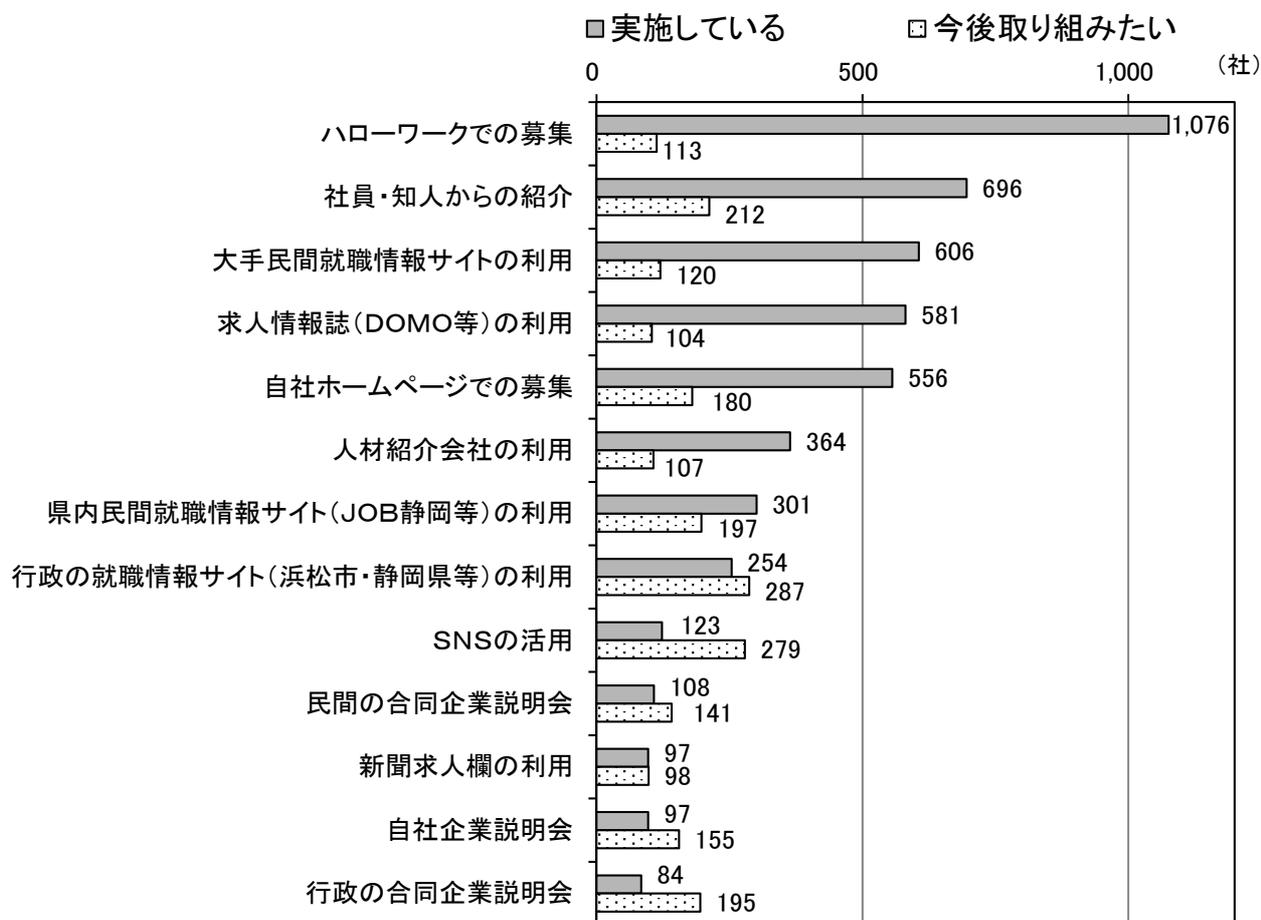
図表 16-3 従業員規模別 中途採用者数



●中途採用活動実施状況と今後の取り組み

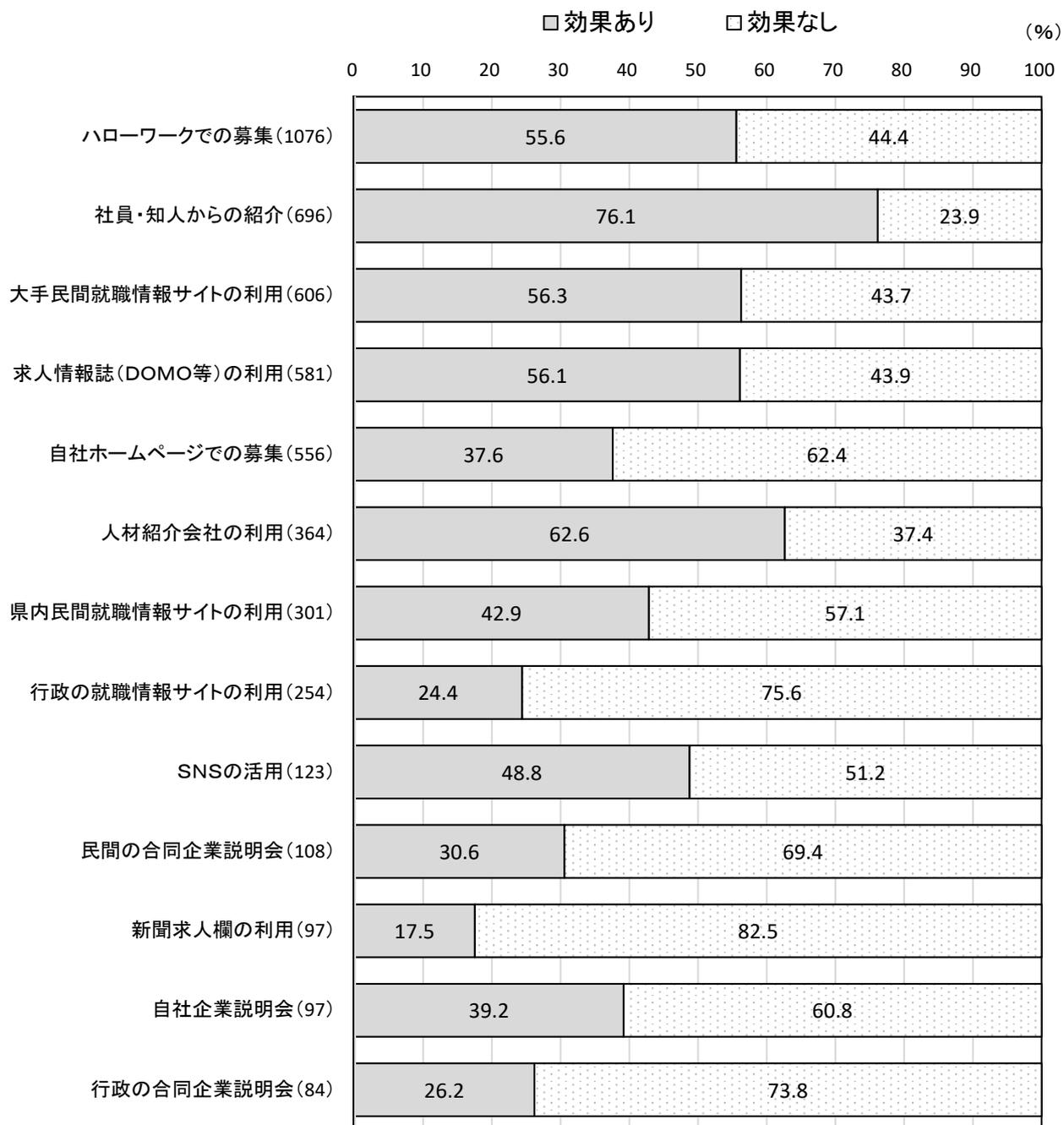
- 中途採用活動を「実施している」では、「ハローワークでの募集」が最も多く、次いで「社員・知人からの紹介」、「大手民間就職情報サイトの利用」の順となっている。
- 効果が高いと回答した活動は、「社員・知人からの紹介」76.1%、「人材紹介会社の利用」62.6%、「大手民間就職情報サイト」56.3%が高かった。
- 中途採用活動として今後取り組みたいものは、「行政の就職情報サイトの利用」が最多。「SNSの活用」、「社員・知人からの紹介」と続いている。

図表 17-1 中途採用活動実施状況と今後の取り組み（複数回答）



(全体数 1,797 社)

図表 17-2 中途採用活動の効果（複数回答）



※各項目の回答社数を 100%とした割合

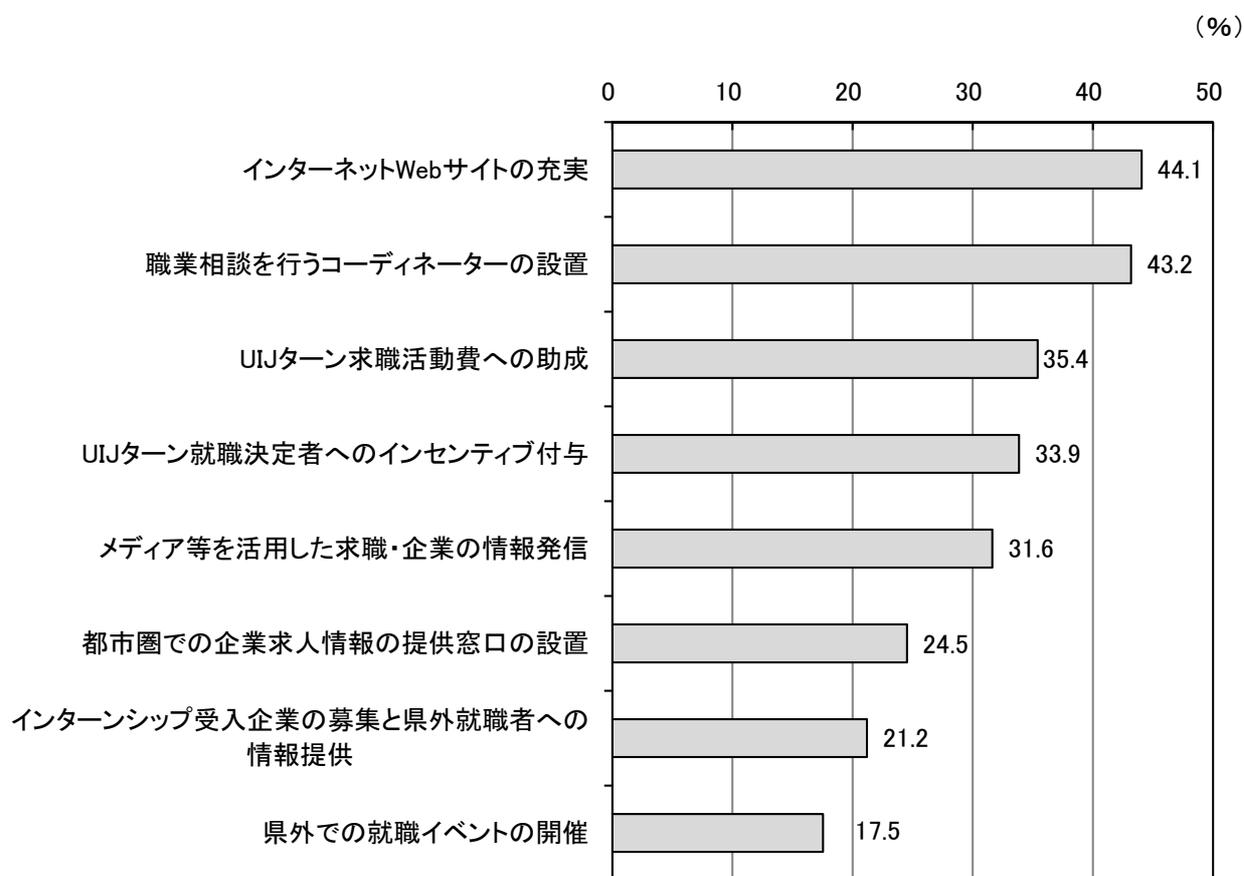
## (4) 今後の採用活動について

## ●浜松市に期待すること

今後の採用活動を行ううえで、「浜松市に期待すること」について、1,797社のうち「特になし」、「無回答」を除く901社から2,265件の回答があった。

- ▶「浜松市に期待すること」は、「インターネット Web サイトの充実」(44.1%)、「職業相談を行うコーディネーターの設置」(43.2%)、「UIJ ターン求職活動費への助成」(35.4%)、「UIJ ターン就職決定者へのインセンティブ付与」(33.9%)、「メディア等を活用した求職・企業の情報発信」(31.6%)の順となる。
- ▶業種別と従業員規模別ごとの集計に加え、業種別と従業員規模別のクロス集計を行い、付表を添付した。  
(次ページより添付)

図表 18 浜松市に期待すること



(全体数：901社)

Ⅶ. 浜松市内企業

付表 1-1 業種別浜松市に期待すること

業 種	企業数	期待すること（複数回答可）	期待すること							
			市内企業と県外求職者等をマッチングするインターネットWebサイトの充実	市内へのUIJターン就職希望者に対する職業相談を行うコーディネーターの配置	求職者に対するUIJターン求職活動費（交通費等）への助成	付与（例 引越越し費用等）	UIJターン就職決定者へのインセンティブ	企業の情報発信	メディア等を活用した求職・	浜松市内企業求人情報の提供窓口の設置
農業・林業	19	30	4	6	4	5	4	1	2	4
漁業	2	4	1	0	2	1	0	0	0	0
鉱業、採石業、砂利採取業	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	432	433	83	70	56	58	56	49	35	26
製造業	419	597	105	109	81	75	69	57	60	41
電気・ガス・熱供給・水道業	38	61	13	8	10	8	6	5	8	3
情報通信業	35	59	10	9	6	10	7	9	2	6
運輸業、郵便業	52	82	14	14	10	10	14	7	4	9
卸売業、小売業	329	373	65	64	53	50	52	35	22	32
金融業、保険業	16	24	3	5	3	3	3	3	1	3
不動産業、物品賃貸業	44	33	8	4	6	6	3	2	3	1
学術研究、専門・技術サービス業	34	77	12	15	10	7	6	10	11	6
宿泊業、飲食サービス業	23	37	6	4	6	6	4	3	6	2
生活関連サービス業、娯楽業	23	10	2	1	2	2	2	0	1	0
教育、学習支援業	21	47	4	6	9	6	10	5	5	2
医療・福祉	96	160	24	37	20	17	22	14	15	11
複合サービス事業	7	4	1	0	2	0	0	1	0	0
サービス業（他に分類されないもの）	98	112	22	18	17	18	14	9	8	6
その他の業種	78	97	15	15	17	19	11	9	7	4
無回答	30	25	5	4	5	4	2	2	1	2
合 計	1,797	2,265	397	389	319	305	285	221	191	158

付表1-2 従業員規模別浜松市に期待すること

従業員規模	企業数	期待すること（複数回答可）	期待すること							
			市内企業と県外求職者等をマッチングするインターネットWebサイトの充実	市内へのUIJターン就職希望者に対する職業相談を行うコーディネーターの配置	求職者に対するUIJターン求職活動費（交通費等）への助成	UIJターン就職決定者へのインセンティブ付与（例 引越越し費用等）	企業の情報発信	メディア等を活用した求職・企業の情報発信	浜松市内企業求人情報の提供窓口の設置	首都圏、中京圏や関西圏等での浜松市内企業求人情報の提供窓口の設置
5人未満	280	201	41	32	33	28	27	17	14	9
5～9人	410	346	70	58	48	52	35	33	34	16
10～29人	577	776	135	134	121	100	102	73	67	44
30～49人	190	293	47	56	37	45	33	32	20	23
50～99人	168	306	50	48	40	38	39	32	29	30
100～299人	107	222	37	42	25	26	31	25	18	18
300人以上	43	109	17	16	10	13	18	9	9	17
無回答	22	12	0	3	5	3	0	0	0	1
合計	1,797	2,265	397	389	319	305	285	221	191	158

Ⅶ. 浜松市内企業

付表 2-1 業種別、従業員別「浜松市に期待すること」

「県外での就職イベント（合同面接会・説明会等）の開催」

業種	従業員規模		5人未満	5～9人	10～29人	30～49人	50～99人	100～299人	300人以上	無回答	合計
	全体企業数		280	410	577	190	168	107	43	22	1,797
農業、林業	19		1	1	1	1					4
漁業	2										
鉱業、採石業、砂利採取業	1										
建設業	432		1	5	12	5	2	1			26
製造業	419		2	3	8	5	10	7	6		41
電気・ガス・熱供給・水道業	38		1					1		1	3
情報通信業	35				2	2	2				6
運輸業、郵便業	52				1		3	2	3		9
卸売業、小売業	329		4	4	8	5	7	1	3		32
金融業、保険業	16			1	1			1			3
不動産業、物品賃貸業	44						1				1
学術研究、専門・技術サービス業	34				3	3					6
宿泊業、飲食サービス業	23						1		1		2
生活関連サービス業、娯楽業	23										
教育、学習支援業	21			1		1					2
医療、福祉	96			1			3	4	3		11
複合サービス事業	7										
サービス業(他に分類されないもの)	98				4	1		1			6
その他の業種	78				3				1		4
無回答	30				1		1				2
合計	1,797		9	16	44	23	30	18	17	1	158

付表 2-2 業種別、従業員別「浜松市に期待すること」

「メディア等を活用した求職・企業の情報発信」

業種	従業員規模		5人未満	5～9人	10～29人	30～49人	50～99人	100～299人	300人以上	無回答	合計
	全体企業数		280	410	577	190	168	107	43	22	1,797
農業、林業	19			1	1	1			1		4
漁業	2										
鉱業、採石業、砂利採取業	1										
建設業	432		12	8	25	7	2	2			56
製造業	419		1	7	23	9	15	8	6		69
電気・ガス・熱供給・水道業	38		1	2	1		1	1			6
情報通信業	35			1	4	1	1				7
運輸業、郵便業	52				2	2	4	2	4		14
卸売業、小売業	329		10	9	17	4	5	5	2		52
金融業、保険業	16				1		1		1		3
不動産業、物品賃貸業	44				1	1	1				3
学術研究、専門・技術サービス業	34		1	1	4						6
宿泊業、飲食サービス業	23					2	1	1			4
生活関連サービス業、娯楽業	23			1			1				2
教育、学習支援業	21			1	4	2	2		1		10
医療、福祉	96			2	5	3	2	8	2		22
複合サービス事業	7										
サービス業(他に分類されないもの)	98		1	1	7		2	3			14
その他の業種	78		1	1	6	1	1		1		11
無回答	30				1			1			2
合計	1,797		27	35	102	33	39	31	18		285

付表 2-3 業種別、従業員別「浜松市に期待すること」

## 「首都圏、中京圏や関西圏等での浜松市内企業求人情報の提供窓口の設置」

業種	従業員規模								無回答	合計
	全体企業数	5人未満	5～9人	10～29人	30～49人	50～99人	100～299人	300人以上		
	全体企業数	280	410	577	190	168	107	43	22	1,797
農業、林業	19			1						1
漁業	2									
鉱業、採石業、砂利採取業	1									
建設業	432	6	10	16	9	4	3	1		49
製造業	419	2	6	12	6	16	12	3		57
電気・ガス・熱供給・水道業	38	1	1	2			1			5
情報通信業	35		1	5	2	1				9
運輸業、郵便業	52			2		2	3			7
卸売業、小売業	329	3	9	12	4	7				35
金融業、保険業	16			1				2		3
不動産業、物品賃貸業	44				1			1		2
学術研究、専門・技術サービス業	34	1		6	2	1				10
宿泊業、飲食サービス業	23			1	1		1			3
生活関連サービス業、娯楽業	23									
教育、学習支援業	21		1	2	2					5
医療、福祉	96		1	2	5	1	4	1		14
複合サービス事業	7			1						1
サービス業(他に分類されないもの)	98	2	2	5						9
その他の業種	78	1	2	5				1		9
無回答	30	1					1			2
合計	1,797	17	33	73	32	32	25	9		221

付表 2-4 業種別、従業員別「浜松市に期待すること」

## 「市内へのUIJターン就職希望者に対する職業相談を行うコーディネーターの配置」

業種	従業員規模								無回答	合計
	全体企業数	5人未満	5～9人	10～29人	30～49人	50～99人	100～299人	300人以上		
	全体企業数	280	410	577	190	168	107	43	22	1,797
農業、林業	19		1	4	1					6
漁業	2									
鉱業、採石業、砂利採取業	1									
建設業	432	9	13	28	12	4	3	1		70
製造業	419	5	10	35	15	22	19	3		109
電気・ガス・熱供給・水道業	38	2	3	1	1		1			8
情報通信業	35		1	4	3	1				9
運輸業、郵便業	52			4		7	1	2		14
卸売業、小売業	329	7	16	21	8	6	2	3	1	64
金融業、保険業	16			1	1		1	2		5
不動産業、物品賃貸業	44	1		1	1	1				4
学術研究、専門・技術サービス業	34	1	3	8	3					15
宿泊業、飲食サービス業	23			1	1		2			4
生活関連サービス業、娯楽業	23							1		1
教育、学習支援業	21		1	3	1	1				6
医療、福祉	96		1	8	8	3	12	4	1	37
複合サービス事業	7									
サービス業(他に分類されないもの)	98	3	4	5	1	3	1		1	18
その他の業種	78	4	3	8						15
無回答	30		2	2						4
合計	1,797	32	58	134	56	48	42	16	3	389

Ⅶ. 浜松市内企業

付表 2-5 業種別、従業員別「浜松市に期待すること」

「市内企業と県外求職者等をマッチングするインターネットWebサイトの充実」

業種	従業員規模	5人未満	5～9人	10～29人	30～49人	50～99人	100～299人	300人以上	無回答	合計
	全体企業数	280	410	577	190	168	107	43	22	1,797
農業、林業	19		1	3						4
漁業	2			1						1
鉱業、採石業、砂利採取業	1									
建設業	432	15	14	40	9	2	2	1		83
製造業	419	6	13	27	16	21	16	6		105
電気・ガス・熱供給・水道業	38	3	4	4	1		1			13
情報通信業	35		2	5	1	1		1		10
運輸業、郵便業	52			7	2	4	1			14
卸売業、小売業	329	8	18	20	6	6	5	2		65
金融業、保険業	16		1					2		3
不動産業、物品賃貸業	44	2			1	4		1		8
学術研究、専門・技術サービス業	34	1	4	4	2		1			12
宿泊業、飲食サービス業	23			3	1		2			6
生活関連サービス業、娯楽業	23		1			1				2
教育、学習支援業	21		1	1	2					4
医療、福祉	96	1		6	5	5	5	2		24
複合サービス事業	7					1				1
サービス業(他に分類されないもの)	98	3	4	7		4	3	1		22
その他の業種	78	2	5	6		1		1		15
無回答	30		2	1	1		1			5
合計	1,797	41	70	135	47	50	37	17		397

付表 2-6 業種別、従業員別「浜松市に期待すること」

「市内企業と県外求職者等をマッチングするインターンシップ受入企業の募集と県外就職者への情報提供」

業種	従業員規模	5人未満	5～9人	10～29人	30～49人	50～99人	100～299人	300人以上	無回答	合計
	全体企業数	280	410	577	190	168	107	43	22	1,797
農業、林業	19		1	1						2
漁業	2									
鉱業、採石業、砂利採取業	1									
建設業	432	5	9	18		1	1	1		35
製造業	419	4	7	17	8	14	7	3		60
電気・ガス・熱供給・水道業	38	2	3	3						8
情報通信業	35		1	1						2
運輸業、郵便業	52			1	1	1		1		4
卸売業、小売業	329	1	7	5	2	4	3			22
金融業、保険業	16						1			1
不動産業、物品賃貸業	44			1		1		1		3
学術研究、専門・技術サービス業	34	1	3	5	1		1			11
宿泊業、飲食サービス業	23			1	2	1	1	1		6
生活関連サービス業、娯楽業	23					1				1
教育、学習支援業	21		1	1	2	1				5
医療、福祉	96	1	1	2	3	3	3	2		15
複合サービス事業	7									
サービス業(他に分類されないもの)	98			5		2	1			8
その他の業種	78		1	5	1					7
無回答	30			1						1
合計	1,797	14	34	67	20	29	18	9		191

付表 2-7 業種別、従業員別「浜松市に期待すること」

「求職者に対するU I Jターン求職活動費（交通費等）への助成」

業 種	従業員規模		5人未満	5～9人	10～29人	30～49人	50～99人	100～299人	300人以上	無回答	合 計
	全体企業数		280	410	577	190	168	107	43	22	1,797
農業、林業	19			1	2		1				4
漁業	2				2						2
鉱業、採石業、砂利採取業	1										
建設業	432	10	11	27	4		3		1		56
製造業	419	8	9	25	11	17	7	4			81
電気・ガス・熱供給・水道業	38	5	2	3							10
情報通信業	35		2	2	1				1		6
運輸業、郵便業	52			3		4	3				10
卸売業、小売業	329	3	10	23	6	6	3	1	1	1	53
金融業、保険業	16			1	1				1		3
不動産業、物品賃貸業	44		1	2	2	1					6
学術研究、専門・技術サービス業	34		2	5	1	1	1				10
宿泊業、飲食サービス業	23			2	2	1	1				6
生活関連サービス業、娯楽業	23					1			1		2
教育、学習支援業	21		1	5	2		1				9
医療、福祉	96	1	1	3	3	5	4	2	1		20
複合サービス事業	7	1		1							2
サービス業(他に分類されないもの)	98	2	3	6	1	3	1		1		17
その他の業種	78	1	5	9	1					1	17
無回答	30	2				2		1			5
合 計	1,797	33	48	121	37	40	25	10	5		319

付表 2-8 業種別、従業員別「浜松市に期待すること」

「U I Jターン就職決定者へのインセンティブ付与（例引っ越し費用等）」

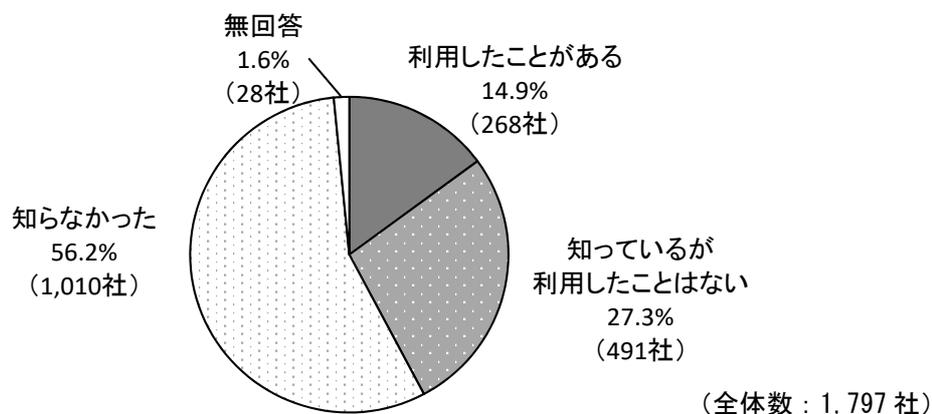
業 種	従業員規模		5人未満	5～9人	10～29人	30～49人	50～99人	100～299人	300人以上	無回答	合 計
	全体企業数		280	410	577	190	168	107	43	22	1,797
農業、林業	19			1	3		1				5
漁業	2				1						1
鉱業、採石業、砂利採取業	1										
建設業	432	8	12	25	8	2	3				58
製造業	419	6	8	20	14	15	7	5			75
電気・ガス・熱供給・水道業	38	4	2	2							8
情報通信業	35		1	4	3	1			1		10
運輸業、郵便業	52			3		2	4	1			10
卸売業、小売業	329	4	16	17	5	4	2	1	1	1	50
金融業、保険業	16					1		1	1		3
不動産業、物品賃貸業	44		1	1	1	2			1		6
学術研究、専門・技術サービス業	34		2	2	1	1	1				7
宿泊業、飲食サービス業	23			3	2		1				6
生活関連サービス業、娯楽業	23					1			1		2
教育、学習支援業	21		1	2	2		1				6
医療、福祉	96	1	1	2	3	5	2	2	1	1	17
複合サービス事業	7										
サービス業(他に分類されないもの)	98		4	7	1	3	2			1	18
その他の業種	78	3	3	8	3	1	1				19
無回答	30	2				1		1			4
合 計	1,797	28	52	100	45	38	26	13	3		305

(5) 「浜松就職・転職ナビJOBはま！」について

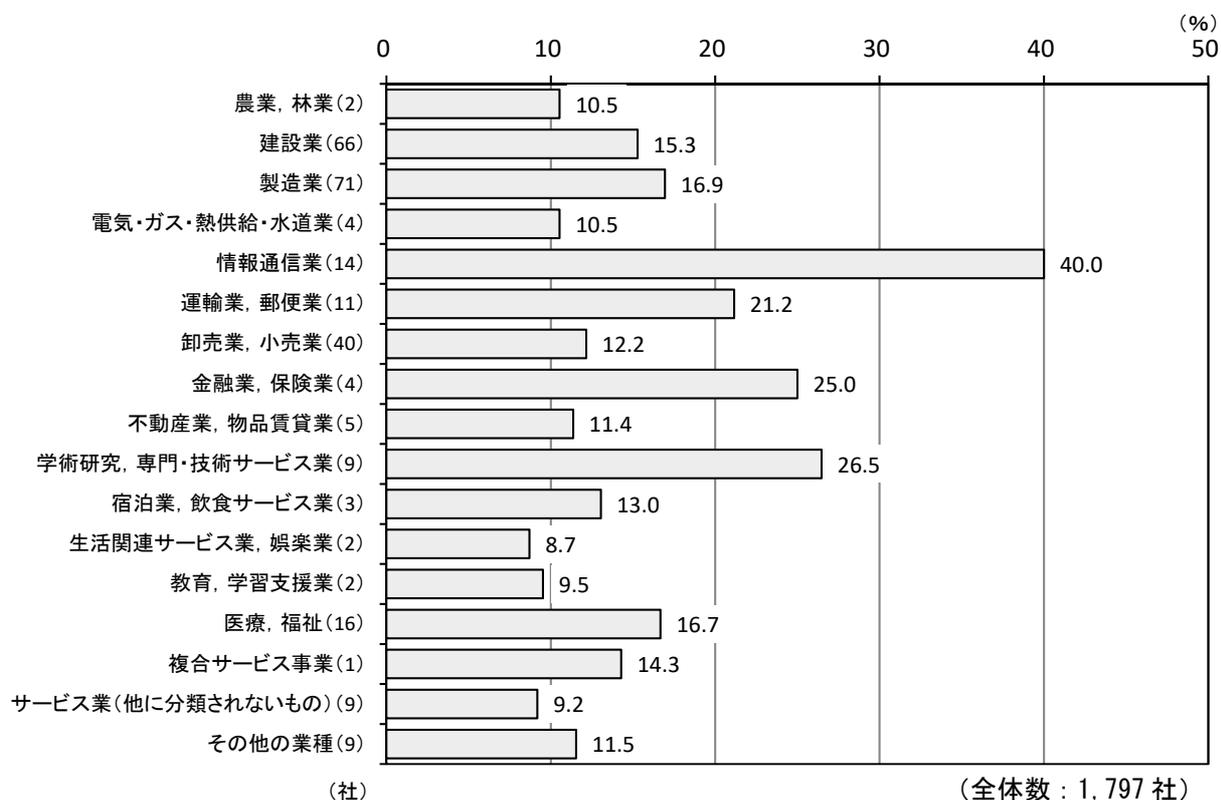
● 「浜松就職・転職ナビJOBはま！」の利用状況

- 「浜松就職・転職ナビJOBはま！」について、「利用したことがある」は14.9%、「知っているが利用したことはない」が27.3%となり、認知度は42.2%であったが、「知らなかった」は56.2%と過半数を超えている。
- 業種別では「情報通信業」(40.0%)の利用割合が最も多く、「学術研究, 専門・技術サービス業」(26.5%)、「金融業・保険業」(25.0%)と続いている。
- 従業員規模別では、「従業員100人以上」で「利用したことがある」の割合が40%以上となっている。

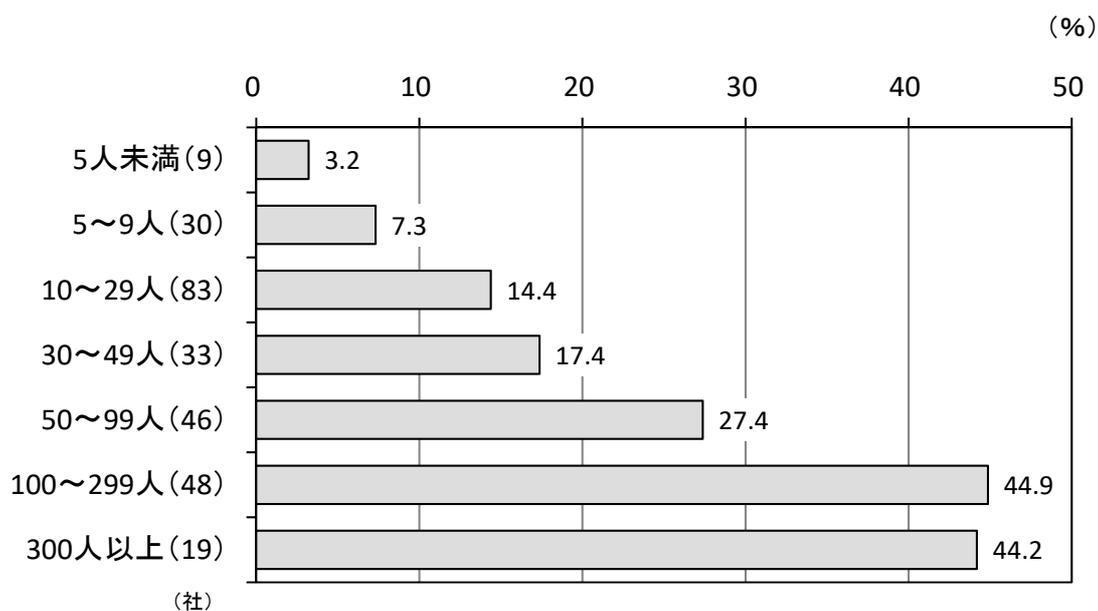
図表19-1 「浜松就職・転職ナビJOBはま！」の利用割合



図表19-2 業種別 「浜松就職・転職ナビJOBはま！」の利用割合



図表 19-3 従業員規模別 「浜松就職・転職ナビJOBはま!」の閲覧割合

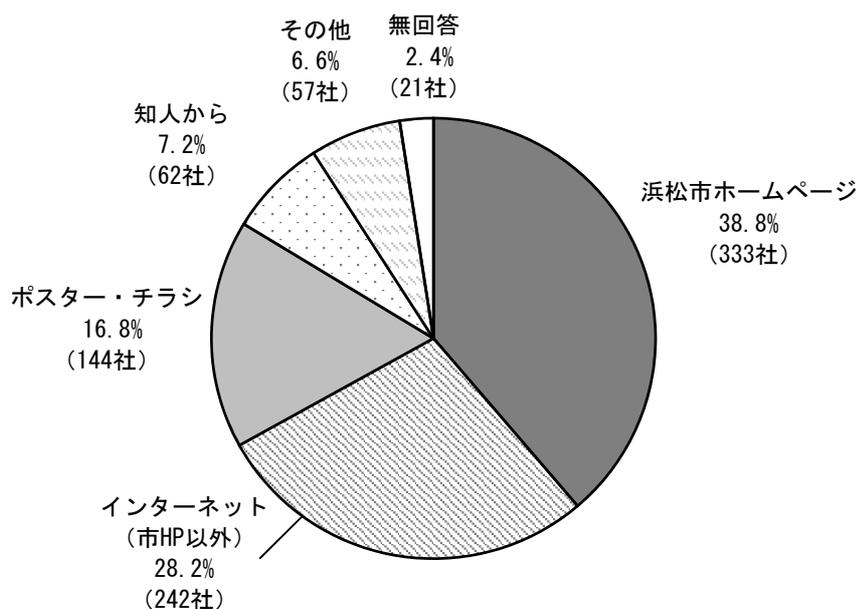


(全体数 : 1,797 社)

● 「浜松就職・転職ナビJOBはま!」の閲覧経路 (複数回答)

- 「浜松就職・転職ナビJOBはま!」を知った経緯について、「浜松市ホームページ」(38.8%)が最も多く、「インターネット (浜松市ホームページ以外)」(28.2%)と続いている。

図表 20 「浜松就職・転職ナビJOBはま!」の閲覧経路



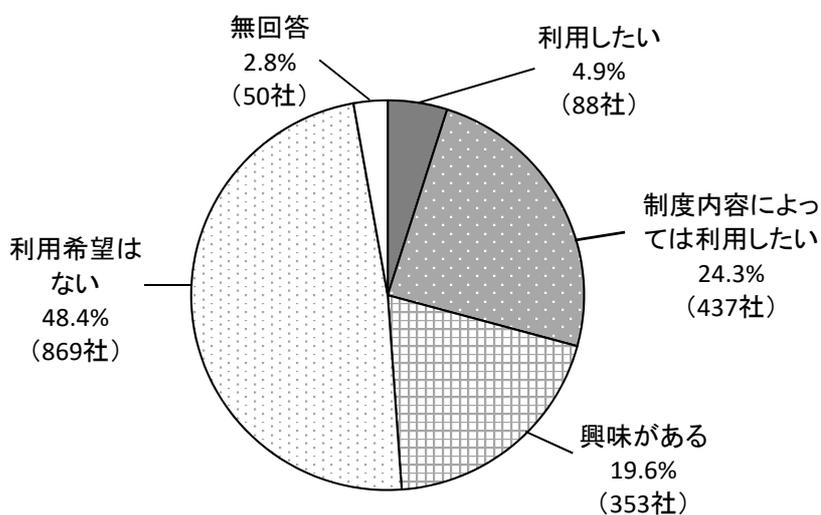
(全体数 : 759 社)

(6) 「浜松市奨学金返還支援事業」について

● 「浜松市奨学金返還支援事業」の利用希望について

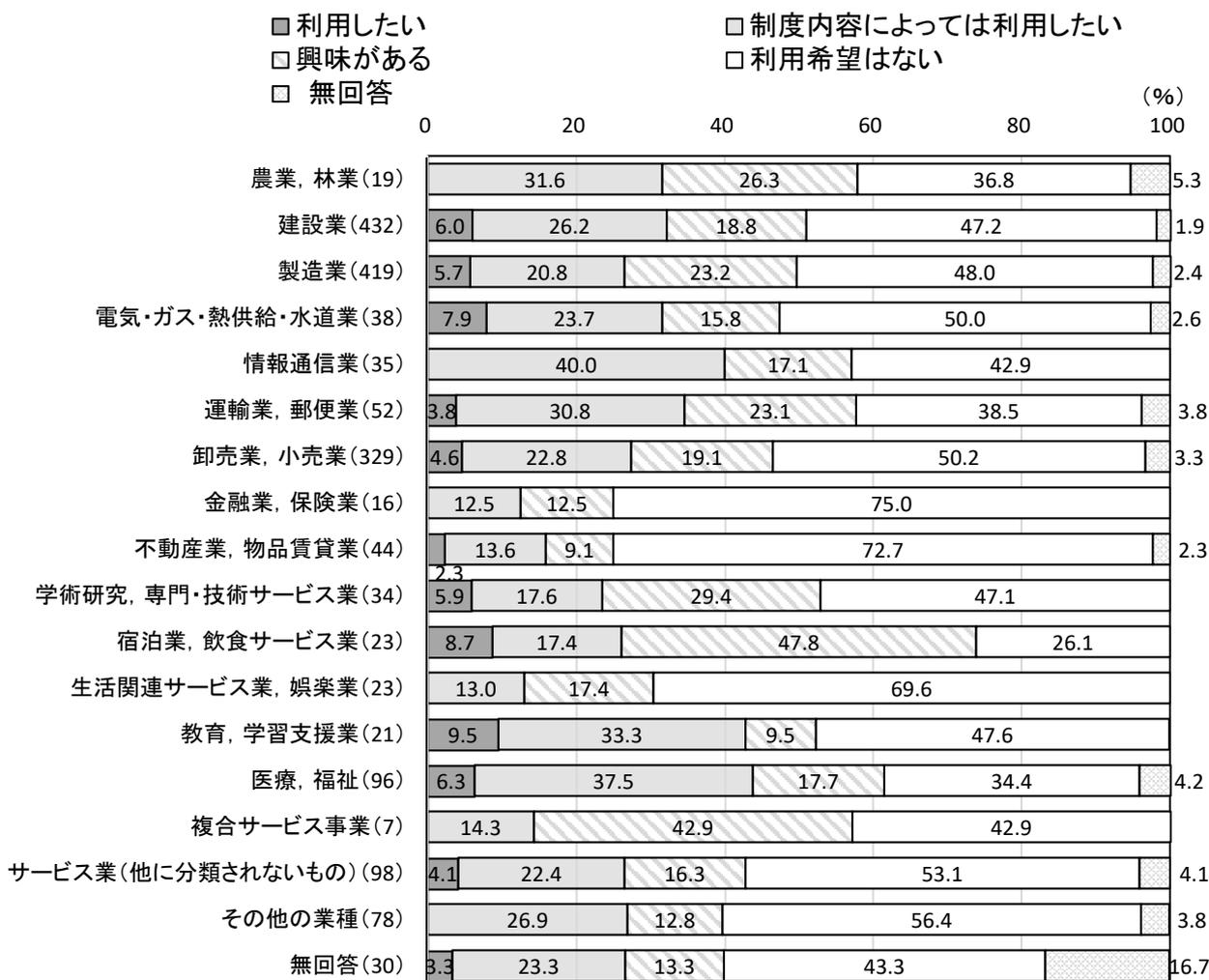
- 「浜松市奨学金返還支援事業」について、「利用したい」、「制度内容によっては利用したい」、「興味がある」と前向きな回答の合計は 48.8%となっている。
  - 業種別において、回答社数が 10 社以上の業種でみると、「利用したい」、「制度内容によっては利用したい」の合計割合が、「医療・福祉」(43.8%)、「教育・学習支援業」(42.8%)、情報通信業 (40.0%) で 4 割以上となっている。
  - 従業員別において、「利用したい」の割合は「100～299 人」(14.0%) が最も高く、「利用したい」、「制度内容によっては利用したい」の合計割合は、「100～299 人」、「300 人以上」で 4 割以上となっている。
- ※奨学金返還支援事業は中小企業が対象のため、大企業は対象外となる。

図表 2 1 - 1 「浜松市奨学金返還支援事業」の利用希望



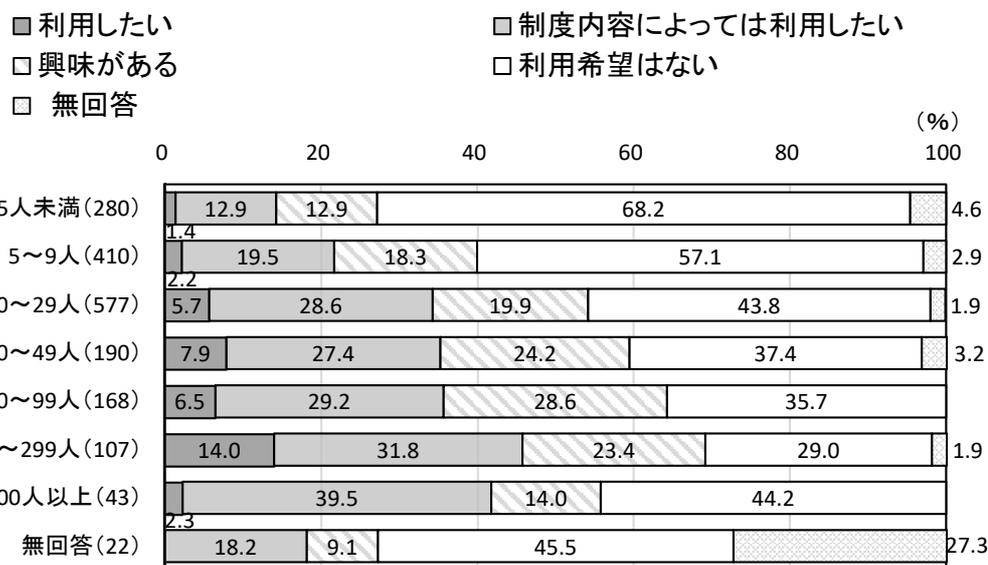
(全体数 : 1,797 社)

図表 2 1 - 2 業種別 「浜松市奨学金返還支援事業」の利用希望割合



(社) ※回答 2 社以下の業種を除く。(全体数 : 1,794 社)

図表 2 1 - 3 従業員規模別 「浜松市奨学金返還支援事業」の利用希望割合



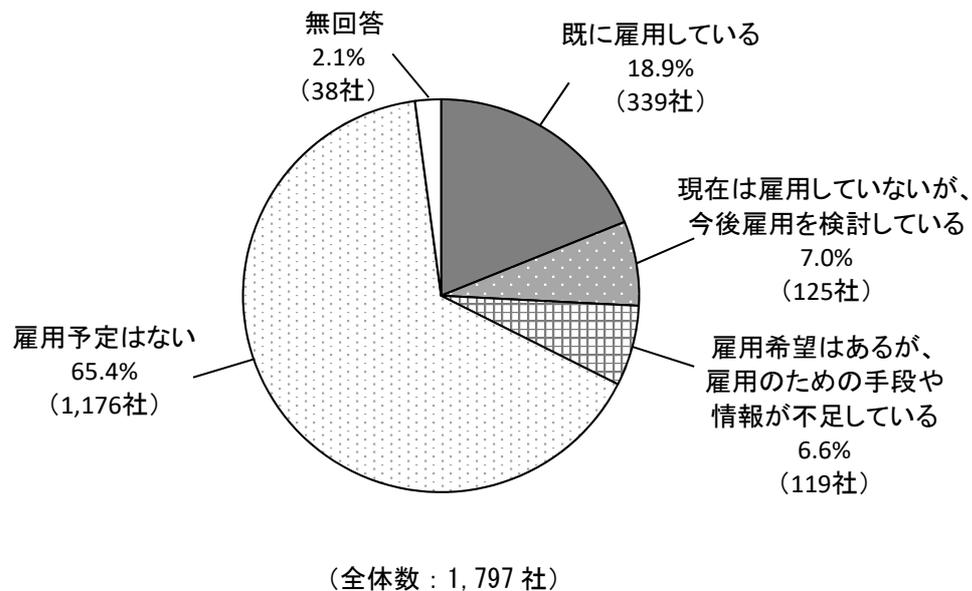
(社) (全体数 : 1,797 社)

(7) 外国人材の雇用状況について

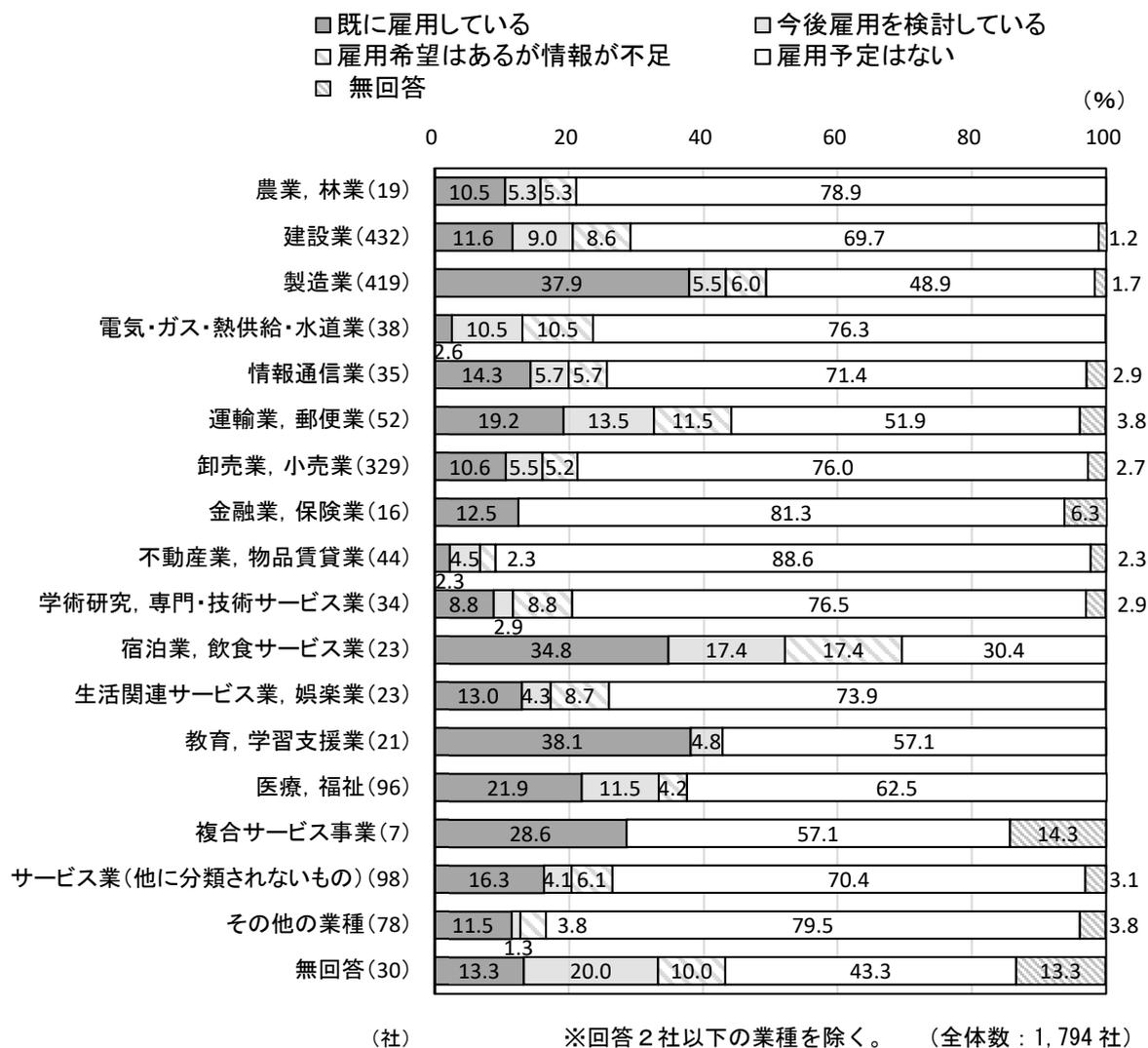
●外国人材の雇用状況

- 外国人材の雇用状況について、「既に雇用している」は 18.9%で、「今後雇用を検討している」企業は 7.0%であった。「雇用希望はあるが、雇用のための手段や情報が不足している」(6.6%) までを含めると、外国人雇用に前向きな企業の割合は 32.5%となった。
- 業種別でみると、「既に雇用している」の割合は、「教育, 学習支援業」(38.1%) が最も高く、「製造業」(37.9%)、「宿泊業, 飲食サービス業」(34.8%) と続いている。また、外国人雇用に前向きな業種は、「宿泊業, 飲食サービス業」(69.6%)、「製造業」(49.4%)、「運輸業, 郵便業」(44.2%) の順となっている。
- 従業員別でみると、「既に雇用している」の割合は、「300人以上」(62.8%) が最も高く、「100~299人」(51.4%) が続いており、従業員数の多い企業ほど、外国人を「既に雇用している」割合が高くなっている。

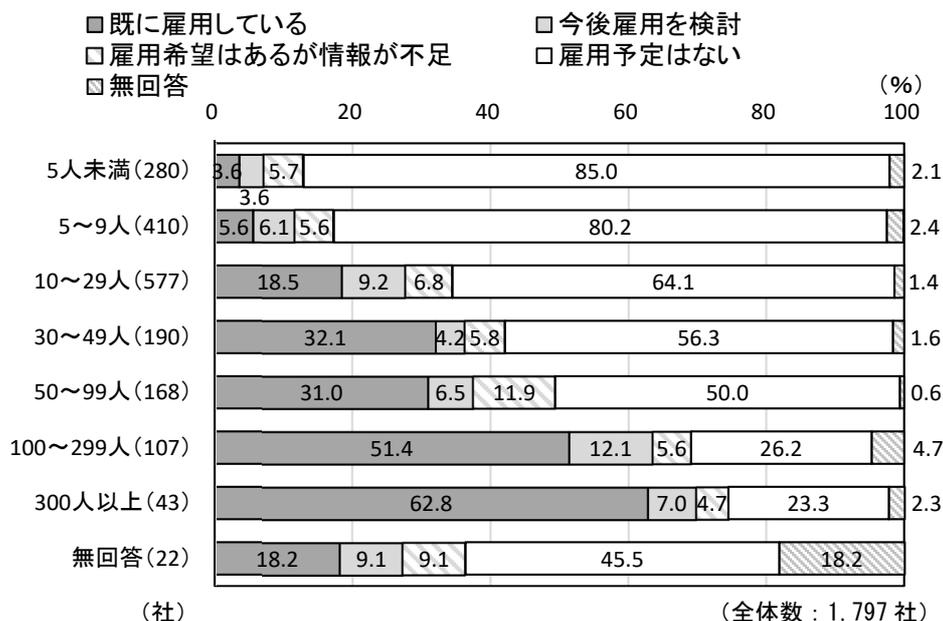
図表 2 2 - 1 外国人材の雇用状況



図表 2 2 - 2 業種別 外国人材の雇用状況



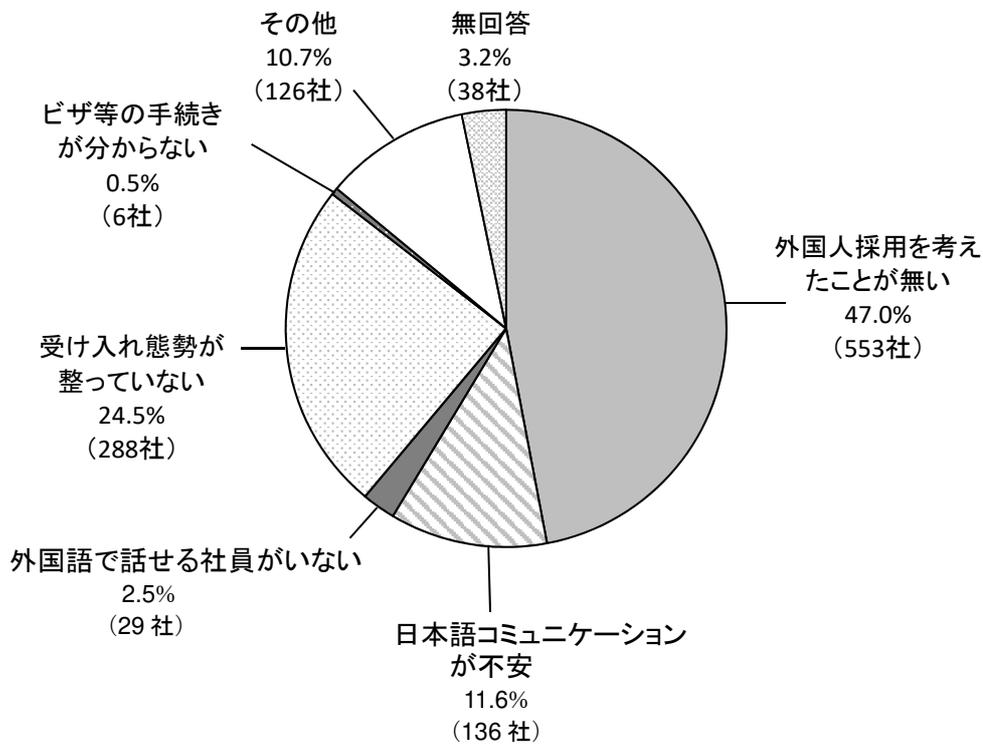
図表 2 2 - 3 従業員規模別 外国人材の雇用状況



●外国人材の雇用予定がない理由について

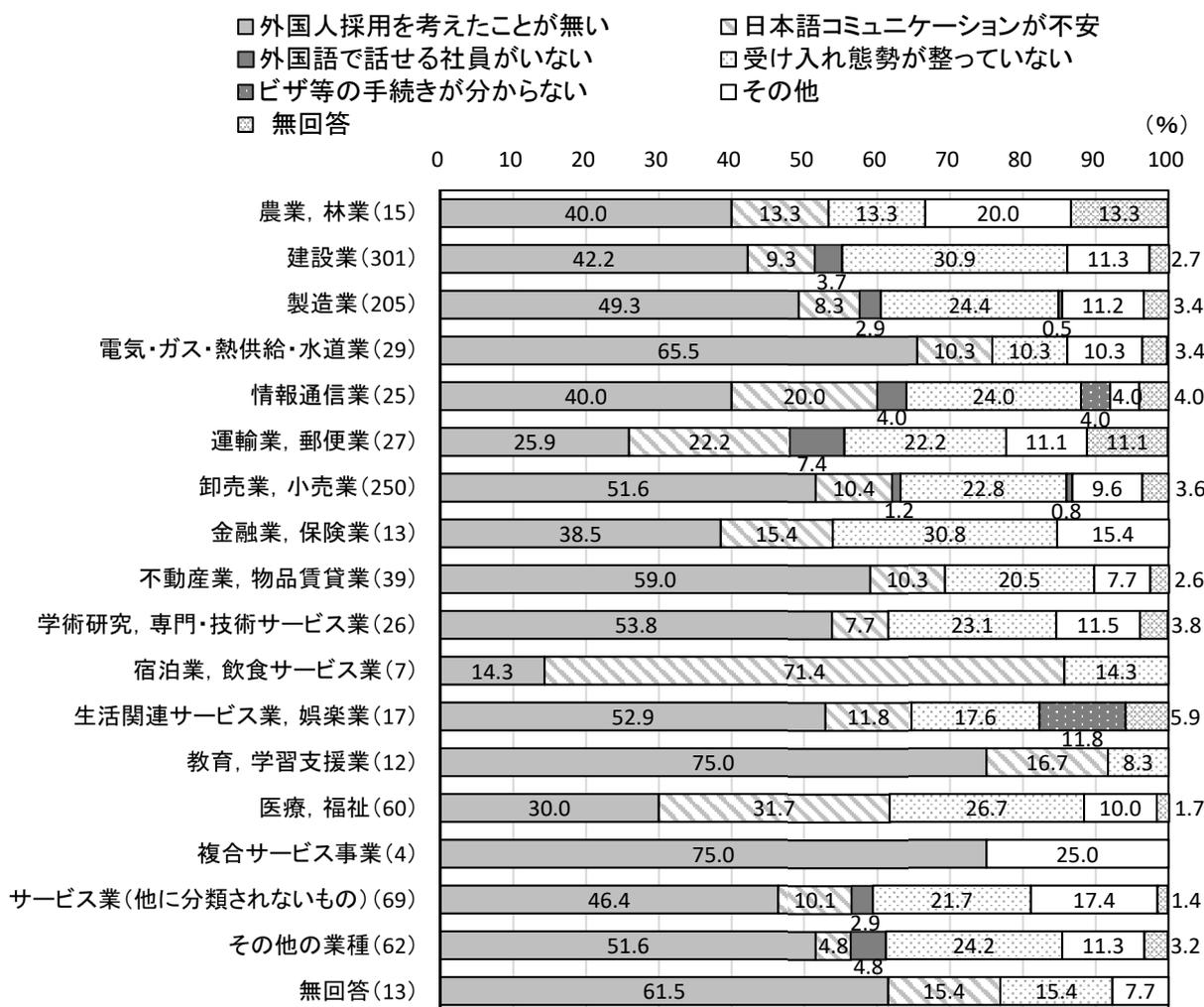
- 外国人材の「雇用予定がない」企業において、その理由としては「外国人材採用を考えたことがない」(47.0%)が最も多く、「受け入れ態勢が整っていない」(24.5%)、「日本語コミュニケーションが不安」(11.6%)が続いている。
- 業種別で見ると、ほとんどの業種において「外国人材採用を考えたことがない」が「雇用予定がない」理由の主な要因となっているが、「宿泊業・飲食サービス業」においては「日本語コミュニケーションが不安」が突出して多く、「医療・福祉」においても要因として最多の割合となっている。
- 従業員規模別では、規模が小さい企業ほど「外国人材採用を考えたことがない」の割合が高くなっているが、「300人以上」の企業は「外国人材採用を考えたことがない」「日本語コミュニケーションが不安」の割合が共に40%と高くなっている。

図表 2 3 - 1 外国人材の雇用予定がない理由



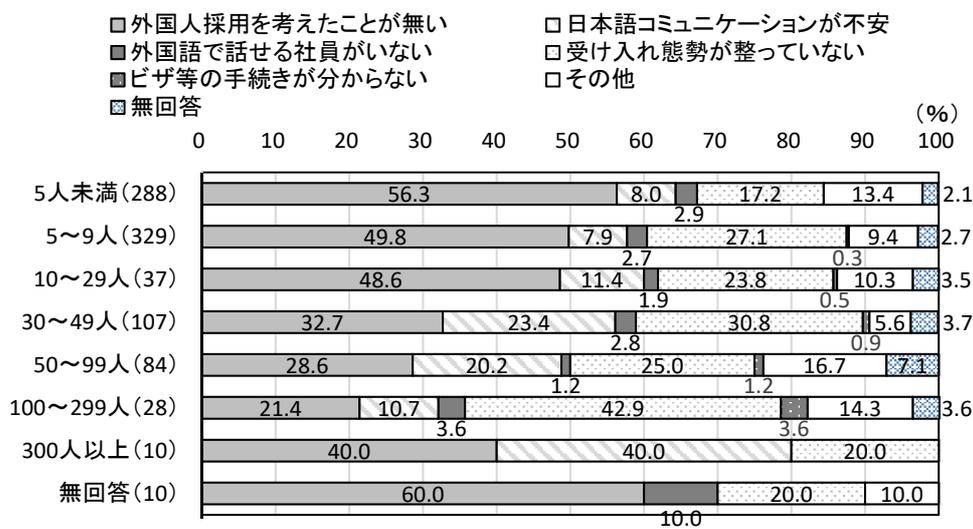
(全体数 : 1,176 社)

図表 2 3 - 2 業種別 外国人材の雇用予定がない理由



(社) ※回答数 1 社の業種を除く。(全体数 : 1,174 社)

図表 2 3 - 3 従業員規模別 外国人材の雇用予定がない理由



(社) (全体数 : 1,176 社)

### 3. ヒアリング報告

---

アンケートに基づいて浜松市内企業に実施したヒアリング内容について、以下のとおり報告を行う。

#### ■現在の雇用者の状況について

雇用者の状況に不足感があると答える企業が多数みられる。新卒者数が減少傾向にあることに加え、DXや働き方改革の推進や長期化したコロナ禍での事業活動が復調傾向にあることによる人手不足などが起因している。

#### ■新卒採用について

##### 1. 採用実績

新卒者の採用状況については、企業によりばらつきがあるものの、令和4年3月の新卒者を採用できた企業においては、必要な人数に対して充足した採用が出来た企業は多かった。一方、新卒者の採用ができなかった企業の割合は増加している。人手不足は大手企業、中小企業を問わず企業経営における課題ともなっており、知名度の乏しい小規模・零細企業などでより採用に苦戦している状況が続いている。

##### 2. 採用予定・採用活動

今後の採用予定について、地元大手企業・中堅規模以上の企業においては、積極的な採用意向が聞かれるが、小規模・零細規模においては、会社の将来性や採用に関わるコストなどの面から消極的な意見も聞かれる。

採用につながる（効果があった）活動としては、「自社企業説明会」、「大学内の合同企業説明会」、「職場体験・インターンシップ」等があげられ、長引くコロナ禍での採用活動でオンライン対応などが増えたものの、学生と直接接触することができる活動が目立った。また、今後取り組みたい活動としては「SNSの活用」や「社員・知人からの紹介」、「行政の就職情報サイト」、「大学からの紹介・推薦」があげられた。また、大手民間就職サイトを利用したいが、費用確保が難しいとの意見も聞かれた。

学生との関係構築、自社事業への理解を促す、就職後のミスマッチの解消という点で、インターンシップは効果的とされているが、コロナ禍において、インターンシップの中止を強いられた企業も聞かれ、医療・福祉関連では職場実習が叶わず、業務の内容を示しきれなかったという声も聞かれる。

人口減少により大学新卒者も減少しているという構造的な問題に対応するため、従来、大学生の新卒者のみを採用していた企業においても、高校生を採用して人手を確保しようとする動きが見られる。この場合、社内での育成体制の強化も課題となってくる。

#### ■中途採用について

製造業や医療・福祉、建設業で即戦力となる中途採用者の人数が多かったほか、運輸業においても、中途採用を実施した企業の割合は高かった。採用に効果があった活動としては「社員・知人からの紹介」、「人材紹介会社の利用」があげられた。また、今後取り組みたい活動としては、新卒者の採用と同様、「行政の就職情報サイトの活用」、「SNSの活用」とする意見が多くなっている。「新聞求人欄の利用」は効果が薄いとのこと。

---

**■新卒・中途採用に関した浜松市への要望について**

採用活動に関する要望として、行政 Web サイトの充実、職業相談を行うコーディネーターの設置のほか、UIJ ターン求職活動費への助成など経済的な支援を拡充する意見や実施している施策を広く周知してほしいという期待の声が多かった。ヒアリングでは、就職情報サイト利用料の助成などの要望も聞かれた。また、採用活動に関する情報や企業の情報だけでなく、浜松市として街並みやインフラ、子育て支援や医療費負担など、直接的に雇用に影響しないと思われる部分の整備、制度拡充を進めた上で、県外の若い世代に魅力を発信することを求める声が聞かれた。

**■その他**

コロナ禍においては、訪日外国人も減少し、外国人採用にも苦戦したが、日本人の採用が進まない状況下においては、今後は再度外国人の雇用を増やさざるを得ない。一方、過去の採用時においては、トラブルの発生や管理面の難しさなども雇用維持の障壁となったという声は多く、外国人の雇用に対する行政支援を求める意見が聞かれた。



---

## 第3章 まとめ

本実態調査の対象は、「浜松市内高校」・「静岡県内大学・浜松市内専門学校等」・「静岡県外大学」・「浜松市及び静岡県出身者を中心とした大学生」・「浜松市内企業就職者並びに UIJ ターン就職経験者」・「浜松市内企業」である。企業・教育機関・学生・就職者等異なる立場を対象に幅広く実態調査を実施し、多様な観点からデータを収集した。あわせて、回答者の中から抽出して県内大学、県外大学、市内企業への訪問ヒアリングを実施した。調査データとヒアリングの結果を合わせて分析することにより、浜松市における UIJ ターンの実態をより詳細に把握した。

本章では、調査結果から「浜松市内企業の雇用状況」、「浜松市内就職者の状況」を把握した上で、「新卒者における UIJ ターンの実態」、「中途者における UIJ ターンの実態」を取りまとめた。

また、各調査で得られた「浜松市への意見・要望」についても「現場の声」として記載した。

## I. 浜松市内企業の雇用状況

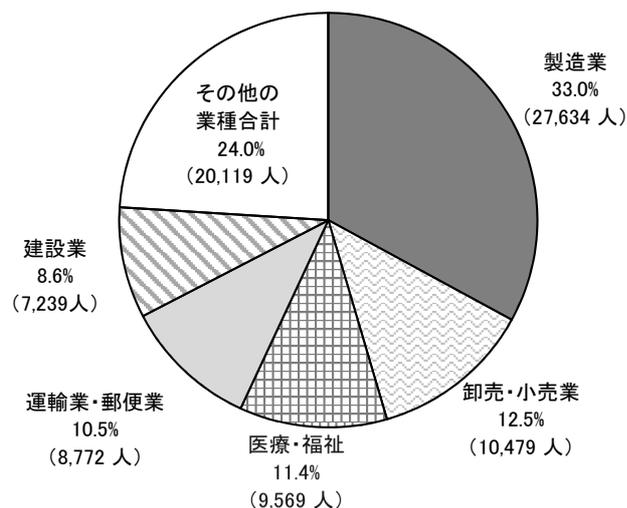
「浜松市内企業実態調査」にて回答のあった1,797社の分析結果を中心に浜松市内企業の雇用状況を以下に記載する。

### 1. 業種別従業員数及び企業数

本調査で把握した浜松市内企業の従業員数としては、業種別に見ると「製造業」が33.0%と最も多く、次いで「卸売・小売業」(12.5%)、「医療・福祉」(11.4%)となった。この3業種で全体の56.9%を占める。

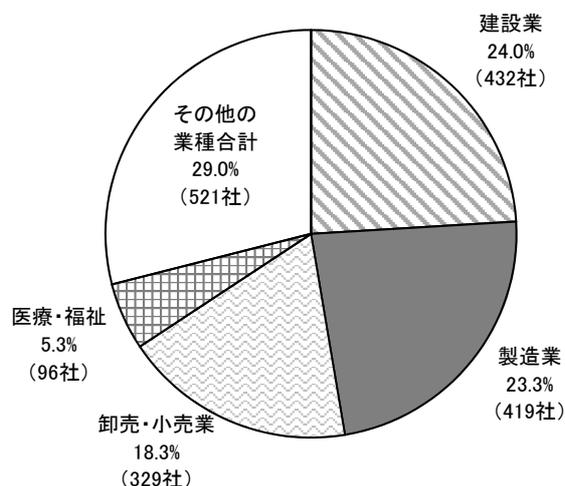
また、企業数では「建設業」(24.0%)、「製造業」(23.3%)、「卸売・小売業」(18.3%)の順となる。

図表1-1 業種別従業員数



(全体数 : 83,812 人)

図表1-2 業種別企業数

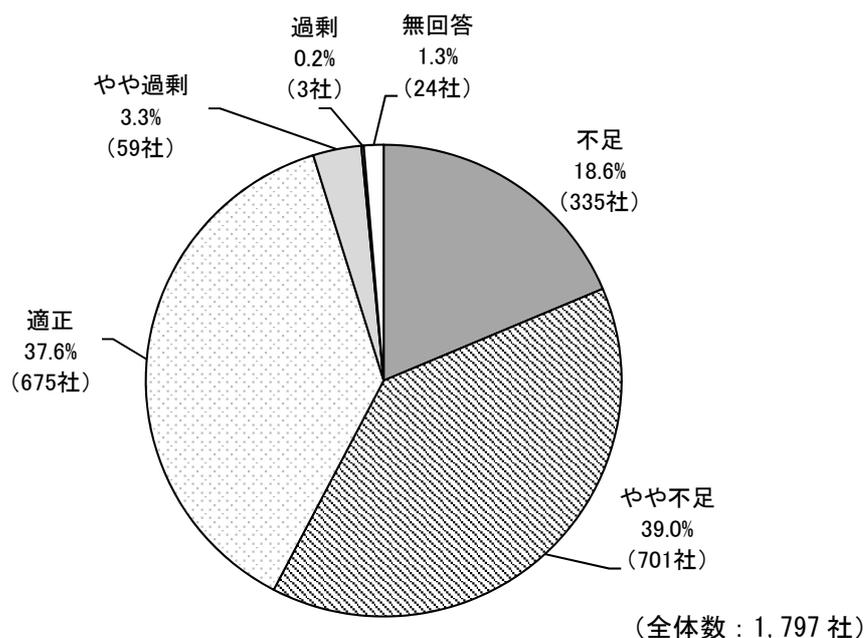


(全体数 : 1,797 社)

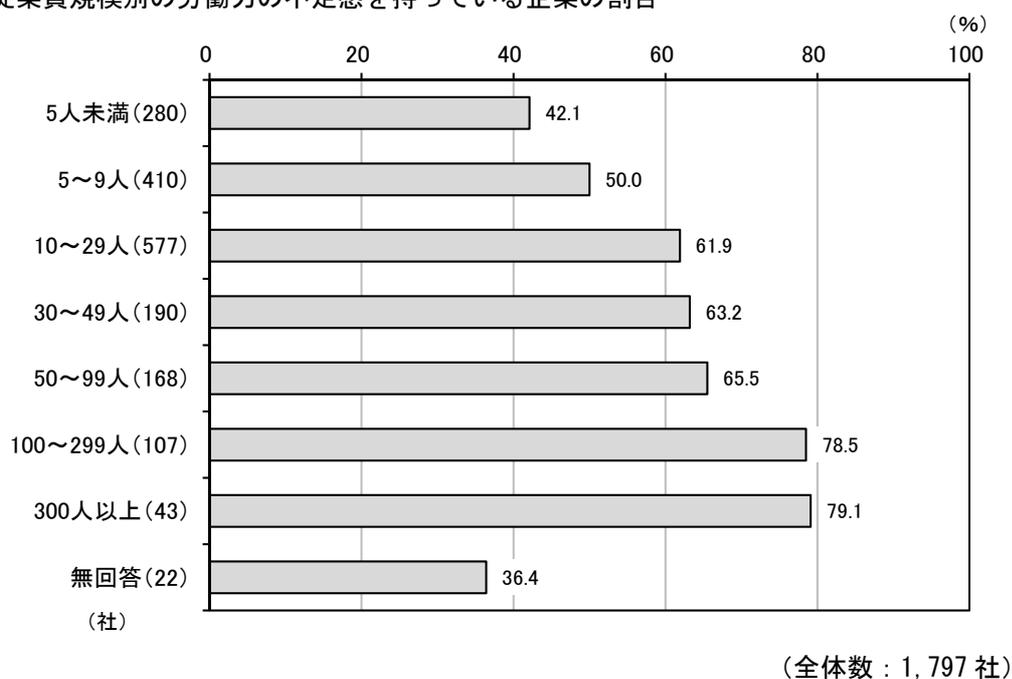
## 2. 労働力の過不足感

浜松市内企業全体の雇用状況については、「不足」、「やや不足」を合わせて57.6%と半数以上の企業が労働力に不足感を持っている。従業員別に見ると、従業員規模が大きいほど労働力の不足感を感じている企業が多い。

図表2-1 浜松市内企業の労働力の過不足感

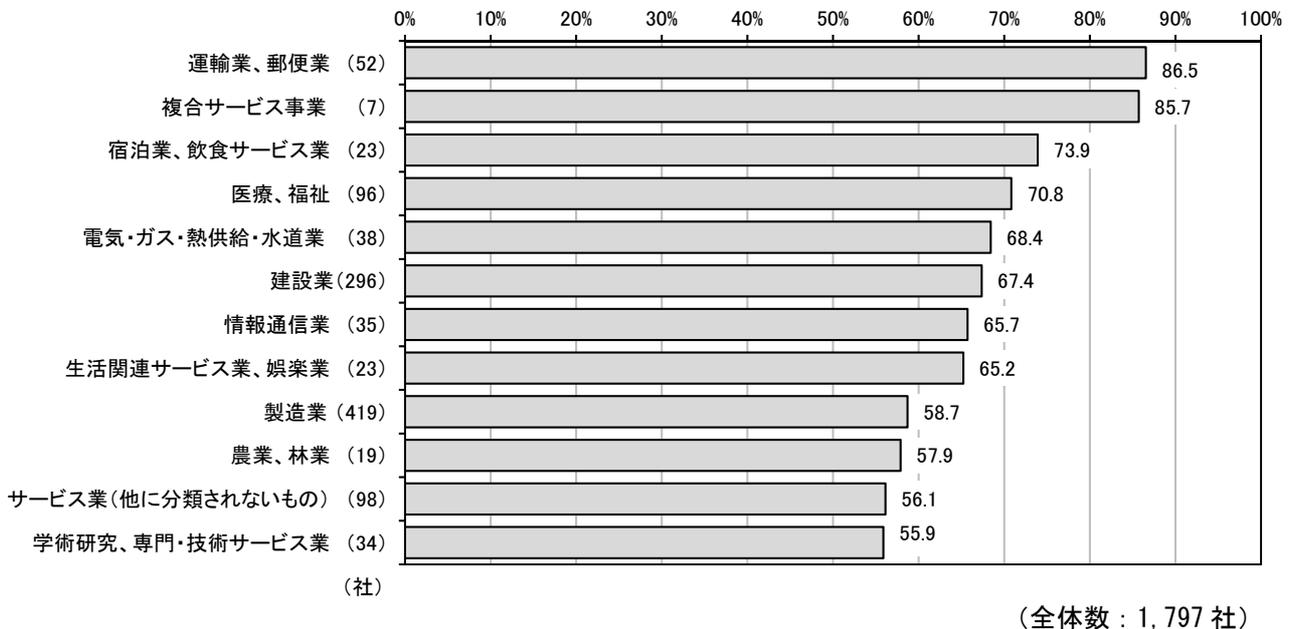


図表2-2 従業員規模別の労働力の不足感を持っている企業の割合



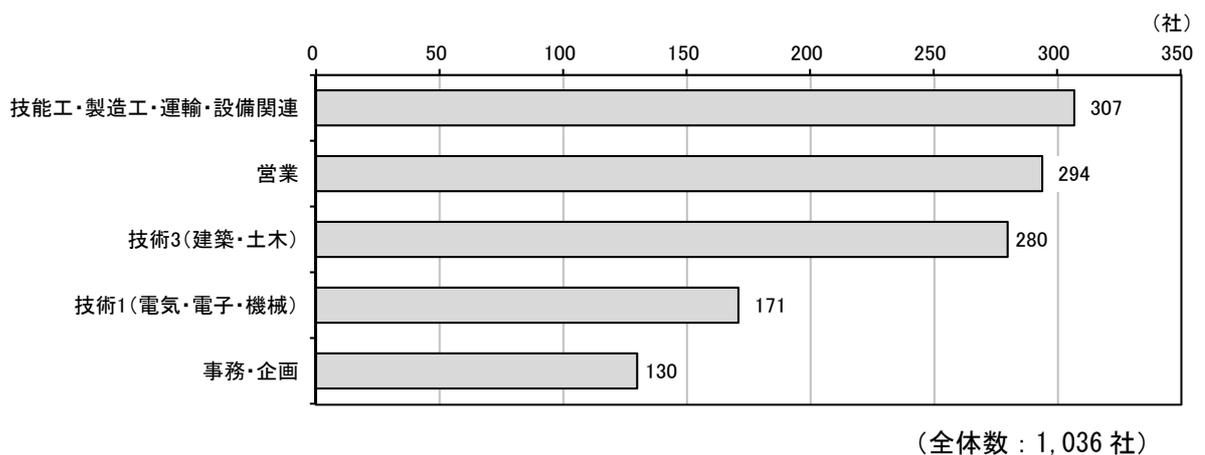
労働力の不足感を業種別に見ると、「運輸業・郵便業」(86.5%)が最も高く、次いで「複合サービス事業」(85.7%)、「宿泊業、飲食サービス業」(73.9%)、「医療・福祉」(70.8%)の順となる。

図表2-3 労働力の不足感の高い業種 (不足感のある企業の割合 50%以上)



労働力の不足感を職種別に見ると、「技能工・製造工・運輸・設備関連」と回答した企業が307社と最も多く、次いで「営業職」(294社)、技術3(建築・土木)(280社)の順となる。

図表2-4 労働力の不足感を持っている職種 (複数回答、上位5職種)



## Ⅱ. 浜松市内就職者の状況

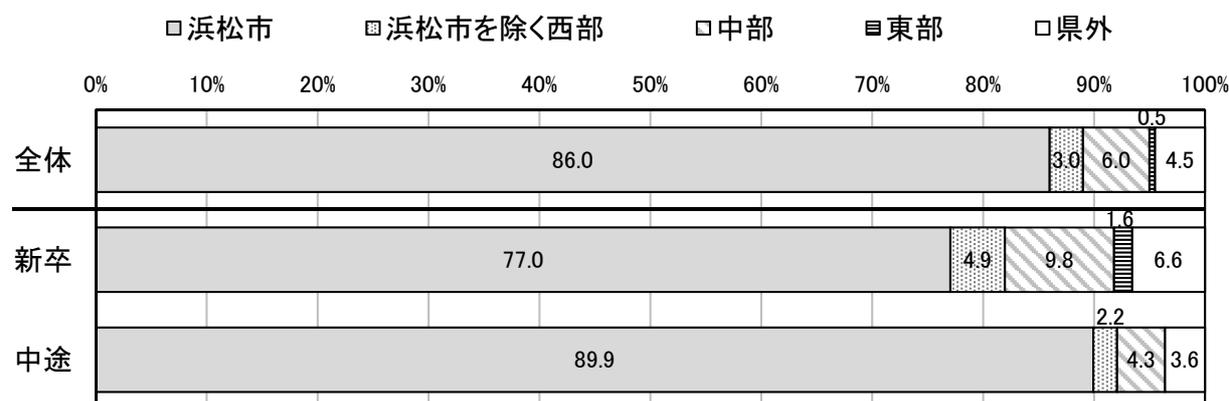
本調査において実施した「浜松市内企業就職者及びUIJターン就職者の意識・実態調査」にてWebサンプル調査を行った男女各100人計200人の調査結果を中心に、浜松市内就職者の状況を以下に記載する。

### 1. 市内企業就職者の出身地及びUIJターン就職

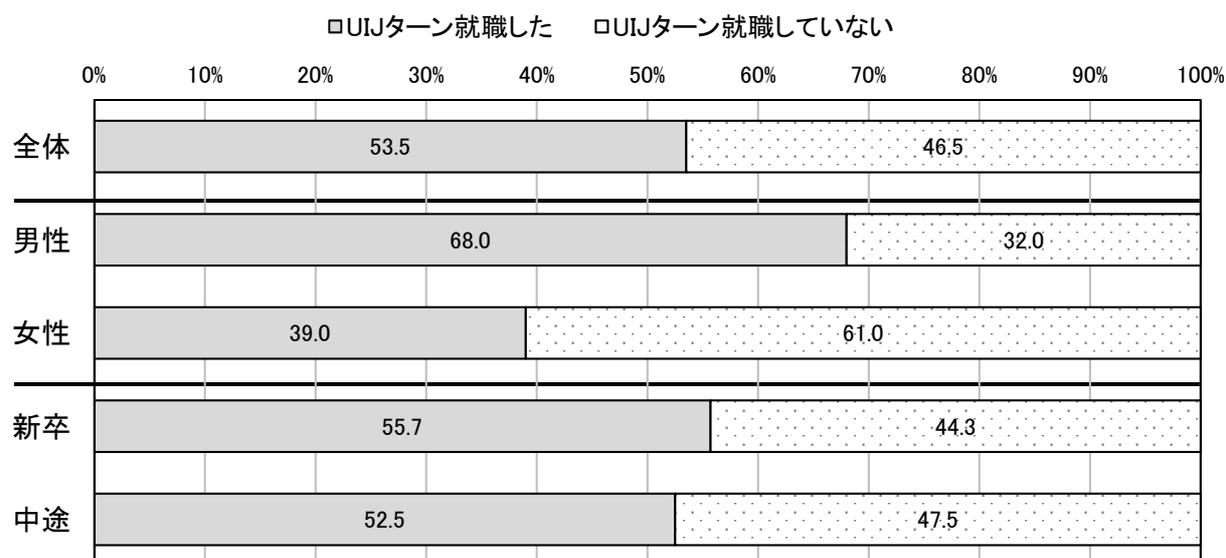
浜松市内企業勤務者調査対象者の200人のうち、86.0%が浜松市内出身であり、浜松市を除く静岡県内出身者は9.5%で、95.5%が県内出身者という結果となった。なお、静岡県外出身者4.5%の内訳は首都圏1.5%、中京圏1.5%、関西圏0.5%、その他1.0%である。

また、浜松市内へのUIJターン就職者は全体の53.5%であった。性別では男性の68.0%がUIJターン就職しているのに対し、女性は39.0%にとどまり、性別により大きな差が出た。

図表1-1 浜松市内就職者の出身地



図表1-2 UIJターン就職の実施状況



(全体 200 人、男性 100 人、女性 100 人、新卒 61 人、中途 139 人)

### Ⅲ. 新卒者におけるUIJターンの実態

本調査において実施した以下5件の調査結果を集約し、新卒者におけるUIJターンの実態を「まとめ」として記載する。

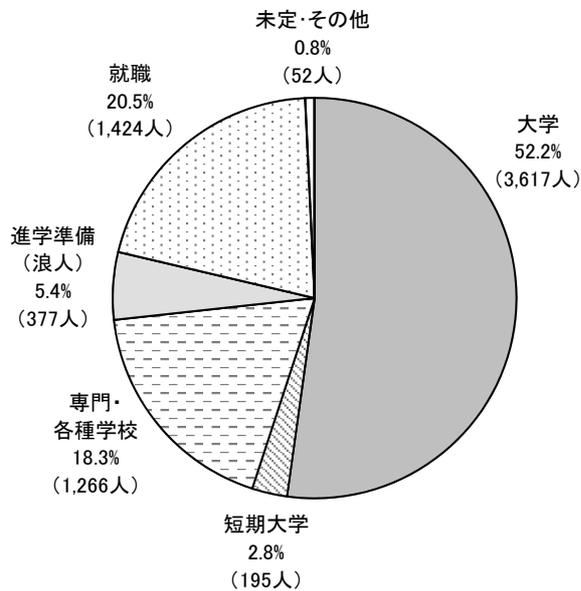
- ・「浜松市内高校実態調査」
- ・「静岡県内大学・専門学校等実態調査」
- ・「静岡県外大学実態調査」
- ・「浜松市及び静岡県出身者を中心とした大学生実態調査」
- ・「浜松市内企業実態調査」

#### 1. 浜松市内高校の卒業生の進路先

浜松市内高校の令和3年度卒業生の73.3%が進学、20.5%が就職している。進路別では、「大学」(52.2%)、「短大」(2.8%)、「専門・各種学校」(18.3%)となっている。

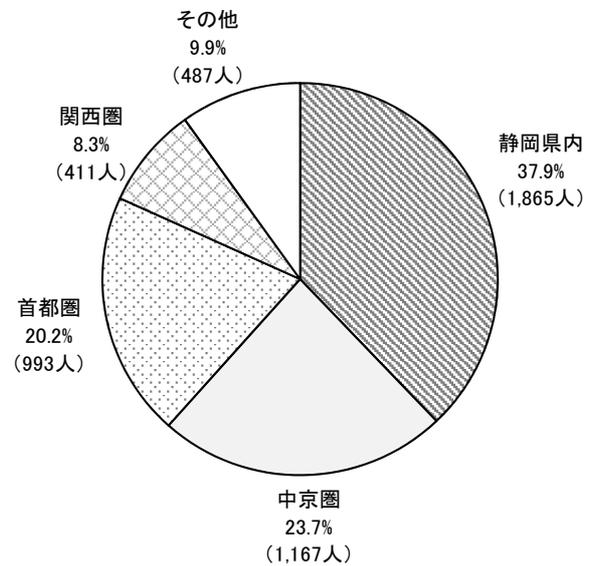
進学先地域では、「静岡県内」(37.9%)、「中京圏」(23.7%)、「首都圏」(20.2%)、「関西圏」(8.3%)となっており、62.1%は県外に進学している。

図表1-1 進路別（令和3年度卒業）



(全体数 6,931人)

図表1-2 進学先地域（令和3年度卒業）



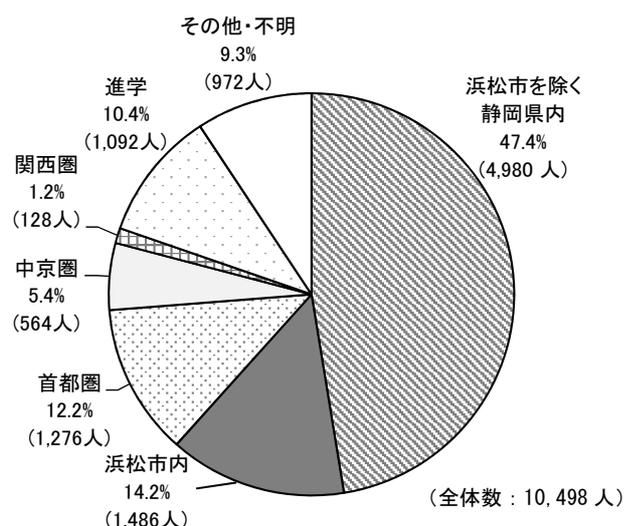
(全体数 5,078人のうち有効数 : 4,923人)

2. 静岡県内大学・専門学校在学生の浜松市への就職傾向

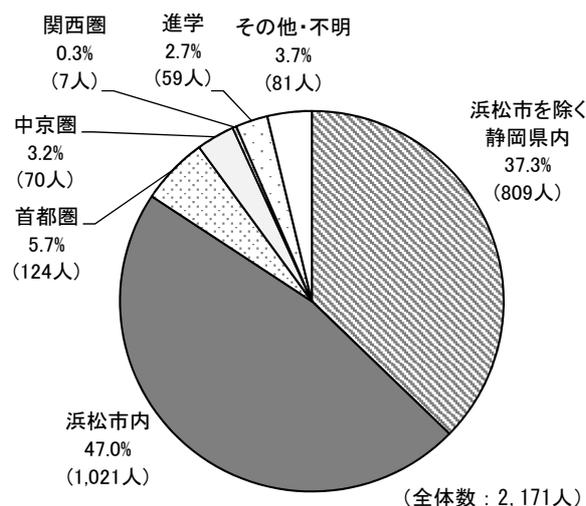
●卒業生の就職先の地域別内訳

令和3年度の卒業生の就職先地域は「静岡県内」が61.6%となっており、うち14.2%は「浜松市内」に就職している。「浜松市内」出身者の47.0%が「浜松市内」に就職している。

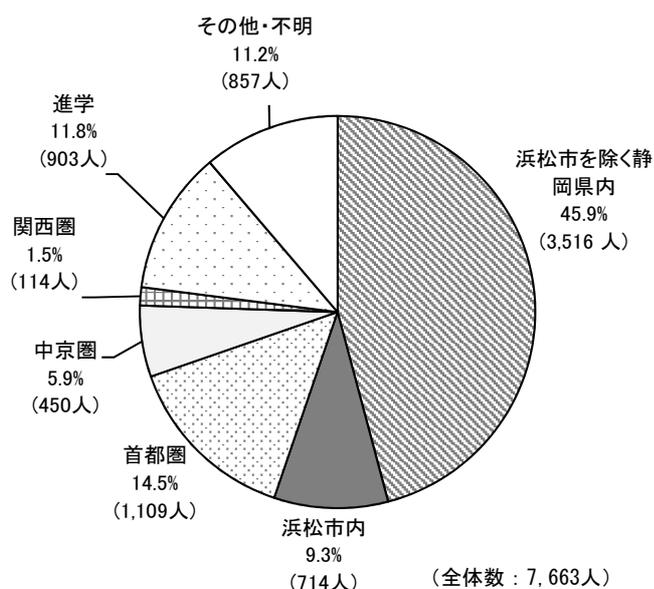
図表2-1 卒業生の就職先の地域別内訳(全体)



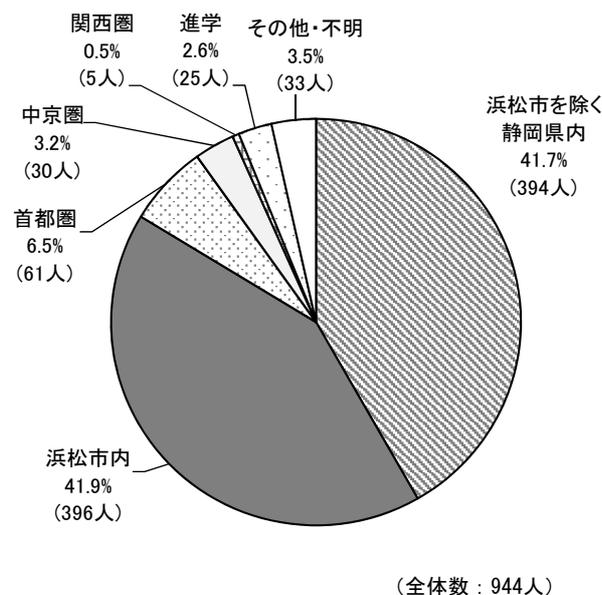
図表2-2 浜松市出身者の就職先の地域別内訳(全体)



図表2-3 卒業生の就職先の地域別内訳(大学)



図表2-4 浜松市出身者の就職先の地域別内訳(大学)



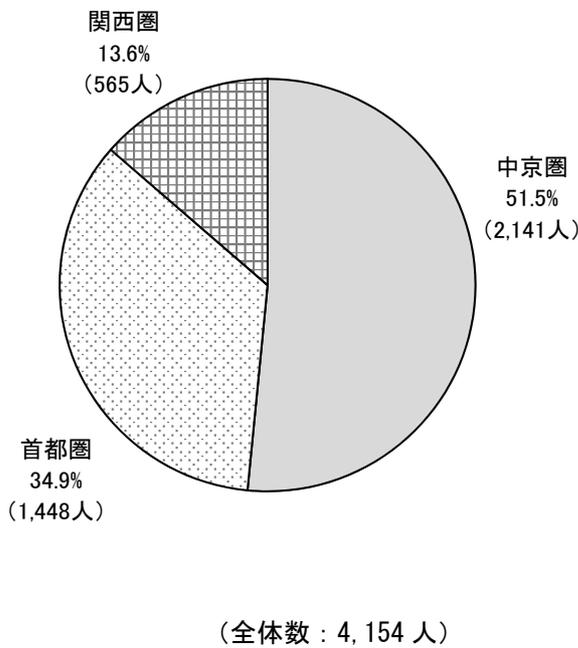
**3. 静岡県外大学在学生の浜松市への就職傾向**

浜松市出身者の進学した県外大学の所在地別の割合で見ると、「中京圏」(51.5%)、「首都圏」(34.9%)、「関西圏」(13.6%)となる。

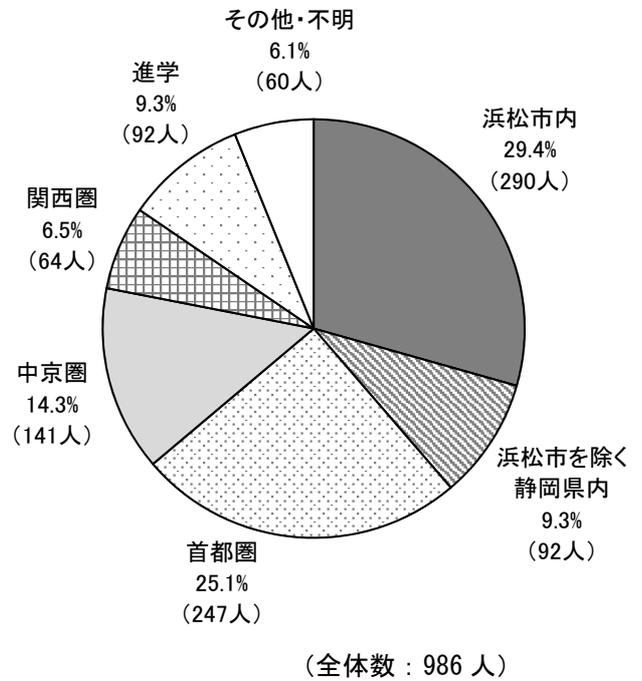
一方、浜松市出身の卒業生の就職先地域内訳をみると、浜松市にUターン就職した者は29.4%、浜松市を除く静岡県内に9.3%が就職し、約4割の卒業生が県内にUターン就職している。

静岡県外の地域に関しては、「首都圏」(25.1%)、「中京圏」(14.3%)、「関西圏」(6.5%)となっており、約6割の卒業生は県外に就職している。

図表3-1 浜松市内出身者が進学した県外大学の地域別割合



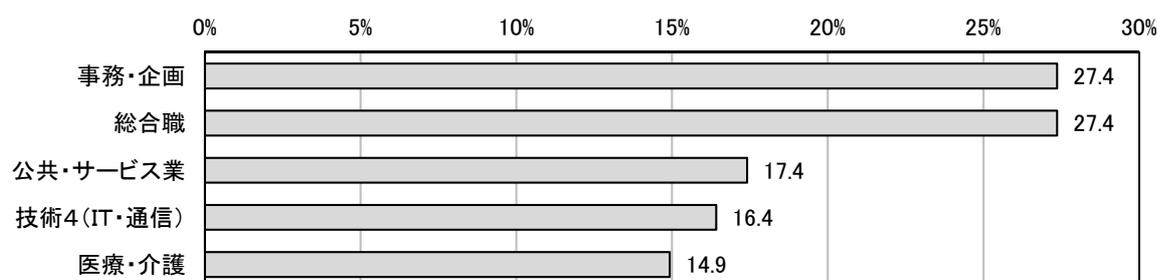
図表3-2 浜松市出身者の就職先の地域別内訳



#### 4. 浜松市出身及び静岡県内出身大学生の就職傾向

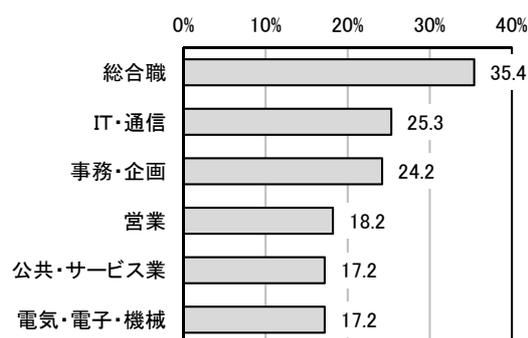
大学生の希望職種について割合が最も高いのは、「事務・企画」と「総合職」(27.4%)である。次いで、「公共・サービス業」(17.4%)、「IT・通信」(16.4%)と続く。男性では「総合職」(35.4%)、女性では「事務・企画」(30.4%)、浜松市出身地では「総合職」(27.3%)、事務・企画(24.2%)の希望割合が最も高い。

図表4-1 全体希望職種（上位5職種）



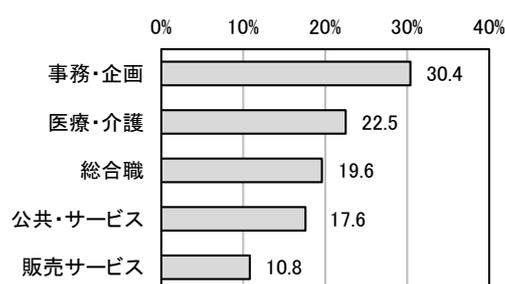
(全体数：201人)

図表4-2 男性希望職種（上位6職種）



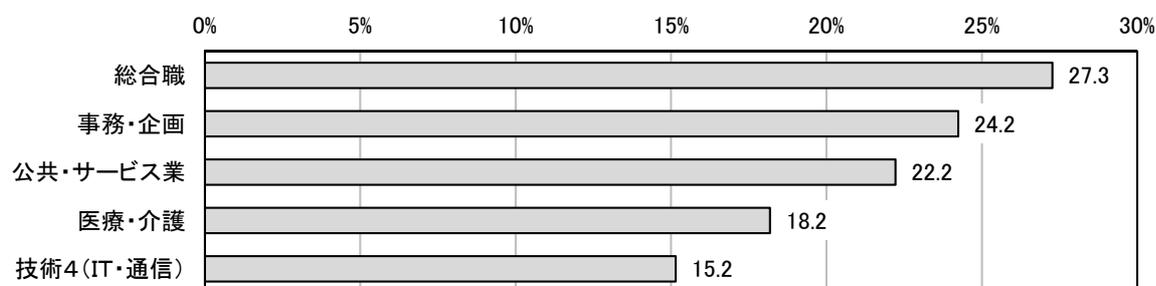
(男性 99人)

図表4-3 女性希望職種（上位5職種）



(女性 102人)

図表4-4 浜松市出身者の希望職種（上位5職種）

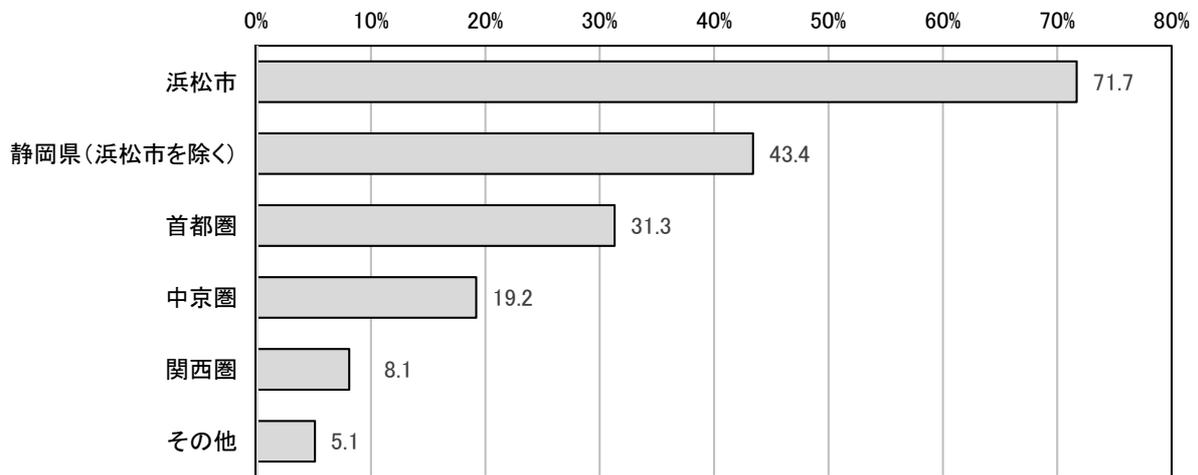


(浜松市 99人)

第3章. まとめ

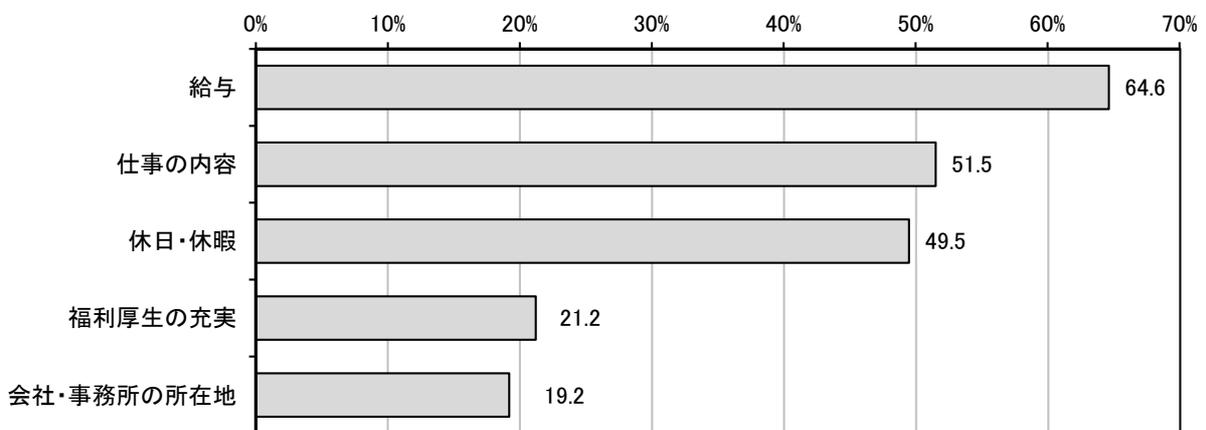
浜松市出身者の71.7%が浜松市での就職を希望しており、UIJターン意識は高い。また、浜松市出身者が就職先を選ぶ際に重視することについて最も高いのは、「給与」(64.6%)であり、次いで「仕事の内容」(51.5%)「休日・休暇」(49.5%)と続く。

図表4-5 浜松市出身者の就職先希望地域（複数回答可）



(全体数 : 99 人)

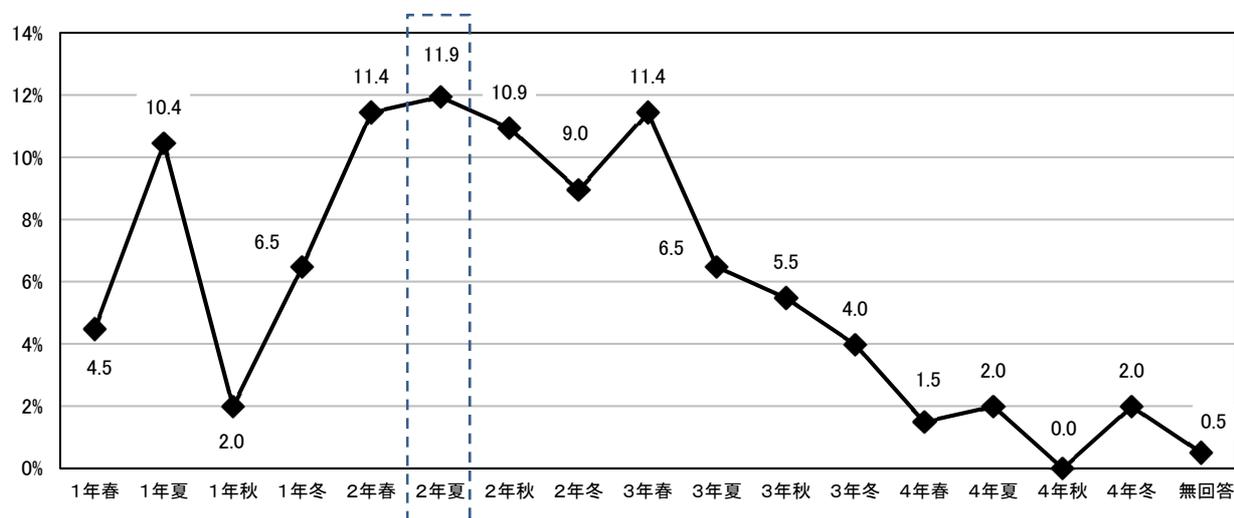
図表4-6 浜松市出身者が就職先を選ぶ際に重視することの上位5項目（複数回答可）



(全体数 : 99 人)

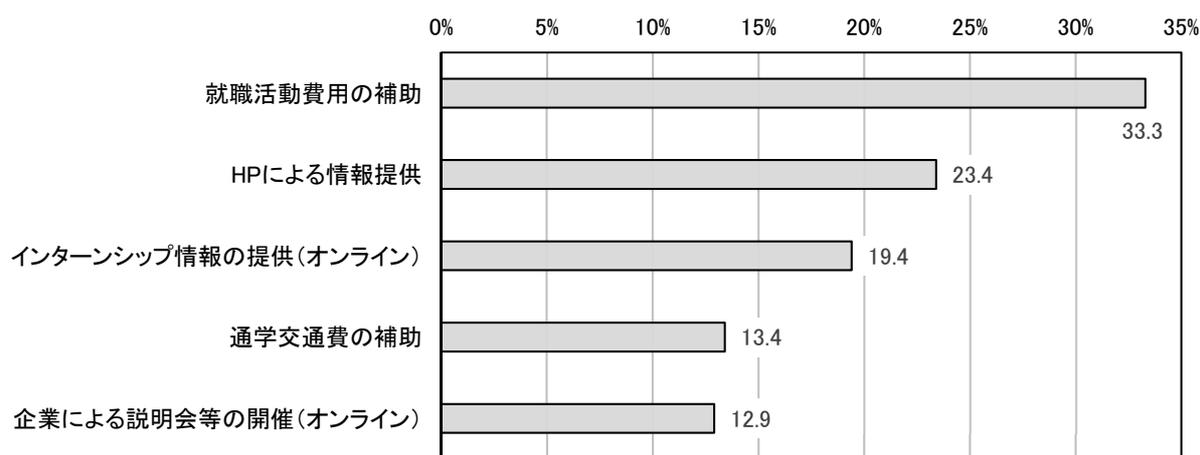
調査対象者全体に於いて、就職活動を開始した時期で最も割合が高いのは、大学「2年夏」(11.9%)である。次いで、「2年春」(11.4%)、「3年春」(11.4%)と続く。前回(平成27年度)の調査では3年冬(56.0%)が最も高かったことと比較すると、就職活動への取組の早期化が目立つ結果となった。

図表4-7 学生就職活動開始時期



浜松市へのUIJターン就職時に希望する支援・取組について、割合が最も高いのは、「就職活動にかかる費用の補助」(33.3%)である。次いで、「ホームページによる浜松市内企業就職情報の提供」(23.4%)、「インターンシップ実施企業情報の提供(オンライン)」(19.4%)と続く。

図表4-8 UIJターン就職に際して浜松市に求める支援・取組



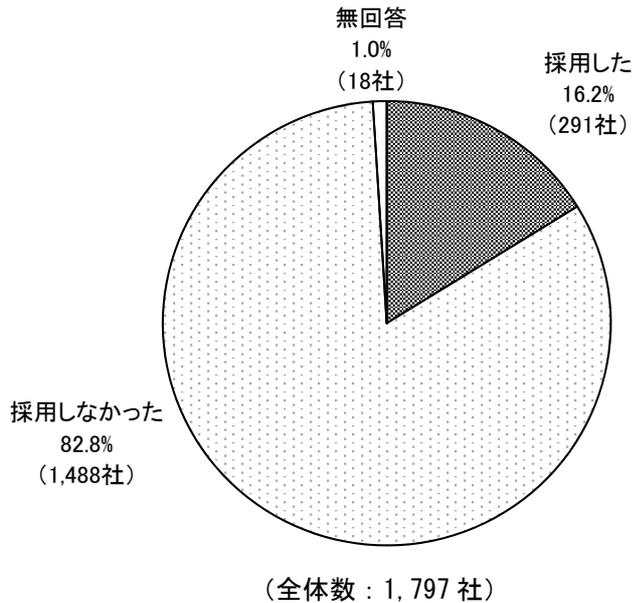
(全体数 201人)

5. 浜松市内企業の新卒者採用実績について

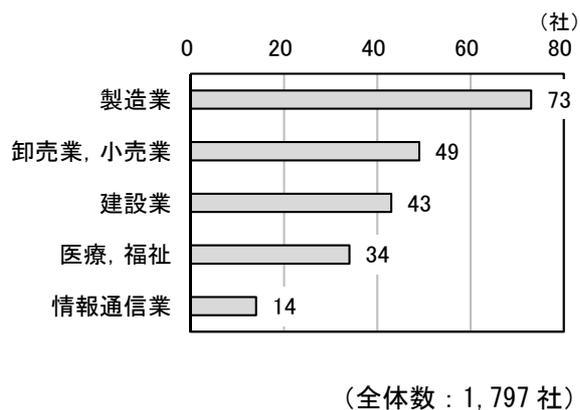
令和4年度における回答企業の新卒者の採用実績は16.2%であった。業種別に見ると、採用者数の多い順に「製造業」(73社)、「卸売・小売業」(49社)、「建設業」(43社)、「医療・福祉」(34社)となる。

また、「金融業、保険業」、「教育・学習支援業」、「農業、林業」は、企業数は少ないが新卒者採用を実施している企業の割合が高い。

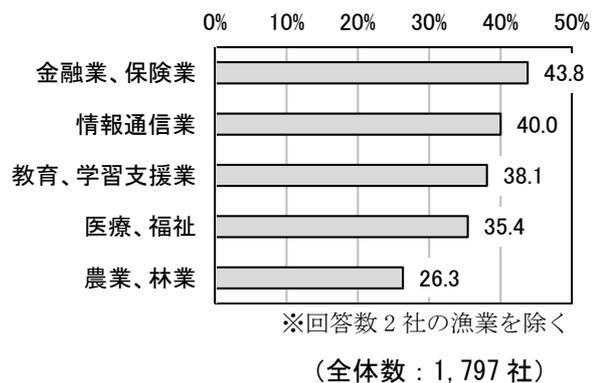
図表5-1 新卒者採用実績



図表5-2 新卒者採用企業数(上位5業種)

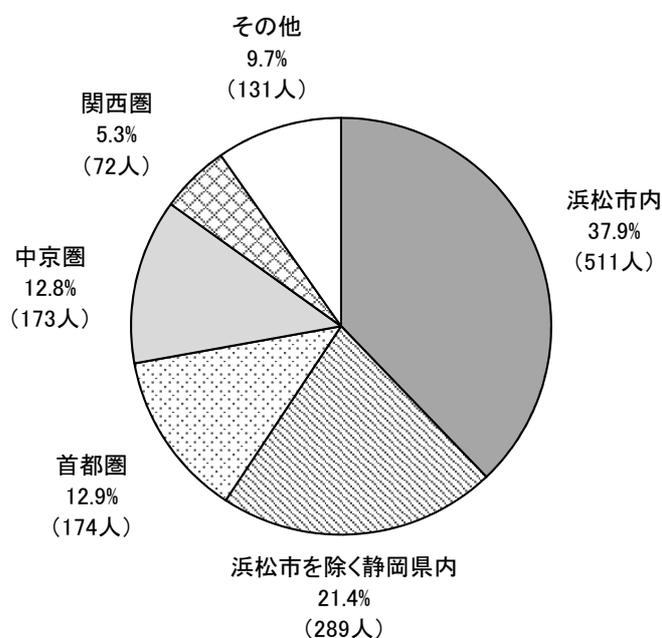


図表5-3 新卒者採用した業種の割合(上位5業種)



新卒者の出身校所在地については59.3%と半数以上が「静岡県内」で、うち37.9%が「浜松市内」である。次いで、「首都圏」(12.9%)、中京圏(12.8%)となっている。

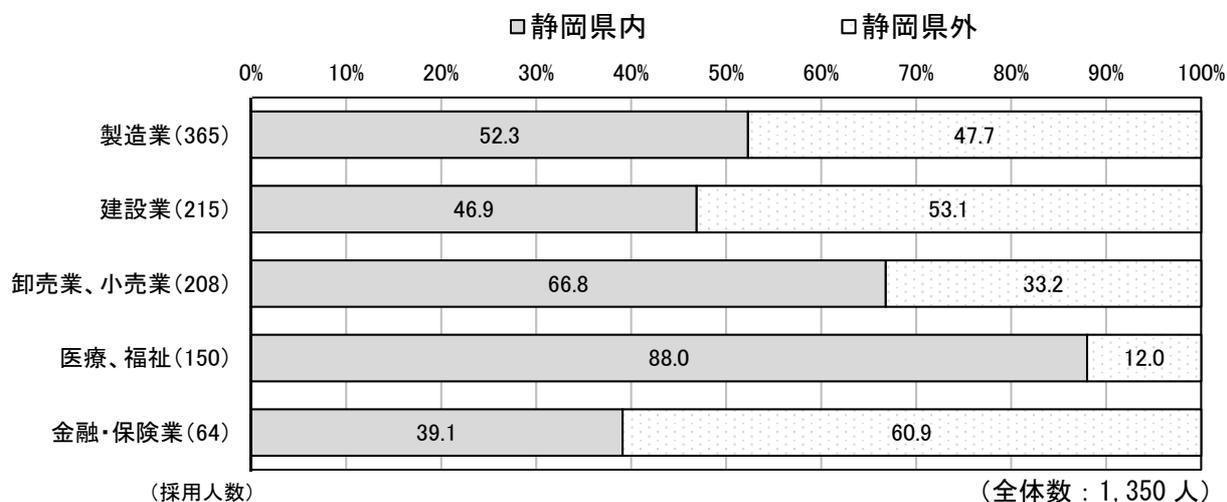
図表5-4 新卒者の出身校所在地域



(全体数 : 1,350 人)

業種別の採用数では、「製造業」の365人が最多となり、次いで「建設業」(215人)、「卸売・小売業」(208人)、「医療・福祉」(150人)、「金融・保険業」(64人)と続く。採用の特徴を見ると、「卸売・小売業」、「医療・福祉」では県内採用の割合が高く、金融・保険業は他よりも県外採用の割合が高くなっている。

図表5-5 業種別の静岡県内外での採用比率 (採用上位5業種)



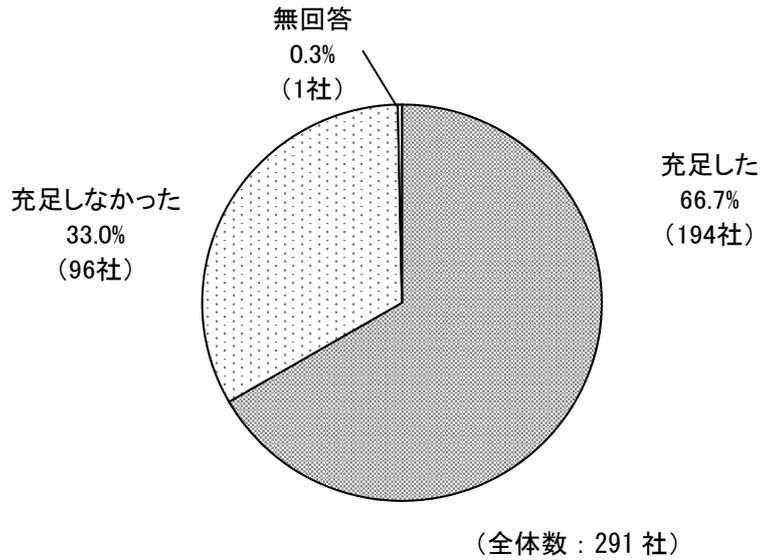
(全体数 : 1,350 人)

6. 浜松市内企業の新卒者採用の充足度

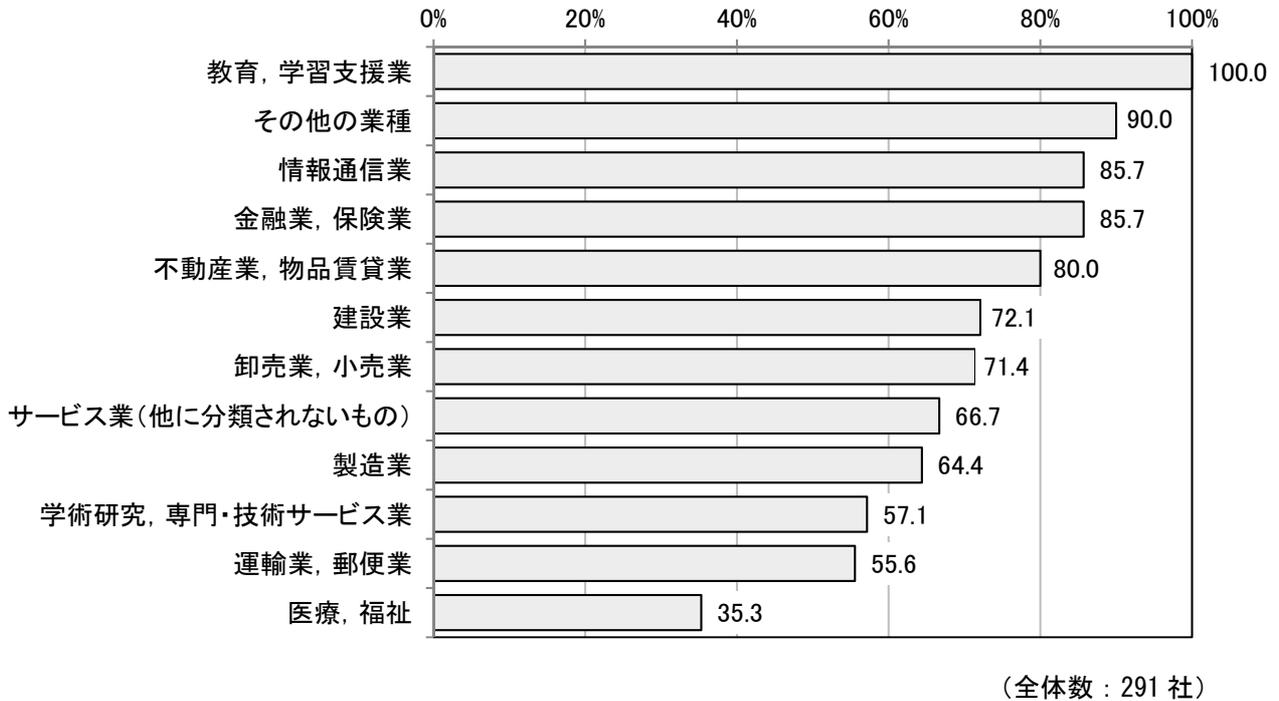
新卒者の採用予定数が「充足した」と回答した企業は66.7%で、「充足しなかった」は33.0%となる。

充足度が高い企業を業種別に見ると、「教育、学習支援業」(100%)、「その他の業種」(90.0%)、「情報通信業」と「金融業、保険業」(85.7%)の順である。

図表6-1 新卒者の充足した企業の割合

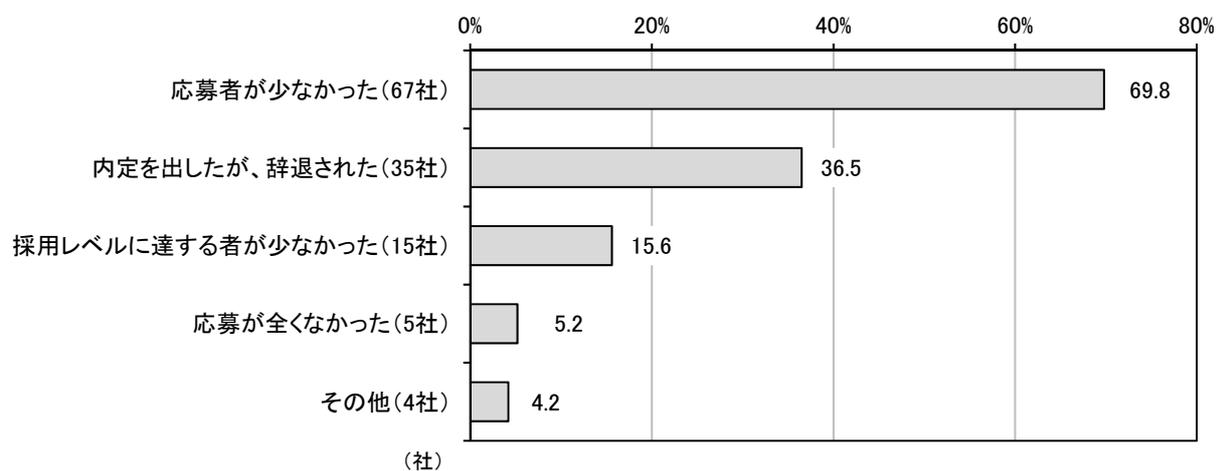


図表6-2 業種別の新卒者の充足した企業の割合 (5社未満の業種を除く)



新卒者が「充足しなかった」理由について割合が最も高かったのは、「応募者が少なかった」(69.8%)で半数以上となっており、次いで「内定を出したが、辞退された」が36.5%となっている。内定辞退は、平成27年度調査の11.4%から大幅に増加した。

図表6-3 新卒者が充足しなかった理由(複数回答可)



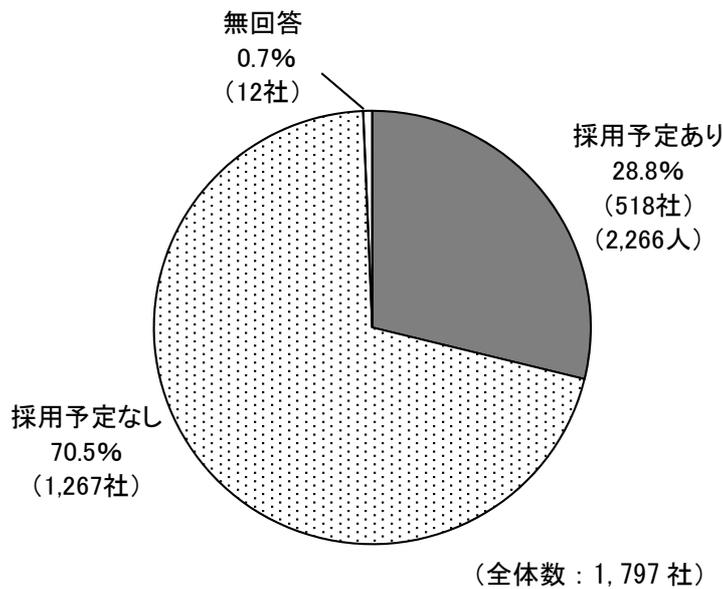
(全体数 : 96社)

**7. 浜松市内企業の新卒者の採用予定**

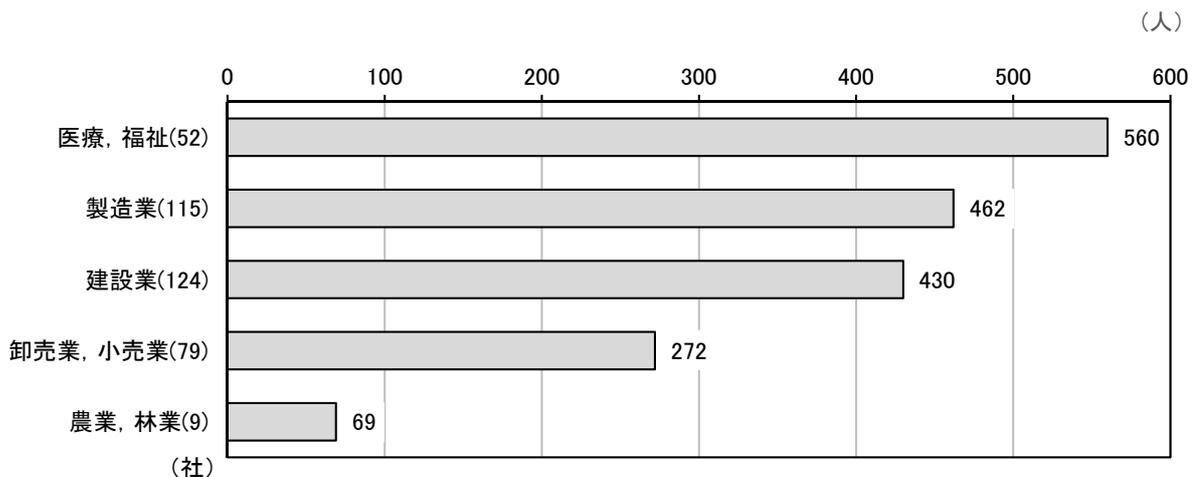
令和5年度の新卒者の採用予定については、28.8%の企業が「採用予定あり」とし、2,266人を採用予定としている。

採用予定人数は「医療・福祉」(560人)、「製造業」(462人)、「建設業」(430人)、「卸売・小売」(272人)が多い。ただし、令和4年度の新卒者採用実績は16.2%であり、特に採用が困難な傾向にある業種に関しては、採用予定があっても採用できない状況が発生することが想定される。

図表7-1 令和5年度の新卒者の採用予定の有無



図表7-2 新卒者採用予定 (採用予定人数上位5業種)



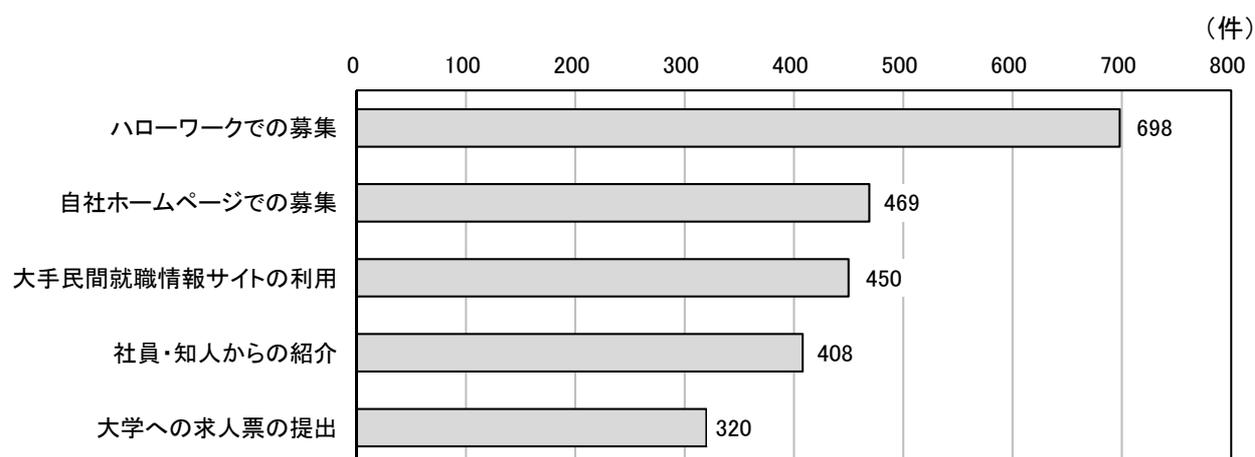
(全体数 : 2,266人)

※括弧内は令和5年4月に新卒者を採用する業種別企業件数

## 8. 新卒者の採用活動

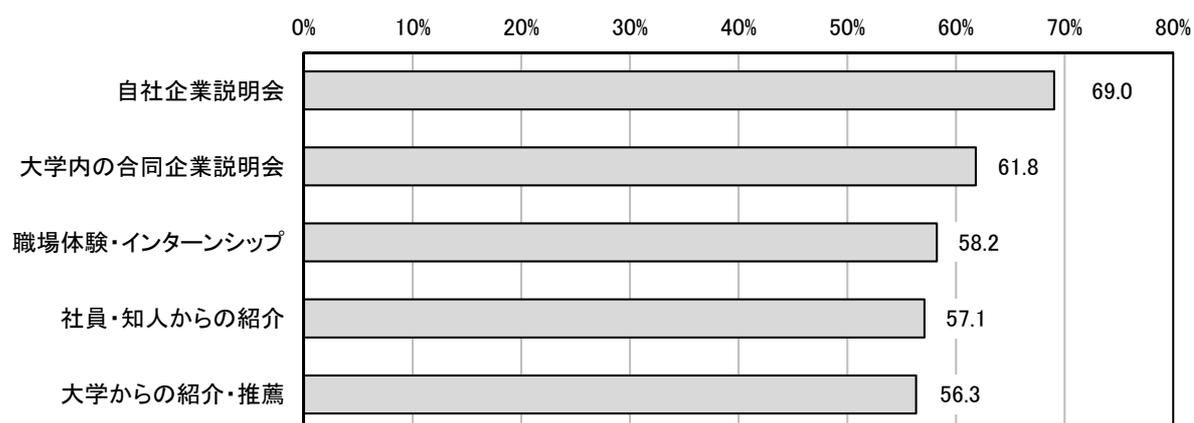
新卒者の採用活動では、実施の多い順に「ハローワークでの募集」、「自社ホームページでの募集」、「大手民間就職情報サイトの利用」となっている。実施結果について「効果あり」の割合では、「自社企業説明会」、「大学内の合同企業説明会」、「職場体験・インターンシップ」の順となる。

図表 8-1 新卒者の採用活動（実施している採用活動上位5種）



(全体数 : 1,797 社)

図表 8-2 新卒者の採用活動（効果がある採用活動上位5種）

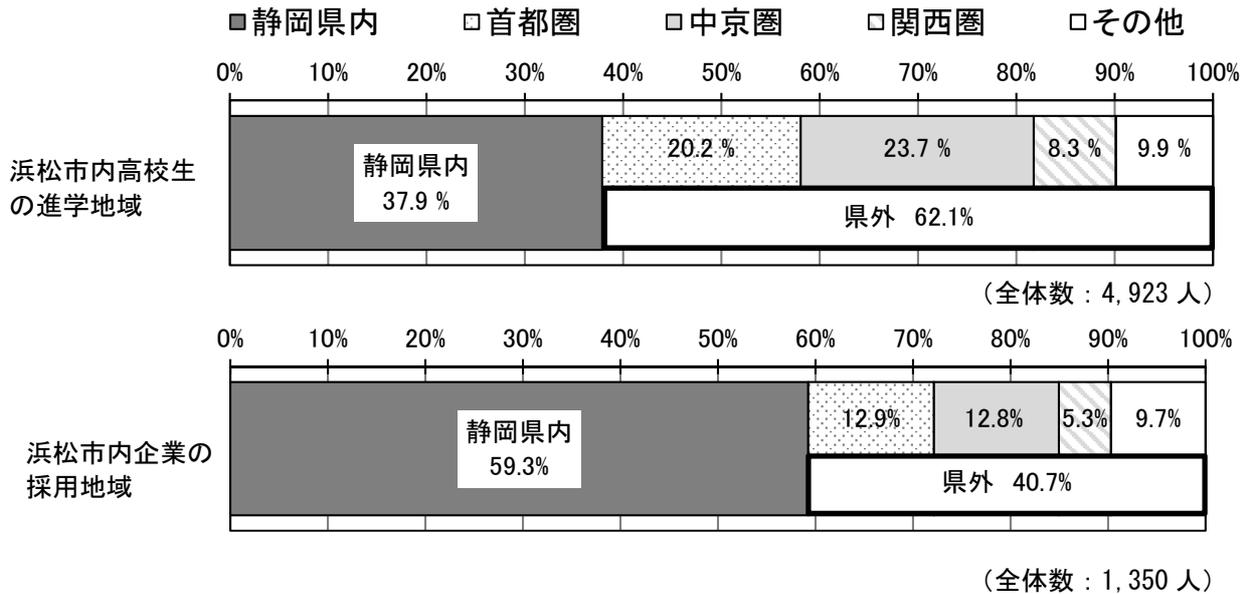


(全体数 : 1,797 社)

9. 新卒者における複合的な観点からのUIJターンの考察

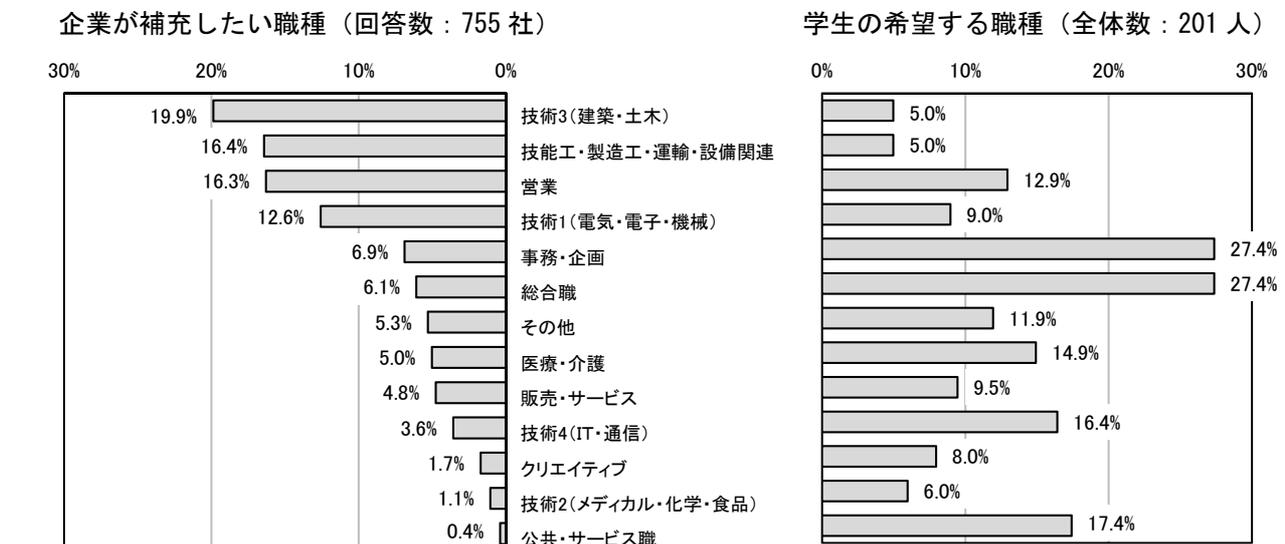
静岡県外に進学している高校生は 62.1%であるのに対し、浜松市内企業の静岡県外からの採用は 40.7%と 21.4ポイントもの差が出ており、浜松市内企業の静岡県外からの採用比率が低くなっている。特に、首都圏への進学者は 20.2%であるのに対して採用者は 12.9%、中京圏への進学者は 23.7%であるのに対して採用者は 12.8%と大きな差がでている。

図表 9-1 浜松市内高校生の進学地域と浜松市内企業の採用地域の対比



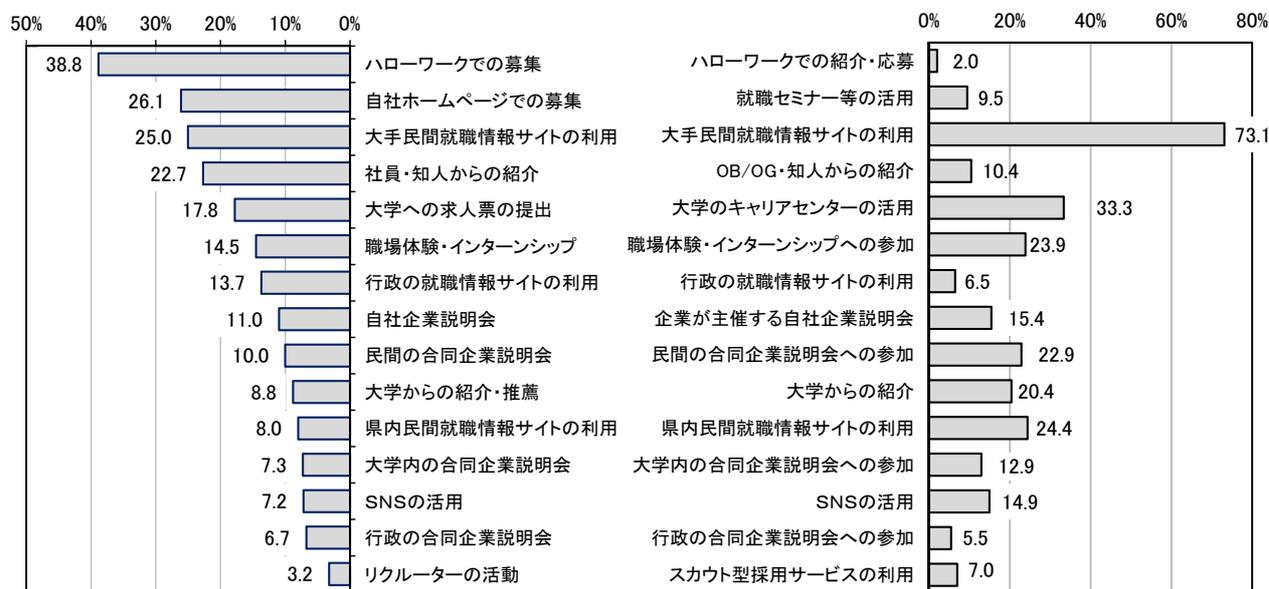
浜松市内企業が新卒者採用で最も補充したい職種は建設関連で需要が高い「技能(建築・土木)」(19.9%)、次いで多くの職種に必要な「技能工・製造工・運輸・設備関連」(16.4%)になるが、学生の希望する職種は、「事務・企画」(27.4%)、「総合職」(27.4%)が上位であり、学生の希望とは一致していない。

図表 9-2 浜松市内企業が新卒採用で補充したい職種と学生の希望する職種の対比



浜松市内企業が今まで実施した新卒採用活動は、「ハローワークでの募集」が38.8%と最も高かったが、学生が予定する就職活動で最も割合が高かったのは「大手民間就職情報サイトの利用」(73.1%)であった。企業の採用活動と学生の就職活動に乖離がみられる。

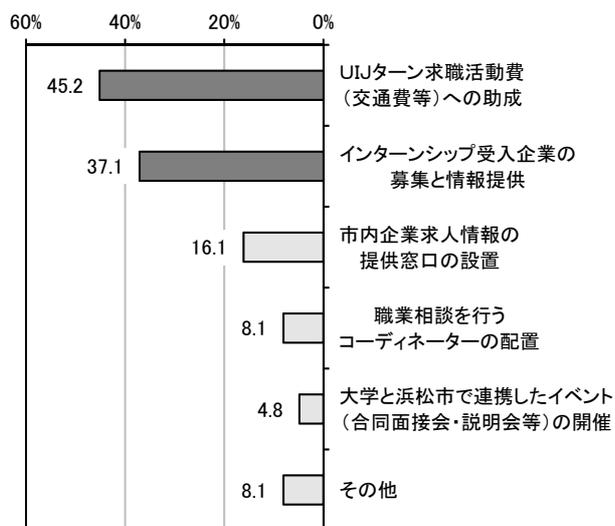
図表9-3 企業の採用活動実績と学生の就職活動予定



静岡県外大学と静岡県外在住の浜松市及び静岡県出身の学生からの支援要望は、「就職活動に掛かる費用の補助（交通費補助）」が最も高く、「インターンシップ情報提供」と続く。

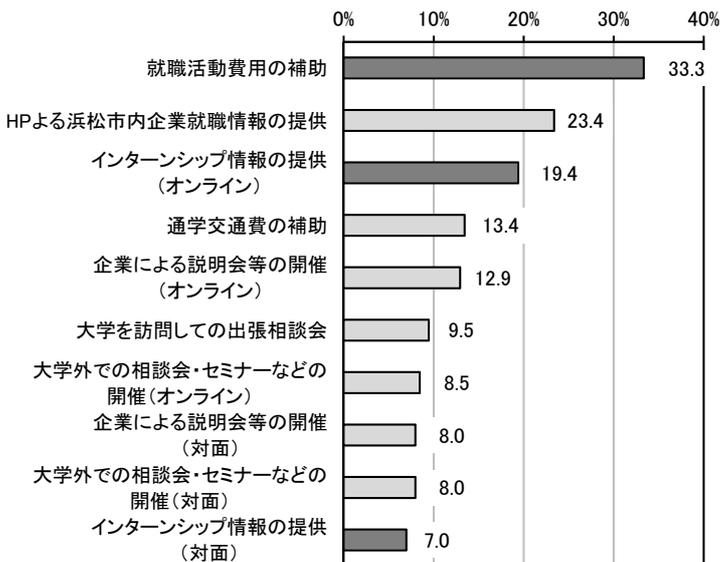
図表9-4 静岡県外在住学生のUIJターン促進に有効的な方策

静岡県外大学が希望する支援



(全体数 : 62校)

浜松市及び静岡県出身学生が希望する支援



(全体数 : 201人)

## IV. 中途採用者における UIJ ターンの実態

本調査において実施した以下3件の調査結果を集約し、中途採用者における UIJ ターンの実態を記載する。

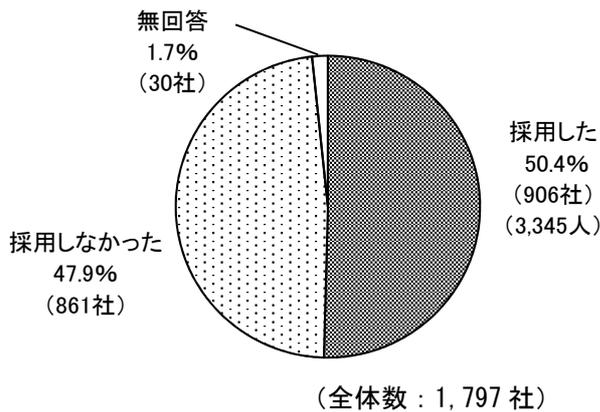
- ・「浜松市内企業実態調査」
- ・「浜松市内企業就職者並びに UIJ ターン就職経験者実態調査」
- ・「浜松市外企業就職者実態調査」

### 1. 浜松市内企業の中途採用実績について

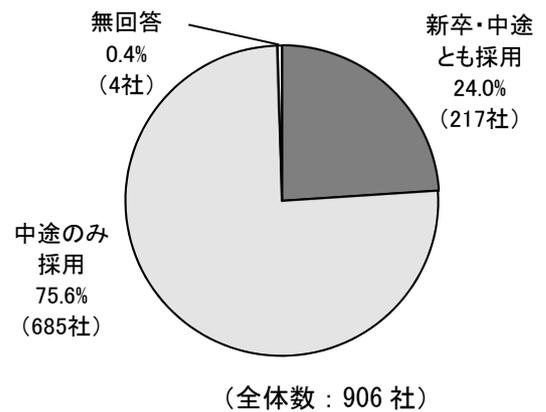
浜松市内企業における令和3年度の中途使用実績については、50.4%の企業で採用実績がある。採用割合を業種別でみると、「運輸業・郵便業」(88.5%)、「医療・福祉」(82.3%)、「製造業」(61.6%)の順となる。

中途採用者を採用した企業の中で、新卒者と中途採用者両方を採用した企業は24.0%、中途採用者のみ採用した企業は75.6%となっている。なお、新卒者のみ採用した企業は74社である。

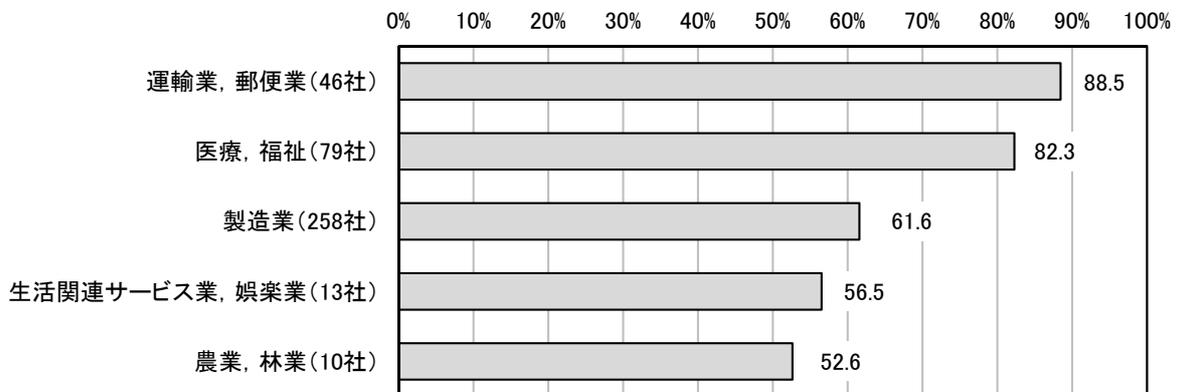
図表 1-1 令和3年度浜松市内企業の中途採用実績



図表 1-2 中途採用企業の採用内訳



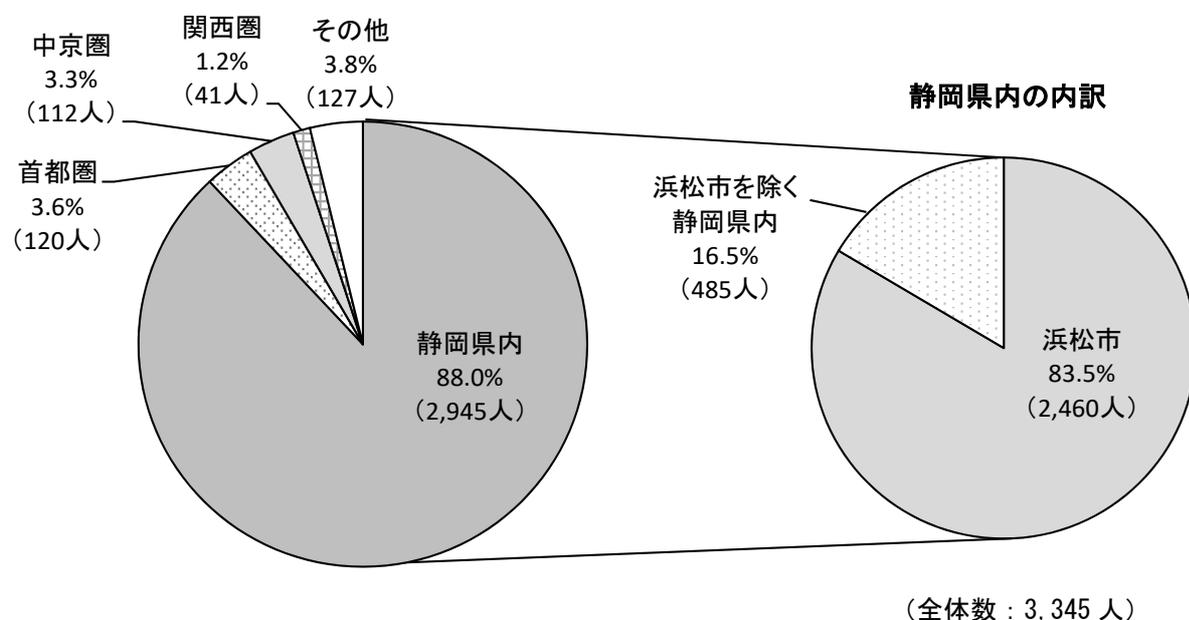
図表 1-3 浜松市内企業の中途採用を行った企業の割合



※回答1社の企業を除く (全体数: 1,797社)

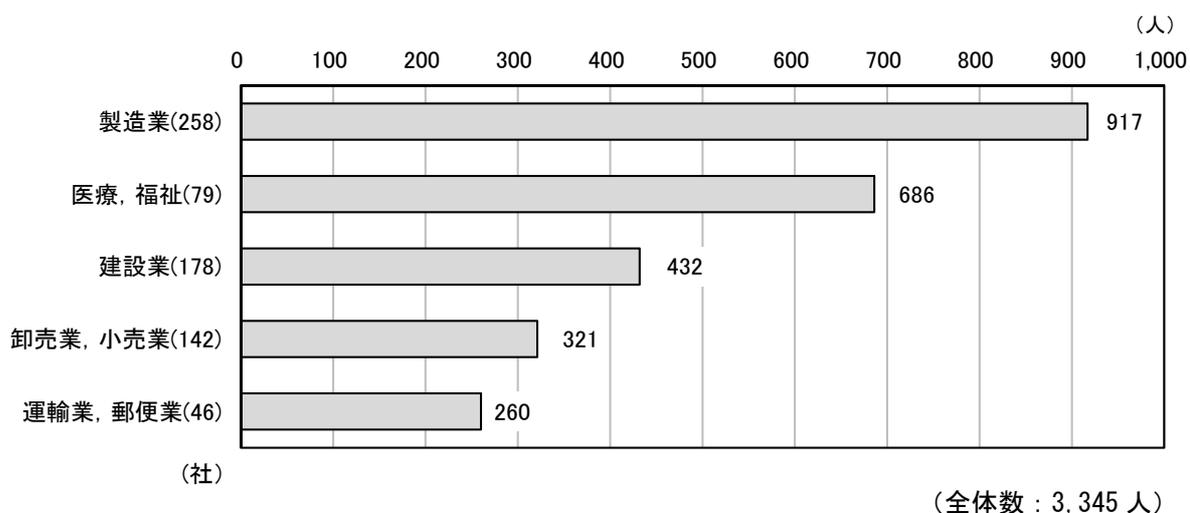
また、中途採用前における居住地は「静岡県内」が88.0%を占め、「静岡県内」のうち「浜松市」は、83.5%を占める結果となり、中途採用は転居を伴わない地元居住者を採用する傾向が強い。

図表1-4 浜松市内企業の採用前居住地別の中途採用者の割合



業種別で中途採用数が多い順では、「製造業」(917人)、「医療・福祉」(686人)、「建設業」(432人)、「卸売・小売業」(321人)、「運輸業・郵便業」(260人)となる。

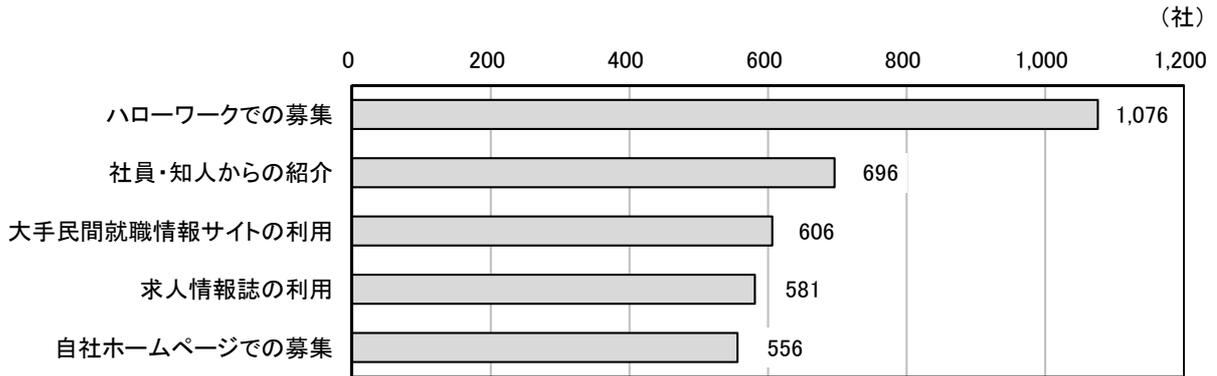
図表1-5 浜松市内企業の中途採用者数



2. 中途の採用活動

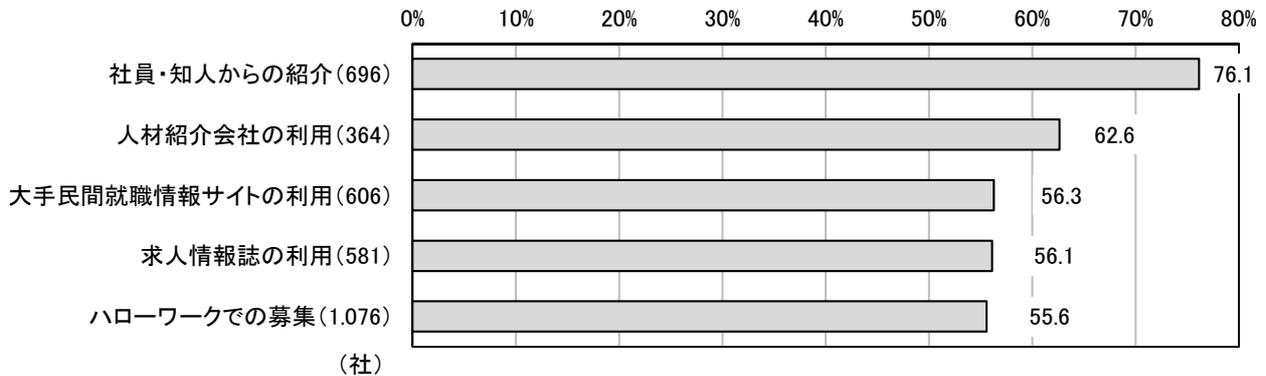
浜松市内企業が中途採用活動として「実施している」項目は、「ハローワークでの募集」、「社員・知人からの紹介」、「大手民間就職情報サイトの利用」の順となっている。効果があった採用活動は「社員・知人からの紹介」(76.1%)、「人材紹介会社の利用」(62.6%)、「大手民間就職情報サイトの利用」(56.3%)が高くなっている。

図表 2-1 浜松市内企業の中途採用活動における実施項目（上位5項目）



(全体数 : 1,797 社)

図表 2-2 効果のあった中途採用活動（上位5項目）



(全体数 : 1,797 社)

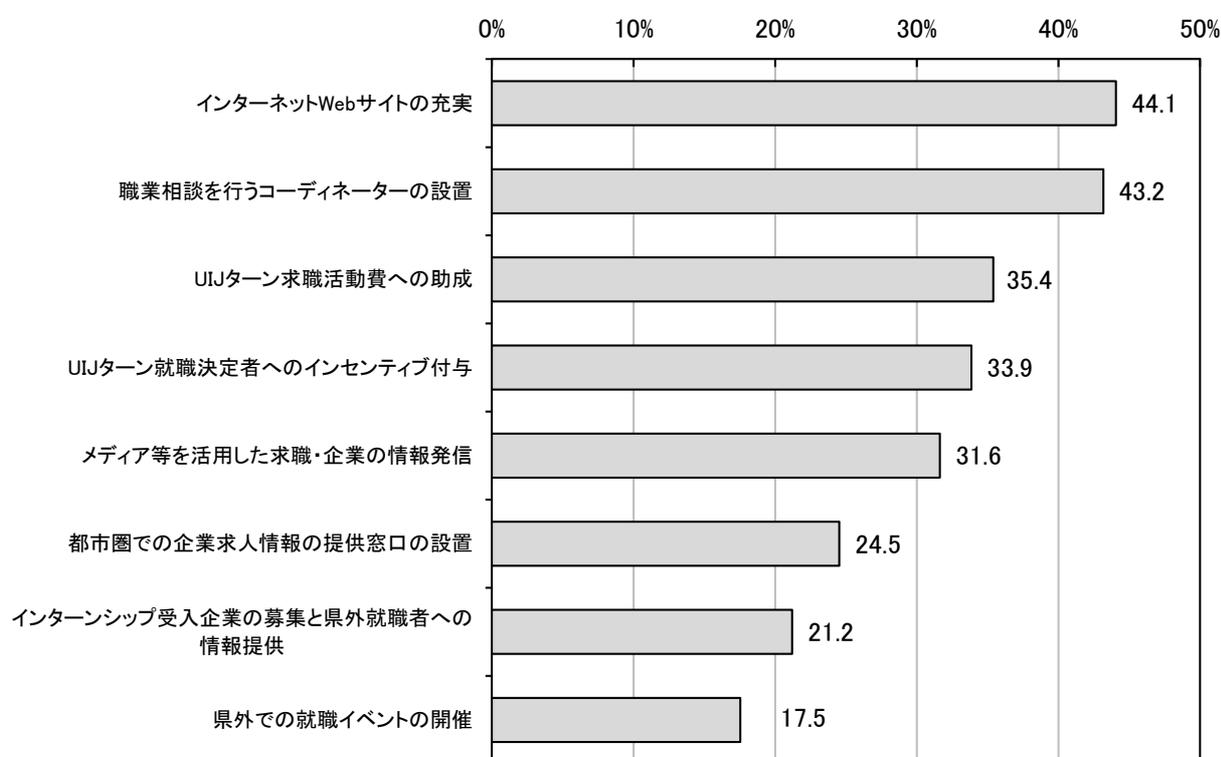
## V. 浜松市への意見・要望

### 1. 浜松市へ期待すること

「浜松市に期待すること」について「UIJ ターン就職に関わる浜松市内企業実態調査」回答企業 1,797 社のうち 901 社から 2,265 件の回答があった。

「インターネット Web サイトの充実」(44.1%)、「職業相談を行うコーディネーターの配置」(43.2%)、「求職者に対する UIJ ターン求職活動費の助成」(35.4%)、「UIJ ターン就職決定者へのインセンティブ付与」(33.9%) の順となる。

図表 1 浜松市内企業が浜松市に期待すること

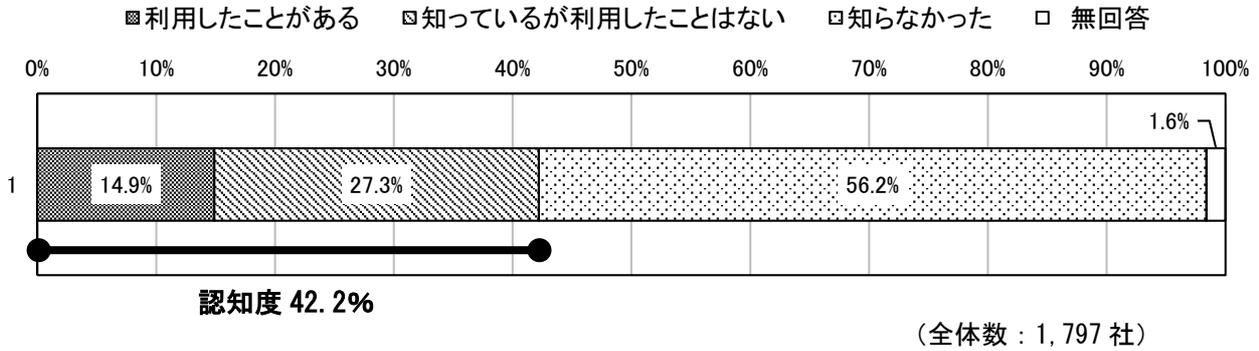


(全体数 : 901 社)

**2. JOB はま！及び奨学金返還支援事業について**

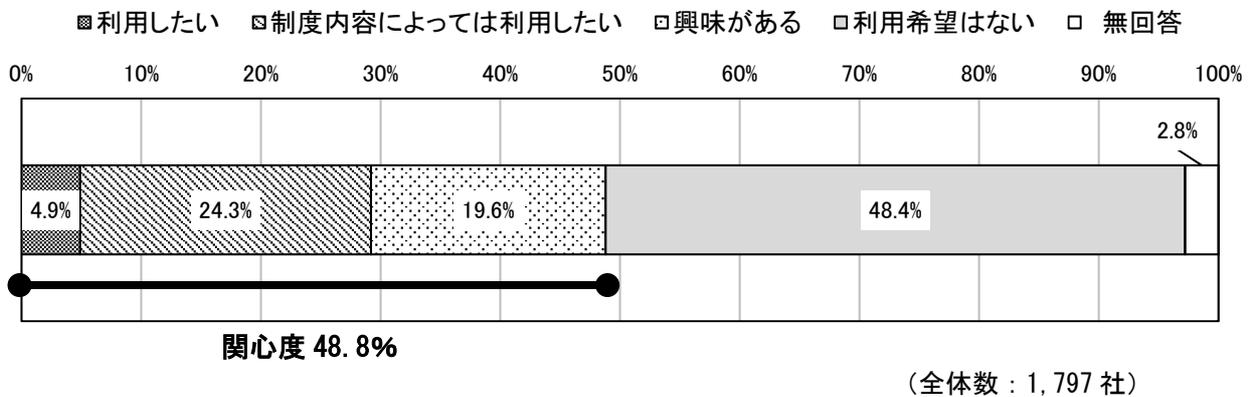
浜松市が運営する「浜松就職・転職ナビJOBはま！」の利用状況について、「利用したことがある」、「知っているが利用したことはない」と答えた企業は42.2%、「知らなかった」と答えた企業は56.2%であった。

図表2-1 浜松市内企業の「浜松就職・転職ナビJOBはま！」認知度



「浜松市奨学金返還支援事業」の利用希望状況について、「利用したい」、「制度内容によっては利用したい」、「興味がある」と回答した「利用に前向きな企業」は48.8%であった。

図表2-2 浜松市内企業の「浜松市奨学金返還支援事業」利用希望状況



### 3. 浜松市内企業実態調査自由記入欄及び抽出企業ヒアリング調査から

採用に関する要望として、「Web サイト（JOB はま！）の充実」や「UIJ ターン求職活動費」、「コーディネーターの設置」を期待する意見が多かった。具体的な意見に関しては、以下に抜粋する。

#### ◎Web サイト（JOB はま！）や情報提供に関するコメント（抜粋）

- ・マッチングが成立した事例の紹介。
- ・様々な PR 活動は行っていると思うが、学生に対して JOB はま！をもっと周知してほしい。
- ・新卒募集の案件が充実しているとは思えない。転職・中途採用が主体となっているようなイメージ。
- ・行政サイトと企業サイトの連携強化などを期待したい。
- ・UIJ ターンを考えている方に向けての情報提供ができる体制を強化してほしい。

#### ◎UIJ ターン求職活動費（交通費補助）に関するコメント（抜粋）

- ・中小企業就職施策として、学生の就職活動にかかる費用（交通費）を市が補助してほしい。
- ・遠方の方だと、働く場所の作業内容等を見学に来てもらうのが難しい。

#### ◎UIJ ターン希望者に対するコーディネーターの設置に関するコメント（抜粋）

- ・中小企業への就職を支援するコーディネーターを設置してほしい。
- ・採用活動全般に関する相談窓口等があるとよい。
- ・求職者と企業とのマッチングを細かく対応してもらえるとよい。

#### ◎UIJ ターン決定者へのインセンティブに関するコメント（抜粋）

- ・地方活性化、人口流出など諸問題を打開するため、UIJ ターン就職者に対するインセンティブ付与。
- ・奨学金返還支援の積極的な PR を期待したい。

#### ◎就職イベントや PR 活動に関するコメント（抜粋）

- ・学内説明会の参加学生が少ないので、大学と協力してもっと増やして欲しい。
- ・今の学生は対面式の就活イベントへの興味が低下傾向にある。企業側としては、できるだけ対面で反応を確認したいため、学生が積極的に参加したくなる仕掛けを共に考えていきたい。
- ・地元に戻って就職したい人を採用したいので、そう考えている学生等と面談できる機会が欲しい。
- ・魅力ある地元中小企業の紹介や PR の場を設けて、知る機会を作っていただきたい。
- ・首都圏でも浜松市への UIJ ターンの魅力などを発信する PR 活動を積極的にやってほしい。

#### ◎その他

- ・将来、浜松に住みたくなるような PR を全国の若い世代に向け発信して欲しい。
- ・進学校に通う高校生への U ターン就職促進啓発。
- ・就職情報サイト掲載料の補助があると良い。小規模の企業にはその金額を捻出するのが厳しい。
- ・浜松市出身の大学生がどの地域に進学しているのか分布を開示してもらえると効果的に採用活動ができる。

---

#### 4. 静岡県内大学・県外大学への実態調査自由記入欄及びヒアリング調査から

---

静岡県内、静岡県外各大学からの要望・意見等、具体的な声を以下に抜粋する。

##### ◎最近のトレンド（抜粋）

- ・コロナ禍により、親からの助言や一人で生活していくことへの不安、親族や知人がいる地元での就職による安心感などが地元志向の高まりに影響している。
- ・コロナ禍という不透明な環境下であったため、学生も早く内定を獲得し、就職活動を終わらせたいという傾向が見られた。
- ・コロナ禍となる以前よりも、企業に対する情報量は持っており、この点においては、特色のある中小企業を志望する学生もやや増えた。
- ・コロナ禍において、対面での説明会等が中止となるなど、直に企業担当者と接触できる機会が減った一方、学生自ら Web 上で情報収集を行う傾向が強まった。
- ・民間就職情報サイトを活用し、情報収集する学生が多い。
- ・キャリア支援センター等との接触にも制限が生じていたため、学生自身自らが率先して情報収集を行う傾向が強くなった。
- ・総合職や営業職志望では、大手志向が依然として強い。
- ・大手主体に初任給の改定や賃上げの話が増えてきているため、より大手志向が強まっている。
- ・地元の大手及びその系列企業以外にも優良企業は多くあると認識するが、学生の優先順位としては低い。
- ・都市圏出身の学生においては、大学所在地域の大手企業や出身地の中堅以上の企業が主な候補先となる。
- ・デザイン、IT・デジタル系を専攻の学生は地元を受け皿となる企業が多くないため、地元志向の学生であっても、仕事のやりがいを重視して、大都市圏に就職の場を求める傾向が強い。
- ・自身のやりたいことが明確な学生は企業研究も広く行っており、地方でも特色のある企業を志望する。
- ・県外企業からの PR は増えているが、地元企業の採用意欲が旺盛なため、他県情報は埋もれがち。学生も情報を整理しきれない。

##### ◎学生が浜松市に就職しなかった理由（抜粋）

- ・コロナ禍での就職活動において、企業側のオンライン説明会や面談等が普及したものの、学生にとって見えづらい部分もあり、地元（浜松市以外）企業を選択した。
- ・コロナ禍によるオンライン化で実際に学生が移動して就職活動した機会が以前よりも少なかったかもしれないが、それでもUターン就職活動における費用面が負担となる。
- ・県外大学においては、地元企業の採用意欲も強いため、あえて他県企業を選択しない。
- ・首都圏や他県の企業情報も多く、一地方都市の情報が学生に行き届かない。
- ・地方には学生が専攻してきた分野を生かせる企業や職業が少ないため、都市圏を希望する学生も多い。

**◎浜松市への就職に結びつける方策（抜粋）**

- ・単に企業内容を紹介するだけでは効果が乏しく、街としての魅力を高めることやそれを上手く PR していくことが重要。
- ・Uターンに限らず、就職後に居住する地域で安心して生活できる制度づくりが必要。
- ・製造業の集積が多いが、IT・デジタル分野などの産業集積に力を入れる。
- ・先端技術、次世代自動車産業に関わる企業など、将来性のある産業の集積、誘致などに力を入れ、他自治体との差別化を図る。

**◎就職支援の方針（抜粋）**

- ・就職先や企業規模などは、学生の考えを尊重して相談対応している。
- ・特定分野を志望する学生が多いため、同分野の企業に大学の知名度が広がるよう対応している。
- ・アフターコロナを見据えて、他県大学とも合同での企業説明会を強化していきたい。

---

## 5. 今後のUIJターン就職促進策の提案

---

浜松市内企業、県内大学・専門学校、県外大学、大学生及び就職者へのアンケート、浜松市内企業及び県内・県外大学へのヒアリングにて得られた結果、要望等を基に、浜松市における今後のUIJターン就職促進施策の提案を行う。

### 背景①

コロナ禍においては企業のオンライン説明会や面談の普及で、学生が就職活動時に移動する機会が限定的であったが、アフターコロナ的环境下では再度対面での企業説明会や面接などが増えることが予想される。浜松市内企業においても遠方からの就職希望者に対する経済的な支援を求める声が聞かれた。

### 求められる施策①

浜松市内企業へのUIJターン就職を希望する学生に対して、就職活動に伴う交通費を補助する制度を実施していくことは、要望も高く効果的と考えられる。また、就職活動時の経済的支援に留まらず、浜松市内企業に就職してもらうためには就職後の経済的な支援も必要と考えられ、「浜松市奨学金返還支援事業」についても他自治体との差別化となるような内容・条件の拡充なども効果的と考える。

### 背景②

地元志向の学生が多い大学においても、情報不足から地方には自身の希望する業種・職種の受け皿が少ないと感じ、仕事のやりがいを求めて、都市圏や他県の企業を志望するケースがある。また、大学が所在する地元企業以外の地域の企業情報が埋もれがちとなってしまう、学生に浜松市内企業の魅力が伝わりきらないというような声も聞かれた。

### 求められる施策② - 1

学生などの求職者に対してUIJターン就職を促進するためには、地元企業の仕事内容や魅力を詳細に広く情報発信していくことが不可欠である。73.1%の学生が就職活動において利用している就職情報サイトの活用は、全国の学生に自社の魅力をPRできるツールではあるが、中小企業にとっては利用料の高さがネックとなっており、そういった就職情報の発信に係る支援を今後検討していく必要があると考える。

### 求められる施策② - 2

「実際の業務内容が詳しくわかる製造現場のオリジナル動画サイトを配信した結果、十分な人材確保に繋がった」という企業からの声もあり、各社事業の詳細を学生や転職希望者にわかりやすく伝えることは、採用に大きな効果があると考えられる。浜松市では、既に就職サイト「JOBはま！」を運営しているが、魅力ある浜松市企業の内容を画像や文面だけでなく、効果的な動画を交えて、情報発信していくことは、UIJターン就職を促進する上でも効果的と考えられる。浜松市が主体となって、参加企業を募り、広く学生に周知されるようなWeb戦略の展開に対しては、企業、大学、学生にとって有益と考えられる。

### 求められる施策② - 3

市内の高校生が市内企業を知らずに都市圏へ進学してしまうことから、いざUターンしようと考えたときに浜松市内にどんな企業や業種があるのかわからず、結局そのまま都市圏に就職してしまうケースが多いとの声がよく聞かれた。中・高校生の段階からUターン就職の意識を醸成するような取組みをさらに強化することは、市内企業への関心を高め、将来的なUターン就職の増加に効果的であると考えられる。

---

**背景③**

先行する学科によっては、地元企業での受け皿が不足しているケースも聞かれる。また、都市圏の企業と比較した場合、出身地域に就職したい企業がないなどの理由から、都市圏に留まり就職する学生は多いと見られる。一方、経済環境は急速に変化しており、自動車業界においては100年に一度の変革期と叫ばれて久しい。すそ野の広い自動車業界であるが、次世代自動車分野の産業構造に関しては、現在の自動車関連業種の衰退や新興勢力の台頭などが見込まれている。自動車業界に限らず、ものづくりの世界ではIT化が一段と進んでいるほか、これらを背景として都市インフラの構造変化も求められるところであろう。

**求められる施策③**

若い世代にとって魅力的な産業、企業群の誘致を強化することは、県外学生の転入や浜松市出身者のUターンを促進する上で重要な施策と考えられる。自動車産業や先端技術の企業基盤がある浜松市においては、将来性のある企業と早くから関係性を構築していくことが可能と考えられ、地元業界団体とも連携した産業基盤構築やスタートアップの支援を進めていくことは効果が期待できる。



# 付録項目 調査票

## I 浜松市 UIJ 就職促進に係る実態調査 調査票（市内高等学校）

問 1. 貴校の年度別、進路別の卒業生の人数を下表にご回答ください。

	大学	短期大学	専門・ 各種学校	進学準備 (浪人)	就職	未定	その他	不明
2022年3月卒業生	人	人	人	人	人	人	人	人

問 2. 問 1 で回答した「大学」「短期大学」「専門・各種学校」に進学した人の進路先について、下表に内訳をご回答ください。

	浜松市	浜松市を除く 静岡県内	首都圏	中京圏	関西圏	その他
大学	人	人	人	人	人	人
短期大学	人	人	人	人	人	人
専門・各種学校	人	人	人	人	人	人

※首都圏（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県）

※中京圏（愛知県・岐阜県・三重県）

※関西圏（大阪府・京都府・兵庫県・奈良県）

問 3. 令和 3 年度卒業生の進学先（大学・短期大学・専門・各種学校）の学校名、学校コード（※）（あるいは学校所在地）と人数をご回答ください。

※文部科学省の以下のホームページをご確認いただき、令和 4 年 5 月 1 日時点（暫定版）のコードから該当するものをお選びください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

<大学> 進学人数上位 10 校までお答えください。

順位	学校名	学校コード（あるいは学校所在地）	人数
例)	静岡大学	F122110106224	999 人
1 位			人
2 位			人
3 位			人
4 位			人
5 位			人
6 位			人
7 位			人
8 位			人
9 位			人
10 位			人

<短期大学・専門・各種学校>

順位	学校名	学校コード (あるいは学校所在地)	人数
例)	カワイ音楽学園	H222310000151	14人
1位			人
2位			人
3位			人
4位			人
5位			人
6位			人
7位			人
8位			人
9位			人
10位			人

問 4. 貴校卒業生の将来的なUターン就職支援にあたり、地方自治体と連携して取り組んでいきたい事業はございますか。あてはまるものに○を付けてください。(複数選択可)

1. 浜松市内企業の紹介	2. 浜松市内企業に勤めるOB・OGとの交流会
3. 企業見学バスツアー等イベントの開催	4. 個別キャリアカウンセリング
5. 保護者向けセミナー	6. その他 ( )

問 5. 新型コロナウイルス感染症が生徒の進路に与えた影響をお答えください。(複数選択可)

1. 進学から就職へ進路変更した
2. 進学先を変更した
3. 就職先を変更した
4. 進学先が決まらず浪人となった
5. 就職先が決まらず浪人となった
6. 新型コロナウイルス感染(後遺症を含む)で闘病中である
7. その他 ( )
8. 特に影響はない

## II 浜松市 UIJ 就職促進に係る実態調査 調査票（大学・市内専門学校）

問 1. 貴校の学校種別をご回答ください。

1. 静岡県内 4 年制大学	2. 静岡県内短期大学	3. 静岡県外大学 4 年制大学
4. 静岡県外短期大学	5. 浜松市内専門学校	

問 2. 出身地別の在校生の人数および静岡県、浜松市出身者の学生数についてご回答ください。正確に把握できない場合はおおよその人数でも結構です。

	静岡県内出身者		静岡県外出身者	合計
		うち浜松市出身者		
1 年生	人	人	人	人
2 年生	人	人	人	人
3 年生	人	人	人	人
4 年生	人	人	人	人

問 3. 令和 3 年度卒業生の就職先の地域別内訳についてご回答ください。また、その内の浜松市内出身者の人数をご記入ください。把握できていない項目については未記入で、詳細がわからない場合はおおよそで構いません。

	静岡県内	うち浜松市内	首都圏	中京圏	関西圏	進学	その他・不明
令和 3 年度全体	人	人	人	人	人	人	人
うち浜松市内出身者	人	人	人	人	人	人	人

※浜松市出身者か否かは、保護者の住所等でご判断ください。

問 4. 貴校学生に浜松市内への就職を勧めるとした場合、現状どのような情報が不足していますか。あてはまるものに○を付けてください。（複数選択可）

1. 企業情報	2. 求人情報	3. 住宅情報
4. 都市環境（交通等）情報	5. 生活環境（商業施設、医療等）情報	6. 市に関する情報全般
7. その他（ ）		

問5. 貴校学生への就職支援にあたり、地方自治体と連携して取り組んでいきたい事業はございますか。あてはまるものに○を付けてください。(複数選択可)

1. 学内説明会等の実施	2. 学内セミナーの実施
3. 浜松市内企業に勤めるOB・OGとの交流会	4. 県内企業を招いての座談会等の実施
5. 企業見学バスツアー等イベントの開催	6. 個別キャリアカウンセリング
7. 保護者向けセミナー	8. インターンシップ情報の受付及び掲示
9. その他 ( )	

問6. 新型コロナウイルス感染症が、令和3年度中の貴校の就職支援に与えた影響について、ご記入ください。(複数選択可)

1. 就職相談件数(学生との接点)が増えた
2. 就職相談件数(学生との接点)が減った
3. 就職相談はオンラインでなく対面のみで行っておりコロナ前より効率が良くなった
4. 就職相談はオンラインでなく対面のみで行っておりコロナ前より効率が悪くなった
5. 就職相談が対面からオンラインとなり効率が良くなった
6. 就職相談が対面からオンラインとなり効率が悪くなった
7. 就職活動に悩む学生が増えた
8. 就職活動に悩む学生が減った
9. 就職ガイダンスが対面からオンラインとなり効率が良くなった
10. 就職ガイダンスが対面からオンラインとなり効率が悪くなった
11. 学生の就職活動の状況が把握しやすくなった
12. 学生の就職活動の状況が把握しづらくなった
13. 企業説明会やインターンシップ等が延期・中止となり希望者が参加できなかった
14. 企業説明会等やインターンシップ等のオンライン開催が増え、UIJターン就職がしやすくなった
15. 地元就職を選択する学生が増えた
16. 地元就職を選択する学生が減った
17. その他 ( )
18. 特に影響はない

問7. アフターコロナを見据え、就職活動支援の希望はございますか。

1. 貴校と浜松市で連携したイベント(合同面接会・説明会等)の開催
2. 浜松市内企業求人情報の提供窓口の設置
3. 浜松市内へのUIJターン就職希望者に対する職業相談を行うコーディネーターの配置
4. 浜松市内企業と学生をマッチングするインターンシップ受入企業の募集と情報提供
5. 学生に対するUIJターン求職活動費(交通費等)への助成
6. その他 ( )
7. 特になし

### Ⅲ 浜松市 UIJ 就職促進に係る実態調査 調査項目（大学生）

問 1. あなたの性別をお選びください。

1. 男
2. 女
3. その他

問 2. 現在、お住まいの地域を入力してください。

1. 浜松市
2. 浜松市を除く静岡県西部
3. 静岡県中部
4. 静岡県東部
5. 首都圏
6. 中京圏
7. 関西圏
8. その他 ( )

問 3. あなたの出身地を入力してください。

1. 浜松市
2. 浜松市を除く静岡県西部
3. 静岡県中部
4. 静岡県東部
5. その他 ( )

問 4. あなたが通う学校の所在地をお選びください。

1. 浜松市
2. 浜松市を除く静岡県西部
3. 静岡県中部
4. 静岡県東部
5. 首都圏
6. 中京圏
7. 関西圏
8. その他 ( )

問 5. 現在のあなたの学年をお選びください。

1. 大学 1 年生
2. 大学 2 年生
3. 大学 3 年生
4. 大学 4 年生
5. その他 ( )

問6. あなたの学部について、最も当てはまるものを1つお選びください。

- |       |
|-------|
| 1. 文系 |
| 2. 理系 |

問7. あなたが就職を希望する職種をお選びください。(複数選択可)

- |                      |                |                   |
|----------------------|----------------|-------------------|
| 1. 事務・企画             | 2. 営業          | 3. 販売・サービス        |
| 4. 総合職               | 5. クリエイティブ     | 6. 技術1 (電気・電子・機械) |
| 7. 技術2 (メディカル・化学・食品) | 8. 技術3 (建築・土木) | 9. 技術4 (IT・通信)    |
| 10. 技能工・製造工・運輸・設備関連  | 11. 公共・サービス業   | 12. 医療・介護         |
| 13. その他 ( )          |                |                   |

問8. あなたが就職を希望する地域はどこですか。(複数選択可)

- |                 |
|-----------------|
| 1. 浜松市          |
| 2. 静岡県 (浜松市を除く) |
| 3. 首都圏          |
| 4. 中京圏          |
| 5. 関西圏          |
| 6. その他 ( )      |

問9. すべての方にお伺いします。就職先を選ぶ際に重視することは何ですか? あてはまるものをお選びください。(3つ以内)

- |               |             |              |
|---------------|-------------|--------------|
| 1. 会社・事務所の所在地 | 2. 会社の安定性   | 3. 給与        |
| 4. 休日・休暇      | 5. 福利厚生充実   | 6. 会社の理念     |
| 7. 仕事の内容      | 8. 会社の将来性   | 9. 就職後の転勤の有無 |
| 10. 勤務時間の柔軟性  | 11. その他 ( ) |              |



















問 11. 「問 9」にて「2.採用予定がなかった」と回答した方にお伺いします。選択された理由について、あてはまるものに○をつけてください。(複数選択可)

1. 人手が足りている
2. 応募が期待できない
3. 経費面から採用する余裕がない
4. 即戦力として中途採用を補充した
5. 非正規社員を補充した
6. その他

問 12. 令和 5 年 4 月入社の新卒者(4 年制大学・短期大学・大学院・専門学校卒業者)の採用予定はありますか。あてはまるものに○をつけてください。(○は 1 つ)

1. 採用予定あり →問 13 へ
2. 採用予定なし →問 14 へ

問 13. 「問 12」にて「1.採用予定あり」と回答した方にお伺いします。「理系」「文系」のどちらを採用される予定ですか。あてはまるものに○をつけ、採用予定人数をご記入ください。(複数選択可)

- |             |             |                     |
|-------------|-------------|---------------------|
| 1. 理系 ( ) 人 | 2. 文系 ( ) 人 | 3. 理系・文系は問わない ( ) 人 |
|-------------|-------------|---------------------|

※人数は概数でも構いません。

問 14. すべての方にお伺いします。貴社では、今までどのような新卒の採用活動を行っていますか。下表にあげた 1～15 の活動の中で貴社が行っているものは「A. 取り組んでおり効果があった」もしくは「B. 取り組んでいたが効果がなかった」のいずれかに○をつけてください。現在行っていないものは「C. 取り組んでないが今後新たに取り組みたい」もしくは「D. 取り組んでおらず、今後予定はない」に○をつけてください。また、16～17 はその他の取り組みで該当があれば（ ）内にご記入ください。

新卒採用の採用活動	該当する項目のいずれかに○			
	A. 取り組んでおり効果があった	B. 取り組んでいたが効果がなかった	C. 取り組んでないが今後新たに取り組みたい	D. 取り組んでおらず、今後予定はない
1. 大手民間就職情報サイト（リクナビ・マイナビ等）の利用				
2. 県内民間就職情報サイト（新卒のかんづめ等）の利用				
3. 行政の就職情報サイト（浜松市・静岡県等）の利用				
4. 大学への求人票の提出				
5. 大学からの紹介・推薦				
6. 自社ホームページでの募集				
7. 自社企業説明会				
8. ハローワークでの募集				
9. 大学内の合同企業説明会				
10. 民間の合同企業説明会				
11. 行政の合同企業説明会				
12. 職場体験・インターンシップ				
13. SNSの活用				
14. 社員・知人からの紹介				
15. リクルーターの活動				
16. その他効果があったこと（ ）				
17. その他新しく取り組みたいこと（ ）				

問 15. すべての方にお伺いします。令和 3 年度中に、中途採用をしましたか。あてはまるものに○をつけてください。（○は 1 つ）

1. 採用した →問 16 へ
2. 採用しなかった →問 17 へ

問 16. 「問 15」にて「1.採用した」と回答した方にお伺いします。令和 3 年度中の中途採用者の採用状況を、採用直前の居住地ごとにご回答ください。（概数でも結構です）

1.浜松市	2.静岡県 (浜松市を除く)	3.首都圏	4.中京圏	5.関西圏	6.その他
人	人	人	人	人	人

※首都圏（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県）

※中京圏（愛知県・岐阜県・三重県）

※関西圏（大阪府・京都府・兵庫県・奈良県）

問 17. すべての方にお伺いします。貴社では、今までどのような中途の採用活動を行っていますか。下表にあげた 1～13 の活動の中で貴社が行っているものは「A. 取り組んでおり効果があった」もしくは「B. 取り組んでいたが効果がなかった」のいずれかに○をつけてください。現在行っていないものは「C. 取り組んでないが今後新たに組みたい」もしくは「D. 取り組んでおらず、今後も予定はない」に○をつけてください。また、14～15 はその他の取り組みで該当があれば ( ) 内にご記入ください。

中途採用の採用活動	該当する項目のいずれかに○			
	A. 取り組んでおり効果があった	B. 取り組んでいたが効果がなかった	C. 取り組んでないが今後新たに組みたい	D. 取り組んでおらず、今後も予定はない
1. 大手民間就職情報サイト（リクナビ・マイナビ等）の利用				
2. 県内民間就職情報サイト（JOB 静岡等）の利用				
3. 行政の就職情報サイト（浜松市・静岡県等）の利用				
4. 求人情報誌（DOMO等）の利用				
5. 新聞求人欄の利用				
6. 自社ホームページでの募集				
7. 自社企業説明会				
8. ハローワークでの募集				
9. 人材紹介会社の利用				
10. 民間の合同企業説明会				
11. 行政の合同企業説明会				
12. SNSの活用				
13. 社員・知人からの紹介				
14. その他効果があったこと ( )				
15. その他新しく組みたいこと ( )				

問 18. すべての方にお伺いします。今後の採用活動を行う上で、浜松市に期待することは何ですか。あてはまるものに○をつけてください。（複数回答可）

1. 県外での就職イベント（合同面接会・説明会等）の開催 2. メディア等を活用した求職・企業の情報発信 3. 首都圏、中京圏や関西圏等での浜松市内企業求人情報の提供窓口の設置 4. 市内へのU I J ターン就職希望者に対する職業相談を行うコーディネーターの配置 5. 市内企業と県外求職者等をマッチングするインターネットW e b サイトの充実 6. 市内企業と県外求職者等をマッチングするインターンシップ受入企業の募集と県外就職者への情報提供 7. 求職者に対するU I J ターン求職活動費（交通費等）への助成 8. U I J ターン就職決定者へのインセンティブ付与（例 引越し費用等） 9. 特になし
--

問 19. すべての方にお伺いします。問 18 の「浜松市に期待すること」以外で、今後の採用活動を行う際、浜松市と連携可能な事業や、独自に実施している事業、他社の実例を参考に実施したい事業など、採用に係る貴社のお考えをご自由にご記入ください。

--

問 20. すべての方にお伺いします。浜松市では「浜松就職・転職ナビ J O B はま！」を運営していますが、あてはまるものに○をつけてください。(○は 1 つ)

1. 利用したことがある →問 21 へ
2. 知っているが利用したことはない →問 21 へ
3. 知らなかった

問 21. 「問 20」にて「1.利用したことがある・2.知っているが利用したことはないを選んだ方にお伺いします。「浜松就職・転職ナビ J O B はま！」を何で知りましたか。あてはまるものに○をつけてください。(複数回答可)

1. 浜松市ホームページ
2. インターネット (浜松市ホームページ以外)
3. 施設内ポスター・チラシ
4. 知人から
5. その他 ( )

問 22. すべての方にお伺いします。浜松市では、中小企業と連携し、将来を担う産業人材の確保及び若年者の移住・定住を促進するため「浜松市奨学金返還支援事業」を実施しています。本事業について利用希望はございますか。あてはまるものに○をつけてください。(○は 1 つ)

1. 利用したい
2. 制度内容によっては利用したい
3. 興味がある
4. 利用希望はない

問 23. すべての方にお伺いします。貴社における外国人材の雇用状況について、あてはまるものに○をつけてください。(○は 1 つ)

1. 既に雇用している
2. 現在は雇用していないが、今後雇用を検討している
3. 雇用希望はあるが、雇用のための手段や情報が不足している
4. 雇用予定はない → 問 24 へ

問 24. 「問 23」にて「4.雇用予定はないを選んだ方にお伺いします。外国人材の雇用予定がない理由について、あてはまるものに○をつけてください。(○は 1 つ)

1. 外国人採用を考えたことが無い
2. 日本語コミュニケーションが不安
3. 外国語で話せる社員がいない
4. 受け入れ態勢が整っていない
5. ビザ等の手続きが分からない
6. その他 ( )





